

序

記録的な猛暑の8月も終わり、9月に入って蝉の声も心なしか迫力を欠いてきた昨今であります。2003年度 筑波大学臨床医学系業績目録集をお届けいたします。

2003年は大学が独立法人化する前の国立大学筑波大学の最後の年度となります。今回の業績集は学系経理企画担当大河内信弘教授、川内康弘助教授はじめ関係諸先生の大変なご努力にて完成の運びとなりました。この業績集は臨床医学系の歩みの鑑でもあり、今回で22年目となります。前年度より、CD-ROM 化いたしました。

筑波大学は大学院大学となり、医学は体育、芸術、教育とともに人間総合科学研究科を形成し、臨床医学系は先端応用医学専攻、病態制御医学専攻、機能制御医学専攻の3専攻により、人間総合科学研究科の中核を担うこととなりました。学系組織が今後どう変貌するか、不明確ではありますが、我々の耳に響きのよい“臨床”の名称は臨床医学系にのみ残されています。筑波大学が他大学の医学部に比し、意思疎通がよいのは臨床医学系の組織が大きな働きをしていると思われます。

臨床医学系に所属する教官は228名に及び、その力を結集すれば大学発展に大いに寄与すると確信しております。これからは到達目標とその評価の時代に入ってきます。しかし、我々の責務には研究・診療・教育の3本柱があり、その負担はますます重く押し掛かってきております。臨床医学系教官の評価には臨床能力、教育実績の評価法を積極的に確立する必要があります。臨床研究でも“つくば発”のevidence を世界に向け発信できる組織として臨床医学系の更なる発展を確信しております。

2004.9.5

臨床医学系学長

長 澤 俊 郎

凡 例

1. 収 録 の 対 象

筑波大学臨床医学系所属の教官が著者ないし発表者（共著者を含む）の業績を対象とした。

2. 記 載 方 法

業績は平成15年1月1日～12月31日に発表されたものを対象とし、当該教官ら所属する研究グループ毎にまとめた。夫々の業績目録に収録するか否かの判断は各研究者に委ね、予め配付された用紙に記載された業績はすべて収録した。

3. 業 績 の 分 類

各種の業績を次の6種に分類し、以下の要領で chronological に記載した。

・ 原 著

・ 総 説

欧文雑誌名は Index Medicus に準じ、和文は公式の略称を用いる。

・ 著 書

単行本の場合は、著者名：書名、発行所、発行地、発行年

分担執筆の場合は、著者名：表題、書名、(編集者)、版数(初版は不要)、

発行所、発行地、初頁—終頁

・ 学会発表(シンポジウム、特別講演を含む)

発表者名：題名、学会名(場所)、月、年、(西暦)

・ 班研究報告

著者名：題名、報告書名、年次、初頁—終頁

・ その他(放送、座談会、講演会などで学術的なもの)

発表者名：題名、放送局名、月、日、年、または誌名、巻、頁、年

なお、著者名は原則として全員を記載し、臨床医学系教官はゴシック文字とした。

目 次

循環器内科グループ	1
消化器内科グループ	23
呼吸器内科グループ	51
腎臓内科グループ	63
代謝内分泌内科グループ	77
膠原病・リウマチ・アレルギー内科グループ	97
血液内科グループ	113
神経内科グループ	121
精神医学グループ	137
皮膚科グループ	149
小児内科グループ	161
感染症科グループ	173
循環器外科・呼吸器外科グループ	175
消化器外科グループ	185
脳神経外科グループ	197
腎泌尿器外科グループ	211
乳腺・甲状腺・内分泌外科グループ	225
形成外科グループ	233
小児外科グループ	235
整形外科グループ	243
眼科グループ	253
婦人周産期グループ	267
耳鼻咽喉頭科グループ	281
麻酔診療グループ	287
歯科・口腔外科グループ	297
臨床病理グループ	301
放射線科グループ	305
放射線医学・陽子線センターグループ	319
救急グループ	325
医療情報グループ	327
集中治療グループ	329
臨床薬剤学グループ	333
卒後臨床研修グループ	339
輸血部グループ	343
手術部グループ	345
光学医療診療グループ	347
病院病理部グループ	353
リハビリテーショングループ	357
アドミッションセンターグループ	359
医療科学グループ	361

2003年

臨床醫學系教官(2003年1月1日~12月31日)

- は期間内採用等
- は期間内辞職等

緒助司功初郎人美行英作享典之徹知生由治堯大弘俊彦	美之	美昌祐	太直陽秀昭健	昭清	雅達雅賢景	利毅雅	浩浩久彦宏之博司輔昭已勝光穗之二嘉浩卓美浩代己
崎下丸本島谷永井田月	代中	中川下本	澤岡澤林邊	手垣流水田塚川戸内岡藤井谷梨橋沼檜川岡上口佐田本	助井瓜海老及大木鯨後酒染高高高照富中平村山遊吉四		
松松松松三水宮向村望	森八	谷柳山山	山湯楊吉吉若渡				
己明利聰仁次吾彦二法宏博徹之一和子知司定次夫男美守正広一治紀実人裕郎子司曉一敬子潔隆豐文士志覺史清	和浩哲	博泰晋和伸毅	一法啓弘優美	經康秀秀穗出	康明雄政一洋尚朋史みさ祐	浩妙善孝正仁裕	
川木戸田根田野橋橋橋越田安島川中向測本井島島田津浦村川多部田野津井松山山島田永井木	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福	鈴鈴関宗曾高高高高高竹武田太田谷田塚坪寺豐中新西野長幡服濱原伴樋平平平福福
美行正男仁聰一彦明映之弘志樹夫朗真德樹典也郎史司一治新二了徹之一人昭平俊孝透美実子昭健仁史男一二俊	成敏和邦喜	伸重信	義芳隆英教惠	定史明竜浩雅兼優恒	弘義真直広捷	正惠豐奈浩	崇芳純信正
川光部川川藤股川崎野田林藤保越田津塚本	田澤寺井治岡子合野本澤原池室山井根本	木藤藤藤原野水水田原浦	石磯市市伊猪今岩植内梅遠大大太大大岡沖小鬼小影加金河河川木木小小小酒坂佐佐佐柴島清清正菅杉				
祐彦樹寛二久二昭治徹亮晃夫人肇子一健介重夫樹朗郎美美夫明人博樹司明義幸雄弘郎行	圭克英	完幸武智	崎達明	英公啓宗道秀	二晴重哲敏真哲良靖	勝雅由邦哲重	也人祥美泉郎弘雄
賀月島山田	屋田居磨岡井	田野植	瀬瀬田野原村勢見	間間野井崎村上部下縣田邊			信誠照惠耕一幸
久桑上小小齋榮軸	重島須玉筒堤角東德轟長永長中中能人堀本本前松松松水宮森山和渡						師足安部雨新阿池石石
之之隆也二修弘郎男男吉之夫直夫謙操一之久見訓昭郎夫彦男晃陽卓巖博秀之廣	英康	徹悠	信哲藤盛論直道幸哲	進孝清直秀利俊凱治忠	信一裕	悠朝利	雅正知康
座根田嵐井山内鹿塚塚田合子田山原庭司田澤中岡井澤山宮勢	井内口田根川田					吉井橋杵口塚原塚田上内	
赤秋朝五坂浦大大大大大興落金幸小神坂庄住閑田豐中長中二能原松宮山山山吉吉						相石石臼江大大大鬼鴨川川	

名簿は2002年12月31日の官職

2003年（循環器内科グループ）

原 著

- No . 1 Miyauchi T., Maeda S., Iemitsu M., Kobayashi T., Kumagai Y., Yamaguchi I.,
Matsuda M. :
Exercise causes a tissue-specific change of NO production in the kidney and lung
J Appl Physiol 94(1) : 60-68, 2003
- No . 2 Maeda S., Tanabe T., Miyauchi T., Otsuki T., Sugawara J., Iemitsu M., Kuno S.,
Ajisaka R., Yamaguchi I., Matsuda M. :
Aerobic exercise training reduces plasma endothelin-1 concentration in older
Women
J Appl Physiol 95(1) : 336-341, 2003
- No . 3 Sato Y., Hiramatsu Y., Homma S., Sato S., Onizuka M., Sakakibara Y. :
Phosphodiesterase type 4 inhibition of activated polymorphonuclear leukocytes in
a simulated extracorporeal circulation model
J Thorac Cardiovasc Surg 125 : 172-177, 2003
- No . 4 森本 隆史, 渡辺 重行, 仁科 秀崇, 新冨 義侯, 武安 法之, 江田 一彦, 斉藤 巧,
外山 昌弘, 坂本 和彦, 石山 実樹, 石井智香子, 新井 恵美, 鰐坂 隆一, 山口 巖 :
運動開始時酸素摂取量応答と血管機能との関連
心臓35(Suppl. 2) : 26-29, 2003
- No . 5 Tanabe T., Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Takanashi M., Irukayama-Tomobe
Y., Yokota T., Ohmori H., Matsuda M. :
Exercise training improves ageing-induced decrease in eNOS expression of the
aorta
Acta Physiol Scand 178(1) : 3-10, 2003
- No . 6 Suzuki S., Ohtsuka S., Ishikawa K., Yamaguchi I. :
Effects of nicardipine on coronary, vertebral and renal arterial flows in patients
with essential hypertension
Hypertens Res 26 : 193-199, 2003
- No . 7 Yoshimura Y., Hiramatsu Y., Sato Y., Homma S., Enomoto Y., Kikuchi Y., Sakakibara Y. :
Activated neutrophils and platelet microaggregates impede blood filterability
through microchannels during simulated extracorporeal circulation
Ann Thorac Surg 75 : 1254-1260, 2003
- No . 8 金本 都, 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 榎本 真美, 李 愛燕,
山口 巖 :
Slow pathwayとHis束の接近が確認された稀有型房室結節回帰性頻拍
臨床心臓電気生理 26 : 137-143, 2003

- No. 9 増見 智子, 飯田 啓治, 河野 了, 西 功, 美崎 昌子, 星 智也, 山田さつき,
久賀 圭祐, 渡辺 重行, 山口 巖 :
アミオダロン長期投与による予後改善効果の後ろ向き検討
Progr Med 23(Suppl I) : 1245-1251, 2003
- No. 10 Horigome H., Miyauchi T., Takahashi-Igari M., Maeda S., Matsui A. :
Increased plasma level of endothelin-1 following percutaneous balloon dilation of
aortic coarctation in children.
Eur J Pediatr 162(7-8) : 543-544, 2003
- No. 11 山口 巖 :
心疾患診療の新しい展開「序」; 心疾患診療の新しい展開」
成人病と生活習慣病 33(5) : 526-527, 2003
- No. 12 Yoshimura Y., Hiramatsu Y., Sato Y., Homma S., Enomoto Y., Jikuya T., Sakakibara Y. :
Ono-6818, a novel potent neutrophil elastase inhibitor, reduces inflammatory
mediators during simulated extracorporeal circulation
Ann Thorac Surg 76 : 1234-1239, 2003
- No. 13 鈴木 康文, 鯨坂 隆一, 田辺 匠, 大槻 毅, 菅原 順, 久野 譜也, 松田 光生,
渡辺 重行, 山口 巖 :
女性冠動脈疾患患者における下肢レジスタンス運動の安全性—運動様式の差異による
比較
心臓リハビリテーション8(1) : 177-183, 2003
- No. 14 Katori K., Homma M., Kuga K., Yamaguchi I., Sugibayashi K., Kohda Y. :
Liquid chromatographic determination of unbound flecainide in therapeutic drug
monitoring
J Pharmacol Biomed Anal 32(2) : 375-380, 2003
- No. 15 Yamada S., Kuga K., On K., Yamaguchi I. :
Noninvasive recording of His potential using Magnetocardiograms
Circ J 67(7) : 622-624, 2003
- No. 16 Chisaki K., Okuda Y., Suzuki S., Miyauchi T., Soma M., Ohkoshi N., Sone H., Yamada N.,
Nakajima T. :
Eicosapentaenoic acid suppresses basal and insulin-stimulated endothelin-1
production in human endothelial cells
Hypertens Res 26(8) : 655-661, 2003
- No. 17 Ohtsuka S., Yamazaki A., Oyake Y., Yamaguchi I. :
Amlodipine improves vascular function in patients with moderate to severe
hypertension
J Cardiovasc Pharmacol 42 : 296-303, 2003
- No. 18 河野 了, 山口 巖 :
カルシウム拮抗薬-不整脈における使い方
Medicina 40(8) : 1361-1363, 2003

- No . 19 鰺坂 隆一, 久野 譜也, 松田 光生, 渡辺 重行, 山口 巖 :
中高齢者の下肢レジスタンス運動における運動筋の酸素化動態—SATプロジェクト95
脈管学 43(8) : 225-228 , 2003
- No . 20 Sugawara J., Tanabe T., Miyachi M., Yamamoto K., Takahashi K., Iemitsu M., Otsuki T.,
Homma S., Maeda S., Ajisaka R., Matsuda M. :
Non-invasive assessment of cardiac output during exercise in healthy young
humans: comparison between Modelflow method and Doppler echocardiography
method
Acta Physiol Scand 179: 361-366 , 2003
- No . 21 森本 隆史, 本間 覚, 宇野希世子, 小原 健一, 中西 啓太, 岡野 嘉明, 安藤 太三,
渡辺 重行, 山口 巖 :
クエン酸シルデナフィルの内服を開始した慢性肺血栓塞栓症の症例
Therapeutic Res 24(9): 1812-1815, 2003
- No . 22 Yamada S., Tsukada K., Kuga K., Yamaguchi I. :
Noninvasive, direct visualization of macro-reentrant circuits by using
magnetocardiograms: initiation and persistence of atrial flutter
Europace 5(2) : 343-350 , 2003
- No . 23 Horigome H., Shigeta O., Kuga K., Isobe T., Sakakibara Y., Yamaguchi I., Matsui A. :
Ventricular fibrillation during anesthesia in association with J waves in the left
precordial leads in a child with coarctation of the aorta
J Electrocardiol 36(4) : 339-343 , 2003
- No . 24 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Sakai S., Fujii N., Miyazaki H., Kakinuma Y.,
Matsuda M., Yamaguchi I. :
Cardiac hypertrophy by hypertension and exercise training exhibits different gene
expression of enzymes in energy metabolism
Hypertens Res 26(10):829-837 , 2003
- No . 25 Ohtsuka S., Ishikawa K., Suzuki S, Yamaguchi I, Masuda N, Wada K., Uchida W. :
A porcine model of ischemic heart failure produced by chronic placement of a tube
in a coronary artery
Eur J Heart Fail 5:591-598 , 2003
- No . 26 鰺坂 隆一, 久野 譜也, 松田 光生, 渡辺 重行, 山口 巖 :
中高齢者の下肢レジスタンス運動における運動筋の酸素化動態
—SATプロジェクト95—
脈管学 43:335-338 , 2003
- No . 27 武田 徹, 呉 勁, 大塚 定徳, 梅谷 啓二, 板井 悠二 :
III. 診断検査法の進歩 放射光心血管造影法—原理, 特徴, 問題点—
日本臨床61巻, 増刊号4: 冠動脈の臨床 (上) 213-224頁, 2003
- No . 28 森本 隆史, 渡辺 重行, 星 智也, 柿沼 由彦, 小原 健一, 中西 啓太, 山口 巖 :
虚血性心疾患が疑われNifedipine が著効を示した全身性硬化症の一例
茨城循環器研究会雑誌10: 21-24 , 2003

- No. 29 本間 覚, 松尾 汎, 林 富貴雄, 野々木 宏, 山口 巖:
I閉塞性動脈硬化症を有する患者の生命予後と血管形成術後の開存期間:4大危険因子
のI総合的重症度との関連
循環器専門医 11(2): 241-246, 2003
- No. 30 三井 利夫, 山口 巖, 相澤 義房, 池口 滋, 岡部 富士子, 小川 聡, 笠貫 宏,
加藤 貴雄, 岸 良示, 久賀 圭祐, 栗田 隆志, 小坂井 嘉夫, 相良 耕一,
里見 和浩, 下村 克朗, 杉 薫, 高柳 寛, 田中 茂夫, 新田 隆, 堀 原一,
松本 直樹, 三崎 拓郎, 三田村秀雄, 坂本 徹, 山口 徹, 渡辺 重行:
不整脈に起因する失神例の運転免許取得に関する診断書作成と適正検査施行の合同検
討 委員会ステートメント
不整脈19:502-512, 2003
- 総 説
- No. 1 後藤 勝年, 宮内 卓:
エンドセリン研究の新しい展開 -受容体拮抗薬の臨床応用への展望-
日本薬理学会誌 121:91-101, 2003
- No. 2 石山 実樹, 渡辺 重行, 山口 巖:
母体症候-救急疾患の鑑別と初期対応 胸痛・上腹部痛
臨床婦人科産科 57: 261-265, 2003
- No. 3 山田さつき, 山口 巖:
冠動脈の臨床 21世紀の診断治療体系 診断検査法の進歩 心磁図検査
日本臨床 61(増刊号4): 413-417, 2003
- No. 4 渡辺 重行:
非動脈硬化性冠疾患による狭心症、狭心症様病態 一分類、病態生理、臨床-
日本臨床 61(増刊号5):582-595, 2003
- No. 5 石光 敏行:
弁膜症手術の最前線; 最新の適応とは? いつ手術を行うか? ◎大動脈弁疾患: 内科の
立場から
Medio 20(5):82-83, 2003
- No. 6 宮内 卓:
エンドセリンと虚血性心疾患
日本臨床 61(増刊号5):848-852, 2003
- No. 7 山田さつき, 山口 巖:
シンポジウム アミオダロンはなぜ効くか
心疾患治療におけるアミオダロンの新展開心不全とアミオダロン
Prog Med 23(suppl 1):136-142, 2003
- No. 8 田辺 匠, 前田 清司, 菅原 順, 大槻 毅, 宮内 卓, 久野 譜也, 鰐坂 隆一,
松田 光生:
高齢者における日常の身体活動量が収縮期血圧に及ぼす影響
-動脈系コンプライアンスとの関連-
体力科学 (Suppl) 52:167-176, 2003

- No. 9 渡辺 重行：
頻脈性不整脈の非薬物療法－拡大する適応 運転免許と不整脈の非薬物療法
Heart View 7(8):83-88, 2003
- No. 10 渡辺 重行：
高齢心疾患患者の日常生活指導
総合臨床 52(9)：2631-2632, 2003
- No. 11 武安法之, 渡辺 重行：
虚血性心疾患における高脂血症
今月の治療 11(12)：48-49, 2003
- No. 12 石山 実樹, 渡辺 重行, 山口 巖：
冠動脈疾患の薬物療法 / 狭心症と心筋梗塞の予防と治療－薬物療法の実際 抗不整脈薬
モダンフィジシャン 23(12)：1380-1385, 2003
- No. 13 武安 法之, 渡辺 重行：
高脂血症をどうするか－動脈硬化予防の観点から－虚血性心疾患における高脂血症
今月の治療 11(12):48-49, 2003
- No. 14 石光 敏行：
不整脈の降圧療法と臓器保護
成人病と生活習慣病 33(12):1522-1525, 2003
- 著 書
- No. 1 渡辺 重行：
心疾患における交感神経機能の画像診断
Annual Review 循環器
杉下靖郎, 門間和夫, 矢崎義雄, 高本眞一 編
中外医学社 (東京) pp.134-141, 2003
- No. 2 久賀 圭祐, 山口 巖：
植込み型除細動器の適応症例と抗不整脈薬併用による治療戦略
抗不整脈薬のすべて (第2版)
小川 聡、大江 透、井上 博 編
先端医学社 (東京), pp.355-362, 2003
- No. 3 渡辺 重行：
急性心筋梗塞初期治療におけるニトログリセリンの使い方と落とし穴
虚血性心疾患診療のコツと落とし穴
上松瀬勝男 編
中山書店 (東京), pp.134-135, 2003

No. 4 山田さつき, 山口 巖:

XIV 不整脈の薬物療法amiodarone -臨床-

新不整脈学

杉本恒明、井上 博 編

南江堂 (東京), pp.552-554, 2003

No. 5 渡辺 重行:

リハビリテーション (運動療法) と心臓核医学

Q & A 心臓核医学診断

山崎純一, 廣江道昭 編

メジカルセンス (東京), pp.230, 2003

No. 6 河野 了:

完全房室ブロックに移行する分枝ブロックの診断のポイント-電気軸偏位の鑑別診断

97回再現医師国家試験問題解説書

心電図検査のコツと落とし穴

小川 聡 編

医学評論社 (東京), pp.126-127, 2003

No. 7 本間 覚:

肺塞栓症の診断のポイント

97回再現医師国家試験問題解説書

心電図検査のコツと落とし穴

小川 聡 編

医学評論社 (東京), pp.224-225, 2003

No. 8 森本 隆史, 渡辺 重行:

虚血性心疾患の核医学的診断法

老年病診療Q & A

永野 允 編

六法出版 (名古屋), pp.820-821, 2003

No. 9 新富 義侯, 渡辺 重行, 山口 巖:

虚血性心疾患は心電図でどこまでわかりますか

虚血性心疾患診療ガイドンス

上松瀬勝男 編

メジカルビュー社 (東京), pp.106-109, 2003

No. 10 久賀 圭祐, 山口 巖:

抗不整脈薬の禁忌と副作用: 使用における注意点

不整脈診療ガイドンス

相澤義房 編

メディカルビュー社 (東京), pp.98-100, 2003

- No. 11 吉田健太郎, 久賀 圭祐 :
脈の触れ方・数え方のコツ

不整脈診療ガイドンス

相澤義房 編

メディカルビュー社(東京), pp.156-158, 2003

学会発表

- No. 1 大塚定徳, 山口 巖, 呉 勤, 武田 徹, 板井悠二, 丸橋 晃, 兵藤一行, 安藤正海 :
高エネルギー加速器研究機構における放射光冠動脈造影の現状
第8回放射光医学研究会講演会(姫路), 1月, 2003
- No. 2 河野 了, 飯田 啓治, 西 功, 増見 智子, 美崎 昌子, 渡辺 重行, 山口 巖 :
慢性心不全に対する β 遮断薬療法導入時に果たすBNP足底の意義
第37回日本成人病(生活習慣病)学会(東京), 1月, 2003
第37回日本成人病(生活習慣病)学会プログラム・抄録集: 45, 2003
- No. 3 Ohtsuka S., Yamaguchi I., Jin W., Takeda T., Itai Y., Maruhashi A., Hyodo K., Ando M. :
Ongoing IVCAG Clinical Program in Japan
第2回九州放射光医学利用シンポジウム(福岡), 1月, 2003
- No. 4 Yoshimura Y., Hiramatsu Y., Sato Y., Homma S., Enomoto Y., Jikuya T., Sakakibara Y. :
Ono-6818, novel potent neutrophil elastase inhibitor, reduces inflammatory mediators during simulated extracorporeal circulation
39th Annual Meeting of the Society of Thoracic Surgeons(San Diego), 1月, 2003
- No. 5 水谷 太郎, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓, 本間 覚, 筒井 達夫 :
ベントナイト懸濁液気管内注入による新しい無気肺モデル作成の試み
第30回日本集中治療医学会総会(札幌), 2月, 2003
- No. 6 錦井 秀和, 大塚 定徳, 新富 義侯, 山口 巖, 本間 覚, 水谷 太郎 :
特異な経過を示した肺炎球菌によるARDSの一成人例
第30回日本集中治療医学会総会(札幌), 2月, 2003
- No. 7 宇野希世子, 久賀 圭祐, 松尾 敬子, 安部 大輔, 新富 義侯, 森本 隆史,
丸山 秀和, 渡辺 重行, 山口 巖, 原 尚人 :
カテコラミン心筋症による心不全により発見された褐色細胞腫の一例
第187回日本循環器学会関東甲信越地方会(横浜), 2月, 2003
- No. 8 石津 智子, 石光 敏行, 瀬尾 由広, 森山 直子, 小原 健一, 河野 了, 山口 巖 :
偽正常化型僧帽弁血流速度波形を呈する拡張型心筋症における拡張早期左室内血流の特徴
造影心エコー法を用いた検討
第25回コントラストエコー研究会(大阪), 2月, 2003
- No. 9 土岐 浩介, 本間 真人, 久賀 圭祐, 渡辺 重行, 香取 久美, 山口 巖, 幸田 幸直 :
頻脈性不整脈患者における血中フレカイニドおよびその代謝物の同時定量
第124回日本薬学会(大阪), 3月, 2003

- No . 10 Takanashi M., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Sakai S., Kasuya Y., Ogata T., Iemitsu M., Sudo T., Goto K., Yamaguchi I. :
ET-1-induced cardiac hypertrophy is inhibited by activation of PPAR- α via blockade of Jun NH-terminal kinase pathway.
第76回日本薬理学会年会 (福岡), 3月 , 2003
J Pharmacological Sciences 91 (Suppl.) : 104, 2003
- No . 11 Miyauchi T., Yamauchi-Kohno R., Kobayashi T., Sakai S., Aihara H., Yabana H., Murata S., Goto K., Yamaguchi I. :
Poor Survival of Cardiomyopathic Hamsuturs with CHF Is Greatly Improvend by Combined Treatment with Endothelin(ET)-A Receptor Antagonist and ACE Inhibitor
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 94 , 2003
- No . 12 Yamazaki A., Ohtsuka S., Oyake Y., Yamaguchi I. :
Long-Term Treatment with Nitrates Aggravates Vascular Endothelial Function in Patients with Lschemic Heart Disease
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 167 , 2003
- No . 13 Kakinuma Y., Miyauchi T., Yamaguchi I. :
Anti-ER Stress Action of HIF-1 Alpha in Compensation of Impairment of Energy Matabolism Due to Cellular Stress
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 501 , 2003
- No . 14 On K., Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Watanabe S., Kuga K., Yamaguchi I. :
Reversible Myocardial Ishemia in Asymptomatic Phase Can Be Diagnosed by Magnetocardiograms
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 429 , 2003
- No . 15 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Tanabe T., Matsuda M., Yamaguchi I. :
Exercise Training Improves the Aging-Induced Decrease in Molecular Regulatory System of Mitochondrial Respiratory Function in the Rat Heart
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 522 , 2003
- No . 16 Ogata T., Miyauchi T., Sakai S., Yamaguchi I. :
A PPAR- α Activator Inhibits Cardiac Fibrosis by Inhiditing of Fibroblast Proliferation and Collagenesis in Cultured Fibroblasts and DOCA-Salt Hypertensive Rats
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 516 , 2003

- No . 17 Abe D., Homma S., Nakanishi K., Uno K., Kawano S., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Frequent Saturation Dips at Daytime Observed in SpO2 Night-Dippers
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 547 , 2003
- No . 18 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Yamaguchi I. :
Acute Exercise Induces Activation of Mitogen-Activated Protein Kinase(MAPK)
Pathway in the Heart of Rats
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 318 , 2003
- No . 19 Kuga K., Yamaguchi I., Ohtsuka M. :
Currents Status and Problems of Cardiovascular Health Administration in
University
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 43 , 2003
- No . 20 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Kuga K., Yamaguchi I. :
Initiation and Persistence of Atrial Flutter Visualized by Magnetocardiographic
Animations
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 133 , 2003
- No . 21 Iida K., Kawano S., Homma S., Nishi I., Masumi T., Misaki M., Yamaguchi I. :
Heterogeneity of Expression of Messenger RNA in Failing Hearts
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 227 , 2003
- No . 22 Oyake Y., Ohtsuka S., Yamazaki A., Yamaguchi I. :
Increased Sympathetic Nerve Activity Relates to Vascular Endothelial
Dysfunction in Patients with Essential Hypertension
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 229 , 2003
- No . 23 Suzuki A., Watanabe Y., Takei Y., Tanaka K., Kawagoe K., Ejiri N., Kuga K.,
Watanabe S. , Yamaguchi I., Yanagita Y. :
Distributional Heterogeneity of Washout-Rate by MIBG Images May Be New
Predictor for Serious Adverse Cardiac Events with Chronic Heart Failure
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 235 , 2003
- No . 24 Seo Y., Ishimitsu T., Ishizu T., Obara K., Moriyama N., Maeda Y., Watanabe S.,
Yamaguchi I. :
Relation between Mitral Annular Calcification and Severity of Carotid
Arteriosclerosis in Stroke Patients
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
Circ J 67(Suppl.) : 223 , 2003

- No . 25 Oyake Y., Ohtsuka S., Yamazaki A., Yamaguchi I. :
 Relation of Left Ventricular Diastolic Function to Vascular Endothelial Function in Patients with Essential Hypertension
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 575 , 2003
- No . 26 Yamada S., Yakmaguchi I. :
 Efficacy, Safety, and Limitations of Amiodarone Therapy
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 71 , 2003
- No . 27 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., On K., Kuga K., Yamaguchi I. :
 Magnetocardiograms Detect the Right Atrial Conduction Delay in Paroxysmal Atrial Fibrillation
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 250 , 2003
- No . 28 Sakai S., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Ogata T., Takanashi M., Iemitsu M., Goto K., Yamaguchi I. :
 Stimulation of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor- α (PPAR- α) Attenuates Endothelin-1-Induced Cardiac Hypertrophy Partly via Inhibition of c-Jun NH2 Terminal Kinase(JNK) Pathway
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 145 , 2003
- No . 29 Miyauchi T., Sakai S., Maeda S., Iemitsu M., Fujimori A., Shikama H., Takanashi M., Tanabe T., Matsuda M., Goto K., Yamaguchi I. :
 Decreases in Exercise Capacity, Myocardial Energy Metabolism, and Survival in Rats with CHF Are Greatly Improved by Endothelin-A Receptor Antagonist
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 156 , 2003
- No . 30 Watanabe S., Ajisaka R., Ishii C., Morimoto T., Shintomi Y., Takeyasu N., Saitoh T., Toyama M., Sakamoto K., Eda K., Ishiyama M., Nishina H., Arai E., Yamaguchi I. :
 The Contributions of Muscle Vasodilation and Cardiac Function to the Exercise Performance in Patients with Left Ventricular Dysfunction
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 475 , 2003
- No . 31 Seo Y., Ishimitu T., Ishizu T., Obara K., Moriyama N., Kawano S., Watanabe S., Yamaguchi I. :
 A Novel Echocardiographic Classification of Left Ventricular Diastolic Dysfunction in Patients with Preserved Systolic Function
 第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月 , 2003
 Circ J 67(Suppl.) : 482 , 2003

- No . 32 Takanashi M., Miyauchi T., Yamaguchi I. :
Establishment of Hypoxia Inducible Factor(HIF)-1 α Overexpressing Cells;
Useful Model for Analyzing the Mechanisms of Hypoxia-Induced Cellular
Pathophysiology
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 2003
Circ J 67(Suppl.) : 376 , 2003
- No . 33 Shintomi Y., Watanabe S., Ajisaka R., Ishii C., Morimoto T., Takeyasu N., Saitoh T.,
Toyama M., Sakamoto K., Eda K., Ishiyama M., Nishina H., Arai E., Yamaguchi I. :
Stress-Induced Deep T Wave Inversion is a Marker of the Stenosis of Right
Coronary(RCA) or Left Circumflex Coronary(LCX) Arteries
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 2003
Circ J 67(Suppl.) : 624 , 2003
- No . 34 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Tanabe T., Goto K., Yanaguchi I., Matsuda M. :
An Endothelin-A/B Dual Receptor Antagonist Reverses the Exercise-Induced
Redistribution of Tissue Blood Flow
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 2003
Circ J 67(Suppl.) : 627 , 2003
- No . 35 Morimoto T., Watanabe S., Ajisaka R., Shintomi Y., Takeyasu N., Saitoh T., Toyama M.,
Sakamoto K., Eda K., Ishiyama M., Nishina H., Arai E., Ishii C., Yamaguchi I. :
Temporal Changes of Vascular Function and Exercise Tolerance in the Patients
with Heart Disease
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 2003
Circ J 67(Suppl.) : 623 , 2003
- No . 36 Meda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Tanabe T., Watanabe M., Yamaguchi I.,
Matsuda M. :
Exercise Causes Upregulation of Renin-Angiotensin System in Kidneys and
Decreases Renal Blood Flow
第67回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 2003
Circ J 67(Suppl.) : 634 , 2003
- No . 37 本間 覚, 松尾 汎, 対馬 信子, 林富 貴雄, 野々木 宏, 山口 巖 :
動脈硬化危険因子を有する患者に対する抗血小板療法が長期予後に及ぼす影響
—閉塞性動脈硬化症における血管形成術後15年の検討—
第100回日本内科学会総会 (福岡), 4月, 2003
- No . 38 新富 義侯, 渡辺 重行, 森本 隆史, 鰐坂 隆一, 武安 法之, 斉藤 巧, 外山 昌弘,
坂本 和彦, 江田 一彦, 山口 巖 :
心電図同期心筋SPECT(gated SPECT) による左室拡張能評価の妥当性と有用性
第100回日本内科学会総会 (福岡), 4月, 2003
日本内科学会雑誌92(Suppl.) : 123 , 2003
- No . 39 宇野希世子, 本間 覚, 安倍 大輔, 中西 啓太, 丸山 秀和, 山口 巖 :
四肢の脈波計測による動脈硬化性疾患の推測
茨城血管疾患研究会第4回発表会 (つくば), 4月, 2003

- No. 40 安倍 大輔, 本間 寛, 中西 啓太, 宇野希世子, 河野 了, 渡辺 重行, 山口 巖:
循環器疾患において昼間にも観察される末梢酸素飽和度の発作的低下の意義
茨城血管疾患研究会第4回発表会 (つくば), 4月, 2003
- No. 41 Suzuki A., Yoshida I., Watanabe Y., Takei Y., Tanaka K., Ejiri N., Watanabe S.,
Yamaguchi I. :
Distributional heterogeneity of washout rate by MIBG myocardial images may be
a good and new predictive parameter for serious adverse cardiac events with
chronic heart failure
6th International Conference of Nuclear Cardiology (Italy), 4月, 2003
J Nucl Cardiol 10: S5, 2003
- No. 42 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Wan K., Kuga K., Yamaguchi I. :
The Superiority of magnetocardiograms over electrocardiograms for detecting
conduction delay in the right atrium
24th NASPE Scientific Session (USA), 5月, 2003
Pacing Clin Electrophysiol 2003; 26 (Part II): 1048, 2003
- No. 43 Yamada S., Tsukada K., Miyashita T., Wan K., Kuga K., Yamaguchi I. :
Noninvasive classification of atrial fibrillation using magnetocardiograms: with or
without regular activity under a random pattern at the body surface
24th NASPE Scientific Session (USA), 5月, 2003
Pacing Clin Electrophysiol 2003; 26 (Part II): 1114, 2003
- No. 44 吉田健太郎, 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 金本 都, 柳田 葉子,
山口 巖:
右前壁副伝導路アブレーション5年後に、左後壁副伝導路伝導を生じたWPW症候群の
1例
第33回臨床心臓電気生理研究会 (名古屋), 5月, 2003
- No. 45 金本 都, 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 柳田 葉子, 吉田健太郎,
山口 巖:
右室流出路起源特発性心室頻拍に認められる隆起性構造の意義
第18回日本心臓ペースング・電気生理学会 (京都), 5月, 2003
- No. 46 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 金本 都, 柳田 葉子, 吉田健太郎,
山口 巖, 門間 正彦, 石川 演美:
核磁気共鳴画像のカテーテル・アブレーションに対する応用の検討
第18回日本心臓ペースング・電気生理学会 (京都), 5月, 2003
- No. 47 渡辺 重行, 久賀 圭祐, 山口 巖:
ICD植込み患者の自動車運転に関する法制上の考え方
第18回日本心臓ペースング・電気生理学会 (京都), 5月, 2003
- No. 48 鈴木 章弘, 金本 都, 吉田健太郎, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 久賀 圭祐, 山口 巖,
渡辺 康志, 武井 康彦, 田中喜美夫, 江尻 成昭, 前田 裕史:
分界稜周囲の伝導様式について-分界稜-大静脈洞間での伝導遅延-
第18回日本心臓ペースング・電気生理学会 (京都), 5月, 2003

- No. 49 森本 隆史, 本間 寛, 宇野希世子, 中西 啓太, 安倍 大輔, 渡辺 重行, 山口 巖:
慢性肺血栓塞栓症に対してクエン酸シルデナフィルを開始した1例
第4回肺高血圧治療研究会(東京), 5月, 2003
- No. 50 美崎 昌子, 河野 了, 森本 隆史, 宮副 涼子, 中西 啓太, 小原 健一, 渡辺 重行,
山口 巖:
ステロイドprednisolone投与が著効を示した慢性心不全の一例
第188回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 6月, 2003
Circ J 67(Suppl. III): 924, 2003
- No. 51 渡辺 重行, 新井 恵美, 武安 法之, 相原 英明, 鰐坂 隆一, 森本 隆史,
新富 義侯, 仁科秀崇, 山口 巖:
運動および運動耐容能とMIBG所見
第23回心臓核医学談話会(東京), 6月, 2003
- No. 52 中西 啓太, 渡辺 重行, 小原 健一, 森本 隆史, 河野 了, 本間 寛, 軸屋 智昭,
榊原 謙, 山口 巖:
Stunned myocardium からの回復に長時間を要した1例
茨城PTCA研究会(土浦), 6月, 2003
- No. 53 山口 巖:
外科手術に役立つ循環器疾患の診断と治療
第203回茨城外科学会(つくば), 7月, 2003
- No. 54 鰐坂 隆一, 松田 光生, 渡辺 重行, 森本 隆史, 新富 義侯, 武安 法之, 山口 巖:
安定した高齢冠動脈疾患患者における下肢レジスタンス運動の安全性
第9回日本心臓リハビリテーション学会(東京), 7月, 2003
第9回日本心臓リハビリテーション学会抄録集:63, 2003
- No. 55 渡辺 重行, 武安 法之, 仁科 秀崇, 新井 恵美, 相原 英明, 石山 実樹, 江田 一
彦, 坂本 和彦, 外山 昌弘, 斉藤 巧, 山内 孝義, 山口 巖, 鰐坂 隆一, 稲葉 武,
石井智香子:
シンポジウム
「運動と血管機能、末梢循環」心疾患患者における内皮依存性および内皮非依存性血
管拡張能と運動耐容能」
第53回循環器負荷研究会(東京), 8月, 2003
第53回循環器負荷研究会抄録集: 21, 2003
- No. 56 小形 岳寛, 宮内 卓, 下條 信威, 高梨 正勝, 増澤 浩一, 山口 巖:
DOCA-salt 高血圧性ラット心臓での、PPAR α 刺激薬による心筋繊維化抑制効果と拡
張機能増悪抑制効果—抗炎症作用からの検討—
Cardiovascular Medicine 21 第3回フォーラム(東京)8月, 2003
Cardiovascular Medicine 21 第3回フォーラム抄録集: 12-13, 2003
- No. 57 村越 伸行, 宮内 卓, 柳沢 正史, 山口 巖:
動脈硬化疾患におけるエンドセリンの役割
第6回最先端循環器フォーラム(小樽)8月, 2003

- No. 58 武安 法之, 渡辺 重行, 吉田健太郎, 中西 啓太, 美崎 昌子, 河野 了, 本間 覚, 山口 巖:
治療戦略に苦慮した左前下行枝近位部完全閉塞の1例
第23回筑波インターベンションシネカンファレンス(つくば), 8月, 2003
- No. 59 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 金本 都, 吉田健太郎, 山口 巖, 門間 正彦, 石川 演美:
非磁性アブレーション・カテーテルを用いたopen MRI下における高周波アブレーションの実験
第20回日本心電学会(東京), 9月, 2003
- No. 60 山田さつき, 山口 巖:
心磁図を用いた“誰にでもわかる不整脈の起源・機序診断”
第51回日本心臓病学会学術集会(東京), 9月, 2003
第51回日本心臓病学会学術集会抄録集 J Cardiology :146, 2003
- No. 61 遠藤 優枝, 久賀 圭祐, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 金本 都, 吉田健太郎, 山口 巖:
急性心筋梗塞発症後に 波が消失したWPW症候群の2症例
第51回日本心臓病学会学術集会(東京), 9月, 2003
第51回日本心臓病学会学術集会抄録集 J Cardiology :460, 2003
- No. 62 小原 健一, 外山 昌弘, 渡辺 重行, 山口 巖:
異型狭心症の発作に好酸球増多症の関与を認め、ブレドニゾロンが著効を示した一例
第189回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 9月, 2003
- No. 63 川村 龍, 石川 公人, 文蔵 優子, 野口 祐一, 稲留 征典, 武安 法之, 渡辺 重行, 山口 巖:
右心系の障害を主体とし非特異的な症状で発症経過した慢性心筋炎の一部検例
第189回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 9月, 2003
- No. 64 星 智也, 渡辺 康志, 鈴木 章弘, 武井 泰彦, 田中喜美夫, 河野 了, 渡辺 重行, 山口 巖:
粘液腫と血栓の鑑別が困難であった左房内腫瘍の一例
第189回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 9月, 2003
- No. 65 鈴木 祥司, 飯田 啓治, 小関 淑子, 村越 伸行, 仁保 文平, 榎本 強志, 小関 迪, 渡辺 重行, 山口 巖:
虚血性心疾患を合併し多彩な不整脈を呈した心サルコイドーシスの1例
第189回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 9月, 2003
- No. 66 美崎 昌子, 河野 了, 増見 智子, 星 智也, 渡辺 重行, 山口 巖:
左室機能不全に対するアミオダロン治療の効果予測因子についての後ろ向き検討
第8回アミオダロン研究会(東京), 9月, 2003
第8回アミオダロン研究会抄録集p. 13
- No. 67 本間 真人, 久賀 圭祐, 香取 久美, 土岐 浩介, 草野 一富, 渡辺 重行, 山口 巖, 幸田 幸直:
フレカイニドの血中濃度に及ぼすCYP2D6遺伝子多型の影響.
第18回日本薬物動態学会(札幌), 10月, 2003

- No . 68 Miyauchi T., Fujimori A., Maeda S., Iemitsu M., Sakai S., Takanashi M., Kawano S., Iida K., Shikama H., Tanabe T., Matsuda M., Goto K., Yamaguchi I. :
Reduction in exercise capacity, myocardial energy metabolism, and survival in rats with CHF are greatly improved by endothelin-A recetor antagonist
The International Symposium of Cardiology Frontiers: Cardiomyopathy and Heart Failure 2003 (北海道), 10月 , 2003
The International Symposium of Cardiology Frontiers: Cardiomyopathy and Heart Failure 2003 Program & Abstracts : 55 , 2003
- No . 69 Kawano S., Ohtsuka S., Iida K., Nishi I., Masumi T., Misaki M., Hoshi T., Morimoto T., Shintomi Y., Obara K., Abe D., Nakanishi K., Yoshida K., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Circulating Levels of IL 18 and Its Site of Production in Patients With Asymptomatic Chronic Heart Failure
The International Symposium of Cardiology Frontiers: Cardiomyopathy and Heart Failure 2003 (北海道), 10月 , 2003
The International Symposium of Cardiology Frontiers: Cardiomyopathy and Heart Failure 2003 Program & Abstracts : 61 , 2003
- No . 70 中西 啓太 , 渡辺 重行 , 小原 健一 , 森本 隆史 , 河野 了 , 本間 覚 , 軸屋 智昭 , 榊原 謙 , 山口 巖 :
Stunned myocardium からの回復に長時間を要した症例
第7回日本心不全学会学術集会 (大坂), 10月 , 2003
第7回日本心不全学会学術集会 Abstracts:78 , 2003
- No . 71 Misaki M., Kawano S., Masumi T., Iida K., Watanabe S., Yamaguchi I. :
Clinical Characteristics of Patients with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy in whom Amiodarone Improves Left Ventricular Function
第7回日本心不全学会学術集会 (大阪), 10月 , 2003
- No . 72 堀米 仁志 , 榊原 謙 , 重田 治 , 久賀 圭祐 , 山口 巖 , 磯部 剛志 , 山下 正夫 , 高橋 実穂 , 松井 陽 :
麻酔導入で心室細動をきたし、後方視的にBrugada症候群様心電図を呈していた大動脈縮窄症
第7回日本小児心電学研究会 (神戸), 11月 , 2003
- No . 73 宇野希世子 , 本間 覚 , 安倍 大輔 , 中西 啓太 , 飯田 啓治 , 山口 巖 :
四肢の脈波計測による動脈硬化性疾患の推測
第44回日本脈管学会総会 (福岡), 11月 , 2003
- No . 74 Ogata T., Miyauchi T., Sakai S., Takanashi M., Yamaguchi I. :
A PPAR- α activator inhibits myocardial dysfunction of the heart in DOCA-salt hypertensive rats, via suppressing inflammatory gene responses by a NF- κ B pathway
American Heart Association Scientific Sessions 2003, (USA) , 11月 , 2003
Circulation, Supplement I 108(17) : Oct 21 , 2003

- No . 75 森本 隆史, 渡辺 重行, 星 智也, 柿沼 由彦, 小原 健一, 中西 啓太, 山口 巖 :
虚血性心疾患が疑われNifedipin が著効を示した全身性硬化症の一例
茨城循環器研究会 (茨城), 11月 , 2003
茨城循環器研究会雑誌 10 : 21-24 , 2003
- No . 76 吉田健太郎, 久賀 圭祐, 遠藤 優枝, 仁保 文平, 鈴木 章弘, 金本 都, 山口 巖 :
CARTO systemのcycle length基準によるmappingがアブレーションに有用であった
左側壁起源の心室期外収縮の1例
第15回カテテル・アブレーション委員会公開研究会 (東京), 11月 , 2003
- No . 77 Shimojo N., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Maeda S., Ohkubo T., Tanaka Y.,
Goto K., Yamaguchi I. :
Effects of medium-chain triglyceride(MCT) application to SHR on cardiac
function, Hypertrophy, and expression of molecular markers including
Endothelin-1
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月 , 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : 7 , 2003
- No . 78 Fujimori A., Miyauchi T., Sakai S., Yuyama H., Iemitsu M., Sanagi M., Sudoh K.,
Shikama H., Goto K., Yamaguchi I. :
YM598, an orally active ETA receptor antagonist, ameliorates the progression of
cardiopulmonary changes and both-side heart failure in rats with cor pulmonale
and myocardial infarction
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月 , 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : 70 , 2003
- No . 79 Irukayama-Tomobe Y., Miyauchi T., Kasuya Y., Sakai S., Goto K., Yamaguchi I. :
Activation of peroxisome proliferator-activated receptor- α decreases
endothelin-1-induced cardiac hypertrophy via blockade of c-jun NH2-terminal
kinase and p38-MAPK pathways but not ERK pathway.
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月 , 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : 71 , 2003
- No . 80 Jesmin S., Sakuma I., Mowa C. N., Togashi H., Ueno K., Yoshioka M., Hattori Y.,
Kitabatake A., Miyauchi T. :
Progressive upregulation of Endothelin-1 and later downregulation of
VEGR/KDR/eNOS pathway in the brain may underlie the stroke susceptibility of
spontaneously hypertensive stroke-prone rats
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月 , 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : O-07 , 2003
- No . 81 Jesmin S., Sakuma I., Hattori Y., Kitabatake A., Miyauchi T. :
Endothelin-1-JNK pathway is upregulated in the heart of rats with type 2
diabetes at the insulin-resistant stage: Potential reversal by calcium channel
antagonism
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月 , 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : O-20 , 2003

- No . 82 Jesmin S., Sakuma I., Mowa C. N., Togashi H., Togashi H., Yoshioka M., Hattori Y., Kitabatake A., Miyauchi T. :
Long term endothelin antagonism normalizes the increase in expression of ET-A receptors and ECE without affecting ET-B receptor expression in the frontal cortex of SHRSP
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-003, 2003
- No . 83 Jesmin S., Sakuma I., Mowa C. N., Togashi H., Yoshioka M., Hattori Y., Kitabatake A., Miyauchi T. :
Long term endothelin antagonism reverses the hypertension-induced neurovascular remodeling in the frontal cortex of SHRSP: Reversal of upregulated VEGF/KDR/eNOS signaling pathway by endothelin antagonism
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-004, 2003
- No . 84 Miyauchi T., Fujimori A., Maeda S., Iemitsu M., Sakai S., Takanashi M., Shikama H., Tanabe T., Matsuda M., Goto K., Yamaguchi I. :
Decreased exercise capacity, myocardial energy metabolism, and survival in rats with CHF are greatly improved by endothelin-A receptor antagonist.
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : O-07, 2003
- No . 85 Iemitsu M., Miyauchi T., Maeda S., Matsuda M., Goto K., Yamaguchi I. :
Time course alteration of endothelin-1 gene expression in the heart during exercise and 24-h postexercise periods in rats
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-100, 2003
- No . 86 Jesmin S., Sakuma I., Togashi H., Yoshioka M., Hattori Y., Kitabatake A., Miyauchi T. :
Endothelin antagonism differentially affects the expression of angiotensin II receptors and ACE in the heart of SHRSP rat.
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin, O-25, 2003
- No . 87 Maeda S., Miyauchi T., Iemitsu M., Sugawara J., Nagata Y., Goto K. :
Resistance exercise training reduces plasma endothelin-1 concentration in healthy young humans
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-099, 2003
- No . 88 Takanashi M., Miyauchi T., Goto K., Yamaguchi I. :
Establishment of hypoxia inducible factor (HIF)-1 α overexpressing cells which produce endothelin-1
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-040, 2003

- No . 89 Ogata T., Miyauchi T., Irukayama-Tomobe Y., Takanashi M., Goto K., Yamaguchi I. :
The PPAR- α activator fenofibrate inhibits endothelin-1-induced fibroblast proliferation as well as c-jun mRNA expression
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-051, 2003
- No . 90 Masuzawa K., Miyauchi T., Takanashi M., Ogata T., Yamaguchi I., Goto K. :
Effects of endothelin-1 eyedrops on the retina in rats
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-089, 2003
- No . 91 Maeda S., Iemitsu M., Miyauchi T., Goto K. :
Exercise causes organ-specific change in gene expression of endothelin-1
Eighth International Conference on Endothelin (つくば), 11月, 2003
Abstracts Book of Eighth International Conference on Endothelin : P-064, 2003
- No . 92 齋藤 貴志、堀米 仁志、岩崎 信明、塩野 敦子、高橋 実穂、宮内 卓、松井 陽 :
Damon病家系の経時的な心電図変化
第8回 日本小児心電学研究会(東京)11月, 2003
第8回日本小児心電学研究会抄録, 2003
- No . 93 安倍 大輔、本間 寛、森本 隆史、宇野希世子、中西 啓太、安藤 太三、渡辺 重行、山口 巖 :
AT III欠乏症を伴う慢性肺血栓性肺高血圧症に対し肺動脈血栓内膜摘除術が施行された症例
茨城血管疾患研究会第5回発表会(つくば), 11月, 2003
- No . 94 中西 啓太、本間 寛、美崎 昌子、吉田健太郎、武安 法之、河野 了、渡辺 重行、山口 巖 :
左心機能障害を合併した高安静脈炎の症例
日本循環器学会関東甲信越地方会第190回学術集会(東京), 12月, 2003
- No . 95 大塚 定徳、山口 巖、呉 勤、武田 徹、板井 悠二、丸橋 晃、兵藤 一行、安藤 正海 :
放射光血管造影
化学放射線治療科学研究会(東京), 12月, 2003

研究報告

- No . 1 山口 巖、宮内 卓、酒井 俊、入鹿山容子、小形 岳寛、高梨 正勝、河野 了、飯田 啓治、後藤 勝年 :
心臓におけるエンドセリン遺伝子の発現調節の研究
厚生労働科学研究費補助金(特定疾患対策研究事業)
分担研究報告書, pp.74-77, 2003
- No . 2 山口 巖、西 功、河野 了、美崎 昌子、増見 智子、飯田 啓治、渡辺 重行 :
高血圧性心不全におけるACE阻害薬と抗アルドステロン薬の併用効果の検討
厚生労働科学研究費補助金(特定疾患対策研究事業)
分担研究報告書, pp.78-82, 2003

- No. 3 久賀 圭祐：
 学生定期健康診断：心電図の結果
 平成14年度保健管理センター業務報告書，pp.22，2003
- No. 4 久賀 圭祐：
 内科の活動
 平成14年度筑波大学スポーツクリニック業務・研究報告，pp.12，2003
- No. 5 宮内 卓：
 エンドセリン系をターゲットにした、心筋不全に対する心筋保護療法の臨床応用に関する研究
 平成14年度厚生労働省循環器病研究委託費による研究報告集，pp.5，2003
- その他
- No. 1 渡辺 重行：
 「循環器内科・外科領域の話題と展望」
 近赤外線分光法による生体組織酸素代謝・生化学組成のin vivo 測定法の開発
 第6回 つくば医療産業懇談会（つくば），1月15日，2003
- No. 2 宮内 卓：
 外来診療におけるエビデンスに基づいた治療・薬剤の選択—心不全—
 下館医師会循環器講習会（下館），1月15日，2003
- No. 3 星 智也，河野 了：
 Key word「AED」
 成人病（生活習慣病）ニュースレター 12(2):5，2月，2003
- No. 4 大塚 定徳：
 高血圧治療と臓器保護
 真壁都市医師会学術講演会（下館），2月17日，2003
- No. 5 山口 巖：
 Plenary Session
 「HRT and cardiovascular Disease-Recent Clinical Trial Results and Their Implications for Clinical Practice」
 AHA Highlights 2002:61-64，2月，2003
- No. 6 渡辺 重行：
 パネルディスカッション
 ALLHAT試験をどう日本の臨床に生かすか？
 ALLHAT学術講演会（水戸），3月13日，2003
- No. 7 大塚 定徳：
 「Discussion on Hypertension Therapy in NORTH KANTO—史上最大規模のエビデンスALLHATの結果より」
 座談会（宇都宮），4月18日，2003
- No. 8 山口 巖：
 抗不整脈療法の現状と展望
 秋田大学第2内科講座創立30周年記念講演（秋田），4月27日，2003

- No. 9 大塚 定徳：
大規模臨床試験からみたカルシウム拮抗薬の効果
平成15年度第1回茨城県医師会産業医研修会学術講演会（つくば），5月17日，2003
- No. 10 河野 了：
心不全の考え方
萬有製薬講演会（つくば），5月29日，2003
- No. 11 久賀 圭祐：
不整脈による突然死の診断と治療
下館医師会循環器講習会（下館），6月11日，2003
- No. 12 大塚 定徳：
カルシウム拮抗薬に関する大規模臨床試験について
きぬ・守谷病院薬剤師会学術講演会（守谷），6月19日，2003
- No. 13 山口 巖：
アミオダロンの10年の軌跡
第3回北海道アミオダロン治療懇話会（北海道），6月28日，2003
- No. 14 山口 巖：
外科手術に役立つ循環器疾患の診断と治療
第203回茨城外科学会（つくば），7月5日，2003
- No. 15 武安 法之：
虚血性心疾患の病態と治療
下館医師会循環器講習会（下館），7月9日，2003
- No. 16 河野 了：
アミオダロン長期投与が慢性心不全患者の予後・心機能に与える影響
The 3rd Symposium of Meet the Professor in Cardiovascular
Disease（東京），7月19日，2003
- No. 17 渡辺 重行：
血管機能と運動耐容能との関連、およびそれらに対する薬剤効果について
高血圧治療と臓器保護研究会 茨城NOフォーラム2003（つくば），7月19日，2003
- No. 18 河野 了：
日常診療に役立つ心不全の知識
茨城県真壁医師会講演会（真壁），8月7日，2003
- No. 19 山口 巖：
最近の不整脈治療の動向
第217回県南心疾患懇話会（秋田），8月29日，2003
- No. 20 渡辺 重行：
動脈硬化を防ぐ
NPO法人市民のための健康・医療ネットワーク「健康美食を楽しむつどい」
（つくば），8月31日，2003
- No. 21 武安 法之：
虚血性心疾患の診断と治療
古河市医師会学術講演会（古河），9月19日，2003

- No. 22 武安 法之：
救急医療と核医学
第30回茨城核医学研究会（土浦），9月27日，2003
- No. 23 石光 敏行：
臨床現場での心機能評価 左室EFだけで収縮機能はわかるのか？
日本心エコー図学会第1回秋期講演会（東京），10月11日，2003
- No. 24 山口 巖：
心不全と不整脈の関連
第30回城西地区循環器病研究会（東京），10月16日，2003
- No. 25 山田 信博、渡辺 重行、松島 輝彦、田口 修一、遅野 井健：
危険因子に対応した積極的な脂質低下療法の意義
日本動脈硬化学会ガイドライン改訂を踏まえて
Nikkei Medical 10(茨城版)：1-8，10月，2003
- No. 26 渡辺 重行：
高血圧と腸内細菌
シリーズ 疾病と腸内細菌，10月，2003
- No. 27 山口 巖：
心不全と不整脈の関連
日立内科医会学術講演会（日立），11月18日，2003
- No. 28 河野 了：
心疾患をターゲットにした高血圧治療
第9回茨城県高血圧セミナー（つくば），11月27日，2003
- No. 29 渡辺 重行：
動脈硬化を防ぎ、心筋梗塞を予防するために
こみゅにてい（NPO法人市民のための健康・医療ネットワーク）
1(2)：4，12月，2003

2003年（消化器内科グループ）

原 著

- No . 1 Yoshida S., Honda A., Matsuzaki Y., Fukushima S., Tanaka N., Takagiwa A., Fujimoto Y., Miyazaki H., Salen G. :
Anti-proliferative action of endogenous dehydroepiandrosterone
metabolites on human cancer cell lines. Steroids 68(1) : 73-83, 2003
- No . 2 Shoda J., Tanaka N., Osuga T. :
The molecular basis of gallstone pathogenesis and its potential therapy.
Hepatolithiasis-Epidemiology and pathogenesis update.
Frontiers in Bioscience 8 : e398-409, 2003
- No . 3 Shoda J., Ueda T., Kawamoto T., Todoroki T., Asano T., Sugimoto Y., Ichikawa A., Maruyama T., Nimura Y., Tanaka N. :
Prostaglandin E receptors in bile ducts of hepatolithiasis patients and the
pathological significance for cholangitis.
Clin Gastroenterol Hepatol 1 : 285-296, 2003
- No . 4 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Seo E., Wakayama M., Murata T., Todoroki T., Tanaka N.,
Hamada H., Yokoyama K. :
E1A, E1B double-restricted adenovirus for oncolytic gene therapy of gallbladder
cancer.
Cancer Res 63 : 4434-4440, 2003
- No . 5 Unno R., Matsuzaki Y., Itoh S., Doy M., Shoda J., Tanaka N. :
Progression of autoimmune-mediated hepatic lesions in a murine
graft-versus-host reaction by neutralizing IL-10.
Hepatology Res 26(4) : 354-361, 2003
- No . 6 Miyazaki T., Matsuzaki Y., Karube M., Bouscarel B., Miyakawa S., Tanaka N. :
Amino acid ratios in plasma and tissues in a rat model of liver cirrhosis before and
after exercise.
Hepatology Res 27(3) : 230-237, 2003
- No . 7 Shoda J., Suzuki H., Suzuki H., Sugiyama Y., Hirouchi M., Utsunomiya H., Oda K.,
Kawamoto T., Matsuzaki Y., Tanaka N. :
Novel mutations identified in the human multidrug resistance-associated protein
2(MRP2/ABCC2) gene in a Japanese patient with Dubin-Johnson syndrome.
Hepatology Res 27(4) : 322-325, 2003
- No . 8 Yatabe Y., Miyakawa S., Miyazaki T., Matsuzaki Y., Ochiai N. :
Effects of taurine administration in rat skeletal muscles on exercise.
J Orthop Sci 8(3) : 415-419, 2003

- No . 9 Koyama S. :
Flow cytometric measurement of TNF-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL) and its receptors in gastric epithelium and infiltrating mucosal lymphocytes in *Helicobacter pylori*-associated gastritis.
J Gastroenterol Hepatol 18(7) : 763-770, 2003
- No . 10 Kato S., Aihara E., Nakamura A., Xin H., Matsui H., Kohama K., Takeuchi K. :
Expression of vanilloid receptors in rat gastric epithelial cells: role in cellular protection.
Biochem Pharmacol 66(6) : 1115-1121, 2003
- No . 11 Honda K., Kato K., Dairaku N., Iijima K., Koike T., Imatani A., Sekine H., Ohara S., Matsui H., Shimosegawa T. :
High levels of intracellular ATP prevent nitric oxide-induced apoptosis in rat gastric mucosal cells.
Int J Exp Pathol 84(6) : 281-288, 2003
- No . 12 Koyama S., Nagashima F. :
Idiopathic granulomatous gastritis with multiple aphthoid ulcers.
Internal Medicine 42(8) : 691-695, 2003
- No . 13 Koyama S., Tsujii H. :
Proton beam therapy with high-dose irradiation for superficial and advanced esophageal carcinomas.
Clin Cancer Res 9(10) : 3571-3577, 2003
- No . 14 Yoshida T., Matsuzaki Y., Haigh WG., Fukushima S., Ikezawa K., Tanaka N., Lee SP. :
Origin of oxysterols in hepatic bile of patients with biliary infection.
Am J Gastroenterol 98(10) : 2275-2280, 2003
- No . 15 Xu G., Li H., Pan LX., Shang Q., Honda A., Ananthanarayanan M., Erickson SK., Shneider BL., Shefer S., Bollineni J., Forman BM., Matsuzaki Y., Suchy FJ., Tint GS., Salen G. :
FXR-mediated down-regulation of CYP7A1 dominates LXRalpha in long-term cholesterol-fed NZW rabbits.
J Lipid Res 44(10) : 1956-1962, 2003
- No . 16 Todoroki T., Koike., N., Kawamoto T., Kashiwagi, H., Shoda J., Takahashi, H., Fukuda Y. :
Patterns and predictors of failure after curative resections of carcinoma of the ampullary of Vater.
Ann Surg Oncol 10 : 1176-1183, 2003
- No . 17 Koyama S. :
Differential expression of intracellular apoptotic signaling molecules in tumor and tumor-infiltrating lymphocytes during development of invasion and/or metastasis of gastric carcinoma.
Dig Dis Sci 48(12) : 2290-2300, 2003

No. 18 Abei M, Tanaka N. :

Prevention of black pigment gallstone formation after cardiac surgery by ursodeoxycholic acid.

J Gastroenterol 38 : 1113-1115, 2003

No. 19 斎藤 洋子, 福富 久之, 中原 朗, 真田 勝弘 :

胃X線検診の適正な要精検率の検討,

日本消化器集団検診学会雑誌, 41(4) : 387-398, 2003

No. 20 本間 真人, 井上 洋一, 松崎 靖司, 柴田 実, 三田村圭二, 田中 直見, 幸田 幸直 :

リバビリンとインターフェロン併用療法における血漿および赤血球内リバビリン濃度

臨床薬理34 : 271S-272S, 2003

No. 21 松崎 靖司 :

今後の医師養成に必要とされ医学教育改革とは何か?

医学教育34 (3) : 158, 2003

No. 22 松崎 靖司, 西川 清広 :

薬物性肝障害の治療 : EBMに基づくUDCAの効果

日消誌100 (6) : 659-666, 2003

No. 23 上西 紀夫, 山口 浩和, 野村 幸世, 大原 毅, 酒井 滋, 福富 久之, 中原 朗,

檜村 博正, 織田 正也, 北洞 哲治, 市川 英幸, 矢花 剛, 矢川 裕一, 杉山 敏郎,

板橋 正幸, 海上 雅光, 小具路八七郎, 崎田 隆夫 :

内視鏡的胃炎分類について-胃炎研究会パイロットスタディーの検討結果からみて-

Gastroenterological Endoscopy 45(8)1277-1291, 2003

No. 24 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史

高塩分食はIL-1受容体を介して*H. pylori* 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる.

Ulcer Research 30 : 97-101, 2003

総 説

No. 1 池上 正, 松崎 靖司 :

UDCAのシグナル伝達経路における修飾作用

消化器科36(1) : 63-69, 2003

No. 2 海野 理恵, 松崎 靖司, 伊藤 進一, 田中 直見 :

抗IL-10抗体投与による自己免疫性肝疾類似のGVHR動物モデル肝病変の進展,

Minophagen Medical Review 148 (4) : 29-30, 2003

No. 3 宮崎 照雄, 松崎 靖司, 他 :

肝疾患における生体内タウリン維持の臨床的意義

消化器科 37(6) : 558-562, 2003

No. 4 松崎 靖司 :

前立腺癌治療薬フルタミド製剤の肝障害について

—診断・治療の実際と, EBMに基づくUDCAの治療効果—

診療手帳 158 : 9-14, 2003

No. 5 田中 直見, 安部井誠人:
胆石溶解法の適応

Mebio 20(9): 85-88, 2003

No. 6 正田 純一, 加納 雅仁, 田中 直見:
原発性肝内結石症における胆汁脂質組成の異常—肝コレステロール・胆汁酸合成と肝
胆系輸送蛋白の発現異常—

胆と膵24: 739-745, 2003

No. 7 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見:

H.pylori 感染と食塩 —胃炎・胃粘膜萎縮との関わりについて

臨床消化器内科19: 379-383, 2003

著 書

No. 1 田中 直見:
胆道疾患

内科学レビュー2003,

酒井 紀, 早川弘一, 西崎 統, 小林祥泰, 福井次矢監修,

総合医学社(東京) p120-125, 2003

No. 2 田中 直見, 正田 純一:
肝内結石症の成立機序,

Annual Review 消化器2003,

戸田剛太郎, 税所宏光, 寺野 彰, 幕内雅敏編集, 中外医学社(東京) p50-55, 2003

No. 3 松崎 靖司:
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ

医学書院医学大事典,

伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集, 医学書院(東京) p21, 2003

No. 4 松崎 靖司:
アラニンアミノトランスフェラーゼ

医学書院医学大事典,

伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集, 医学書院(東京) p55, 2003

No. 5 松崎 靖司:
アルカリホスファターゼ<検査>

医学書院医学大事典,

伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集, 医学書院(東京) p60, 2003

No. 6 田中 直見:
X線透過性胆石

医学書院医学大事典,

伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨総編集, 医学書院(東京) p225, 2003

- No . 7 安部井誠人：
ガラクトース負荷試験
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）, p 414 ,2003
- No . 8 田中 直見：
含気性胆石
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）,p440, 2003
- No . 9 安部井誠人：
肝クリアランス
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）, p 446,2003
- No . 10 安部井誠人：
肝細胞増殖因子
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）, p 456,2003
- No . 11 田中 直見：
嵌頓胆石
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p486, 2003
- No . 12 松崎 靖司：
グアニンデアミナーゼ
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）p621, 2003
- No . 13 正田 純一：
経皮的ビリルビン濃度測定法
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, , 医学書院（東京）p692,2003
- No . 14 安部井誠人：
血清αフェトプロテイン量測定
医学書院医学大事典 ,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）, p 723,2003
- No . 15 正田 純一：
血中胆汁酸測定
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）,p730, 2003
- No . 16 田中 直見：
原発性総胆管結石
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p758, 2003

No . 17 田中 直見 :
合流部結石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p844, 2003

No . 18 田中 直見 :
黒色石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p856, 2003

No . 19 田中 直見 :
コレステロール胆石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p901-902, 2003

No . 20 田中 直見 :
混合石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p906, 2003

No . 21 田中 直見 :
再発結石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p928, 2003

No . 22 田中 直見 :
色素胆石

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p1000, 2003

No . 23 正田 純一 :
総ビリルビン量

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p1487, 2003

No . 24 正田 純一 :
胆汁酸検出法

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p1587, 2003

No . 25 田中 直見 :
胆汁漏出

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p1588, 2003

No . 26 田中 直見 :
胆石症

医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院 (東京) p1593, 2003

- No . 27 田中 直見：
胆石溶解療法
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1593, 2003
- No . 28 田中 直見：
胆道感染
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1597, 2003
- No . 29 田中 直見：
胆道細胞診
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1597, 2003
- No . 30 田中 直見：
胆道内圧測定法
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1597-1598, 2003
- No . 31 田中 直見：
胆道内視鏡検査
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1598, 2003
- No . 32 田中 直見：
胆道内視鏡超音波検査
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1598, 2003
- No . 33 田中 直見：
胆嚢炎
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1599, 2003
- No . 34 田中 直見：
胆嚢コレステローシス
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1599, 2003
- No . 35 田中 直見：
胆嚢胆管結石症
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1600, 2003
- No . 36 田中 直見：
胆嚢捻転
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p1600, 2003

- No . 37 田中 直見：
チフス性胆嚢炎
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p1619,2003
- No . 38 松崎 靖司：
チモール混濁試験
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p1620,2003
- No . 39 田中 直見：
デブリ
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p1713,2003
- No . 40 田中 直見：
ビリルビンカルシウム石
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p2095,2003
- No . 41 正田 純一：
ビリルビン単位
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p2095,2003
- No . 42 正田 純一：
ビリルビン定量法
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p2095,2003
- No . 43 田中 直見：
浮遊胆石
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p2161,2003
- No . 44 安部井誠人：
プロコラーゲン ペプチド
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）, p 2189,2003
- No . 45 安部井誠人：
ヘパプラスチン試験
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）, p 2228,2003
- No . 46 田中 直見：
無症状胆石1
医学書院医学大事典,
伊藤正男,井村裕夫,高久史麿総編集,医学書院（東京）p2381,2003

- No . 47 安部井誠人：
型コラーゲン7S
医学書院医学大事典，
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集医学書院（東京），p 2483,2003
- No . 48 田中 直見：
迷入胆石
医学書院医学大事典，
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p2389, 2003
- No . 49 田中 直見：
陽性胆石
医学書院医学大事典，
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集,医学書院（東京）p2472, 2003
- No . 50 松崎 靖司：
ロイシルアミノペプチターゼ
医学書院医学大事典，
伊藤正男,井村裕夫,高久史磨総編集, 医学書院（東京）p2584, 2003
- No . 51 田中 直見，安部井誠人：
胆嚢疾患（胆石症・胆嚢炎），
病気と薬のガイド2003,薬局 54(1)：1001-1007, 2003
- No . 52 田中 直見：
胆嚢結石
外来診療のすべて，
高久史磨総監修, medical view（東京）p452-453, 2003
- No . 53 田中 直見：
胆石症
内科学,第8版，
杉本恒明,小俣政男,水野美邦総編集,朝倉書店（東京）p1176-1179,2003
- No . 54 田中 直見，安部井誠人：
胆石症
看護のための最新医学講座,第31巻 医学と分子生物学，
小島至,北村聖編集,中山書店,(東京) p218-222,2003
- No . 55 田中 直見，安部井誠人：
フィブラートで胆石が多くなると聞きましたが？
フィブラート系薬剤Q & A，
寺本民生編,医薬ジャーナル（東京）p91-92, 2003,
- No . 56 田中 直見：
胆石症,胆嚢炎,胆管炎
内科学第2版,文光堂（東京），p936-940, 2003

- No . 57 田中 直見 , 安部井誠人 :
胆石症の内科的治療
先端医療シリーズ25 肝・胆・膵疾患の最新医療,
先端医療技術研究所,p234-237, 2003
- No . 58 中原 朗 , 柴原 健 :
機能性上部消化器疾患
消化管疾患の薬物治療-病態生理と薬物治療
(星野恵津夫・山岡桂子編), 薬事新報社, p20-25,2003
- No . 59 松崎 靖司 :
胆嚢炎,胆管炎
今日の治療指針,山口徹,北原光夫,総編集
医学書院 (東京) p378-379,2003
- No . 60 松崎 靖司 :
総胆汁酸
臨床検査項辞典,月刊Medical Technology別冊
櫻林郁之介,熊坂一成,監修,医歯薬出版,p355, 2003
- No . 61 本多 彰 , 松崎 靖司 :
グリココール酸
臨床検査項辞典,月刊Medical Technology別冊
櫻林郁之介,熊坂一成,監修,医歯薬出版,p356, 2003
- No . 62 本多 彰 , 松崎 靖司 :
血清胆汁酸分画
臨床検査項辞典,月刊Medical Technology別冊
櫻林郁之介,熊坂一成,監修,医歯薬出版,p357, 2003
- No . 63 松崎 靖司 :
胆汁酸抱合体分画
臨床検査項辞典,月刊Medical Technology別冊
櫻林郁之介,熊坂一成,監修,医歯薬出版,p358-359, 2003
- No . 64 本多 彰 , 松崎 靖司 :
尿中硫酸抱合型胆汁酸
臨床検査項辞典,月刊Medical Technology別冊
櫻林郁之介,熊坂一成,監修,医歯薬出版,p360, 2003
- No . 65 本多 彰 , 松崎 靖司 :
胆道閉鎖症
標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p469-470,2003
- No . 66 本多 彰 , 松崎 靖司 :
特発性胆道拡張症
標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p470-471,2003

No . 67 安部井誠人 , 松崎 靖司 :
 腓胆管合流異常症

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p471-472,2003

No . 68 安部井誠人 , 松崎 靖司 :
 胆石症

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p472-474,2003

No . 69 正田 純一 , 松崎 靖司 :
 胆嚢炎

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p474-476,2003

No . 70 吉田 正 , 松崎 靖司 :
 胆嚢腺筋症

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p476-477,2003

No . 71 吉田 正 , 松崎 靖司 :
 胆嚢ポリープ

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p477-478,2003

No . 72 松崎 靖司 :
 胆嚢摘出後症候群

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p478-479,2003

No . 73 松崎 靖司 :
 胆道運動異常症

標準消化器病学,林紀夫,日比紀文,坪内博仁,編
医学書院 (東京) ,p479-480,2003

No . 74 松崎 靖司 , 富田 慎二 :
 結石分析

臨床検査データブック,203-2004,高久史麿,監修
医学書院 (東京) ,p595-596,2003

No . 75 Yanaka A., Nakahara A., Tanaka N. :

Roles of basolateral K⁺ channels and nitric oxide in restitution of injured guine pig
gastric mucosa in vitro.

In 11th International Conference on Ulcer Research,
edited by Sikiric P, Mozsik SG, Arakawa T, and Takeuchi K.
Medimond International Proceedings, Bologna,
Italy, p229- 233, 2003

No. 76 谷中 昭典, 張 松華 :
蛋白漏出性胃腸症,

消化器疾患最新の治療2003-2004.
戸田剛太郎, 杉町圭蔵, 中村孝司編,
南江堂, (東京), p201-203, 2003

No. 77 正田 純一 :
胆石の種類,
発生と臨床上的特徴

毎日ライフ胆・膵の生活習慣病 毎日新聞社(東京), p19-23, 2003

No. 78 正田 純一 :
胆石症

疾患と治療薬, 南江堂(東京), p232-235, 2003

学会発表

No. 1 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄 :

H. pylori 由来空胞化毒素の胃粘膜上皮細胞間結合透過性に及ぼす影響

第14回消化管細胞機能研究会(掛川), 1月, 2003

No. 2 下川 治, 松井 裕史, 長野由美子, 松崎 靖司, 中原 朗, 田中 直見 :

Nitric oxideによる癌特異的ポルフィリン代謝の発現,

第13回消化器とフリーラジカル研究会, 2月, 2003

No. 3 谷中 昭典 :

Lafutidineは*H. pylori*陽性十二指腸潰瘍患者の十二指腸粘膜酸中和能を改善させる

第21回サイトプロテクション研究会, (京都), 2月, 2003

No. 4 井上 洋一, 本間 真人, 松崎 靖司, 田中 直見, 柴田 実, 三田村圭二, 幸田 幸直 :
リバビリン誘発性貧血における赤血球内リバビリン蓄積の影響

日本薬学会第123年会講演, (長崎), 3月, 2003

No. 5 長野由美子, 松井 裕史, 村田 靖, 中原 朗, 田中 直見 :

酸環境によって誘導された胃粘膜細胞アポトーシスの検討

第3回RGM-1研究会, 3月, 2003

No. 6 下川 治, 長野由美子, 松井 裕史, 武藤 倫弘, 菅野 雅人, 中原 朗, 松崎 靖司,
谷中 昭典, 柴原 健, 田中 直見 :

5-アミノレブリン酸投与による胃癌由来細胞選択的蛍光ポルフィリン産生現象の基礎的検討

第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003

No. 7 菅野 雅人, 松井 裕史, 長野由美子, 村田 靖, 下川 治, 中原 朗, 崎 靖司,
柴原 健, 谷中 昭典, 大野 忠夫, 田中 直見 :

アミノレブリン酸(5-ALA)投与による胃癌由来細胞選択的蛍光ポルフィリン産生現象の基礎的検討,

第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003

- No. 8 長野由美子, 松井 裕史, 菅野 雅人, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 中原 朗, 大野 忠夫, 田中 直見:
酸環境による胃粘膜細胞膜の脂質過酸化,
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 9 稲田 洋一, 正田 純一, 辻 厚年, 草間 寛, 加納 雅仁, 池上 正, 田中 直見:
肝胆道疾患におけるベザフィブラートの治療効果に関する実験的解析—MDR3P—糖蛋白の発現ならびに機能賦活作用
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 10 篠崎 英司, 正田 純一, 足立 信也:
胃癌における癌関連粘液形質mAbMY.1E12認識シアリル化MUC1ムチンの免疫組織学的発現とその生物学的意義
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 11 加納 雅仁, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
原発性肝内結石症におけるMDR3P—糖蛋白の発現異常とその遺伝子異常に関する解析
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 12 鈴木 英雄, 柴原 健, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
潰瘍性大腸炎, 壞疽性膿皮症に対しサイクロスポリン投与中に悪性リンパ腫を合併した1症例
第89回日本消化器病学会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 13 牧野維斗映, 池澤 和人, 吉田 正, 設楽佐代子, 田中 直見:
下部消化管出血を併発しステロイド剤が奏功した成人Schonlein-Henoch紫斑病の1例
第274回日本消化器病学会関東支部例会, 5月, 2003
- No. 14 宮崎 照雄, 松崎 靖司, 池上 正, 宮川 俊平, 田中 直見:
肝硬変時における糖鎖修飾タウリントランスポーター発現低下と組織タウリン濃度の減少の関連性の検討,
第39回日本肝臓学会総会, (福岡), 5月, 2003
- No. 15 加納 雅仁, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
原発性肝内結石症におけるMDR3P-糖蛋白の発現異常とその遺伝子異常に関する解析,
第39回日本肝臓学会総会, (福岡), 5月, 2003
- No. 16 吉田 茂正, 松崎 靖司, 本多 彰, 福島 清乃, 正田 純一, 安部井誠人, 田中 直見:
内因性のdehydroepiandrosterone および代謝産物の腫瘍増殖抑制効果の検討
第39回日本肝臓学会総会, (福岡), 5月, 2003
- No. 17 下川 治, 長野由美子, 松井 裕史, 中原 朗:
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断
第31回ポルフィリン研究会, 5月, 2003

- No . 18 長野由美子, 松井 裕史, 下川 治, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 中原 朗,
田中 直見, 中村幸夫 :
酸環境によって誘導された胃粘膜細胞におけるGGAによる脂質過酸化抑制作用
GGA / H S P 研究会,5月,2003
- No . 19 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Daily intake of sulforaphane-rich broccoli sprouts prevents progression of high
salt diet-induced gastric atrophy in H.pylori-infected C57/BL6 mice in vivo.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May (Orlando, Florida) , 2003
- No . 20 Inada Y., Shoda J., Tsuji A., Kusama H., Ueda T., Kano M., Ikegami T., Tanaka N. :
Bezafibrate,a second-generation fibrate analog, stimulates transport and
secretion of phosphatidylcholine (PC)in human hepatocytes by a novel
mechanism of redistribution of multidrug-resistance 3 p-glycoprotein
(MDR3Pgp)in the bile canaliculi.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 21 Ikegami T., Matsuzaki Y., Miyazaki T., Shoda J., Zhang Y., Tanaka N., Bouscarel B :
Glucagon-induced hepatocellular Mrp2 canalicular sorting is attenuated by bile
acids.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 22 Asano T., Shoda J., Ueda T., Maruyama T., Kawamoto T., Sugimoto Y., Ichikawa A.,
Tanaka N. :
Involvement of prostaglandin E2 and its specific receptor subtype EP4 in chronic
proliferative cholangitis in the bile ducts of patients with hepatolithiasis.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 23 Sugano M., Matsui H., N,Nagano Y.,Shimokawa O, Matsuzaki Y., Yanaka A., Shibahara T.,
Nakahara A., Tanaka N. :
Cellular porphyrin synthesis from 5-aminolevulinic acid in gastrointestinal and
hepatic cancer cell line.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 24 Fukuda K., Abei M.,Seo E., Wakayama M., Todoroki T., Yokoyama K., Tanaka N. :
Combination with chemotherapy enhances efficacy of E1 double-mutant
adenovirus for gene therapy of gallbladder cancer.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003

- No . 25 Zhang S., Yanaka A., Tauchi M., Suzuki .H, Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Geranylgeranylacetone prevents progression of high salt diet-induced gastric atrophy in H.pylori-infected C57/BL6 mice via induction of heat shock protein.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 26 Yanaka A., Tauchi M.,Zhang S., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Hyperosmotic stress enhances expression of inflammatory cytokines and accelerates Helicobacter pylori-induced apoptosis of gastric epithelial cells in vitro.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 27 Miyahara N., Shoda J., Ueda T., Kawamoto T., Tanaka N., Irimura T., Akimoto Y.,
Kawakami H., Digiovanni J., Kiguchi K :
Up-regulation of MUC4 and its complex formation with ErbB2 in murine gallbladder carcinoma-a potential mechanism for gallbladder carcinogenesis and/or tumor growth.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 28 Suzuki H., Kawamoto T., Shoda J., Hotta S., Miyahara N., Yanaka A., Nakahara A.,
Tanaka N., Irimura T :
A tumor-associated MUC1 mucin recognized by mAb MY.IE12 is a useful biomarker for tumor aggressiveness of advanced colon carcinoma.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 29 Miura T., Shoda J., Utsunomiya H., Oda K., Kano M., Ikegami T., Tanaka N.,
Yamamoto M., Akita H., Suzuki H., Sugiyama Y :
Genipin, an active metabolite of a herbal medicine, Inchinko-To, enhances multidrug resistance-associated protein 2(Mrp2)-mediated bile formation and organic anion transport in the liver.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 30 Honda A., Salen G., Matsuzaki Y., Rosen H., Batta K,A., Guorong Xu., Tint G,S.,
Tanaka N., Shefer S., Leitersdoft E :
Ketoconazole normalized hepatic levels of intermediates in bile acid biosynthesis in Cyp27/1/mice.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003

- No . 31 Chuganji Y., Itou Y., Nakanishi H., Matsuda T., Suzuki S., Sazaki N., Araki A.,
Fujiki K., Momoi M., Matsuzaki Y., Tanaka N. :
A randomized controlled trial comparing efficacies of IFN- β B.I.D.and
Q.D.treatments and patterns of HCV dynamics in patients with intractable
chronic hepatitis C of genotype 1b with high virus titers.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 32 Seo E. , Abei M. , Fukuda K. , Wakawama M. , Ugai H. , Murata T. , Todoroki T. ,
Hamada H. , Tanaka N. , Yokoyama KK. :
Suicide gene therapy for gallbladder cancer using a cancer-selectively replicating
adenovirus carrying uracil phosphoribosyltransferase (UPRT) gene .
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
Orlando, 5月, 2003
- No . 33 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Geranylgeranylacetone prevents progression of high salt diet-induced gastric
atrophy in H.pylori infected C57/BL6 mice via induction of heat shock protein.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
(Orlando),5月,2003
- No . 34 Shimokawa O., Matsui H., Nagano Y., Sugano M., Matsuzaki Y., Yanaka A.,
Shibahara T., Nakahara A., Tanka N. :
Five-aminolevulinic acid administration induced particular porphyrin
fluorescence In cancer cell lines.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
(Orlando),5月,2003
- No . 35 黒澤 崇, 柴原 健, 谷中 昭典, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 福沢 淳也,
足立 信也 :
原因診断に苦渋した蛋白漏出性胃腸症の一例
第10回茨城県炎症性腸疾患研究会 (つくば) ,6月,2003
- No . 36 黒澤 崇, 松崎 靖司, 石毛 和紀, 佐藤 大介, 鈴木 英雄, 安部井誠人, 正田 純一,
田中 直見, 高田 泰次, 大河内信弘 :
当科における肝細胞癌治療の局所制御成績についての検討
第39回日本肝癌研究会 (金沢) ,6月,2003
- No . 37 黒澤 崇, 安部井誠人, 石毛 和紀, 佐藤 大介, 鈴木 英雄, 正田 純一, 松崎 靖司,
田中 直見, 小田 竜也, 大河内信弘 :
非B非Cの正常肝に肝細胞癌を発症し,paraneoplastic syndromeを呈した若年女性の
一例
第39回日本肝癌研究会 (金沢) ,6月,2003

No. 38 Koyama S. :

Expression of TNF-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL) and its receptors in gastric carcinoma and tumor-infiltrating lymphocytes: A possible mechanism of immune evasion of the tumor.

94th Annual Meeting of American Association for Cancer Research
(Washington DC) July, 2003

No. 39 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 山本 雅之 :

ルフロラファン含有食品による胃癌のChemoprevention機構の基礎的検討- ブロコリースプラウトは, *H. pylori* 感染マウスにおいて高塩分食負荷による胃粘膜萎縮の進行を防止する-

第9回日本ヘリコバクター学会 (松本), 6月, 2003

No. 39 長野由美子, 松井 裕史, 下川 治, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 松崎 靖司, 中原 朗, 田中 直見 :

酸環境によって誘導された胃粘膜細胞脂質過酸化とアポトーシスの検討

日本フリーラジカル学会, 6月, 2003

No. 40 池上 正, 松崎 靖司, 張 一寧, 田中 直見 :

ヒト大腸癌細胞株におけるウルソデオキシコール酸 (UDCA) によるSN-38誘導性アポトーシスの増強作用

第2回東日本胆汁酸研究会 (仙台), 7月, 2003

No. 41 本多 彰, 土井 幹雄, 松崎 靖司, 正田 純一, 安部井誠人, 田中 直見 :

ケトコナーゾルによるCyp27ノックアウトマウスへのStero1
27-hydroxylase 活性の誘導

第2回東日本胆汁酸研究会 (仙台), 7月, 2003

No. 42 正田 純一, 加納 雅仁, 池上 正, 松崎 靖司, 田中 直見 :

原発性肝内結石症におけるMDR3P-糖蛋白の発現異常とベザフィブラートによる治療の可能性

第2回東日本胆汁酸研究会 (仙台), 7月, 2003

No. 43 菅原 信二, 大原 潔, 斎田 幸久, 徳植 公一, 影井 兼司, 幡多 政治, 井垣 浩, 秋根 康之, 奥村 敏之, 中原 朗, 田中 直見, 大西かよ子, 根本 景子 :

食道癌に対する陽子線治療

第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003

No. 44 黒澤 崇, 柴原 健, 谷中 昭典, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 久倉 勝治, 福沢 淳也, 足立 信也 :

原因診断に苦渋した蛋白漏出性胃腸症の1例

第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003

No. 45 徳植 公一, 秋根 康之, 井垣 浩, 幡多 政治, 影井 兼司, 菅原 信二, 大原 潔, 橋本 孝之, 松崎 靖司, 田中 直見, 千葉 俊也 :

筑波大学における肝細胞癌に対する陽子線治療成績

第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003

- No. 46 根本 景子, 井垣 浩, 幡多 政治, 影井 兼司, 菅原 信二, 徳植 公一, 大原 潔, 秋根 康之, 田中 直見, 松崎 靖司, 千葉 俊也:
巨大肝細胞癌において陽子線治療が奏功した1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 47 大西かよ子, 徳植 公一, 影井 兼司, 菅原 信二, 幡多 政治, 井垣 浩, 根本 景子, 大原 潔, 秋根 康之, 松崎 靖司, 田中 直見, 奥村 敏之, 千葉 俊也:
陽子線治療が奏功した門脈腫瘍塞栓を伴う肝細胞癌の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 48 川島 玲, 安部井誠人, 佐藤 大介, 柿木 信重, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
ステロイド治療中止後に再発した硬化性膵胆管炎の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 49 佐藤 大介, 安部井誠人, 柴原 健, 中原 朗, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
下部胆管と肝門部胆管狭窄を伴い高度の黄疸を呈した自己免疫性膵炎の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 50 Fukuda K., Abei M., Seo E., Wakayama M., Ugai H., Murata T., Tanaka N., Hamada H., Yokoyama K K:
Combined use of E1 double-restricted oncolytic adenovirus augments the efficacy of tumor-specific suicide gene therapy approach,
第9回日本遺伝子治療学会 (東京), 7月, 2003
- No. 51 Seo E., Abei M., Fukuda K., Wakayama M., Ugai H., Murata T., Tanaka N., Hamada H., Yokoyama K:
Suicide gene therapy for human gallbladder cancer using an E1B-55kD deficient restricted replication-competent adenoviral vector carrying uracil phosphoribosyltransferase (UPRT) gene,
第9回日本遺伝子治療学会 (東京), 7月, 2003
- No. 52 Wakayama M., Abei M., Fukuda K., Seo E., Ugai H., Murata T., Tanaka N., Hamada H., Yokoyama K:
Infectivity and efficacy of restricted replication competent adenovirus for biliary cancer and its improvement by RGD-fiber modified adenovirus,
第9回日本遺伝子治療学会 (東京), 7月, 2003
- No. 53 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見:
高塩分食はIL-1受容体を介してH. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮の進展を加速させる
第4回炎症とPPI研究会 (京都), 8月, 2003
- No. 54 添田 敦子, 柴原 健, 松崎 靖司, 柿木 信重, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見:
化学療法奏功中に髄膜癌腫症をきたし急速な経過をたどった進行胃癌の1例
第276回日本消化器病学会 関東支部例会 (横浜), 9月, 2003

No. 55 安部井誠人, 田中 直見:

EBMに基づく胆嚢結石症治療のガイドライン: 欧米の治療ガイドライン, 自験例における臨床病期分類の意義と治療適応, 経口胆汁酸療法の意義および本邦の実状に照らして,

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 56 加納 雅仁, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:

原発性肝内結石症におけるMDR3P-糖蛋白の発現異常とその遺伝子異常に関する解析,

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 57 正田 純一, 上田 哲也, 杉本 幸彦, 市川 厚, 丸山 隆幸, 浅野 徹, 田中 直見:

原発性肝内結石症における慢性増殖性胆管炎および肝内胆管癌の発生・進展に果たすプロスタグランジンE₂(PGE₂)およびプロスタグランジンE受容体 (EP) の役割,

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 58 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 松崎 靖司, 田中 直見:

胆嚢癌自殺遺伝子療法における制限増殖型アデノウイルス少量併用の増強効果,

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 59 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 若山真理子, 松崎 靖司, 田中 直見:

胆嚢癌に対するuracil phosphoribosyl transferase(UPRT)遺伝子導入癌選択的増殖型アデノウイルスベクターによる自殺遺伝子治療

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 60 若山真理子, 安部井誠人, 福田 邦明, 瀬尾恵美子, 松崎 靖司, 田中 直見:

胆道癌細胞に対する癌選択的増殖型アデノウイルスの感染効率と治療効果の関係およびファイバー修飾型アデノウイルスによる改善,

第39回日本胆道学会学術集会 (金沢), 9月, 2003

No. 61 宮原 直樹, 正田 純一, 川上 速人, 川本 徹, 田中 直見, Digiovanni J, 木口 薫:

BK5, ErbB2トランスジェニックマウス胆嚢癌におけるMUC4の発現異常とその胆嚢発癌に果たす役割,

第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003

No. 62 若山真理子, 安部井誠人, 福田 邦明, 瀬尾恵美子, 鶴飼 英世, 村田 武英,

濱田 洋文, 田中 直見, 横山 和尚:

胆道癌における腫瘍選択的増殖型アデノウイルスの治療効果と細胞表面レセプターの関連およびファイバー修飾による治療効果の改善,

第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003

No. 63 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 若山真理子, 鶴飼 英世, 村田 武英, 濱田 洋文,

田中 直見, 横山 和尚:

Uracil phosphoribosyltransferase(UPRT)遺伝子導入癌選択的増殖型アデノウイルスベクターによる胆嚢癌in vivo自殺遺伝子治療,

第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003

- No. 64 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 鶴飼 英世, 村田 武英,
濱田 洋文, 田中 直見, 横山 和尚:
胆嚢癌に対する腫瘍特異的自殺遺伝子療法における制限増殖型アデノウイルス少量併
用の増強効果,
第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003
- No. 65 小山 捷平:
胃癌の進展におけるMMP-2, -7, -9, MT1-MMP及びTIMP-2, -4発現の差異
第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003
- No. 66 齋藤 洋子, 福富 久之, 柿元まゆみ, 真田 勝弘, 石川 演美, 影山 隆久,
樫村 博正, 斎田 幸久, 佐久間正祥, 菅野 千秋, 対馬 健祐, 中原 朗, 中村 光男,
平井 信二, 松本 和美, 松本 尚志:
パネルディスカッション「胃間接X線法とペプシノゲン法の組み合わせについて」
第63回日本集団検診学会関東甲信越地方会
(長野), 9月, 2003
- No. 67 Yanaka A., Nakahara A., Tanaka N. :
Roles of basolateral K⁺ channels and nitric oxide in restitution of injured guine pig
gastric mucosa in vitro. 11th International Conference on Ulcer Research,
(Dobrovnik, Croatia) , 9月, 2003
- No. 68 中澤 健介, 藤田 祐之, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一, 添田 敦子, 柿木 信重,
柴原 健, 田中 直見:
若年性脳梗塞を合併したCrohn病の1例,
第25回茨城医学会内科分科会
第170回茨城県内科集談会 (水戸) , 10月, 2003
- No. 69 齋藤 洋子, 福富 久之, 中原 朗:
パネルディスカッション「大腸癌の効率的検診方法」
第41回日本消化器集団検診学会大会 (大阪) , 10月, 2003
- No. 70 安部井誠人, 福田 邦明, 田中 直見:
胆嚢癌に対する腫瘍特異的増殖型アデノウイルス遺伝子治療の実験的検討,
第45回日本消化器病学会大会 (大阪) , 10月, 2003
- No. 71 松井 裕史, 下川 治, 長野由美子:
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断と治療,
第45回日本消化器病学会大会 (大阪) , 10月, 2003
- No. 72 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見, 山本 雅之:
スルフォラファン含有食品による胃癌のChemoprevention機構の基礎的検討-ブロッ
コリースプラウトは, H.pylori感染マウスにおいて高塩分食負荷による胃粘膜萎縮の
進行を防止する
第45回日本消化器病学会大会 (大阪) , 10月, 2003

- No. 73 正田 純一, 上田 哲也, 杉本 幸彦, 市川 厚, 丸山 隆幸, 浅野 徹, 田中 直見:
原発性肝内結石症における慢性増殖性胆管炎及び肝内胆管癌の発生・進展に果たす
ロスタグランジンE2(PGE2)およびロスタグランジンE受容体(EP)の役割
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 74 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 濱田 洋文, 横山 和尚,
田中 直見:
胆嚢癌に対する腫瘍特異的自殺遺伝子療法の有効性とE1二重変異腫瘍選択的増殖型
アデノウイルス少量併用による増強効果の検討
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 75 宮原 直樹, 正田 純一, 上田 哲也, 秋元 義弘, 川上 速人, 川本 徹, 田中 直見,
入村 達郎, DiGiovanni J, 木口 薫:
BK5.ErbB2トランスジュニックスマウス胆嚢癌における粘液形質(Muc4)の発現異常
とその胆嚢発癌に果たす役割
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 76 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 若山真理子, 横山 和尚, 田中 直見:
胆嚢癌に対するUracil Phosphoribosyltran-sferase(UPRT)遺伝子導入E1B55kD欠
損癌選択的増殖型アデノウイルススペクターを用いた自殺遺伝子治療
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 77 若山真理子, 安部井誠人, 福田 邦明, 瀬尾恵美子, 横山 和尚, 田中 直見:
腫瘍選択的増殖型アデノウイルス細胞に対する感染効率と治療効果の関連及びファイ
バー修飾型アデノウイルスによる改善
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 78 張 松華, 谷中 昭典, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見:
ゲラニルゲラニルアセトン(Geranylgeranylacetone, GGA)は熱ショック蛋白質を誘
導して高塩分食によるH.pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を抑制する
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 79 池上 正, 松崎 靖司, 宮崎 照雄, 張 一寧, 正田 純一, 田中 直見:
胆汁酸によるグルカゴン誘導性Mrp2蛋白sortingの抑制効果
第7回日本肝臓学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 80 正田 純一, 三浦 哲男, 宇都宮洋才, 小田 高司, 加納 雅仁, 田中 直見,
山本 雅浩, 鈴木 洋史, 杉山 雄一:
Genipin(インチンコウ湯生薬成分)はMrp2の毛細胆管膜への小胞輸送を促進し, 胆汁
酸非依存性利胆を誘発する
第7回日本肝臓学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 81 稲田 洋一, 正田 純一, 辻 厚年, 草間 寛, 加納 雅仁, 池上 正, 田中 直見:
ベザフィラートは肝細胞のMultidrug-Resistance 3P-glycoprotein(MDR3P-糖タン
パク)の毛細胆管膜への集積を促進し, フォスファチジルコリンの輸送と分泌を刺激す
る
第7回日本肝臓学会大会 (大阪), 10月, 2003

- No. 82 加納 雅仁, 正田 純一, 稲田 洋一, 草間 寛, 松崎 靖司, 田中 直見:
原発性肝内結石症におけるMDR3P-糖蛋白の発現異常とその遺伝子異常に関する解析
第7回日本肝臓学会大会(大阪), 10月, 2003
- No. 83 鈴木英雄, 柴原 健, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
潰瘍性大腸炎, 壊疽性膿皮症に対しサイクロスポリン投与中に悪性リンパ腫を合併した1症例
第1回大腸疾患研究会(つくば), 10月, 2003
- No. 84 正田 純一, 三浦 哲男, 宇都宮洋才, 小田 高司, 加納 雅仁, 山本 雅浩, 鈴木 洋史, 杉山 雄一, 松崎 靖司, 田中 直見:
Genipin(インチンコウ湯生薬成分)はMrp2を標的に, その毛細胆管膜への小胞輸送を促進し, 胆汁酸非依存性利胆を誘発する
第25回胆汁酸研究会(旭川), 11月, 2003
- No. 85 福島 清乃, 松崎 靖司, 本多 彰, 吉田 正, 池上 正, 田中 直見:
CYP7A1活性の増強は, コレステロール負荷後のlow-responderとhigh-responderを分ける要因である
第25回 胆汁酸研究会(旭川), 11月, 2003
- No. 86 池上 正, 松崎 靖司, 福島 清乃, 加納 雅仁, 正田 純一, 田中 直見:
HCV陽性肝硬変患者血清における APLA2上昇とUDCAによる抑制効果
第25回胆汁酸研究会(旭川), 11月, 2003
- No. 87 谷中 昭典, 田内 雅史, 山本雅之:
酸化ストレス負荷に対する胃粘膜防御・修復に果たすNrf-2遺伝子の役割
シンポジウム: 消化性潰瘍の発生と修復を巡るup to date
第31回日本実験潰瘍学会(名古屋), 11月, 2003
- No. 88 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史:
酸化ストレス起因性胃粘膜傷害に及ぼすedaravone の効果
第31回日本実験潰瘍学会(名古屋), 11月, 2003
- No. 89 下川 治, 松井 裕史, 長野由美子, 中村 幸夫, 梶原 正宏, 竹谷 茂, 中原 朗, 松崎 靖司, 谷中 昭典, 柴原 健, 田中 直見:
腫瘍選択的ポルフィリン蛍光に対するNOの効果
第24回日本レーザー医学会総会, 11月, 2003
- No. 90 Koyama S. :
Expression of TNF-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL) and its receptors on Gastric epithelium and infiltrating mucosal lymphocytes in *Helicobacter pylori*-associated gastritis.
11th United European Gastroenterology Week (UEGW) (Madrid), 11月, 2003
- No. 91 Matsui H., Shimokawa O., Nagano Y., Matsuzaki Y., Shimakura S., Nakahara A., Tanaka N. Nakamura Y :
Nitric oxide induced tumor specific fluorescence in vitro.
Society for Free Radical Research (SFRR) Asia (Korea), 11月, 2003

- No . 92 Matsui H., Shimokawa O., Nagano Y., Shimakura S., Matuzaki Y., Kajiwar M.,
Taketani S., Nakahara A., Yanaka A., Shibahara T., Tanaka N., Nakamura Y. :
Nitric oxide donors increased the 5-aminolevulinic acid-induced cellular
protoporphyrin IX accumulation in a gastric cancer-derived cell line.
Society of Free Radical (SFRR) Asia (Korea), 11月, 2003
- No . 93 添田 敦子, 柴原 健, 柿木 信重, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
若年性多発性脳梗塞を合併したCrohn病の1例
第277回日本消化器病学会, 関東支部例会 (東京), 12月, 2003
- No . 94 井上 洋一, 本間 真人, 松崎 靖司, 田中 直見, 柴田 実, 三田村圭二, 幸田 幸直 :
溶血性貧血予測のためのHPLCによる赤血球内リバピリン濃度測定.
第24回日本臨床薬理学会年会 (横浜), 12月, 2003
- No . 95 瀬尾恵美子, 安部井誠人, 福田 邦明, 若山真理子, 鶴飼 英世, 村田 武英,
濱田 洋文, 田中 直見, 横山 和尚. :
Uracil Phosphoribosyltransferase (UPRT) 遺伝子導入癌選択的増殖型アデノウイルス
を用いた胆嚢癌遺伝子治療のin vivo効果 .
日本分子生物学会 (神戸), 12月, 2003
- No . 96 若山真理子, 安部井誠人, 福田 邦明, 瀬尾恵美子, 横山 和尚, 田中 直見 :
腫瘍選択的増殖型アデノウイルスの胆道癌細胞に対する感染効率と治療効果の関連お
よびファイバー修飾型アデノウイルスによる改善
日本分子生物学会 (神戸), 12月, 2003
- No . 97 福田 邦明, 安部井誠人, 瀬尾恵美子, 若山真理子, 鶴飼 英世, 村田 武英,
濱田 洋文, 田中 直見, 横山 和尚 :
胆嚢癌に対するCEA promoter制御下自殺遺伝子治療における制限増殖型アデノウイ
ルス少量併用の増強効果の検討 .
日本分子生物学会 (神戸), 12月, 2003
- No . 98 Matsui H., Nagano Y., Shimokawa O., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A.,
Tanaka N., Nakamura Y. :
Gastric juice induced mucosal lipid peroxidation FFR Kyoto, 12月, 2003
- No . 99 Shimokawa O., Matsui H., Nagano Y., Matsuzaki Y., Nakamura Y., Taketani S.,
Nakahara A., Yanaka A., Shibahara T., Tanaka N. :
Nitric oxide induced tumor specific porphyrin fluorescence in vitro. Educational
Seminar for Young Investigators ?
The 2nd Japan GRG/AGA Symposium 2004, 12月, 2003
- No . 100 本間 真人, 井上 洋一, 松崎 靖司, 柴田 実, 三田村圭二, 幸田 幸直 :
リバピリンとインターフェロン併用療法における血漿および赤血球内リバピリン濃
度,
臨床薬理学会, 12月, 2003
- No . 101 中村由美子, 松井 裕史, 松崎 靖司, 中原 朗 :
特許 経口投与される薬物の胃粘膜への作用を評価する方法」
特許出願中 (2003年12月24日出願)

班研究報告

No. 1 田中 直見：

自己免疫性肝疾患類似GVHR肝病変における網羅的遺伝子発現頻度解析,

厚生労働省科学研究費補助金特定疾患対策研究事業

難治性の肝疾患に関する研究,平成14年度総括・分担研究報告書,p11,2003

No. 2 田中 直見, 正田 純一：

慢性増殖性胆管炎-新しい病態因子の解析とそれらの治療への応用,

厚生労働省科学研究費補助金特定疾患対策研究事業,

肝内結石症調査に関する調査研究,

平成14年度総括分担研究報告書, p40-47, 2003

No. 3 正田 純一, 田中 直見：

慢性増殖性胆管炎-新しい病態因子の解析とそれらの治療への応用,

厚生労働省特定疾患対策研究事業 肝内結石症に関する調査研究班

平成14年度第2回研究打ち合わせ会 (東京),H15.1.24

No. 4 海野 理恵, 松崎 靖司, 田中 直見：

自己免疫性肝疾患類似GVHD肝病変における網羅的遺伝子発現頻度解析,

厚生労働科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業

難治性の肝疾患に関する研究 平成14年度第二回総会 (東京),H15.1.23

No. 6 松崎 靖司：

茨城県における肝炎検診状況と肝炎ウイルスキャリアのフォローアップシステム構築について,

厚生労働科学研究費補助金 (肝炎等克服緊急対策研究事業 (肝炎分野)),

肝がんの発生予防に資するC型肝炎検診の効率的な実施に関する研究班,

平成14年度第2回総会 (東京),1月,2003

No. 7 松崎 靖司, 海野 理恵, 田中 直見：

cDNAマイクロアレイを用いた自己免疫性肝疾患類似GVHD肝病変の解析,

厚生労働省難治性疾患克服研究事業 難治性の肝疾患に関する調査研究班

平成15年度第1回研究打ち合わせ会 (東京) H15.8.30

No. 8 松崎 靖司：

茨城県における肝炎検診状況と肝炎ウイルスキャリアのフォローアップシステム構築について,

厚生労働科学研究費補助金 (肝炎等克服緊急対策研究事業肝炎分野),

肝がんの発生予防に資するC型肝炎検診の効率的な実施に関する研究班,

分担研究報告書, (平成14年度),2003

No. 9 古川 正人, 田中 直見, 馬場 園明, 安藤 久実, 跡見 裕：

肝内結石症の成因に関する疫学調査

厚生労働省難治性疾患克服研究事業

肝内結石症調査に関する調査研究班

平成15年度第1回研究打ち合わせ会 (東京) H15.9.5

No. 10 正田 純一, 田中 直見:

原発性肝内結石症におけるMDR3P-糖蛋白の発現異常とベザフィラートによる治療の可能性

厚生労働省難治性疾患克服研究事業

肝内結石症調査に関する調査研究班

平成15年度第1回研究打ち合わせ会(東京) H15.9.5

講演会その他

No. 1 中原 朗:

胃潰瘍治療のガイドラインについて,

竜ヶ崎・牛久医師会講演会, 竜ヶ崎市福祉会館, 2月13日, 2003

No. 2 松崎 靖司:

肝がんの予防, 「肝ガンの治療戦略—早期発見から早期治療を目指して—,

第6会健康づくりセミナー, 茨城県総合検診協会, 2月15日, 2003

No. 3 松崎 靖司:

「肝炎・肝癌克服対策: 健康茨城21」

市民公開講座 NPO: 市民のための健康・医療ネットワーク

石岡市民会館, 3月16日, 2003

No. 4 松崎 靖司:

「肝炎・肝癌克服対策: 健康茨城21」

鹿島市郡医師会学術講演会, 4月15日, 2003

No. 5 松崎 靖司:

肝疾患と臨床検査—検査値は病態を語る—

第52回日本医学検査学会, ランチョンセミナー, (さいたま市), 5月17日, 2003

No. 6 松崎 靖司:

基調講演「肝炎・肝がん克服-健康茨城21」

第4回肝がん撲滅茨城の会, (つくば市), 6月1日, 2003

No. 7 中原 朗:

最近の胃潰瘍の診断と治療-胃潰瘍のガイドラインを踏まえて

水郷医師会講演会, 水郷医師会館(麻生町), 6月17日, 2003

No. 8 松崎 靖司:

—検査値は肝病態をかたる—

「肝疾患と臨床検査」

平成15年度臨床化学検査分野講演会, (郡山) 7月5日, 2003

No. 9 松崎 靖司:

「肝線維化の診断と治療—検査値は肝病態をかたる—」

水戸市医師会学術講演会, 7月15日, 2003

No. 10 松崎 靖司:

「肝炎肝癌克服対策」

竜ヶ崎市・牛久市医師会 第13回地域連携カンファランス, 7月28日, 2003

- No. 11 谷中 昭典：
H.pyloriと胃疾患
2003年度放射線専門医会ミッドサマーセミナー（名古屋），7月，2003
- No. 12 松崎 靖司：
肝臓病の食事について考える
市民公開講座 「肝臓病におけるアミノ酸服用の効果」
NPO：市民のための健康・医療ネットワーク，竜ヶ崎市民ホール，9月7日，2003
- No. 13 松崎 靖司：
日本産業衛生学会関東地方会のシンポジウム
「産業保健領域における肝炎対策：一地域・職域における連携肝炎スクリーニング～」
市民と職場における健康ネットワーク，（つくば）9月19日，2003
- No. 14 中原 朗：
逆流性食道炎の診断・治療のガイドラインについて
取手医師会講演会，取手医師会病院（取手市），9月30日，2003
- No. 15 Matsuzaki Y.：
“An overview of hepatocellular carcinoma and address non-surgical treatment of such a disease in Japan.”
3rd Annual Dartmouth Conference on Liver, and Biliary Diseases October 11, 2003
- No. 16 正田 純一：
肝内胆石症の成因とup date
第4回神戸胆道疾患研究会（神戸）10月18日，2003
- No. 17 松崎 靖司：
肝臓病におけるアミノ酸服用の効果
基礎と臨床 -，下館薬剤師会，10月29日，2003
- No. 18 谷中 昭典：
H.pylori 起因性胃粘膜傷害とHeat Shock Protein
第31回日本実験潰瘍学会イブニングセミナー（名古屋），11月，2003
- No. 19 松崎 靖司：
肝胆膵疾患とNF- κ B:最近の話題，
座談会，肝胆膵，16(1)103-115，2003
- No. 20 松崎 靖司：
日本の臨床胆汁酸研究の夜明け
特別座談会，（司会），消化器病ネットワーク
：たんじゅうさん：2(1)：3-8，2003
- No. 21 松崎 靖司：
肝臓病の食事について考える：
市民公開講座 「肝臓病におけるアミノ酸服用の効果」JA茨城むつみ本店，
NPO：市民のための健康・医療ネットワーク，12月6日，2003

No . 22 松崎 靖司 :

大丈夫？あなたの肝臓NHK TV：ハツラツ道場

肝臓の疑問一挙解決,12月16日

肝臓の意外な敵, 12月17日

肝臓パワーアップ法, 12月18日,2003

2003年（呼吸器内科グループ）

原 著

- No. 1 Kanemoto K, Satoh H, Sekizawa K :
Chemotherapy in a patient with prior history of idiopathic thrombocytopenic purpura.
Acta Medica 46 : 37-38, 2003
- No. 2 Kikuchi N, Satoh H, Kodama T, Haraguchi N, Sekizawa K :
Response to gefitinib in pericardial effusion due to lung cancer.
Acta Medica 46 : 215-216, 2003
- No. 3 Nomura A, Fujisawa H , Sekizawa K :
Treatment of bullous pemphigoid with a leukotriene receptor antagonist.
Allergy 58 : 162-163, 2003
- No. 4 Kagohashi K, Satoh H., Yamashita YT, Sekizawa K :
Brain metastasis as the first manifestation of lung cancer.
Am J Med 114 : 420, 2003
- No. 5 Nakajoh M, Fukushima T, Suzuki T, Yamaya M, Nakayama K, Sekizawa K, Sasaki H :
Retinoic acid inhibits elastase-induced injury in human lung epithelial cell lines.
Am J Respir Cell Mol Biol 28 : 296-304, 2003
- No. 6 Kagohashi K, Funayama Y, Satoh H, Sekizawa K :
Fatal hepatic failure due to gemcitabine and vinorelbine.
Annals Oncol 14 : 960, 2003
- No. 7 Kikuchi N, Satoh H, Sekizawa K., Ishikawa S :
Late recurrence after resection of stage I lung adenocarcinoma.
Ann Thorac Surg 75 : 1069-1070, 2003
- No. 8 Satoh H, Sekizawa K :
Elderly asthmatic patients.
Arch Intern Med 163 : 122, 2003
- No. 9 Kodama T, Satoh H, Sekizawa K :
Scalp Metastasis from Lung Cancer.
Arch Oncol 11 : 39, 2003
- No. 10 Kagohashi K, Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Synchronous lung and bone metastasis in lung cancer.
Arch Oncol 11 : 297, 2003
- No. 11 Sumi M, Satoh H, Nakayama M, Ishikawa H, Sekizawa K :
Hypnotics for patients with lung cancer.
Arch Oncol 11 : 282, 2003
- No. 12 Sumi M, Satoh H, Sekizawa K :
Mechanical ventilation for chronic lung diseases in the elderly.
Australasian J Aging 21 : 104, 2003

- No . 13 Ishikawa H, Satoh H, Kagohashi K, Homma S, Sekizawa K :
Lung cancer arising from adjacent to bullae: MRI appearance.
Australasian J Cancer 2 : 167-168, 2003
- No . 14 Homma S, Satoh H, Kagohashi K, Sekizawa K :
Serum KL-6 and severe pneumonitis after irradiation.
Australasian J Cancer 2 : 173, 2003
- No . 15 Nomura A, Zhang M, Sakamoto T, Ishii Y, Morishima Y, Mochizuki M, Kimura T,
Uchida Y, Sekizawa K :
Anti-inflammatory activity of creatine supplementation in endothelial cells in
vitro.
Br J Pharmacol 139 : 715-720, 2003
- No . 16 Kodama T, Satoh H, Sekizawa K :
Pancoast's syndrome due to metastatic carcinoma from the stomach.
Canadian Respir J 10 : 330, 2003
- No . 17 Satoh H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Endobronchial actinomycosis associated with foreign body.
Chest 123 : 656-657, 2003
- No . 18 Matsumura T, Nakayama M, Satoh H, Naitoh A, Kamahara K, Sekizawa K :
Plasma Orexin-A levels and body composition in chronic obstructive pulmonary
disease.
Chest 123 : 1060-1065, 2003
- No . 19 Nakayama M, Satoh H, Sekizawa K :
Risk of cancers in chronic obstructive pulmonary disease patients.
Chest 123 : 1775-1776, 2003
- No . 20 Nakayama M, Satoh H, Ishikawa H, Fujiwara M, Kamma H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
CYFRA in patients with non-malignant respiratory diseases.
Chest 123 : 2001-2006, 2003
- No . 21 Akazawa Y, Satoh H, Takeda YT, Takiguchi K, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Significantly lower rate of smoking in female compared to male patients with lung
adenocarcinoma.
European J Cancer Care 12 : 283-285, 2003
- No . 22 Kagohashi k, Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Bone metastasis as first manifestation of lung cancer.
Int J Clin Prac 57 : 184-186, 2003
- No . 23 Shioyama Y, Tokuyue K, Okumura T, Kagei K , Sugahara S, Ohara K, Akine Y,
Ishikawa S, Satoh H, Sekizawa K :
Clinical evaluation of proton radiotherapy for non-small cell lung cancer.
Int J Radiat Oncol Biol Phys 56 : 7-13, 2003

- No . 24 Masuyama K, Morishima Y, Ishii Y, Nomura A, Sakamoto T, Kimura T, Mochizuki M, Uchida Y, Sekizawa K :
Sputum E-cadherin and asthma severity.
J Allergy Clin Immunol 112 : 208-209, 2003
- No . 25 Arai T, Sekizawa K, Yoshimi N, Toshima S, Fujiwara H :
Cabergoline and silent aspiration in elderly patients with stroke.
J Am Geriatr Soc 51 : 1815-1816, 2003
- No . 26 Kikuchi N, Satoh H, Ishikawa H, Saito T, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Unusual presentation of chronic eosinophilic pneumonia.
J Bronchology 10 : 139-141, 2003
- No . 27 Ishizuka S, Yamaya M, Suzuki T, Takahashi H, Ida S, Sasaki T, Inoue D, Sekizawa K, Nishimura H, Sasaki H :
Effects of rhinovirus infection on the adherence of *S. pneumonia* to cultured human airway epithelial cells.
J Infect Dis 188 : 1929-1940, 2003
- No . 28 Homma T, Ueno T, Sekizawa K, Tanaka A, Hirata M :
Interstitial pneumonia developed in worker dealing with particles containing indium-tin oxide.
J Occup Health 45:137-139, 2003
- No . 29 Snead DRJ, Perunovic B, Cullen N, Needham M, Dhillon DP, Satoh H, Kamma H :
hnRNP B1 expression in benign and malignant lung disease.
J Pathology 200 : 88-94 2003
- No . 30 Satoh H, Ishikawa H, Kamma H, Yamashita YT, Sekizawa K :
hnRNP A2/B1 proteins in non-tumorous alveolar cells.
Lung 181 : 219-225, 2003
- No . 31 Sumi M, Kagohashi K, Satoh H, Ishikawa H, Funayama Y, Sekizawa K :
Endostatin levels in exudative pleural effusions.
Lung 181 : 329-334, 2003
- No. 32 Satoh H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Chemotherapy for elderly SCLC patients.
Lung cancer 40 : 107, 2003
- No . 33 Kagohashi K, Satoh H, Ishikawa H, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Liver metastasis at the time of initial diagnosis of lung cancer.
Med Oncol 20 : 25-28, 2003
- No . 34 Arai T, Yoshimi N, Fujiwara H, Sekizawa K :
Serum substance P concentrations and silent aspiration in elderly patients with stroke.
Neurology 61 : 1625-1626 2003

- No . 35 Kanashiki M, Satoh H, Ishikawa H, Ymashita YT, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Time from finding abnormality on mass-screening to final diagnosis of lung cancer.
Oncol Rep 10: 649-652, 2003
- No . 36 Haraguchi N, Satoh H, Homma T, Sekizawa K :
Long-term disease-free interval after irradiation for locally advanced lung cancer.
Radiol Oncol 37 : 183-186, 2003
- No. 37 Kaneko Y, Haraguchi N, Kodama T, Kagohashi K, Ishii Y, Satoh H, Sekizawa K :
Endobronchial metastasis as first manifestation of renal cell carcinoma.
Radiol Oncol 37 : 217-219, 2003
- No . 38 Kodama T, Satoh H, Ueno T, Homma S, Sekizawa K :
Pubic bone metastasis as first manifestation of lung cancer.
Radiol Oncol 37 : 221-224, 2003
- No . 39 Nomura A, Morishita YT, Iijima T, Ishii Y, Satoh H, Sakamoto T, Uchida Y, Homma T, Ohtsuka M, Sekizawa K :
Unusual lung consolidation in SLE
Thorax 58 : 367 2003
- No. 40 Kikuchi N, Nomura A, Ishii Y, Sekizawa K, Hrada H, Ishii K, Wada T :
Progressive encephalomyelitis with rigidity as refractory asthma.
Thorax 58 : 645 2003
- No. 41 宮川 俊平, 松井 裕史, 久賀 圭祐, 大塚 盛男, 諸岡 浩美, 菊池 知子, 森 慶子 :
大学各種スポーツ行事における障害 (疾病を含む) の発生頻度の違いについて
CAMPUS HEALTH 40(1) : 234-235, 2003
- No. 42 久賀 圭祐, 松井 裕史, 平沼 ゆり, 石津 智子, 森島 祐子, 大塚 盛男 :
新しい降圧剤の降圧指標 (「高圧力価」) による降圧剤の評価
CAMPUS HEALTH 40(1) : 280-281, 2003
- No. 43 大塚 盛男, 森島 祐子, 松井 裕史, 久賀 圭祐, 諸岡 浩美, 菊池 知子, 森 慶子, 山添 悦子, 関沢 清久 :
二段階ツベルクリン反応検査における硬結径の変動について
CAMPUS HEALTH 40(1) : 286-287, 2003
- No. 44 遊佐 浩, 武田 さき子, 武田 弘美, 福島 幸子, 大塚 盛男, 吉田 廣 :
大学生の智歯抜歯時の不安
CAMPUS HEALTH 40(1) : 366-367, 2003
- No. 45 佐藤 浩昭, 石川 博一, 武田 祐子, 大塚 盛男, 関沢 清久 :
肺癌化学療法演題に関する検討
日本胸部臨床62(3) : 274-279, 2003

総 説

- No. 1 大塚 盛男 :
気管支炎へのニューキノロン薬投与
日本醫事新報 4106 : 139-140, 2003

- No. 2 大塚 盛男：
臓器感染と抗菌薬の選び方・気道感染と抗菌薬の選び方・気管支炎の抗菌薬ガイドライン
medicina 40(2)：210-212, 2003
- No. 3 大塚 盛男, 石川 博一, 佐藤 浩昭：
緊急時に画像診断を使いこなす．鑑別診断のための画像診断．肺炎．
medicina 40(4)：648-651, 2003
- No. 4 大塚 盛男：
老人の呼吸器感染症．D．抗生物質・抗菌薬使用ワンポイントアドバイス．実践抗生物質・抗菌薬療法ガイド
Medical Practice 20(臨時増刊号)：478-909, 2003
- No. 5 石川 博一, 大塚 盛男, 関沢 清久：
薬剤誘起性血管病変．薬剤誘起性呼吸器疾患(1)
日本胸部臨床 62(10)：902-909, 2003
- No. 6 森島 祐子, 関沢 清久：
海外文献紹介
The LUNG perspectives 11:235-236, 2003
- No. 7 森島 祐子, 関沢 清久：
肺炎桿菌肺炎
今月の治療 12：59-62, 2003
- No. 8 武田 裕子, 大塚 盛男：
高齢者におけるインフルエンザと風邪症候群．プライマリケア医のためのかぜ症候群とインフルエンザの診かた
治療 85(12)：3183-3188, 2003
- No. 9 角 昌晃, 本間 敏明：
成人病と生活習慣病
Ondine's curse vol.33, No. 10：1258-1260, 2003
- 著 書
- No. 1 本間 敏明：
呼吸困難の病態生理
岡庭 豊 監修 Year Note 2004
メディックメディア pp263-270, 2003
- No. 2 佐藤 浩昭：
再現第97回医師国家試験問題解説書
担当部分：97A-13
担当部分：佐藤浩昭
医学評論社 pp19-20, 2003

No. 3 佐藤 浩昭：

再現第97回医師国家試験問題解説書

担当部分：97D-15

担当部分：佐藤浩昭

医学評論社 pp197-198, 2003

No. 4 森島 祐子, 関沢 清久：

COPDの疫学, COPD(慢性閉塞性肺疾患)

(北村諭編) 医歯薬出版株式会社pp7-10, 2003

学会発表

No. 1 本間 敏明, 内藤 明日香, 中山 美香, 上遠野 賢之助：

重粒子線治療による肺障害の定量的・総合的研究

H14年度重粒子がん治療装置等共同利用研究会議 1月(千葉), 2003

No. 2 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 長瀬 啓介, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久：

慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者に対してのサーキットトレーニング(CTr)の試み

第43回日本呼吸器内科学会 3月(東京), 2003

No. 3 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 長瀬 啓介, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久：

治療に難渋する非定型な気管支喘息症例の検討

第43回日本呼吸器内科学会 3月(東京), 2003

No. 4 石川 博一, 中山 美香, 佐藤 浩昭, 金本 幸司, 栗島 浩一, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久：

慢性閉塞性肺疾患における悪性疾患合併検討

第43回日本呼吸器内科学会 3月(東京), 2003

No. 5 関沢 清久：

プレナリーシンポジウム：21世紀呼吸器病学

第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003

No. 6 木村 透, 石井 幸雄, 森島 祐子, 望月 美恵, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 関沢 清久：

マウスブレオマイシン肺線維症のNatural Killer T細胞による抑制効果

第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003

日本呼吸器学会誌 41(増刊号)：87, 2003

No. 7 森島 祐子, 木村 透, 石井 幸雄, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之, 望月 美恵, 大塚 盛男, 関沢 清久：

Natural Killer T 細胞活性化による好酸球性菌性気道炎症の抑制効果

第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003

日本呼吸器学会誌 41(増刊号)：91, 2003

- No. 8 中山 美香, 佐藤 浩昭, 石川 博一, 大塚 盛男, 関沢 清久:
 良性呼吸器疾患症例における血清シフラ値の検討
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会誌 41(増刊号): 97, 2003
- No. 9 栗島 浩一, 金敷 真紀, 佐藤 浩昭, 金本 幸司, 石川 博一, 大塚 盛男,
 関沢 清久:
 健診受診時より肺癌確定診断に至る期間の検討
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会雑誌 41(増刊号): 99, 2003
- No. 10 石川 博一, 中山 美香, 佐藤 浩昭, 金本 幸司, 栗島 浩一, 大塚 盛男,
 関沢 清久:
 慢性閉塞性肺疾患における悪性疾患合併の検討
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会雑誌 41(増刊号): 117, 2003
- No. 11 金本 幸司, 栗島 浩一, 石川 博一, 佐藤 浩昭, 大塚 盛男, 関沢 清久:
 研修医による気管支鏡検査に関する検討
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会雑誌 41(増刊号): 163, 2003
- No. 12 石井 幸雄, 望月 美恵, 木村 透, 森島 祐子, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之,
 関沢 清久:
 エラストーゼ注入マウス肺気腫モデルにおける転写因子Nrf2の役割
 第43回日本呼吸器内科学会 3月(東京), 2003
 日本呼吸器学会誌 41(増刊号): 176, 2003
- No. 13 籠橋 克紀, 齋藤 渉, 荻谷 政明, 石川 博一, 舩山 康則, 佐藤 浩昭, 関沢 清久:
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会雑誌 41(増刊号): 199, 2003
- No. 14 菊池 教大, 児玉 孝秀, 本間 晋介, 石井 幸雄, 野村 明広, 坂本 透, 内田 義之,
 長瀬 啓介, 佐藤 浩昭, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
 治療に難渋する非定型な気管支喘息症例の検討
 第43回日本呼吸器学会総会 3月(福岡), 2003
 日本呼吸器学会雑誌 41(増刊号): 201, 2003
- No. 15 関沢 清久:
 教育講演: 高齢者肺炎の予防
 第26回日本医学会総会 4月(福岡), 2003
- No. 16 金敷 真紀, 齋藤 洋子, 福富 久之, 佐藤 浩昭, 戸川 真一, 齋藤 武文, 関沢 清久:
 健診発見肺癌の肥満指数
 第100回日本内科学会講演会 4月(福岡), 2003
 日本内科学会雑誌 92(増刊号): 246, 2003
- No. 17 菊池 教大, 石井 幸雄, 大塚 盛男, 関沢 清久:
 「ステロイドが有効であったNSIP症例の検討」
 第1回北関東呼吸器カンファレンス 4月(埼玉), 2003

- No. 18 大村 実, 田中 昭代, 平田 美由紀, 槇田 裕之, 井上 尚英, 本間 敏明:
インジウム・スズ酸化物 (ITO) および酸化インジウムによる精巢障害の経過的 変
化
第76回日本産業衛生学会 4月(山口), 2003
- No. 19 田中 昭代, 平田 美由紀, 大村 実, 槇田 裕之, 井上 尚英, 本間 敏明:
インジウム・スズ酸化物及び酸化インジウムの生体影響
第76回日本産業衛生学会 4月(山口), 2003
- No. 20 Ishii Y, Morishima Y, Kimura T, Mochizuki M, Nomura A, Sakamoto T, Uchida Y,
Sekizawa K, Itoh K, Yamamoto M:
Role of NRF2 in Protection Against Ozone-Induced Pulmonary Inflammation
2003 International Conference of American Thoracic Society (Seattle)
5月, 2003
Am J Respir Crit Care Med. A485, 2003
- No. 21 Morishima Y, Ishii Y, Kimura T, Mochizuki M, Sekizawa K:
Suppression of Airway Eosinophilia by α -Galactosylceramide-Activated Natural
killer T cells.
2003 International Conference of American Thoracic Society (Seattle)
5月, 2003
Am J Respir Crit Care Med. A632, 2003
- No. 22 金子 美子, 原口 典博, 児玉 孝秀, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭, 坂本 透,
内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
気管支内転移病変が契機となり発見された腎癌の1例
第156回日本呼吸器学会関東地方会 9月(東京), 2003
- No. 23 間宮 孝, 原口 典博, 金子 美子, 児玉 孝秀, 石井 幸雄, 野村 明広, 佐藤 浩昭,
坂本 透, 内田 義之, 本間 敏明, 大塚 盛男, 関沢 清久:
放射線治療後9年余を経過して再発した局所進展型肺大細胞癌の1例
第170回茨城県内科集談会 10月(水戸), 2003
- No. 24 遊佐 浩, 武田さき子, 竹田 弘美, 福島 幸子, 大塚 盛男, 吉田 廣:
大学生の智歯抜歯時の不安-不安と鎮静薬の服用量の関係-。
第41回保健管理研究集会 10月(金沢), 2003
- No. 25 松村 壮, 内藤明日香, 蒲原 一之, 上遠野賢之助, 中山 美香, 本間 敏明,
関沢 清久:
慢性閉性肺疾患患者における体格と血漿オレキシンAとの関連についての検討
第5回COPD研究会 10月(つくば), 2003
- No. 26 菊池 教大, 際本 拓未, 石井 幸雄, 大塚 盛男, 関沢 清久:
胸腔鏡下肺生検を施行しえた上葉優位型肺線維症の2例
第2回北関東呼吸器カンファレンス 10月(埼玉), 2003
- No. 27 松村 壮, 内藤明日香, 蒲原 一之, 上遠野賢之助, 中山 美香, 本間 敏明,
関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患患者における体格と血漿オレキシンAとの関連についての検討
第40回日本臨床生理学会 10月(仙台), 2003

- No. 28 甲斐 幸子, 本間 敏明, 蒲原 一之, 中山 美香, 井上 雅樹, 蒲原 一之,
上遠野賢之助, 中山 美香, 関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患患者に対する呼吸リハビリテーションの長期経過についての検討
第40回日本臨床生理学会 10月(仙台), 2003
- No. 29 望月 美恵, 石井 幸雄, 森島 祐子, 飯塚 尚志, 齋藤 渉, 木村 透, 際本 拓未,
野村 明広, 坂本 透, 関沢 清久:
転写因子Nrf2を介した15-deoxy- Δ^{12-14} -prostaglandin J2による急性炎症の制御につ
いて
第13回那須呼吸シンポジウム11月(那須) 2003
- No. 30 本間 晋介, 栗島 浩一, 石川 博一, 籠橋 克紀, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
C E A、S L X 同時測定肺癌464例の検討、特にC E A 高値例の検討
第44回日本肺癌学会総会 11月(東京) 2003
肺癌 43(5): 511 2003
- No. 31 金敷 真紀, 齋藤 洋子, 赤萩 栄一, 雨宮 隆太, 鬼塚 正孝, 斎田 幸久,
齋藤 武文, 佐藤 浩昭, 関沢 清久:
胸部レントゲン写真による健診の精度評価
第44回日本肺癌学会総会 11月(東京) 2003
肺癌 43(5): 541 2003
- No. 32 籠橋 克紀, 舩山 康則, 本間 晋介, 栗島 浩一, 石川 博一, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
転移性肺癌におけるC E A、S L X、C A 19-9測定値の検討
第44回日本肺癌学会総会 11月(東京) 2003
肺癌 43(5): 603 2003
- No. 33 栗島 浩一, 本間 晋介, 石川 博一, 籠橋 克紀, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
肺小細胞癌症例におけるproG R P、特に予後との関連について
第44回日本肺癌学会総会 11月(東京) 2003
肺癌 43(5): 616 2003
- No. 34 石川 博一, 本間 晋介, 栗島 浩一, 籠橋 克紀, 舩山 康則, 佐藤 浩昭,
大塚 盛男, 関沢 清久:
肺癌症例に対する睡眠薬投与の検討
第44回日本肺癌学会総会 11月(東京) 2003
肺癌 43(5): 666 2003

班研究報告

- No. 1 森 豊, 内山 真幸, 土田 大輔, 羽石 秀昭, 植 英規, 瀧田 憲晃, 本間 敏明,
中山 美香, 松村 壮, 内藤明日香, 上遠野賢之助, 荻谷 政明, 宮本 忠昭,
山本 尚敬, 小藤 昌志, 熊谷 和正, 守屋 浩子, 外山比南子

Fusion画像に重なるイオン線の局所は胃障害の定量的評価に関する研究

平成14年度放射線医学総合研究所
重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書: 35-36, 2003

その他

- No. 1 関沢 清久:
慢性閉塞性肺疾患の最新の話
学術講演会(野田)1月, 2003
- No. 2 大塚 盛男:
腫瘍随伴症候群を伴う肺癌
第92回筑波呼吸器勉強会(つくば)1月, 2003
- No. 3 関沢 清久:
高齢者の肺炎、誤嚥性肺炎の病態と治療
朝日最新医学セミナー(富山)2月, 2003
- No. 4 本間 敏明:
睡眠時無呼吸症候群における臨床の実際
水戸市医師会学術講演会(水戸)2月, 2003
- No. 5 関沢 清久:
高齢者肺炎の予防
第28回岡山老年期内科疾患懇話会(岡山)2月, 2003
- No. 6 関沢 清久:
高齢者肺炎の予防
学術講演会(四日市)2月, 2003
- No. 7 関沢 清久:
高齢者の肺炎とその予防
朝日最新医学セミナー(彦根)4月, 2003
- No. 8 関沢 清久:
最新の喘息治療 - ロイコトリエン受容体拮抗薬を中心に
岩手喘息学術講演会(盛岡)6月, 2003
- No. 9 大塚 盛男:
健康管理
筑波大学職員研修(つくば)6月, 2003
- No. 10 関沢 清久:
高齢者医療の特性と薬剤管理
兵庫県医師会学術講演会(神戸)6月, 2003

- No. 11 関沢 清久：
COPDのガイドラインについて
取手市医師会学術講演会(取手)7月，2003
- No. 12 大塚 盛男：
血痰を主訴に受診した症例
第95回筑波呼吸器勉強会(つくば)7月，2003
- No. 13 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
鉾田市医師会学術講演会(鉾子)9月，2003
- No. 14 長尾 啓一，飛田 渉，大塚 盛男：
人目でわかる呼吸器系(訳) Ward JPT, Ward J, Wiener CM Leach RM.
メディカル・サイエンス・インターナショナル(東京)9月，2003
- No. 15 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
美作医学会学術講演会(津山)10月，2003
- No. 16 大塚 盛男：
健康管理
筑波大学職員研修(つくば)10月，2003
- No. 17 関沢 清久：
高齢者肺炎の予防
学術講演会(鎌倉)10月，2003
- No. 18 大塚 盛男：
インフルエンザの最近の話題
水戸医師会学術講演会(水戸)11月，2003
- No. 19 関沢 清久：
嚥下性肺疾患の診断と治療
第9回富山呼吸器感染症講演会(富山)11月，2003
- No. 20 関沢 清久：
成人気道感染症治療の基本的考え方
大阪感染症フォーラム(堺)12月，2003
- No. 21 関沢 清久：
ショートレクチャー：最新の知見
タナトリル発売10周年記念講演会(東京)12月，2003

2003年 (腎臓内科グループ)

原 著

- No . 1 Aoyagi K., Kuzure Y., Shahrzad S., Hirayama A., Nagase S., Ueda A. :
Inhibition by heparin of protein kinase C activation and hydroxyl radical generation in puromycin aminonucleoside treated isolated rat hepatocytes.
Molecular and Cellular Biochemistry, 244 : 3-9, 2003
- No . 2 Hirayama A., Nagase S., Ueda A., Yoh K., Oteki T., Obara M., Takada K., Shimozawa Y., Aoyagi K., Koyama A. :
Electron paramagnetic resonance imaging of nitric oxide organ distribution in lipopolysaccharide treated mice.
Mol. Cell. Biochem. 244 : 63-67, 2003
- No . 3 Nagase S., Suzuki H., Wang Y., Kikuchi S., Hirayama A., Ueda A., Takada K., Oteki T., Obara M., Aoyagi K., Koyama A. :
Association of ecNOS gene polymorphisms with end stage renal diseases.
Molecular and Cellular Biochemistry 244 : 113-118. 2003
- No . 4 Ueda A., Nagase S., Yokoyama H., Tada M., Noda H., Ohya H., Kamada H., Hirayama A., Koyama A. :
Importance of renal mitochondria in the reduction of TEMPOL, a nitroxide radical.
Molecular and Cellular Biochemistry 244 : 119-124, 2003
- No . 5 Hirayama A., Nagase S., Ueda A., Ishizu T., Taru Y., Yoh K., Hirayama K., Kobayashi M., Koyama A. :
Oxidative stress during leukocyte absorption apheresis.
J. Clin. Apheresis. 18(2) : 61-66, 2003
- No . 6 Hirayama A., Yoh K., Nagase S., Ueda A., Itoh K., Morito N., Hirayama K., Takahashi S., Yamamoto M., Koyama A. :
EPR imaging of reducing activity in Nrf2 transcriptional factor deficient mice.
Free Radic. Biol. Med. 34(10) : 1236-1242, 2003
- No . 7 Wakabayashi J., Yomogida K., Nakajima O., Yoh K., Takahashi S., Engel JD., Ohneda K., Yamamoto M :
GATA-1 testis activation region is essential for sertoli cell-specific Expression of *GATA-1* gene in transgenic mouse.
Genes Cells 8 : 619-630, 2003
- No . 8 Yoh K., Shibuya K., Morito N., Nakano T., Ishizaki K., Shimohata H., Nose M., Izui S., Shibuya A., Koyama A., Engel JD., Yamamoto M., Takahashi S. :
Transgenic overexpression of GATA-3 in T lymphocytes improves autoimmune glomerulonephritis in mice with a BXSB/MpJ-Yaa genetic background.
J. Am. Soc. Nephrol. 14 : 2494-2502, 2003

- No . 9 Morito N., Yoh K., Itoh K., Hirayama A., Koyama A., Yamamoto M., Takahashi S. :
Nrf2 regulates the sensitivity of death receptor signals by affecting intracellular glutathione levels.
Oncogene 22 : 9274-9280, 2003
- No . 10 Kato N., Yanaka K., Nagase S., Hirayama A., Nose T. :
The antioxidant EPC-K1 ameliorates brain injury by inhibiting lipid peroxidation in a rat model of transient focal cerebral ischemia.
Acta Neurochir 145 : 489-493, 2003
- No . 11 Kato N., Yanaka K., Hyodo K., Honma K., Nagase S., Nose T. :
Stable nitroxide Tempol ameliorates brain injury by inhibiting lipid peroxidation in a rat model of transient focal cerebral ischemia
Brain Research 979 : 188-193, 2003
- No . 12 Masuda K., Tanabe K., Kuno S., Hirayama A., Nagase S. :
Antioxidant capacity in rat skeletal muscle tissues determined by electron Spin resonance.
Comp Biochem Physiol Pt.B 134 : 215-220, 2003
- No . 13 Usui J., Kanemoto K., Tomari S., Shu Y., Yoh K., Mase K., Hirayama A., Hirayama K., Yamagata K., Nagase S., Kobayashi M., Nitta K., Horita S., Koyama A., Nagata M. :
Glomerular crescents predominantly express cadherin-catenin complex in pauci-immune-type crescentic glomerulonephritis.
Histopathology 43 : 173-179, 2003
- No . 14 植田 敦志, 湯原 孝典, 増見 智子, 飯田 啓治, 永瀬 宗重, 井上真理子, 平山 暁, 小山 哲夫 :
メチルグアニジンを指標とした透析患者の透析中の酸化ストレスの検討
茨城県農村医学会雑誌 16 : 10-13, 2003
- No . 15 小原 真美, 平山 暁, 永瀬 宗重, 後藤 達宏, 植田 敦志, 森戸 直記, 樗木 隆聡, 高田 健治, 青柳 一正, 小山 哲夫 :
血液透析中に過酸化脂質Cholesteryl Ester Hydroperoxideは減少する
Ther. Res. 24(7) : 1260-1261, 2003

総 説

- No . 1 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
【血尿】 血尿の診断 蛋白尿との関係
腎と透析54(1) : 33-37, 2003
- No . 2 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
血管炎からみた半月体形成性腎炎の治療法—今後の展望
医学のあゆみ206(2) : 153-155, 2003
- No . 3 山縣 邦弘, 萩原 正大, 小山 哲夫 :
ミトコンドリア異常症
腎と透析55(5) : 765-770, 2003

- No. 4 平山 浩一, 小山 哲夫 :
急速進行性糸球体腎炎
診断と治療 91 (3) : 481-485, 2003
- No. 5 小山 哲夫, 山縣 邦弘, 平山 浩一, 山口 直人 :
急速進行性腎炎の臨床
日本内科学会雑誌 92 (9) : 1824-1831, 2003
- No. 6 平山 浩一, 小山 哲夫 :
内科キーワード「ACEI、ARB」
内科 91 (6) : 1136, 2003
- No. 7 平山 浩一, 小山 哲夫 :
内科キーワード「急速進行性糸球体腎炎」
内科 91 (6) : 1137-1138, 2003
- No. 8 平山 浩一, 小山 哲夫 :
RPGNの診療指針
腎臓 26 (1) : 11-17, 2003
- No. 9 石川 祐一, 佐藤美奈子, 富田 知栄, 山縣 邦弘 :
透析患者の体重維持のための食事・生活指導内容の検討
臨床透析 19(1) : 119-122, 2003
- No. 10 小原 真美, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
保存期腎不全患者はどのように治療されているか? a.薬物療法
臨床医 29(8) : 1518-1521, 2003
- No. 11 小山 哲夫, 平山 浩一 :
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染後糸球体腎炎
腎と透析 55 (増刊号) : 176-179, 2003
- No. 12 平山 浩一, 小山 哲夫 :
腎疾患に対する薬物療法の基本的考え方
周産期医学 33 (増刊号) : 328-330, 2003
- No. 13 平山 浩一, 小山 哲夫 :
抗血小板薬
周産期医学 33 (増刊号) : 331-333, 2003
- No. 14 平山 浩一, 小山 哲夫 :
利尿薬
周産期医学 33 (増刊号) : 334-342, 2003
- No. 15 海老原 至, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
排尿障害治療薬
周産期医学 33 (増刊号) : 343-345, 2003
- No. 16 海老原 至, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
腎・尿路結石の鎮静・鎮痙薬
周産期医学 33 (増刊号) : 346-352, 2003

- No. 17 萩原 正大, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
免疫抑制薬
周産期医学 33 (増刊号) : 353-361, 2003
- No. 18 清水 芳男, 小山 哲夫 :
周産期の治療薬マニュアル・産科編-各論 ステロイド・非ステロイド系抗炎症薬
周産期医学 33 (増刊号) : 362-374, 2003
- No. 19 山縣 邦弘, 平山 浩一, 間瀬かおり, 清水 芳男, 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重,
山口直人, 小林 正貴, 小山 哲夫 :
高齢発症急速進行性腎炎の病型と予後
日本内科学会雑誌 92 (Suppl.) : 136, 2003
- No. 20 間瀬かおり, 小林 正貴, 中村日出子, 伊藤 真典, 田中 幹子, 小山 哲夫 :
ヒトパルボウイルス感染と腎障害の関連についての検討
日本内科学会雑誌 92 (Suppl.) : 138, 2003
- No. 21 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 石津 隆, 多留 賀功, 小原 真美, 小林 正貴,
楊 景堯, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
白血球吸着療法施行中の抗酸化動態
日本内科学会雑誌 92 (Suppl.) : 239, 2003
- No. 22 高橋 智, 楊 景堯 :
腎炎モデルマウス
分子細胞治療 2 : 66-69, 2003
- No. 23 山縣 邦弘, 富田 知栄, 小山 哲夫 :
長い透析時間は患者QOLを阻害するか
臨床透析 19(10) : 1359-1365, 2003
- No. 24 平山 暁, 楊 景堯, 小山 哲夫 :
Nrf2遺伝子欠損マウスにおける酸化ストレス動態とin vivo ESRによる解析
腎と透析 54 : 753-757, 2003
- No. 25 平山 暁 :
ESRイメージングを用いた抗酸化応答配列関連転写因子欠損マウスにおける臓器還元能評価
日本電子ニュース 35(1) : 8-10, 2003
- No. 26 増田 和実, 田辺 解, 平山 暁, 永瀬 宗重, 久野 譜也 :
酸化ストレス耐性の向上を目的とした有酸素的身体トレーニングの有用性について
- ESRを用いた活性酸素消去活性の評価 -
健康医科学 18 : 80-88, 2003

著 書

- No. 1 山縣 邦弘 :
腎不全
泌尿器科ナースの疾患別ケアハンドブック (林正 健二 監修)
メディカ出版, 大阪, pp141-166, 2003

- No. 2 平山 浩一：
腎疾患における浮腫の治療
腎疾患 state of arts 2003-2005 (浅野 泰, 小山哲夫 編)
医歯薬出版社, 東京, pp167-170, 2003
- No. 3 山縣 邦弘, 小山 哲夫：
主要腎疾患 現況・病態・診断・治療 急速進行性腎炎(半月体形成性腎炎)
腎疾患 state of arts 2003-2005 (浅野 泰, 小山哲夫 編)
医歯薬出版社, 東京, pp202-205, 2003
- No. 4 山縣 邦弘, 小山 哲夫：
治療法をめぐる最近の進歩 アフェレーシス療法
腎疾患 state of arts 2003-2005 (浅野 泰, 小山哲夫 編)
医歯薬出版社, 東京, pp260-263, 2003
- No. 5 平山 浩一, 小山 哲夫：
急速進行性糸球体腎炎・ANCA関連腎炎の発症頻度
EBM腎臓病の治療 2003-2004 (富野 康日己, 秋葉 隆 編)
中外医学社, 東京, pp.38-46, 2003
- No. 6 平山 浩一, 小山 哲夫：
慢性腎不全の管理・治療 急速進行性糸球体腎炎の治療
新しい診断と治療のABC 11巻 慢性腎不全 (佐々木 成 編)
最新医学社, 東京, pp.158-167, 2003
- No. 7 平山 浩一, 小山 哲夫：
IgA腎症
看護のための最新医学講座 第31巻 医学と分子生物学
(日野原 重明, 井村 裕夫 監修 佐々木 成 編)
中山書店, 東京, pp. 227-231, 2003
- No. 8 平山 浩一, 小山 哲夫：
抗血小板薬・抗凝固・線溶療法
IgA診療マニュアル (富野 康日己 編) 改訂第2版
南江堂, 東京, pp. 80-93, 2003
- No. 9 平山 浩一, 小山 哲夫：
ANCA関連腎炎 1. 副腎皮質ステロイド薬
臨床に直結する腎疾患治療のエビデンス (吉村 吾志夫, 南学 正臣 編)
文光堂, 東京, pp. 98-101, 2003

学会発表

- No. 1 小原 真美, 平山 暁, 永瀬 宗重, 後藤 達宏, 植田 敦志, 森戸 直記, 樗木 隆聡,
高田 健治, 青柳 一正, 小山 哲夫：
血液透析中に過酸化脂質Cholesteryl Ester Hydroperoxideは減少する
第14回腎と脂質研究会 (大阪), 2月, 2003

- No. 2 小原 真美, 関 正則, 高田 健治, 清水 芳男, 平山 暁, 楊 景堯, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
妊娠を契機に膜性増殖性糸球体腎炎 (MPGN) を発症した2症例
第13回腎と妊娠研究会 (横浜), 3月, 2003
- No. 3 Rossignol R., Gilkerson R., Aggeler R., Yamagata K., Remington J., Capaldi R. :
Mitochondrial composition, structure and function is modified in cancer cells forced to switched from glycolysis to oxydative phosphorylation
Mitochondrial workshop on high-resolution respiratory
Mrach 27-30, Volarlberg, Austria, 2003
- No. 4 山縣 邦弘, 平山 浩一, 間瀬かおり, 清水 芳男, 平山 暁, 楊 景堯, 永瀬 宗重, 山口 直人, 小林 正貴, 小山 哲夫:
高齢発症急速進行性腎炎の病型と予後
第100回日本内科学会講演会 (福岡), 4月, 2003
- No. 5 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 石津 隆, 多留 賀功, 小原 真美, 小林 正貴, 楊 景堯, 平山 浩一, 小山 哲夫:
白血球吸着療法施行中の抗酸化動態
第100回日本内科学会講演会 (福岡), 4月, 2003
- No. 6 小山 哲夫, 山縣 邦弘, 平山 浩一, 山口 直人:
急速進行性糸球体腎炎の臨床
第100回日本内科学会 (福岡), 4月, 2003
- No. 7 Hirayama A., Yoh K., Nagase S., Ueda A., Oteki T., Obara M., Takada K., Itoh K., Morito N., Takahashi S., Yamamoto M., Koyama A. :
ESR imaging of reducing activity in NRF2 transcriptional factor deficient mice.
The 10th International Workshop on Bio-medical ESR Spectroscopy and Imaging
(Fukuoka), 4月, 2003
- No. 8 小山 哲夫, 山縣 邦弘, 平山 浩一, 山口 直人, 小林 正貴, 間瀬かおり:
医学・医療の進歩を世界へ向けて 注目される疾患の病因・病態と治療 進行性腎障害の病態と治療 急速進行性糸球体腎炎の診断と治療
第26回日本医学会総会 (福岡), 4月, 2003
- No. 9 平野 優子, 清水 芳男, シャーミン・サミーナ, 甲斐 平康, 萩原 正大, 臼井 丈一, 楊 景堯, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
IgA腎症患者における抗Staphylococcus aureus抗体の解析
第46回日本腎臓学会学術総会 (東京), 5月, 2003
- No. 10 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 高田 健治, 小原 真美, 井上真理子, 楊 景堯, 小山 哲夫:
腎虚血再灌流障害時の酸化ストレス動態変化に対するエリスロポエチン投与効果の *in vivo* 計測
第46回日本腎臓学会学術総会 (東京), 5月, 2003

- No. 11 小林 正貴, 中村日出子, 間瀬かおり, 平山 浩一, 小山 哲夫:
慢性糸球体腎炎患者における低用量Losartanの腎保護作用の検討 長期投与例での
検討
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 12 関 正則, 山縣 邦弘, 平山 浩一, 間瀬かおり, 富田 知栄, 後藤 達宏, 飯塚 正,
鈴木 理志, 菊地 博, 山口 直人, 小林 正貴, 小山 哲夫:
肺出血を伴う急速進行性腎炎(肺腎症候群)の臨床的検討
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 13 山縣 邦弘, 萩原 正大, 間瀬かおり, 平野 優子, 関 正則, 荒川 洋, 臼井 丈一,
山本 聡, 甲斐 平康, 清水 芳男, 平山 浩一, 小林 正貴, 小山 哲夫:
巣状糸球体硬化病変における糸球体内ミトコンドリア異常の関与について
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 14 甲斐 平康, 清水 芳男, サミーナ・シャーミン, 平野 優子, 萩原 正大, 臼井 丈一,
間瀬かおり, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
患者由来抗体を用いたIgA関連腎炎における糸球体沈着Staphylococcus aureus抗原
の検出
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 15 清水 芳男, サミーナ・シャーミン, 平野 優子, 甲斐 平康, 荒川 洋, 萩原 正大,
臼井 丈一, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
黄色ブドウ球菌菌体抗原はBalb/cマウスにIgA腎症様の糸球体腎炎を惹起する
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 16 平山 浩一, 清水 芳男, サミーナ・シャーミン, 平野 優子, 甲斐 平康, 萩原 正大,
臼井 丈一, 山縣 邦弘, 小林 正貴, 小山 哲夫:
新規マウス抗S.aureusモノクローナル抗体を用いたIgA腎症腎糸球体における
S.aureus抗原の検出
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 17 植田 敦志, 永瀬 宗重, 平山 暁, 樗木 隆聡, 小山 哲夫:
ピュロマイシン腎症の発症進展におけるNOの関与
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 18 小原 真美, 平山 暁, 永瀬 宗重, 後藤 達宏, 植田 敦志, 森戸 直記, 高田 健治,
青柳 一正, 小山 哲夫:
血液透析中に過酸化脂質cholesterylester hydroperoxide(CEOOH)は減少する
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003
- No. 19 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 小原 真美, 樗木 隆聡, 井上真理子,
小山 哲夫:
遮光血液透析の効果—酸化窒素抑制と透析低血圧の抑制効果について—
第3回日本NO学会学術集会(熊本), 5月, 2003

- No. 20 Yoh K., Sugawara T., Motohashi H., Takahama Y., Koyama A., Yamamoto M.,
Takahashi S. :
Transgenic overexpression of MafK suppresses T cell proliferation and function
in vivo.
JBS Bio-Frontier Symposium (つくば), 6月, 2003
- No. 21 Hirayama A., Yoh K., Nagase S., Ueda A., Itoh K., Morito N., Hirayama K., Takahashi S.,
Yamamoto M., Koyama A. :
EPR imaging of reducing activity in Nrf2 transcriptional factor deficient mice
Deciphering the Regulatory Network of Transcription Factors: Function and
Regulation of Maf and CNC Transcription Factor Families.
JBS Bio-Frontier Symposium (つくば), 6月, 2003
- No. 22 臼井 丈一, 金本 勝義, 泊 真介, 小山 哲夫, 長田 道夫 :
後腎間葉細胞から内皮in vivoでの分化検討
第69回関東小児腎臓研究会 (東京), 6月, 2003
- No. 23 平山 暁, 永瀬 宗重, 高田 健治, 小原 真美, 石津 隆, 多留 賀功, 小林 正貴,
菊池 博, 楊 景堯, 平山 浩一, 小山 哲夫 :
白血球吸着療法による酸化ストレス動態
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003
- No. 24 高田 健治, 永瀬 宗重, 平山 暁, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小原 真美, 井上真理子,
小山 哲夫 :
血液透析におよぼす光の影響-全遮光とUVカット透析の対比-
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003
- No. 25 井上真理子, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 平山 暁, 高田 健治, 小原 真美, 樗木 隆聡,
小山 哲夫 :
メチルグアニジン, グアニジンは血液透析中に産生が亢進する
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003
- No. 26 平野 優子, 富田 知栄, 後藤 達宏, 荒川 洋, 萩原 正大, 臼井 丈一, 森戸 直記,
山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
CAPDの予後と透析効率の検討
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003
- No. 27 山木万里郎, 武井 佳子, 荒川 洋, 小山 哲夫 :
血液透析 (HD) 患者へのインフルエンザウイルスワクチン (IVV), 肺炎球菌ポリサ
ッカライドワクチン (PPV) の接種
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003
- No. 28 海老原 至, 樋口富士子, 山口 直人, 小杉 理恵, 大平 晃司, 村田 実, 平山 浩一,
小山 哲夫 :
糖尿病透析患者におけるアンギオテンシン 受容体拮抗薬 (ARB) が透析性心疾患に
及ぼす影響
第48回日本透析医学会学術集会 (大阪), 6月, 2003

- No. 29 甲斐 平康, 下畑 譽, 菊池 博, 高橋 正秀, 佐藤 始宏, 小山 哲夫:
透析患者の閉塞性動脈硬化症に対してPTAが著効した1例
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 30 高野 雅史, 原瀬 勉, 渡辺 伊道, 日比野敏子, 山縣 邦弘, 渡辺 孝太郎:
外来透析施設のエネルギー問題
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 31 大槻 知美, 大久 葉子, 安藤 真美, 立川 佳代, 小松 紀子, 根本 公子,
富田 知栄, 後藤 達宏, 山縣 邦弘:
CAPD患者の在宅支援への検討(第2報) 訪問看護との関わりを通して
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 32 原瀬 勉, 高野 雅史, 渡辺 伊道, 日比野敏子, 山縣 邦弘, 渡辺 孝太郎:
透析導入後1年間のi-PTHの変化を検討してみた
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 33 明石 尚樹, 山田 一之, 鈴木 裕明, 渡辺 泰徳, 富田 知栄, 後藤 達宏,
山縣 邦弘:
維持透析患者に対する冠動脈バイパス術の検討
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 34 福田 奈穂, 寺田 尚人, 山田 一之, 鈴木 裕明, 富田 知栄, 後藤 達宏,
山縣 邦弘:
維持透析患者に併発した閉塞性動脈硬化症(ASO)にLDL吸着療法を施行した3例
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 35 関 正則, 山縣 邦弘, 小原 真美, 高田 健治, 清水 芳男, 平山 暁, 楊 景堯,
平山 浩一, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
シクロスポリン投与中に強皮症腎クリーゼを発症しACE-I投与にて血液透析を離脱
し得た強皮症の1例
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 36 飯塚 正, 関 正則, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
多発脳梗塞から感染性心内膜炎と診断された血液透析患者症例
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 37 永瀬 宗重, 平山 暁, 小山 哲夫:
血液透析と酸化ストレス
第48回日本透析医学会学術集会(大阪), 6月, 2003
- No. 38 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 高田 健治, 小原 真美, 井上真理子,
楊 景堯, 小山 哲夫:
虚血再灌流急性腎不全における腎還元能変化とエリスロポエチンによる臓器保護効果
のESRイメージング
第25回日本フリーラジカル学会(東京), 6月, 2003

- No. 39 Tanabe K., Masuda K., Hirayama A., Nagase S., Kono I., Kuno S. :
Effects of spontaneous exercise on antioxidant capacity in rat muscle determined by electron spin resonance.
The Eighth Annual Congress of the European College of Sport Science
Salzburg, Austria 2003.07.11.
- No. 40 楊 景堯 :
副甲状腺機能低下症を呈した透析患者におけるビタミンK2の検討
第6回茨城腎疾患治療研究会(つくば), 9月, 2003
- No. 41 田辺 解, 増田 和実, 平山 暁, 永瀬 宗重, 河野 一郎, 久野 譜也 :
中高齢者における日常身体活動量が抗酸化能力および酸化ストレスに及ぼす影響
-SATプロジェクト117-
第58回日本体力医学会大会(静岡), 9月, 2003
- No. 42 平山 暁, 植田 敦志, 永瀬 宗重, 樗木 隆聡, 小山 哲夫 :
ESRイメージングによる腎抗酸化能変化のin vivo無侵襲定量解析
第15回腎とフリーラジカル研究会(東京), 9月, 2003
- No. 43 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 高田 健治, 小原 真美, 井上真理子, 楊 景堯, 平山 浩一, 青柳 一正, 小山 哲夫 :
虚血再灌流急性腎不全におけるエリスロポエチンの臓器保護効果-ESRイメージングによる検討-
第15回腎とフリーラジカル研究会(東京), 9月, 2003
- No. 44 関 正則, 清水 芳男, 小原 真美, 高田 健治, 楊 景堯, 平山 暁, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 長田 道夫, 小山 哲夫 :
Monoclonal gammopathy with undetermined significance (MGUS)に膜性腎症を合併した一例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 45 平野 優子, 富田 知栄, 後藤 達宏, 下釜 達朗, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
長期CAPD経過中に両側血性胸水を呈した一例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 46 金子 修三, 富田 知栄, 後藤 達宏, 下釜 達朗, 小原 真美, 平山 浩一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
LCDDから腎不全に至り、急速な肝障害の進行を呈した一例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 47 山口 直人, 海老原 至, 樋口富士子, 臼井 丈一, 山縣 邦弘, 小山 哲夫 :
呼吸器系肺炎球菌反復感染症例に発症したループス腎炎の一例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 48 清水 芳男, 平山 浩一, 楊 景堯, 平山 暁, 山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 臼井 丈一, 長田 道夫, 関 正則, 平野 優子, 小山 哲夫 :
COL4A5 NCドメインのalternative splicing variantを認めたAlport症候群の親子例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003

- No. 49 平山 浩一, 清水 芳男, 平山 暁, 楊 景堯, 山縣 邦弘, 永瀬 宗重, 小山 哲夫,
間瀬かおり, 中村日出子, 小林 正貴, 富田 知栄, 後藤 達宏, 山木万里郎,
大場 正二, 早川 正廣, 鈴木 理志:
原発性膜性腎症に対する少量副腎皮質ステロイド薬及びシクロスポリン投与の有効性
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 50 井上真理子, 飯塚 正, 間瀬かおり, 中村日出子, 小林 正貴, 小原 真美, 高田 健治,
菊池 博, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
肉眼的血尿、溶血性貧血を呈した悪性高血圧の一例
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 51 間瀬かおり, 小林 正貴, 中村日出子, 小宮 幸次, 小山 哲夫:
腎所見改善後もANCA値の持続高値を認めたMPO-ANCA関連腎炎の一例:
第33回日本腎臓学会東部学術大会(旭川), 9月, 2003
- No. 52 金子 修三, 富田 知栄, 後藤 達宏, 鈴木 章弘, 田中喜美夫, 山縣 邦弘,
小山 哲夫:
長期透析患者に合併した下肢閉塞性動脈硬化症に対しPTA治療が奏効した一例
第511回日本内科学会関東地方会(東京), 10月, 2003
- No. 53 金子 修三, 富田 知栄, 後藤 達宏, 鈴木 章弘, 田中喜美夫, 山縣 邦弘,
小山 哲夫:
長期血液透析患者の下肢閉塞性動脈硬化症に対しPTA治療が奏効した1例
第25回茨城医学会内科分科会(水戸), 10月, 2003
- No. 54 平山 暁, 永瀬 宗重, 植田 敦志, 樗木 隆聡, 小山 哲夫:
虚血再灌流急性腎不全における臓器還元能変化とエリスロポエチンによる臓器保護効果
のESRイメージング
第42回電子スピンサイエンステクノロジー学会(広島), 11月, 2003
- No. 55 平山 暁, 植田 敦志, 永瀬 宗重, 楊 景堯, 平山 浩一, 小山 哲夫:
ヒト遺伝子組み替えエリスロポエチン(rHuEPO)による虚血再灌流急性腎不全における臓器保護効果 - 電子スピン共鳴画像法(ESRI)による検討 -
第12回腎とエリスロポエチン研究会(東京), 11月, 2003
- No. 56 石崎 和沙, 中埜 貴子, 楊 景堯, 渋谷 和子, 渋谷 彰, 高橋 智:
T-betトランスジェニックマウスの作製と解析
第33回日本免疫学会総会・学術集会(福岡), 12月, 2003
- No. 57 中埜 貴子, 石崎 和沙, 楊 景堯, 渋谷 和子, 渋谷 彰, 高橋 智:
T-bet, GATA-3トランスジェニックマウスにおける好酸球性気道炎症の誘導とその解析
第33回日本免疫学会総会・学術集会(福岡), 12月, 2003

班研究報告

- No. 1 小山 哲夫, 山縣 邦弘, 平山 浩一:
厚生労働省特定疾患対策研究事業 進行性腎障害に関する調査研究
2.急速進行性糸球体腎炎の診療指針
第46回日本腎臓学会学術総会(東京), 5月, 2003

講 演

- No. 1 山縣 邦弘：
腎疾患の予防と早期治療について～新たな人工透析患目指して～
腎不全予防研修会（日立），1月9日，2003
- No. 2 小山 哲夫，山縣 邦弘，平山 浩一，山口 直人，小林 正貴，間瀬かおり：
急速進行性糸球体腎炎の診断と治療
第26回日本医学会（福岡），4月，2003
- No. 3 小山 哲夫：
茨城県における集団検診の現況と問題点～MASS STUDYより～
第6回福島ネフロロジー研究会（郡山），6月7日，2003
- No. 4 山縣 邦弘：
維持透析患者の透析効率とQOL
第8回県南西地区透析研究会（つくば），6月14日，2003
- No. 5 山縣 邦弘：
「粘膜免疫と腎炎、腎疾患」Over View
第4回腎とバイオロジー研究会（東京），7月19日，2003
- No. 6 山縣 邦弘：
慢性腎疾患の早期発見と治療について
下館医師会研修会（下館），7月23日，2003
- No. 7 Tanabe K., Masuda K., Hirayama A., Nagase S., Kono I., Kuno S.：
Effects of spontaneous exercise on antioxidant capacity in rat muscle determined
by electron spin resonance.
The Eighth Annual Congress of the European College of Sport Science 2003
（Salzburg, Austria），6月，2003
- No. 8 平山 暁：
ESRアプリケーションの実際 In vivo ESR法の疾患への応用
日本フリーラジカル学会・電子スピンサイエンス学会
第6回ESRセミナー（東京），8月，2003
- No. 9 永瀬 宗重，平山 暁，小山 哲夫：
血液透析と酸化ストレス
日腎東部会ワークショップ（旭川，北海道），9月，2003
- No. 10 永瀬 宗重：
よりよい人間関係の構築について
水海道中学校講演会（水海道），10月，2003
- No. 11 小山 哲夫：
IgA腎症の抗原を探る
新潟県医師会生涯教育講座・大学院特別講義（新潟），10月2日，2003

- No. 12 Hirayama A., Nagase S., Ueda A., Oteki T., Obara M., Takada K., Inoue M., Yoh K., Hirayama K., Aoyagi K., Koyama A. :
Electron paramagnetic resonance imaging of organ reducing activity in ischemia-reperfusion renal injury.
International Joint Meeting on Food Factors and Free Radicals
in Health & Disease (FFFR2003)
/ Second Joint Meeting of the Society for Free Radical Research Australasia
and the Society for Free Radical Research Japan 2003.12 Kyoto (Invited speaker)
- No. 13 山縣 邦弘:
進行性腎障害の治療戦略-慢性腎炎・糖尿病を中心に-
日立内科医会学術講演会(日立), 11月13日, 2003
- No. 14 山縣 邦弘:
慢性腎疾患の早期発見と治療について
-検診での検尿異常者、腎機能異常者の対処法と診断・治療-
土浦市医師会・県南地区医師会学術講演会
腎不全予防研修会(土浦), 11月18日, 2003
- No. 15 平山 暁, 植田 敦志, 永瀬 宗重, 小山 哲夫:
シンポジウム:電子スピン共鳴(ESR)生物医学研究の最前線
ESRイメージングを用いた虚血再灌流腎障害における臓器還元能変化のin vivo計測
第18回日本フリーラジカル学会関東部会(横浜), 12月, 2003
(Invited speaker)
- その他
- No. 1 山縣 邦弘:
名医のベストセラピー 急速進行性糸球体腎炎など
週刊朝日 5月30日号 108(23):120-122, 2003
- No. 2 山縣 邦弘, 小山 哲夫:
座談「当院での悪性高血圧の総括」
第34回茨城腎研究会(水戸), 6月, 2003
- No. 3 平山 浩一, 小山 哲夫:
座談「慢性糸球体腎炎患者に対する低用量ARBの腎保護作用の検討」
第34回茨城腎研究会(水戸), 6月, 2003
- No. 4 下条 文武, 中本 秀友, 山縣 邦弘, 長沢 正樹, 寺脇 博之:
座談会「PD導入セレクションについて」
CAPD Trend Review6月臨時増刊号, 2003
- No. 5 永瀬 宗重:
第17回国際腎臓学会議リポート
T-webs 7月15日, 2003
- No. 6 山縣 邦弘:
座談会「高血圧患者の合併症を予防するには」
日経メディカル11月号(東京)8月, 2003

2003年(代謝内分泌内科グループ)

原 著

- No . 1 Sone H , Ito H , Ohashi Y , Akanuma Y , Yamada N :
for the Japan Diabetes Complication Study Group :
Obesity and type 2 diabetes in Japanese patients.
Lancet 361 : 85 , 2003
- No . 2 Yamada N :
Telomere Shortening, Atherosclerosis, and Metabolic Syndrome.
Internal Medicine 42 : 135-136 , 2003
- No . 3 Daida H , Ouchi Y , Saito Y , Yamada N , Nishide T , Mokuno H , Kurata T , Sato H ,
Eto M , Ako J , Tango T , Yamaguchi H ,
for the Coronary Atherosclerosis and Lipid Research Group :
Preventing Angiographic Progression of Coronary Atherosclerosis with
Pravastatin.
J Atheroscler Thromb 10 : 25-31 , 2003
- No . 4 Ma J , Nakajima T , Iida H , Iwasawa K , Terasawa K , Oonuma H , Jo T , Morita T ,
Imuta H , Suzuki J , Hirose K , Okuda Y , Yamada N , Nagai R , Omata M :
Inhibitory effects of ursodeoxycholic acid on the induction of nitric oxide synthase
in vascular smooth muscle cells.
Eur J Pharmacol 464 : 79-86 , 2003
- No . 5 (Tada) Iida K , Kawakami Y , Suzuki M , Shimano H , Toyoshima H , Sone H ,
Shimada K , Iwama Y , Watanabe Y , Mokuno H , Kamata K , Yamada N :
Effect of thiazolidinediones and metformin on LDL oxidation and aortic
endothelium relaxation in diabetic GK rats.
Am J Physiol Endocrinol Metab 284 : E1125-E1130 , 2003
- No . 6 Yoshikawa T , Ide T , Shimano H , Yahagi N , Amemiya-Kudo M , Matsuzaka T ,
Yatoh S , Kitamine T , Okazaki H , Tamura Y , Sekiya M , Takahashi A , Hasty AH ,
Sato R , Sone H , Osuga J , Ishibashi S , Yamada N :
Cross-talk between peroxisome proliferator activated receptor(PPAR) nutritional
regulation of fatty acid metabolism. PPARs suppress sterol promoter through
inhibition of LXR signaling.
Mol Endocrinol 17 : 1240-1254 , 2003
- No . 7 Ide T , Shimano H , Yoshikawa T , Yahagi N , Amemiya-Kudo M , Matsuzaka T ,
Nakakuki M , Yatoh S , Iizuka Y , Tomita S , Ohashi K , Takahashi A , Sone H ,
Gotoda T , Osuga J , Ishibashi S , Yamada N :
Cross-talk between peroxisome proliferator activated receptor(PPAR) nutritional
regulation of fatty acid metabolism. II. LXRs suppress lip inhibition of PPAR
signaling.
Mol Endocrinol 17 : 1255-1267 , 2003

- No . 8 Yahagi N , Shimano H , Matsuzaka T , Najima Y , Sekiya M , Nakagawa Y , Ide T , Tomita S , Okazaki H , Tamura Y , Iizuka Y , Ohashi K , Gotoda T , Nagai R , Kimura S , Ishibashi S , Osuga J , Yamada N :
p53 activation in adipocytes of obese mice.
J Biol Chem 278(28) : 25395-25400 , 2003
- No . 9 Sone H , Akanuma Y , Yamada N , JDC Study Group.
Reply to Clement et al.--Still a Chance for Diabetes Education--
Hormone and Metabolic Research 35 : 334-335 , 2003
- No . 10 Sone H , Shimano H , Ebinuma H , Takahashi A , Yano Y , (Tada) Iida K , Suzuki H , Toyoshima H , Kawakami Y , Okuda Y , Noguchi Y , Ushizawa K , Saito K , Yamada N.
Physiological Changes in Circulating Mannose Levels in Normal , Glucose-Intolerant , and Diabetic Subjects.
Metabolism 52 : 1019-1027 , 2003
- No . 11 Chisaki K , Okuda Y , Suzuki S , Miyauchi T , Soma M , Ohkoshi N , Sone H , Yamada N , Nakajima T.
Eicosapentaenoic Acid Suppresses Basal and Insulin-Stimulated Endothelin-1 Production in Human Endothelial Cells.
Hypertens Res 26 : 655-61 , 2003
- No . 12 Matsumoto M , Ogawa W , Akimoto K , Inoue H , Miyake K , Furukawa K , Hayashi Y , Iguchi H , Matsuki Y , Hiramatsu R , Shimano H , Yamada N , Ohno S , Kasuga M , Noda T :
PKC λ in liver mediates insulin-induced SREBP-1c expression and determines both hepatic lipid content and overall insulin sensitivity.
J Clin Invest 112 : 935-944 , 2003
- No . 13 Ohashi K , Osuga J , Tozawa R , Kitamine T , Yagyu H , Sekiya M , Tomita S , Okazaki H , Tamura Y , Yahagi N , Iizuka Y , Harada K , Gotoda T , Shimano H , Yamada N , Ishibashi S.
Early Embryonic Lethality Caused by Targeted Disruption of the 3-Hydroxy-3-methylglutaryl-CoA Reductase Gene.
J Biol Chem 278 : 42936-42941 , 2003
- No . 14 Sekiya M , Yahagi N , Matsuzaka T , Najima Y , Nakakuki M , Nagai R , Ishibashi S , Osuga J , Yamada N , Shimano H :
Polyunsaturated Fatty Acids Ameliorate hepatic Steatosis in Obese Mice by SREBP-1 Suppression.
Hepatology 38 : 1529-1539 , 2003
- No . 15 Yokoo T , Toyoshima H , Miura M , Yuhui Wang , (Tada) Iida K , Suzuki H , Sone H , Shimano H , Gotoda T , Nishimori S , Tanaka K , Yamada N :
p57Kip2 Regulates Actin Dynamics by Binding and Translocating LIM-kinase 1 to the Nucleus.
J Biol Chem 278 : 52919-52923 , 2003

- No . 16 Ono H , Shimano H , Katagiri H , Yahagi N , Sakoda H , Onishi Y , Anai M , Ogihara T , Fujishiro M , Viana AY , Fukushima Y , Abe M , Shojima N , Kikuchi M , Yamada N , Oka Y , Asano T :
Hepatic Akt activation induces marked hypoglycemia , hepatomegaly , and hypertriglyceridemia with sterol regulatory element binding protein involvement.
Diabetes 52 : 2905-2913 , 2003
- No . 17 Kajihara M , Sone H , Amemiya M , Katoh Y , Isogai M , Shimano H , Yamada N , Takahashi S :
Mouse MafA , homologue of zebrafish somite Maf 1 , contributes to the specific transcriptional activity through the insulin promoter.
Biochem Biophys Res Commun 312 : 831-842 , 2003
- No . 18 Ikewaki K , Mabuchi H , Teramoto T , Yamada N , Oikawa S , Sasaki J , Takata K , Saito Y , Japan CETP Study Group.
Association of cholesteryl ester transfer protein activity and TaqIB polymorphism with lipoprotein variations in Japanese subjects.
Metabolism 52 : 1564-1570 , 2003
- No . 19 河合 伸念 , 堀 孝文 , 朝田 隆 , 鈴木 浩明 :
薬物治療中に清涼飲料水の多飲から著しい高血糖を来した統合失調症の1例
精神医学 45 : 87-89 , 2003
- No . 20 Matsuzaka T , Shimano H , Yahagi N , Yoshikawa T , Amemiya-Kudo M , Hasty AH , Okazaki H , Tamura Y , Iizuka Y , Ohashi K , Osuga J , Takahashi A , Yato S , Sone H , Ishibashi S , Yamada N :
Cloning and characterization of a mammalian fatty acyl-CoA elongase as a lipogenic enzyme regulated by SREBPs.
J Lipid Res 43(6) : 911-20 , 2002
- No . 21 Tamura Y , Adachi H , Osuga J , Ohashi K , Yahagi N , Sekiya M , Okazaki H , Tomita S , Iizuka Y , Shimano H , Nagai R , Kimura S , Tsujimoto M , Ishibashi S :
FEEL-1 and FEEL-2 are endocytic receptors for advanced glycation end products.
J Biol Chem 278 : 12613-7 , 2003
- No . 22 Misawa K , Horiba T , Arimura N , Hirano Y , Inoue J , Emoto N , Shimano H , Shimizu M , Sato R :
Sterol regulatory element-binding protein-2 interacts with hepatocyte nuclear factor-4 to enhance sterol isomerase gene expression in hepatocytes.
J Biol Chem 278 : 36176-82 , 2003
- No . 23 Misawa K , Horiba T , Arimura N , Hirano Y , Inoue J , Emoto N , Shimano H , Shimizu M , Sato R :
Sterol regulatory element-binding protein-2 interacts with hepatocyte nuclear factor-4 to enhance sterol isomerase gene expression in hepatocytes.
J Biol Chem 278 : 36176-82 , 2003

総 説

- No. 1 山田 信博：
糖尿病患者の高脂血症
内科 91(1)：111-114，2003
- No. 2 山田 信博：
生活習慣の改善
肥満と糖尿病 2(1)：7-9，2003
- No. 3 曽根 博仁，山田 信博，JDCSグループ：
介入試験の企画と実際-JDCS-
The Lipid 14(1)：76-82，2003
- No. 4 曽根 博仁，水野佐智子，大橋 靖雄，赤沼 安夫，山田 信博，JDCSグループ：
日本の2型糖尿病患者における動脈硬化性疾患の発症頻度と危険因子-JDCSの中間結果より-
JAPF（日本動脈硬化予防研究基金） 2(2)：74-78，2003
- No. 5 山田 信博：
糖尿病診療の立場から
臨床栄養 102(1)：27-30，2003
- No. 6 曽根 博仁，山田 信博：
高齢者の内分泌体系はどうあるべきか
総合臨牀 52(2)：251-253，2003
- No. 7 山田 信博：
高脂血症の病型とその診断
Medical Practice 20(1)：16-20，2003
- No. 8 曽根 博仁，水野佐智子，大橋 靖雄，齋藤 康，井藤 英喜，吉村 幸雄，山下 英俊，
清野 弘明，松岡 健平，山崎 義光，片山 茂裕，赤沼 安夫，山田 信博，
JDCSグループ：
Japan Diabetes Complications Study（JDCS）の中間報結果
Diabetes Frontier 14(4)：445-450，2003
- No. 9 山田 信博：
高トリグリセリド
Progress in Medicine 23(1)：31-34，2003
- No. 10 鈴木 誠司，山田 信博：
糖尿病による動脈硬化症発症のメカニズム-生化学的観点から-
Angiology Frontier 2(1)：1-5，2003
- No. 11 赤沼 安夫，齋藤 康，山田 信博：
糖尿病と動脈硬化（座談会）
動脈硬化予防 別冊 2(1)：62-74，2003
- No. 12 杉本 孝示，山田 信博：
糖尿病患者における高脂血症をどう管理するか
medicina 40(3)：474-476，2003

- No. 13 小林 和人, 山田 信博 :
 高血圧・高脂血症・高尿酸血症の診断およびガイドライン
 Diabetes Journal 31(1) : 4-29, 2003
- No. 14 山田 信博, 代田浩之, 野出孝一, 富永真琴 :
 食後高血糖と大血管障害 (座談会)
 Mebio 5月別冊 : 4-23, 2003
- No. 15 曾根 博仁, 山田 信博 :
 JDCSの中間解析結果を教えてください
 Mebio 5月別冊 : 158-159, 2003
- No. 16 浅野 道子, 山田 信博 :
 Multiple Risk Factor 症候群における耐糖能異常の意味
 Heart View 7(5) : 16-21, 2003
- No. 17 鈴木 誠司, 山田 信博 :
 糖尿病治療ガイドライン
 BIO Clinica 18(5) : 411-416, 2003
- No. 18 山田 信博 :
 糖尿病の動脈硬化症へのアプローチ
 日本内科学会雑誌 92 (臨増) : 90, 2003
- No. 19 小林 和人, 島野 仁, 山田 信博 :
 遺伝子異常による脂肪組織の変化
 ホルモンと臨床 51(4) : 303-312, 2003
- No. 20 山田 信博 :
 動脈硬化の予防と治療の効果
 暮らしと健康 58(6) : 24-26, 2003
- No. 21 山田 信博 :
 糖尿病と虚血性心疾患
 日本臨床 61 (増5) : 884-887, 2003
- No. 22 山田 信博 :
 糖尿病における最大の死因・動脈硬化症とその対策
 ゆうゆう糖尿病 June : 34-35, 2003
- No. 23 大垣 聡子, 山田 信博 :
 Atherogenic lipoprotein
 内科 91(6) : 1423-1424, 2003
- No. 24 大垣 聡子, 山田 信博 :
 脂質代謝と転写因子
 内科 91(6) : 1425-1426, 2003
- No. 25 大垣 聡子, 山田 信博 :
 ミクロソームトリグリセリド転送タンパク (MTP)
 内科 91(6) : 1427, 2003

- No. 26 大垣 聡子, 山田 信博 :
 コレステロールエステル転送タンパク (CETP)
 内科 91(6) : 1428 , 2003
- No. 27 山田 信博 :
 日本人における肥満と2型糖尿病
 COMPLICATION-糖尿病と血管 8(1) : 71 , 2003
- No. 28 山田 信博 :
 2型糖尿病における視力障害を伴う網膜症の発症率 : Liverpool Diabetic Eye Study
 COMPLICATION-糖尿病と血管 8(1) : 72 , 2003
- No. 29 島野 仁, 山田 信博 :
 糖尿病患者さんにおける高脂血症
 ゆうゆう糖尿病 July : 34-35 , 2003
- No. 30 山田 信博 :
 「生活習慣病としての高脂血症発症の分子生物学」-特集; ガイドラインに基づく生活
 習慣病の診療戦略-高脂血症-
 Atherothrombosis (メジカルセンス) 6(2) : 1-4 , 2003
- No. 31 曾根 博仁, 山田 信博, 井藤 英喜 :
 高齢者糖尿病の大規模研究とは ?
 肥満と糖尿病 2(4) : 40-42 , 2003
- No. 32 曾根 博仁, 赤沼 安夫, 山田 信博, JDCSグループ :
 「糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究 (Japan Diabetes
 Complications Study; JDCS)」の中間報告
 内分泌・糖尿病科 16(6) : 575-581 , 2003
- No. 33 大垣 聡子, 曾根 博仁, 小林 和人, 高橋 昭光, 鈴木 浩明, 豊島 秀男, 島野 仁,
 山田 信博 :
 低カルシウム血症をきたしたサルコイドーシスの症例 (臨床クイズ(問題))
 内科専門医会誌 15(2) : 313-314 , 2003
- No. 34 山田 信博 :
 糖尿病治療における進歩
 bios (ビオス) 8(3) : 7-8 , 2003
- No. 35 山田 信博 :
 糖尿病
 薬局 54(8) : 2271-2276 , 2003
- No. 36 山口 巖, 山田 信博, 前野 哲博 :
 協力してくれる病院と共に研修レベルを向上していく “ 1県1医大地区 ” のモデルにな
 る可能性も
 Teaching Hospital Now 8.9月号 : 4-5 , 2003
- No. 37 五島 雄一郎, 齋藤 康, 山田 信博 :
 動脈硬化性疾患へのアプローチ : 新たなステージへ (座談会)
 Pharma Medica 21(8) : 81-90 , 2003

- No. 38 寺本 民生, 島本 和明, 山田 信博 :
 高血圧患者のリスク管理-ASCOT-LLA、ALLHA-LLTなどのエビデンスに基づいて-
 JAMA 24(8) : 60-65, 2003
- No. 39 山田 信博, 羽田 勝計, 吉岡 成人, 大須賀 淳一 :
 糖尿病合併症の診療 (座談会)
 MEDICO 34(9) : 329-330 335-347, 2003
- No. 40 山田 信博, Ricchard Hobbs, 山下 静也 :
 今, 新たにスタチン系薬剤に求められる大規模臨床試験とは How Should the RCT
 Taking Statins, Be Designed? (Round Table Discussion)
 The Circulation Frontiers 7(3) : 5-16, 2003
- No. 41 大垣 聡子, 曾根 博仁, 大谷 明夫, 鈴木 浩明, 豊島 秀男, 島野 仁, 山口 高史,
 山田 信博 :
 著明な胆汁うっ滞型肝障害を伴ったバセドウ病の一例
 日本内分泌学会雑誌 79(Suppl. Sep) : 33-36, 2003
- No. 42 鈴木 浩明, 山田 信博 :
 血清リポタンパク分画の測定
 内科診療Q&A 36 : 1058-1061, 2003
- No. 43 川上 康, 山田 信博 :
 肥満の動脈硬化性疾患に対する危険度
 動脈硬化予防 2(3) : 7-42, 2003
- No. 44 吉池 信男, 船橋 徹, 山田 信博 :
 わが国における肥満の動向 (座談会)
 動脈硬化予防 2(3) : 68-80, 2003
- No. 45 山田 信博 :
 糖尿病の動脈硬化症へのアプローチ
 日本内科学会雑誌 92(9) : 205-208, 2003
- No. 46 山田 信博 :
 マルチプルリスクファクターとスタチン
 興和医報 No. 3 : 48-51, 2003
- No. 47 山田 信博 :
 動脈硬化症-分子生物学的アプローチ
 脈管学 43(9) : 429, 2003
- No. 48 山田 信博 :
 オーバービュー JDCSの中間解析も踏まえた最近の動向
 現代医療 35(増IV) : 2640-2646, 2003
- No. 49 石橋 俊, 武城 英明, 山田 信博 :
 高脂血症をどうするか
 今月の治療 11(12) : 3-20, 2003
- No. 50 山田 信博, 菊池 浩子 :
 高脂血症診療のターゲット
 今月の治療 11(12) : 65-68, 2003

- No. 51 鈴木 浩明, 山田 信博 :
糖尿病に合併した脂質代謝異常の治療
医学のあゆみ 207(9) : 779-783, 2003
- No. 52 山田 信博, 菊池 浩子 :
アルトバスタチンの特徴とその使い方
成人病と生活習慣病 33(1) : 1388-1392, 2003
- No. 53 山田 信博 :
代謝系疾患ー高脂血症、糖尿病ー
MEDICAL DIGEST 52(6) : 29-36, 2003
- No. 54 田嶋 尚子, 梯章弘, 北野 滋彦, 山田 信博 :
糖尿病と眼ー内科医と眼科医の連携ー
COMPLICATION-糖尿病と血管 8(2) : 169-179, 2003
- No. 55 曽根 博仁, 赤沼 安夫, 山田 信博, JDCSグループ :
基礎から臨床のトピックス JDCS (Japan Diabetes Complications Study)
日本医師会雑誌 特別号 130(8) : S95, 2003
- No. 56 山田 信博 :
糖尿病性大血管障害
日本血栓止血学会誌 14(5) : 376, 2003
- No. 57 山田 信博 :
虚血性心疾患予防のための糖尿病管理
Atherothrombosis 6(3) : 21-24, 2003
- No. 58 山田 信博 :
糖尿病性マイクロアンギオオパシー
内科診療Q&A (六法出版) 37号 : 184-185, 2003
- No. 59 藤田 利枝, 山田 信博 :
高脂血症
Medical Practice 20(9) : 1500-1502, 2003
- No. 60 横出 正之, 大須賀淳一, 山田 信博 :
健診、ドック、診療における血液脂質異常にどう対応するか (座談会)
動脈硬化予防 2(4) : 68-77, 2003
- No. 61 曽根 博仁, 赤沼 安夫, 山田 信博, JDCSグループ :
日本人糖尿病患者における動脈硬化性疾患の現状 : JDCSより
糖尿病 46(12) : 903-906, 2003
- No. 62 曽根 博仁, 山田 信博 :
過食が原因ですか? (Q&A)
肥満と糖尿病 2(6) : 92-94, 2003
- No. 63 山田 信博, 岡芳知, 河盛 隆造 :
体質と環境 (座談会)
肥満と糖尿病 2(6) : 144-159, 2003

- No. 64 関根 弘和、田中 喜代次、重松 良祐、曾根 博仁、平賀 陽子：
食事指導と自覚的運動強度を用いたトレッドミル歩行の組み合わせが2型糖尿病患者の健康・体力水準に及ぼす影響
理学療法ジャーナル37：257-260，2003
- No. 65 曾根 博仁，水野佐智子，片桐あかね，大橋 靖雄，赤沼 安夫，山田 信博，
JDCSグループ
強力なライフスタイル介入による2型糖尿病コントロールの試み-長期の血糖コントロールに關与する因子の解析-
内科専門医会誌15：582-588，2003
- No. 66 曾根 博仁，山田 信博：
糖尿病における高脂血症の原因遺伝子-Angiopoietin-like protein 3 (Angptl3)
BioClinica 18(1)：82-85，2003
- No. 67 曾根 博仁，斎藤 和典，山田 信博：
食後高脂血症の意義と評価
M e b i o 20：111-115，2003
- No. 68 曾根 博仁，山田 信博，JDCSグループ：
JDCS(Japan Diabetes Complications Study)から学ぶもの
Atherothrombosis 17：12-18，2003
- No. 69 曾根 博仁，山田 信博：
専門医の診療から学ぶ治療と予防．糖尿病の大規模臨床試験 Japan Diabetes Complications Study (JDCS)
ゆうゆう糖尿病8月号：34-35，2003
- No. 70 曾根 博仁，井藤 英喜，山田 信博：
「高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究」について
Aging & Health 12：34-35，2003
- No. 71 曾根 博仁，水野佐知子，大橋 靖雄，齋藤 康，井藤 英喜，山崎 義光，赤沼 安夫，
山田 信博，JDCSグループ
日本の2型糖尿病患者における大血管合併症の現状について-Japan Diabetes Complications Study (JDCS)の中間結果より-
Diabetes Frontier 14：588-592，2003
- No. 72 曾根 博仁，山田 信博：
副腎髓質と糖・脂質代謝
内分泌・糖尿病科17：450-454，2003
- No. 73 室井 愛，高野 晋吾，能勢 忠男，鈴木 浩明：
心不全で発症したGH産生下垂体腺腫の1例
第1回東京アクロメガリーフォーラム記録集：4-5，2003
- No. 74 高橋 昭光，山田 信博：
脂質代謝と糖尿病合併症
現代医療 35(9)：93(2161)-98(2166)，2003

- No. 75 島野 仁：
 栄養と脂質代謝関連転写因子，栄養，評価と治療
 メディカルレビュー社19 (2):75-80，2003
- No. 76 島野 仁：
 SREBPシステムと動脈硬化，ゲノム医学
 メディカルレビュー社 (6):9-16，2003
- No. 77 島野 仁：
 マクロファージ動脈硬化と転写因子，治療学
 ライフサイエンス出版 37(4):43-47，2003
- No. 78 島野 仁：
 PPAR α ， γ と動脈硬化 動脈硬化予防
 メディカルレビュー社 2(4):108-111，2003
- No. 79 島野 仁：
 糖尿病と血管障害について，スズケンメディカル
 ライフメディコム 6(3):15，2003
- No. 80 島野 仁：
 エネルギー代謝転写調節因子のクロストーク
 内分泌・糖尿病科科学評論社17(6):604-610，2003
- No. 81 島野 仁：
 インスリン抵抗性と動脈硬化，現代医療
 現代医療社 35:25-34，2003
- No. 82 島野 仁：
 糖尿病患者の高脂血症治療，Medico
 千代田開発株式会社 34 (9):5-8，2003
- No. 83 島野 仁，山田信博：
 Excerpta Medica Newsletter，合併症の治療、大血管症
 Diabetetes Therapy 24:17-20，2003
- 著 書
- No. 1 村上 透，山田 信博：
 糖尿病治療薬／抗高脂血症薬・肥満治療薬，「メディクイックブック 第1部 患者さん
 によくわかる薬の説明 2003年版」(水島裕監修)
 金原出版，東京，pp.335，337，340，342，343，344，345，347，351，2003
- No. 2 山田 信博：
 はじめに「別冊NHKきょうの健康 高脂血症 血液ドロドロを治す」(山田 信博 総
 監修)
 日本放送出版協会，東京，pp.4，2003
- No. 3 山田 信博：
 高脂血症はなぜ怖い？「別冊NHKきょうの健康 高脂血症 血液ドロドロを治す」(山
 田 信博 総監修)
 日本放送出版協会，東京，pp.22-32，2003

- No. 4 山田 信博：
薬を使った治療「別冊NHKきょうの健康 高脂血症 血液ドロドロを治す」(山田 信博 総監修)
日本放送出版協会，東京，pp.102-113，2003
- No. 5 大橋 健，山田 信博：
代謝性疾患，「臨床検査ガイド2003-2004」(Medical Practice 編集委員会)
文光堂，東京，pp.43-48，2003
- No. 6 山田 信博：
動脈硬化(循環器疾患の主要病態)，「内科学」第八版(杉本恒明，小俣政男，水野美邦総編集)
朝倉書店，東京，pp.500-503，2003
- No. 7 曾根 博仁，赤沼 安夫，山田 信博，JDCSグループ：
Japan Diabetes Complications Study (JDCS) の中間報告，分子糖尿病学の進歩-基礎から臨床まで-2003(矢崎義雄監修)
金原出版，東京，pp.169-175，2003
- No. 8 山田 信博：
高脂血症，実地医家のための糖尿病合併症 診断・治療ハンドブック(繁田 幸男 監修)
エルゼビア・ジャパン株，東京，pp.180-188，2003
- No. 9 曾根 博仁，山田 信博：
内科的な治療の戦略(糖尿病網膜症の治療)糖尿病網膜症-専門医によるベストアドバイス(山下 英俊，川崎 良 編集)
診断と治療社，東京，pp.87-95，2003
- No. 10 寺本 民生，山田 信博：
序，「高脂血症診療ガイドンス」(寺本 民生，山田 信博 編集)
メジカルビュー社，東京，pp.3，2003
- No. 11 山田 信博：
生活習慣病としての高脂血症の治療指針，「高脂血症診療ガイドンス」(寺本 民生，山田 信博 編集)
メジカルビュー社，東京，pp.52-57，2003
- No. 12 山田 信博：
代謝疾患の治療の動向，今日の治療指針2003年版(Vol.45)(山口 徹，北原 光夫 総編)
医学書院，東京，pp.473，2003
- No. 13 山田 信博：
糖尿病合併の高脂血症管理は？，「HMG-CoA還元酵素阻害剤 Q&A」(寺本 民生 編集)
医薬ジャーナル社，大阪，pp.59-62，2003

- No. 14 鈴木 浩明, 山田 信博:
虚血性心疾患, 「糖尿病診療マニュアル」(村勢 敏郎, 岩本 安彦, 春日 雅人, 吉川 隆一, 小林 正, 田嶋 尚子 監修編集)
日本医師会雑誌特別号, pp.S274-S277, 2003
- No. 14 山田 信博, 石橋 俊, 代田 浩之:
序文, 「NAVIGATOR 高脂血症ナビゲーター」(山田 信博, 石橋 俊, 代田 浩之 編集)
メディカルレビュー社, 東京, 2003
- No. 15 鈴木 浩明, 山田 信博:
高脂血症, 「外来診療のすべて」改訂第3版(高久 史磨 総監修)
Medical View, 東京, pp.736-737, 2003
- No. 16 山田 信博:
心臓(III.合併症、1.糖尿病合併症の成因), 「糖尿病 予防と治療のストラテジー」(堀田 饒 監修)
名古屋大学出版会, 愛知, pp.183-191, 2003
- No. 17 山田 信博:
糖尿病における動脈硬化症, 「内科学」 2分冊版[I](黒川 清, 松澤 佑次 編集主幹)
文光堂, 東京, pp.1041-1044, 2003
- No. 18 曽根 博仁, 山田 信博, 赤沼 安夫, 水野佐智子, 大橋 靖雄, JDCSグループ:
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究(Japan Diabetes Complications Study; JDCS), 糖尿病学の進歩 2003(日本糖尿病学会編)
診断と治療社, 東京, pp.184-189, 2003
- No. 19 山田 信博:
高脂血症, 「循環器疾患治療スタンダード2004-2005」(田邊 晃久 編集)
今月の治療第11巻 臨時増刊号, 総合医学社, 東京, pp.S316-S320, 2003
- No. 20 曽根 博仁:
運動療法, 高脂血症ナビゲーター(山田 信博 他編)
メディカルレビュー社, 東京, pp.282-283, 2003
- No. 21 曽根 博仁, 大橋 靖雄, 山田 信博, JDCSグループ
2型糖尿病患者の長期血糖コントロール予後におけるライフスタイル介入の影響 -Japan Diabetes Complications Study (JDCS) 中間報告データの解析より-
明治生命厚生事業団健康医科学研究助成論文集第13号, pp.55-62, 2003
- No. 22 曽根 博仁, 赤沼 安夫, 山田 信博, JDCSグループ
Japan Diabetes Complications Study (JDCS), 糖尿病診療マニュアル, (村瀬 敏郎 他監修、日本医師会編)
日本医師会雑誌特別号, pp.S95, 2003
- No. 23 飯田 薫子, 鈴木 浩明:
性分化の異常, ハリソン内科学, 原著第15版(翻訳)
メディカル・サイエンス・インターナショナル社,
東京, pp.2229-2249(2224-2249), 2003

- No. 24 鈴木 浩明：
多内分泌腺に影響を及ぼす疾患，ハリソン内科学，原著第15版（翻訳）
メディカル・サイエンス・インターナショナル社，
東京，pp.2242-2249，2003
- No. 25 鈴木 浩明，山田 信博：
高脂血症の病態生理：リポタンパク代謝，受容体，脂質転送タンパク質．最新医学別冊．新しい診断と治療のABC13．代謝1．高脂血症（山下 静也 編）
最新医学社，大阪，pp.57-67，2003
- No. 26 鈴木 浩明，山田 信博：
血清遊離脂肪酸分画測定の意義，内科診療Q&A，第36号
六法出版社，名古屋，pp.1062-1063，2003
- No. 27 島野 仁：
肥満とエネルギー代謝，Annual Review内分泌、代謝（金澤 康德 他編）
中外医学社，東京，pp.112-116，2003

学会発表

- No. 1 大垣 聡子，鈴木 浩明，曽根 博仁，豊島 秀男，島野 仁，山口 高史，山田 信博：
肝障害とDICを伴ったバセドウ病の一例
第3回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会（東京），2月，2003
- No. 2 山田 信博
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究（Japan Diabetes Complication Study）（シンポジウム）
第37回糖尿病学の進歩－チームで闘う糖尿病－（神戸），2月，2003
- No. 3 石川 まゆみ，大垣 聡子，豊島 秀男，鈴木 浩明，曽根 博仁，島野 仁，
山田 信博
ホルモン負荷試験の解釈が困難であった成長ホルモン高値の一例
第13回臨床内分泌代謝Update（東京），3月，2003
- No. 4 山田 信博
糖尿病と循環器疾患-Diabetes and Cardiovascular Diseases-（Morning Lecture）
第67回日本循環器学会・学術集会（福岡），3月，2003
- No. 5 山田 信博
日本における真のハイリスク患者とは？
-Who is at Risk for Atherosclerotic Disease?-（Luncheon Seminar）
第67回日本循環器学会・学術集会（福岡），3月，2003
- No. 6 山田 信博
糖尿病の動脈硬化へのアプローチ（教育講演）
第100回日本内科学会講演会（福岡），4月，2003
- No. 7 山田 信博
糖尿病と高脂血症（クリニカルアワー3 内分泌異常による高脂血症）
第76回日本内分泌学会学術総会（横浜），5月，2003

- No. 8 豊島 秀男、飯田 薫子、鈴木 浩明、曽根 博仁、島野 仁、山田 信博：
骨芽細胞においてp57KIP2はLIM kinase1 と結合し、細胞骨格を制御する
第76回日本内分泌学会学術総会（横浜），5月，2003
- No. 9 高橋 昭光，島野 仁，中川 嘉，飯田 薫子，小林 和人，豊島 秀男，鈴木 浩明，
曽根 博仁，山田 信博：
PEPCK-SREBP-1a transgenic mouse におけるインスリン抵抗性
第76回日本内分泌学会学術総会（横浜），5月，2003
- No. 10 横田 千津子，奥田 諭吉，山田 信博，椎貝 達夫，片山 茂裕：
糖尿病腎症と血中ホモシスチン・Lp(a)濃度について
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 11 三浦 光弘，豊島 秀男，飯田 薫子，鈴木 浩明，曽根 博仁，島野 仁，山田 信博：
血管内皮細胞死と細胞周期
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 12 富田 佐智子，大須賀 淳一，岡崎 啓明，関谷 元博，田村 嘉章，飯塚 陽子，
矢作 直也，大橋 健，島野 仁，山田 信博，石橋 俊，木村 哲：
アデノウィルスを用いたホルモン感受性リパーゼ(HSL)過剰発現の脂肪肝への影響
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 13 日下 貴子，後藤田 貴也，太田 陽子，岩橋 朝子，飯塚 陽子，大須賀 淳一，
石橋 俊，島野 仁，山田 信博，岩本 安彦：
 α -トコフェロール転送蛋白質（ α -TTP）遺伝子の機能的多型の同定と解析
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 14 小野 啓，島野 仁，矢作 直也，荻原 健英，片桐 秀樹，迫田 秀之，菊池 方利，
山田 信博，浅野 知一郎：
活性型Aktを肝に発現させたマウスの糖，脂質代謝の解析
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 15 高橋 昭光，島野 仁，中川 嘉，井出 智広，飯田 薫子，小林 和人，鈴木 将玄，
大垣 聡子，斉藤 和美，石川 まゆみ，三浦 光弘，杉本 孝示，鈴木 浩明，
豊島 秀男，曽根 博仁，山田 信博：
Sterol regulatory element binding protein 1(SREBP-1) トランスジェニックマウス
におけるインスリン抵抗性
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 16 井出 智広，島野 仁，中川 嘉，高橋 昭光，鈴木 浩明，曽根 博仁，豊島 秀男，
山田 信博：
SREBPは肝臓のIRS-2を介するインスリンシグナルを抑制する
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003
- No. 17 田村 嘉章，安達 栄樹，大須賀 淳一，大橋 健，関谷 元博，富田 佐智子，
岡崎 啓明，飯塚 陽子，矢作 直也，島野 仁，山田 信博，永井 良三，辻本 雅文，
石橋 俊，木村 哲：
血管内皮細胞の新規スカベンジャー受容体FEEL-1，FEEL-2はAGE受容体である
第46回日本糖尿病学会年次学術集会（富山），5月，2003

- No. 18 曾根 博仁, 井藤 英喜, 山下 英俊, 齋藤 康, 片山 茂裕, 矢島 義忠, 阿部 隆三, 大橋 靖雄, 赤沼 安夫, 山田 信博,
Japan Diabetes Complication Study(JDCS)グループ:
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する調査(Japan Diabetes Complication Study; JDCS)の中間報告
第46回日本糖尿病学会年次学術集会(富山), 5月, 2003
- No. 19 関谷 元博, 大須賀 淳一, 岡崎 啓明, 富田 佐智子, 田村 嘉章, 飯塚 陽子, 矢作 直也, 大橋 健, 島野 仁, 山田 信博, 石橋 俊, 木村 哲:
ホルモン感受性リパーゼ(HSL)遺伝子欠損はob/obマウスの体重増加を抑制する
第46回日本糖尿病学会年次学術集会(富山), 5月, 2003
- No. 20 矢作 直也, 島野 仁, 関谷 元博, 富田 佐智子, 岡崎 啓明, 田村 嘉章, 飯塚 陽子, 大橋 健, 後藤田 貴也, 石橋 俊, 山田 信博, 大須賀 淳一, 木村 哲:
肥満マウス(ob/obマウス)脂肪細胞におけるp53の活性化
第46回日本糖尿病学会年次学術集会(富山), 5月, 2003
- No. 21 岡崎 啓明, 大須賀 淳一, 矢作 直也, 富田 佐智子, 関谷 元博, 田村 嘉章, 飯塚 陽子, 大橋 健, 原田 賢治, 後藤田 貴也, 島野 仁, 山田 信博, 石橋 俊, 木村 哲:
ホルモン感受性リパーゼの欠損はレプチン抵抗性を来す
第46回日本糖尿病学会年次学術集会(富山), 5月, 2003
- No. 22 後藤田貴也, 飯塚 陽子, 加藤 規弘, 山田 信博, Vimal Kapoor:
SHRの高血圧とインスリン抵抗性の原因候補遺伝子KAT-1
第40回日本臨床分子医学会学術総会(東京), 7月, 2003
- No. 23 後藤田 貴也, 飯塚 陽子, 大須賀 淳一, 岡崎 啓明, 島野 仁, 石橋 俊, 岩本 安彦, 山田 信博:
高血圧自然発症ラット(SHR)における高血圧とインスリン抵抗性症候群の原因候補遺伝子の解析
第35回日本動脈硬化学会総会(京都), 9月, 2003
- No. 24 富田 佐智子, 大須賀 淳一, 岡崎 啓明, 関谷 元博, 矢作 直也, 岡崎 三代, 島野 仁, 山田 信博, 石橋 俊, 永井良三:
組み換えアデノウイルスを用いたホルモン感受性リパーゼ過剰発現による肝細胞内脂質の分解と除去
第35回日本動脈硬化学会総会(京都), 9月, 2003
- No. 25 関谷 元博, 大須賀 淳一, 岡崎 啓明, 富田 佐智子, 田村 嘉章, 飯塚 陽子, 島野 仁, 山田 信博, 石橋 俊, 永井良三:
ホルモン感受性リパーゼ(HSL)遺伝子欠損はob/obマウスの体重増加を抑制する
第35回日本動脈硬化学会総会(京都), 9月, 2003
- No. 26 田中 明, 石橋 俊, 及川 眞一, 大荷 満生, 小沼 富男, 寺本 民生, 平野 勉, 山田 信博, 食後高脂血症研究会:
食後高脂血症に及ぼす抗高脂血症薬の影響-脂肪負荷試験を用いた多施設による臨床研究
第35回日本動脈硬化学会総会(京都), 9月, 2003

- No . 27 岡崎 啓明 ,大須賀 淳一 ,矢作 直也 ,関谷 元博 ,富田 佐智子 ,大橋 健 ,島野 仁 ,
山田 信博 ,石橋 俊 ,永井良三 :
ホルモン感受性リパーゼの欠損はレプチン抵抗性を来たす
第35回日本動脈硬化学会総会 (京都) , 9月 , 2003
- No . 28 矢作 直也 ,島野 仁 ,関谷 元博 ,富田 佐智子 ,岡崎 啓明 ,田村 嘉章 ,
飯塚 陽子 ,大橋 健 ,山田 信博 ,大須賀淳一 :
肥満マウス (ob/obマウス) 脂肪細胞におけるp53の活性化
第35回日本動脈硬化学会総会 (京都) , 9月 , 2003
- No . 29 Yamada N :
Gene targeting and animal models of atherosclerosis. (Invited speaker)
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (Kyoto) , 9月 , 2003
- No . 30 Gotoda T , Iizuka Y , Osuga J , Kato N , Kapoor V , Shimano H , Ishibashi S ,
Iwamoto Y , Yamada N :
Genetic analysis of the spontaneously hypertensive rats (SHR) , an animal model
of metabolic syndrome.
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (Kyoto) , 9月 , 2003
- No . 31 Sone H , Saito K , Murakami H , Shu M , Maeda S , Kuno S , Tanaka K , Ajisaka R ,
Suzuki H , Toyoshima H , Shimano H , Okuda Y , Matsuda M , Yamada N :
Long-term exercise improves postprandial response to fat in healthy elderly
subjects.
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (Kyoto) , 9月 , 2003
- No . 32 Arai H , Yamamoto A , Matsuzawa Y , Saito Y , Oikawa S , Nakaya N , Sasaki J ,
Mabuchi H , Yamada N , Itakura H , Ishikawa Y , Ouchi T , Horibe H , Teramoto T ,
Kita T :
Relationship of lipid profile and gene polymorphism related to lipid metabolism in
Japanese.
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (Kyoto) , 9月 , 2003
- No . 33 Sone H , Saito K , Ito S , Kobayashi K , Takahashi A , Iida K , Shimano H , Suzuki H ,
Toyoshima H , Okuda Y , Yamada N :
Fenofibrate therapy improves postprandial responses to fat and
malondialdehyde-modified low-density lipoprotein (MDA-LDL) levels in diabetic
and non-diabetic patients with hypertriglyceridemia.
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (Kyoto) , 9月 , 2003
- No . 34 Yamada N :
Atherosclerosis and PPARs. (co-chaired by Nobuhiro Yamada / Bart Staels)
(Invited speaker)
The XIIIth International Symposium on Atherosclerosis Satellite Symposium
(Chiba) , 10月 , 2003
- No . 35 山田 信博 :
動脈硬化症-分子生物学的アプローチ (教育講演2)
第44回日本脈管学会総会 (福岡) , 11月 , 2003

- No . 36 Yamada N :
Leptin and Atherosclerosis (Adipokines and Atherothrombosis)
American Heart Association Scientific Sessions(Orlando , florida) , 11月 , 2003
- No . 37 山田 信博 :
マルチプルリスクファクター症候群の管理 (イブニングセミナー : マルチプルリスク
ファクター症候群の病態とその対策)
第24回日本肥満学会 (幕張) , 11月 , 2003
- No . 38 山田 信博 :
糖尿病性大血管障害 (教育講演)
第26回日本血栓止血学会学術集会 (東京) , 11月 , 2003
- No . 39 Lee DJ , Tanaka K , Hayashi Y , Numao S , Sone H , Sakane N , Yoshida T :
Substrate Oxidation And Endocrine Hormone During A Cycling Exercise In
Beta3-Ar Gene Polymorphism.
2003 Daegu Universiade Conference. (Yeungnam University, Gyeongsan, Korea) ,
8月 , 2003
- No . 40 Sone H , Ishibashi S , Ito H , Saito Y , Murase T , Yamashita H , Katayama S ,
Ohashi Y , Akanuma Y , Yamada N.
Effects of Five-Year Lifestyle Modification on Patients With Type 2 Diabetes :
Interim Report of The Japan Diabetes Complications Study (JDCS)
The 18th International Diabetes Federation Congress. (Paris , France) ,
8月 , 2003
- No . 41 茨木 洋子 , 矢藤 繁 , 鈴木 浩明 , 曾根 博仁 , 豊島 秀男 , 島野 仁 , 山田 信博 :
アポCII欠損症の一例
第1回茨城県糖尿病治療研究会(つくば) , 1月 , 2003
- No . 42 岡田 純子 , 齋藤 和美 , 鈴木 浩明 , 曾根 博仁 , 豊島 秀男 , 島野 仁 , 山田 信博 :
糖尿病加療中に下肢の疼痛・腫脹を繰り返し、糖尿病性筋梗塞が疑われた一例
第40回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 (横浜) , 1月 , 2003
- No . 43 曾根 博仁 , 水野 佐智子 , 大橋 靖雄 , 赤沼 安夫 , 山田信博 , JDCSグループ :
糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究 (Japan Diabetes
Complications Study JDCS)
公益信託日本動脈硬化予防研究基金平成14年度研究報告会 (東京) , 5月 , 2003
- No . 44 曾根 博仁 , 山田 信博 :
日本の2型糖尿病における心・血管イベントの解析-JDCSの中間結果より-
関東心・血管フォーラム (軽井沢) , 5月 , 2003
- No . 45 曾根 博仁 , 山田 信博 :
糖尿病患者における虚血性心疾患 , 脳血管疾患発症について
財団法人代謝異常治療研究基金「動脈硬化による心血管イベント
のリスク層別化に関する研究」研究班会議 (大阪) , 5月 , 2003

- No. 46 大垣 聡子, 曾根 博仁, 大谷 明夫, 鈴木 浩明, 豊島 秀男, 島野 仁, 山口 高史, 山田 信博:
胆汁うっ滞型肝障害を伴ったバセドウ病の一例
臨床内分泌Update (東京), 3月, 2003
- No. 47 川上 康, 曾根 博仁, 竹越 一博, 磯部 和正, 海老沼宏幸, 齋藤 和典, 山田 信博:
2型糖尿病における血中D-マンノース濃度測定 of 臨床的意義
第43回臨床化学学会年会・第50回臨床検査医学会総会連合大会 (広島), 10月, 2003
- No. 48 石川まゆみ, 大垣 聡子, 鈴木 浩明, 曾根 博仁, 豊島 秀男, 島野 仁, 山田 信博:
脳梗塞、心筋梗塞 足壊疽を合併した糖尿病患者の一例
第2回糖尿病と心血管病研究会 (東京), 11月, 2003
- No. 49 曾根 博仁
「糖尿病外来診療の実際」
茨城県医師会真壁支部学術講演会 (茨城県真壁町), 1月, 2003
- No. 50 曾根 博仁
「糖尿病の恐ろしい合併症を防ぐには」
第2回県民のための健康管理講座 (茨城県小川町), 2月, 2003
- No. 51 曾根 博仁
「生活習慣と糖尿病」
新治村環境保健課健康づくり事業講演会 (茨城県新治村), 3月, 2003
- No. 52 曾根 博仁
Type 2 Diabetes and Insulin Resistance
Young-Nam Endocrine Society meeting (Daegu, Korea), 4月, 2003
- No. 53 曾根 博仁
「2型糖尿病とマルチプルリスクファクター症候群-JDCSにおける日本人患者のエビデンス」
第46回日本糖尿病学会年次学術集会ランチョンセミナー (富山), 5月, 2002
- No. 54 曾根 博仁
「本邦の2型糖尿病患者における血管合併症とそのリスクファクター-JDCS中間データより-」
第4回茨城県糖尿病合併症治療研究会 (水戸), 5月, 2003
- No. 55 曾根 博仁
「糖尿病の薬物治療」
第9回鹿行地区地域薬剤師勉強会 (鹿島), 7月, 2003
- No. 56 曾根 博仁, 淑 森, 児玉 暁, 村上 晴香, 家光 素行, 前田 清司, 久野 譜也, 鯉坂 隆一, 田中 喜代次, 奥田 諭吉, 宮内 卓, 松田 光生, 山田 信博:
「運動効果を規定する遺伝子のゲノムワイド探索」
21世紀COEプログラム公開ワークショップ
「健康スポーツ科学の推進: 体育科学とスポーツ医学との連携による学際的エクセレンスを目指して」(筑波大学), 7月, 2003

- No . 57 室井 愛, 高野 晋吾, 能勢 忠男, 鈴木 浩明 :
心不全で発症したGH産生下垂体腺腫の1例
第1回東京アクロメガリーフォーラム , 2003
- No . 58 島野 仁 :
エネルギー代謝転写調節因子のクロストーク (研究奨励賞受賞講演)
第76回日本内分泌学会 (横浜) , 5月 , 2003
- No . 59 Shimano H :
RXR regulation of SREBP-1c and pathways of lipogenesis
FASEB Summer Conference : Molecular Biology of Intestinal Lipid Transport and
Metabolism 2003
- No . 60 Shimano H , :
Transcriptional regulation of energy metabolism and atherosclerosis (Workshop)
XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (京都) , 9月 , 2003
- No . 61 Shimano H , :
Energy transcription factors and atherosclerosis (Satellite Symposium)
XIIIth International Symposium on Atherosclerosis (京都) 9月 , 2003
- No . 62 島野 仁 :
エネルギー代謝転写調節と生活習慣病 (教育講演)
第24回日本肥満学会 (千葉) 11月 , 2003
- No . 63 島野 仁 :
マルチプルリスクファクター症候群の治療戦略 (ランチョンセミナー)
第24回日本肥満学会 (千葉) 11月 , 2003

2003年（膠原病・リウマチ・アレルギー内科グループ）

原 著

- No . 1 Yoshida K., Tsutsumi A., Ohnishi Y., Akimoto T., Murata H., and Sumida T. :
T cell epitopes of prothrombin in patients with antiphospholipid syndrome
Ann. Rheum. Dis. 62 : 905-906 , 2003
- No . 2 Ohnishi Y., Tsutsumi A., Sakamaki T., and Sumida T. :
T cell epitopes of type II collagen in HLA-DRB1*0101 or DRB1*0405-positive
Japanese patients with rheumatoid arthritis.
Int. J. Mol. Med. 11 : 331-335 , 2003
- No . 3 Tsutsumi A., Ikegami H., Takahashi R., Murata H., Goto D., Matsumoto I., Fujisawa T. ,
Sumida T. :
Mannose binding lectin gene polymorphism in patients with type I diabetes.
Hum. Immunol. 64 : 621-624 , 2003
- No . 4 Ohnishi Y., Tsutsumi A., Sumida T. :
Antibodies to type II collagen and their association with HLA DR1 alleles in
Japanese patients with rheumatoid arthritis.
Mod. Rheumatol. 13 : 69-72 , 2003
- No . 5 Adachi Y., Tsutsumi A., Murata H., Takemura H., Chino Y., Takahashi R., Ebisuka T.,
Sumida T. :
Behçet's disease accompanied by myelodysplastic syndrome with trisomy 8 : Two
case reports and review of 15 Japanese cases
Mod. Rheumatol. 13 : 90-94 , 2003
- No . 6 Matsumoto I., Lee D M., Goldbach-Mansky R., Sumida T., Hitchon C A., Schur P H.,
Anderson R J., Coblyn J S., Weinblatt M E., Brenner M., Duclos B., Pasquali J-L.,
El-Gabalawy H., Mathis D., Benoist C. :
Low prevalence of antibodies to glucose-6-phosphate isomerase in patients with
rheumatoid arthritis and a spectrum of other chronic autoimmune disorders
Arthritis. Rheum. 48 : 944-954 , 2003
- No . 7 Kojo S., Tsutsumi A., Goto D., Sumida T. :
Low Expression Levels of Soluble CD1d Gene in Patients with Rheumatoid
Arthritis.
J. Rheumatol. 30 : 2524-2528 , 2003
- No . 8 Sumida T. :
Immunological abnormality and regulation in patients with Sjögren's syndrome
Arthritis Res Ther. 5(Suppl 3) : 159 , 2003
- No . 9 Shibuya K., Shirakawa J., Kameyama T., Honda S.-1., Tahara-Hanaoka S.,
Miyamoto A., Onodera M., Sumida T., Nakauchi H., Miyoshi H., Shibuya A. :
CD226(DNAM-1) is involved in LFA-1 costimulatory signal for naive T cell
differentiation and proliferation.
J. Exp. Med. 198 : 1829-1839 , 2003

- No . 10 Arakaki R., Ishimaru N., Saito I., Kobayashi M., Yasui N., Sumida T., Hayashi Y. :
Development of Autoimmune Exocrinopathy Resembling Sjögren's Syndrome in
Adoptively Transferred Mice With Autoreactive CD4+T Cells
Arthritis and Rheumatism.48 : 3603-3609 , 2003
- No . 11 Ito S., Kuriyama H., Iino N., Iguchi S., Shimada H., Ueno M., Narita I., Nakano M.,
Nishi S., Karasawa R., Gejyo F. :
Patient with diffuse mesangial and endocapillary proliferative glomerulonephritis
with hypocomplementemia and elevated anti-streptolysin O treated with
prednisolone, angiotensin-converting enzyme inhibitor, and angiotensin
receptor antagonist
Clin. Exp. Nephrol. 7. 290-295 , 2003
- No . 12 Ito S., Ohkoshi S., Aoyagi T., Suzuki K., Takahashi T., Nomoto M., Nakano M.,
Arakawa M., Asakura H., Gejyo F. :
A patient with Takayasu's arteritis treated with corticosteroids who developed
primary biliary cirrhosis.
Intern Med 42 ; 443-445 , 2003
- No . 13 Kazama JJ., Takahashi N., Ito Y., Watanabe Y., Iino N., Iguchi S., Oyanagi A.,
Obayashi H., Ito S., Maruyama H., Narita I., Yamamoto S., Sato Y., Tsuchiya A., Ichida
T., Gejyo F. :
Successful perioperative blood purification therapy in patients with maintenance
hemodialysis therapy who underwent living donor liver transplantation.
Clini Nephrol 59 ; 229-233 , 2003.
- No . 14 Kobayashi T., Ito S., Yamamoto K., Hasegawa H., Sugita N., Kuroda T., Kaneko S.,
Narita I., Yasuda K., Nakano M., Gejyo F., Yoshie H. :
Risk of Periodontitis in Systemic Lupus Erythematosus is Associated with Fcγ
Receptor Polymorphisms.
J.Periodontol 74 ; 378-384 , 2003
- No . 15 Oshima K., Iino N., Sasaki N., Takahashi N., Tanabe Y., Ito S., Nishi S., Tsukada H.,
Narita I., Hasegawa G., Suzuki E., Gejyo F. :
Adult onset anaphylactoid purpura with severe gastrointestinal involvement.
Intern Med 42 ; 436-442 , 2003
- No . 16 Shimizu T., Ohara T., Ito S., Nakano M., Tsutsui N., Sato T., Suzuki E., Gejyo F. :
A case of Wegener's granulomatosis complicated with seropneumothorax.
Mod Rheumatol 13 ; 181-184 , 2003
- No . 17 Ito S., Kuriyama H., Iino N., Iguchi S., Shimada H., Ueno M., Narita I., Nakano M.,
Nishi S., Karasawa R., Gejyo F. :
A case of diffuse mesangial and endocapillary proliferative glomerulonephritis
with hypocomplementemia and elevated anti-streptolysin O treated with
prednisolone, angiotensin converting enzyme inhibitor and angiotensin II receptor
antagonist.
Clin Exp Nephrol 7 ; 290-295 , 2003

総 説

- No. 1 住田 孝之：
内科的にみたシェーグレン症候群治療の最新情報
難病と在宅ケア 8(10)51-54, 2003
- No. 2 住田 孝之：
リウマチの新しい治療戦略
Mebio 20(3)13, 2003
- No. 3 後藤 大輔：
【リウマチの新しい治療戦略】
リウマチの抗サイトカイン療法 ヒト抗TNF- α 抗体；Adalimumab
Mebio20 (3)23-29, 2003
- No. 4 堤 明人：
劇症型抗リン脂質抗体症候群
Mebio 20(4)65-70, 2003
- No. 5 後藤 大輔, 住田 孝之：
NKT細胞の胸腺前駆細胞
臨床免疫 39(2)226-229, 2003
- No. 6 千野 裕介, 村田 秀行, 住田 孝之：
Cyclophosphamideパルス療法
内科 91(6)1299, 2003
- No. 7 林 太智, 住田 孝之：
マトリックスメタロプロテアーゼ
内科 91(6)1300, 2003
- No. 8 村田 秀行, 住田 孝之：
マイクロキメリズム
内科 91(6)1301, 2003
- No. 9 松本 功：
肥満細胞—自己抗体と関節炎のつなぎ役
臨床免疫 39(5)598-603, 2003
- No. 10 後藤 大輔, 住田 孝之：
病態形成におけるNKT細胞の役割
臨床免疫 40(2)180-184, 2003
- No. 11 後藤 大輔, 住田 孝之：
抗CD40リガンド抗体療法
臨床免疫 40(5)544-549, 2003
- No. 12 住田 孝之：
関節リウマチの新しい治療戦略
早期治療における各種治療薬の評価
Bone Metabolism 6 5-7, 2003

- No. 13 堤 明人, 住田 孝之:
 膠原病検査の進歩と診断・治療への応用
 1.赤沈, C R P
 日本内科学会雑誌 92(10)11-154, 2003
- No. 14 後藤 大輔, 住田 孝之:
 シェーグレン症候群
 臨床消化器内科 18(13)1723-1728, 2003
- No. 15 松本 功:
 関節炎の動物モデルとヒトの関節リウマチ
 Pharma Medica 21(12)15-17, 2003
- No. 16 松本 功:
 抗GPI抗体による関節炎発症機構
 カレントセラピー 22(1)72-75, 2003
- No. 17 松本 功:
 自己抗体誘導性関節炎のメカニズムと制御
 自己抗体と自己免疫2003
 第10回自己抗体と自己免疫シンポジウム講演録集 35-41, 2003
- No. 18 伊藤 聡:
 海外のリウマチ・膠原病医療 第1回.
 炎症と免疫 11; 114-119, 2003
- No. 19 伊藤 聡:
 海外のリウマチ・膠原病医療 第2回.
 炎症と免疫 11; 124-127, 2003

著 書

- No. 1 住田 孝之:
 再発性多発軟骨炎
 TODAY'S THERAPY2003 今日の治療指針2003,
 山口 徹, 北原光夫, 総編集 医学書院, 560-561, 2003
- No. 2 住田 孝之:
 免疫に関与する細胞・分子
 内科学 第八版
 杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦, 総編集, 朝倉書店, 23-26, 2003
- No. 3 村田 秀行, 住田 孝之:
 Raynaud現象
 外来診療のすべて 改訂第3版
 高久史磨 総監修, 117-119, 2003
- No. 4 堤 明人, 住田 孝之:
 副腎皮質ステロイド
 ゴールドスタンダード整形外科 薬物療法と運動・理学療法
 鳥巢岳彦, 落合直之 編集 南江堂 26-30, 2003

- No. 5 住田 孝之：
シェーグレン症候群
喘息・アレルギー・リウマチ疾患治療薬ハンドブック
伊賀立二，森田寛，永倉俊和，廣畑俊成 編集 メディカルレビュー社150-159，2003
- No. 6 松本 功，内藤 祐介，住田 孝之：
シェーグレン症候群の病因（シェーグレン症候群と自己抗体）
シェーグレン症候群の基礎と臨床
片山一朗編 医薬ジャーナル社 26-30，2003
- No. 7 住田 孝之：
免疫細胞の抗原認識機構
内科学 第二版
黒川清，松澤佑次 編集主幹 文光堂 19-24，2003
- No. 8 住田 孝之，伊藤 聡，上野 光博，下条 文武：
関節リウマチ
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 2-15，2003
- No. 9 村田 秀行，大鹿 哲郎：
悪性関節リウマチ
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 16-23，2003
- No. 10 堤 明人，伊藤 聡，上野 光博，下条 文武
全身性エリテマトーデス
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 24-41，2003
- No. 11 堤 明人：
抗リン脂質抗体症候群
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 42-47，2003
- No. 12 住田 孝之，川内 康弘，大塚 藤男，大鹿 哲郎：
Sjögren症候群
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 48-59，2003
- No. 13 村田 秀行
全身性硬化症（強皮症）
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 60-73，2003
- No. 14 松本 功：
多発性筋炎 / 皮膚筋炎
COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 74-79，2003

No. 15 鈴木 英二，後藤 大輔：
混合性結合組織病

COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 80-89, 2003

No. 16 後藤 大輔：
血管炎症候群

COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 90-99, 2003

No. 17 後藤 大輔：
成人発症Still病

COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 112-113, 2003

No. 18 堤 明人，龍野 一郎，齋藤 康：
その他のリウマチ性疾患

COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 132-137, 2003

No. 19 後藤 大輔，村田 秀行，鈴木 英二：
日和見感染

COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ
住田孝之 編集 診断と治療社 138-143, 2003

学会発表等

No. 1 村田 秀行，千野 祐介，高橋 令子，林 太智，鈴木 英二，後藤 大輔，松本 功，
堤 明人，住田 孝之：
腸管囊腫状気腫症・気腹症を呈したSSc / PM overlapの一例

厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班・
第6回強皮症研究会議（東京）1月，2003

No. 2 村田 秀行，千野 祐介，後藤 大輔，松本 功，堤 明人，住田 孝之：
全身性硬化症女性における胎児性マイクロキメリズム定量解析とHLA解析
厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班・
第6回強皮症研究会議（東京）1月，2003

No. 3 住田 孝之：
アナログペプチドによる抗原特異的免疫分子制御法の開発に関する研究
厚生労働省特定疾患対策研究事業
「特定疾患対策のための免疫学的手法の開発に関する研究」
平成14年度班会議（つくば）1月，2003

No. 4 松本 功：
GPIと自己抗体制御に関する研究
厚生労働省特定疾患対策研究事業
「特定疾患対策のための免疫学的手法の開発に関する研究」
平成14年度班会議（つくば）1月，2003

- No. 5 住田 孝之：
変異ペプチドを用いた免疫難病の治療アプローチ
厚生労働省厚生科学研究公開シンポジウム
「リウマチ性疾患新規治療の確立に向けて」(東京)1月, 2003
- No. 6 堤 明人, 高橋 令子, 大谷 克城, 若宮 伸隆, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行,
住田 孝之：
全身性エリテマトーデス患者におけるマンオース結合レクチン遺伝子多型・
血中濃度と病勢・合併症との関連
厚生労働省科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業
「全身性自己免疫疾患における難治性病態の診断と治療法に関する研究」
平成14年度第2回班会議(東京), 1月, 2003
- No. 7 堤 明人, 高橋 令子, 大谷 克城, 若宮 伸隆, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行,
住田 孝之：
抗RNP抗体陽性患者におけるマンノース結合レクチン遺伝子多型
厚生労働省特定疾患対策研究事業
「混合性結合組織病に関する研究」
平成14年度第2回班会議(東京), 2月, 2003
- No. 8 住田 孝之：
免疫難病の分子制御へのアプローチ
富岡玖夫教授に感謝する集い(千葉), 3月, 2003
- No. 9 松本 功：
自己抗体誘導性関節炎のメカニズムと制御
第10回自己抗体と自己免疫シンポジウム(東京), 3月, 2003
- No. 10 後藤 大輔, 香城 諭, 堤 明人, 村田 秀行, 松本 功, 住田 孝之：
自己免疫疾患患者における可溶性CD1d遺伝子の発現に関する検討
第100回日本内科学会(福岡), 4月, 2003
- No. 11 内藤 祐介
M3Rに対する免疫応答
第8回シェーグレン症候群市川セミナー2003(千葉), 4月, 2003
- No. 12 友尾 孝, 堤 明人, 小澤 和夫, 芝中 安彦, 住田 孝之：
IGCR(In-gel competitive reassociation)法による関節リウマチ滑膜における発現異常遺伝子の解析
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 13 松本 功, 村木 祥文, 林 太智, 郡 祐子, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人,
住田 孝之：
自己抗体誘導性関節リウマチ患者における局所での胚中心形成
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 14 鈴木 英二, 堤 明人, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 佐藤由紀夫, 住田 孝之：
関節リウマチ(RA)患者滑膜におけるTristetraprolin(TTP)の遺伝子発現
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003

- No. 15 郡 祐子, 松本 功, 村木 祥文, 林 太智, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之:
関節リウマチ患者におけるGPI反応性T細胞の解析
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 16 後藤 大輔, 香城 諭, 堤 明人, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者における可溶性CD1d遺伝子の発現に関する検討
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 17 千野 裕介, 村田 秀行, 林 太智, 高橋 令子, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
多発性筋炎/皮膚筋炎に合併した間質性肺炎患者の気管支肺胞洗浄液中T細胞の抗原受容体解析
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 18 高橋 令子, 堤 明人, 村木 祥文, 鈴木 英二, 林 太智, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 大谷 克城, 若宮 伸隆, 住田 孝之:
Mannose binding lectin(MBL)遺伝子の多型性と全身性エリテマトーデスの発症, 病態, 病勢の関係
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 19 堤 明人, 桑原 一彦, 鈴木 英二, 林 太智, 高橋 令子, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 阪口 薫雄, 住田 孝之:
全身性エリテマトーデス(SLE)患者末梢血におけるGerminal Center-associated DNA Primase(GANP)の発現
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 20 村田 秀行, 千野 裕介, 松村 竜太郎, 杉山 隆夫, 末石 真, 松本 功, 後藤 大輔, 堤 明人, 住田 孝之:
ループス腎炎患者腎内浸潤T細胞サイトカインの単細胞レベルでの解析
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 21 内藤 祐介, 松本 功, 村木 祥文, 堤 明人, 坪田 一男, 住田 孝之:
Sjogren症候群におけるM3ムスカリン作動性アセチルコリンレセプターに対する自己免疫応答
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 22 村木 祥文, 堤 明人, 高橋 令子, 鈴木 英二, 林 太智, 千野 裕介, 後藤 大輔, 松本 功, 村田 秀行, 住田 孝之:
日本人シェーグレン症候群, 全身性エリテマトーデス, 関節リウマチ患者のIL-1 β 遺伝子多型性と疾患の関連
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 23 林 太智, 松本 功, 村木 祥文, 郡 祐子, 後藤 大輔, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之:
関節リウマチにおける抗GPI(Glucose-6-phosphate isomerase)抗体の臨床的意義
第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003

- No. 24 大西 康之, 堤 明人, 後藤 大輔, 住田 孝之:
 α -galactosylceramideの関節炎モデルに対する抑制効果
 第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 25 鈴木 豪, 高橋 令子, 村田 秀行, 千野 裕介, 林 太智, 鈴木 英二, 後藤 大輔, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
 ループス膀胱炎に合併した難治性chronic intestinal pseudo-obstruction(CIPO)の一例
 第47回日本リウマチ学会総会学術集会(東京), 4月, 2003
- No. 26 住田 孝之:
 リウマチ薬について
 平成15年度リウマチ月間全国大会(東京), 5月, 2003
- No. 27 住田 孝之:
 免疫難病の分子制御へのアプローチ
 京都大学大学院免疫病学セミナー(京都), 6月, 2003
- No. 28 住田 孝之:
 関節リウマチ:治療・薬物療法の現状と臨床現場がもとめるもの
 情報機構セミナー(東京), 6月, 2003
- No. 29 千野 裕介, 後藤 大輔, 林 太智, 高橋 令子, 松本 功, 村田 秀行, 堤 明人, 住田 孝之:
 クリプトコッカス髄膜脳炎を発症した成人発症スティル病(AOSD)の一例
 第44回関東リウマチ研究会(東京), 6月, 2003
- No. 30 住田 孝之:
 シェーグレン症候群の分子制御
 シェーグレン症候群シンポジウム(群馬), 7月, 2003
- No. 31 松本 功:
 自己抗体により誘導される関節炎のメカニズム
 第9回自己免疫研究会(東京), 7月, 2003
- No. 32 友尾 孝, 堤 明人, 小澤 和夫, 安河内 孝徳, 芝中 安彦, 住田 孝之:
 IGCR(In-gel competitive reassociation)法による関節リウマチ滑膜における発現異常遺伝子の解析
 第40回日本臨床分子医学会学術総会(東京), 7月, 2003
- No. 33 住田 孝之:
 自己免疫疾患・膠原病の病態と治療
 第24回日本アレルギー学会認定医教育セミナー(東京), 8月, 2003
- No. 34 Sumida T.:
 Immunological abnormality and regulation in patients with Sjögren's syndrome
 Arthritis Res Ther. 5(Suppl 3):159, 2003
- No. 35 住田 孝之:
 リウマチの新しい治療戦略
 水郷医師会学術講演会(茨城), 9月, 2003

- No. 36 住田 孝之：
抗サイトカイン療法の関節破壊予防効果
日本臨床リウマチ学会総会（札幌），10月，2003
- No. 37 林 太智，松本 功，村木 祥文，郡 祐子，安河内 孝徳，後藤 大輔，堤 明人，
住田 孝之
関節リウマチ（RA）における抗GPI（Glucose-6-phosphate isomerase）抗体
の臨床的意義
日本臨床リウマチ学会総会（札幌），10月，2003
- No. 38 住田 孝之：
アナログペプチドによる抗原特異的制御へのアプローチ
第12回 日本シェーグレン症候群研究会（東京），10月，2003
- No. 39 内藤 祐介，松本 功，村木 祥文，堤 明人，住田 孝之：
シェーグレン症候群におけるM3ムスカリン性アセチルコリンレセプター
に対する自己免疫反応の解析
第12回 日本シェーグレン症候群研究会（東京），10月，2003
- No. 40 安河内 孝徳，若松 英，松本 功，住田 孝之：
新規サブトラクション法を用いたシェーグレン症候群疾患関連遺伝子の探索
第12回 日本シェーグレン症候群研究会（東京），10月，2003
- No. 41 村木 祥文，松本 功，林 太智，鈴木 英二，千野 裕介，高橋 令子，後藤 大輔，
堤 明人，住田 孝之：
関節リウマチ患者における抗GPI抗体と抗原（GPI）の関係
第31回 日本臨床免疫学会総会（東京），10月，2003
- No. 42 鈴木 英二，堤 明人，後藤 大輔，松本 功，大津 真，小野寺 雅史，高橋 智，
佐藤 由紀夫，住田 孝之：
関節リウマチ（RA）患者滑膜におけるTristetraprolin（TTP）の遺伝子発現
第31回 日本臨床免疫学会総会（東京），10月，2003
- No. 43 Chino Y, Sumida. T. :
T Cell Receptor Analysis In Bronchoalveolar Lavage Fluid Patients With PM/DM.
2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月，2003
- No. 44 Goto D, Ohnishi Y, Tango T, Tsutsumi A, Sumida. T :
Protective Potency of Alpha-galactocylceramide From Developing
Collagen-induced Arthritis in Mice.
2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月，2003
- No. 45 Tomoo T, Tsutsumi A, Ozawa K, Yasukochi T, Shibanaka Y, Sumida. T. :
Analysis of Abnormally Expressed Genes in Synovium from Patients with
Rheumatoid Arthritis Using In-Gel Competitive Reassociation Method.
2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月，2003
- No. 46 Kori Y, Matsumoto I, Muraki Y, Hayashi T, Gotoh D, Tsutsumi A, Sumida T. :
Analysis of Glucose-6-phosphate Isomerase (GPI) Reactive T Cells in
Rheumatoid Arthritis.
2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月，2003

- No . 47 Takahashi R, Tsutsumi A, Muraki Y, Goto D, Matsumoto I, Ohtani K, Wakamiya N, Sumida T. :
 Association of Mannose-binding Lectin (MBL) Gene Polymorphism and Serum MBL Concentration with Characteristics and Progression of Systemic Lupus Erythematosus.
 2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月 , 2003
- No . 48 Yasukochi T, Shibasaki Y, Kohsaka H, Miyasaka N, Carthy D, Ollier B, Tsutsumi A, Sumida T. :
 Comparative Genomic Analysis of Monozygotic Twins with RA Using the Improved IGCR Technique.
 2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月 , 2003
- No . 49 Matsumoto I, Yasukochi T, Muraki Y, Hayashi T, Kori Y, Murata H, Tsutsumi A, Sumitaka H, Sumida T. :
 Exploration of Effector Mechanisms on IgG Anti-GPI Antibodies Induced arthritis.
 2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月 , 2003
- No . 50 Suzuki E, Tsutsumi A, Goto D, Matsumoto I, Nakamura H, Shiga H, Sato Y, Sumida T. :
 Expression of Tristetraprolin Gene in Synovium of Patients with Rheumatoid Arthritis.
 2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月 , 2003
- No . 51 Naito Y, Matsumoto I, Muraki Y, Tsutsumi A, Sumida T. :
 Analysis of Autoreactive T Cells against M3 Muscarinic Acetylcholine Receptor with Sjögren's Syndrome.
 2003ANNUAL SCIENTIFIC MEETING on the ACR (US) 10月 , 2003
- No . 52 住田 孝之 :
 「リウマチ治療薬—最近の話題」
 第18回 つくば薬剤師の集い(つくば), 11月, 2003
- No . 53 住田 孝之 :
 「関節リウマチ：サイエンスに基づく最終治療」
 福島県立医科大学第二内科特別講義(福島), 11月, 2003
- No . 54 伊藤 聡 :
 「海外のリウマチ医療」-これから日本に入ってくる新しい治療法-
 学術説明「リウマトレックス適正使用の御案内」
 B J M・ワイズレダリー(新潟), 11月, 2003
- No . 55 住田 孝之 :
 「免疫難病の分子制御へのアプローチ」
 第3回 TCカンファレンス(東京), 11月, 2003
- No . 56 住田 孝之 :
 「関節リウマチの新しい治療薬とガイドライン」
 取手医師会学術講演会, 11月, 2003

- No. 57 伊藤 聡：
「最近のリウマチ事情について」
第33回新潟リウマチ研究会，11月，2003
- No. 58 住田 孝之：
「関節リウマチとシェーグレン症候群：up to date」
第7回OMIYA FORUM ON RHEUMATOID ARTHRITIS，11月，2003
- No. 59 島田 久基，東條 猛，黒田 毅，伊藤 聡：
メソトレキセート治療中に膜性腎症を発症した関節リウマチの一例
第2回 上越リウマチ研究会，11月，2003
- No. 60 伊藤 聡：
「海外のリウマチ医療-これから日本に入ってくる新しい治療法-」
第2回 上越リウマチ研究会，11月，2003
- No. 61 住田 孝之：
免疫難病の分子治療へのアプローチ
第93回北海道大学分子医学セミナー，12月，2003
- No. 62 住田 孝之：
北海道大学医学部講義
北海道大学（札幌），12月，2003
- No. 63 宮崎 邦彦，林 太智，後藤 大輔，高橋 令子，千野 裕介，松本 功，伊藤 聡，
堤 明人，住田 孝之：
発熱，リンパ節腫脹の精査中に急速進行の肺高血圧を呈した一例
第14回 日本リウマチ学会 関東支部学術集会，12月，2003
- No. 64 高橋 令子，堤 明人，後藤 大輔，松本 功，大谷 克城，若宮 伸隆，住田 孝之：
全身性エリテマトーデス患者における
抗mannose binding lectine (MBL) 抗体の検討
第33回日本免疫学会（福岡），12月，2003
- No. 65 千野 裕介，村田 秀行，林 太智，高橋 令子，後藤 大輔，松本 功，堤 明人，
住田 孝之：
間質性肺炎合併多発性筋炎／皮膚筋炎患者の
気管支肺胞洗浄液におけるT細胞の抗原受容体解析
第33回日本免疫学会（福岡），12月，2003
- No. 66 友尾 孝，堤 明人，安河内 孝徳，後藤 大輔，松本 功，住田 孝之：
IGCR(In-gel competitive reassociation)法による
関節リウマチ滑膜における発現異常遺伝子の解析
第33回日本免疫学会（福岡），12月，2003
- No. 67 甲斐 平康，渋谷 和子，王 軼楠，亀山東光恵，松本 功，住田 孝之，渋谷 彰：
コラーゲン誘導関節炎（CIA）抵抗性C57BL/6JマウスへのCIA発症誘導と
その機序の検討
第33回日本免疫学会（福岡），12月，2003

- No. 68 松本 功, 安河内 孝徳, 村木 祥文, 林 太智, 郡 祐子, 堤 明人, 住近 浩,
住田 孝之:
関節リウマチ (RA) 患者における抗GPI抗体の関節炎源性の探索
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 69 村木 祥文, 松本 功, 林 太智, 鈴木 英二, 千野 裕介, 高橋 令子, 後藤 大輔,
堤 明人, 住田 孝之:
関節リウマチ患者における抗GPI抗体と抗原 (GPI) の表面構造の関係
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 70 林 太智, 松本 功, 村木 祥文, 郡 祐子, 安河内 孝徳, 後藤 大輔, 堤 明人,
住田 孝之:
ヒト関節リウマチ (RA) における
抗GPI (Glicose6-phosphate isomerase) 抗体
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 71 郡 祐子, 松本 功, 村木 祥文, 林 太智, 後藤 大輔, 堤 明人, 住田 孝之:
関節リウマチ患者における
グルコース6リン酸イソメラーゼ (GPI) 反応性T細胞の解析
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 72 鈴木 英二, 堤 明人, 後藤 大輔, 松本 功, 小野寺 雅史, 高橋 智, 佐藤 由紀夫,
住田 孝之:
抗GPI抗体の日本人関節リウマチ患者における発現調整
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 73 大西 康之, 堤 明人, 後藤 大輔, 松本 功, 渋谷 和子, 谷口 克, 住田 孝之:
関節炎モデルにおけるNKT細胞の役割
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 74 後藤 大輔, 香城 諭, 松本 功, 堤 明人, 住田 孝之:
自己免疫疾患患者におけるCD1d分子アイソフォームと
NKT細胞反応性の解析
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 75 堤 明人, 鈴木 英二, 後藤 大輔, 松本 功, Jorn K, 住田 孝之:
関節リウマチ患者末梢血におけるTNF α および
トリステトラプロリン遺伝子発現の生物製剤使用前後における変動
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 76 内藤 裕介, 松本 功, 村木 祥文, 後藤 大輔, 堤 明人, 住田 孝之:
シェーグレン症候群における
M3ムスカリン性アセチルコリン受容体に対する自己免疫応答解析
第33回日本免疫学会 (福岡), 12月, 2003
- No. 77 伊藤 聡:
「膠原病と上手に付き合うために PART Ⅱ」
記念講演会 「海外の膠原病医療」
第4回にいがた膠原病つどいの会 総会 12月, 2003

No. 78 住田 孝之：

早期関節リウマチにおけるNKT細胞と可溶性CD1d分子

厚生労働科学研究費補助金

免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

【関節リウマチの発症及び重篤な合併症の早期診断に関する研究】

平成15年度リウマチ関連三班合同研究発表会（東京） 12月，2003

研究報告

No. 1 住田 孝之：

NKT細胞による関節リウマチの早期診断・制御に関する研究

平成14年度厚生科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業）

研究報告会抄録集

No. 2 堤 明人：

難治性自己免疫疾患の予後予測因子と遺伝子多型性

平成14年度厚生科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業）

研究報告会抄録集

No. 3 住田 孝之：

変異ペプチドを用いた免疫難病の治療アプローチに関する研究

平成14年度厚生科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患予防・治療研究事業）

研究報告会抄録集

No. 4 堤 明人：

抗RNP抗体陽性者におけるマンノース結合レクチン遺伝子多型

平成14年度厚生科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）

研究報告会抄録集

その他

No. 1 西岡 久寿樹，丹羽 雄哉，落合 直之，住田 孝之：

パネルディスカッション「新世紀のリウマチ治療は大きく変わる！」

茨城リウマチフォーラム（つくば）2月，2003

No. 2 林 太智，村田 秀行，高橋 令子，千野 祐介，後藤 大輔，松本 功，堤 明人，

住田 孝之：

無菌性髄膜炎を合併した再発性多発軟骨炎の1例

関東リウマチ 第36集，2003

No. 3 中澤 健介，大塚 茂男，高橋 令子，千野 裕介，林 太智，鈴木 英二，後藤 大輔，

松本 功，伊藤 聡，堤 明人，住田 孝之：

関節リウマチの経過中に肺胞出血と急速進行性糸球体腎炎を発症した顕微鏡的多発血管炎の症例

茨城リウマチフォーラム（つくば）11月，2003

- No. 4 伊藤 聡，後藤 大輔，松本 功，堤 明人，住田 孝之，安城 淳哉，下条 文武：
ミゾリピン少量パルス療法のプロトコール検討会
「ミゾリピンパルス療法が有効であったMTX抵抗性関節リウマチの1例」
茨城リウマチフォーラム（つくば）11月，2003
- No. 5 松本 功：
ミゾリピン少量パルス療法のプロトコール検討会
「MTX効果不十分例に対するミゾリピン追加併用療法のプロトコール検討」
茨城リウマチフォーラム（つくば）11月，2003

2003年（血液内科グループ）

原 著

- No . 1 Kojima H , Takei N , Mukai HY , Hasegawa Y , Suzukawa K , Nagata M , Noguchi M , Mori N , Nagasawa T :
Hemophagocytic syndrome as the primary clinical symptom of Hodgkin's disease.
Ann Hematol 2003 ; 82(1) : 53-56.
- No . 2 Shimizu S , Tamagawa Y , Kojima H , Mori N , Nagata M , Noguchi M , Nagasawa T :
Simultaneous development of lymphoplasmacytic lymphoma and diffuse large B-cell lymphoma – analyses of the clonal relatedness by sequencing CDR3 in Immunoglobulin heavy chain genes.
Eur J Haematol 2003 ; 70(2) : 119-124.
- No . 3 Katsura Y , Suzukawa K , Kojima H , Yoshida C , Shimizu S , Mukai HY , Hasegawa Y , Imagawa S , Mori N , Nagasawa T :
Cytotoxic T-cell lymphoma arising in Behcet's disease.
Int J Hematol 2003 ; 77(3) : 282-285.
- No . 4 Horigome H , Murakami T , Isobe T , Nagasawa T , Matsui A :
Soluble P-selectin and thrombomodulin-protein C-Protein S pathway in cyanotic congenital heart disease with secondary erythrocytosis.
Thrombosis Research 2003 ; 112(4) : 223-227.
- No . 5 Obara N , Imagawa S , Nakano Y , Suzuki N , Yamamoto M , Nagasawa T :
Suppression of erythropoietin gene expression by cadmium depends on inhibition of HIF-1 , not stimulation of GATA-2.
Arch Toxicol 2003 ; 77(5) : 267-273.
- No . 6 Mukai HY , Okoshi Y , Shimizu S , Katsura Y , Takei N , Hasegawa Y , Kojima H , Mori N , Nagasawa T :
Successful treatment of a patient with subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma with high-dose chemotherapy and total body irradiation.
Eur J Haematol 2003 ; 70(6) : 413-416.
- No . 7 Kojima H , Shimizu S , Yoshida C , Katsura Y , Suzukawa K , Mukai HY , Hasegawa Y , Imagawa S , Mori N , Nagasawa T :
Rapidly progressive Lennert's lymphoma terminating in fulminant hepatic failure.
Leukemia & Lymphoma 2003 ; 44(8) : 1409-1412.
- No . 8 Chikatsu N , Kojima H , Suzukawa K , Shinagawa A , Nagasawa T , Ozawa H , Yamashita Y , Mori N :
ALK+ , CD30- , CD20- large B-cell lymphoma containing anaplastic lymphoma kinase (*ALK*) fused to clathrin heavy chain gene(*CLTC*).
Modern Pathology 2003 ; 16(8) : 828-832.
- No . 9 Obara N , Imagawa S , Nakano Y , Yamamoto M , Noguchi T , Nagasawa T :
Hematological aspects of a novel 9-aminoanthracycline , amrubicin.
Cancer Sci 2003 ; 94 (12) : 1104-1106.

- No . 10 Imagawa S , Nakano Y , Obara N , Suzuki N , Doi T , Kodama T , Nagasawa T , Yamamoto M :
A GATA-specific inhibitor(K-7174) rescues anemia induced by IL-1 β , TNF- α , or L-NMMA.
FASEB Journal 2003 ; 17(12) : 1742-1744.
- No . 11 Kojima H , Kanada H , Shimizu S , Kasama E , Shibuya K , Nakauchi H , Nagasawa T , Shibuya A :
CD226 mediates platelet and megakaryocytic cell adhesion to vascular endothelial cells.
Journal of Biological Chemistry 2003 ; 278(38) : 36748-36753.
- No . 12 Shimizu S , Kojima H , Yoshida C , Suzukawa K , Mukai HY , Hasegawa Y , Hitomi S , Nagasawa T :
Chorioamnionitis caused by *Serratia marcescens* in a non-immunocompromised host.
Journal of Clinical Pathology 2003 ; 56(11) : 871-872.
- No . 13 Shibuya K , Shirakawa J , Kameyama K , Honda S-I , Tahara-Hanaoka S , Miyamoto A , Onodera M , Sumida T , Nakauchi H , Miyoshi H , Shibuya A :
CD226(DNAM-1) is involved in LFA-1 costimulatory signal for naive T cell differentiation and proliferation.
J Exp Med 2003 ; 198 : 1829-1839.
- No . 14 Fujiki Y , Fukawa K , Kameyama K , Kudo O , Onodera M , Nakamura Y , Yagami K , Shiina Y , Hamada H , Shibuya A , Nakauchi H :
Successful multilineage engraftment of human cord blood cells in pigs after in utero transplantation.
Transplantation 2003 ; 75 : 916-922.
- No . 15 Suzuki N , Suwabe N , Ohneda O , Obara N , Imagawa S , Pan X , Motohashi H , Yamamoto M :
Identification and characterization of 2types of erythroid progenitors that express GATA-1 at distinct levels.
Blood 2003 ; 15 : 3575-3583.
- No . 16 佐藤晶子 , 二宮治彦 , 長澤俊郎 :
Howell-Jolly小体の高頻度出現による見かけ上の網赤血球増多症.
日本検査血液学会雑誌 2003 ; 4(3) : 360-368.
- No . 17 安島 厚 , 高山直也 , 長谷川雄一 , 小島 寛 , 長澤俊郎 :
Interferon療法にImatinib(STI571)を短期間併用しBcr-Ab1融合染色体陽性細胞が著減した慢性骨髄性白血病.
癌と化学療法 2003 ; 30 ; 1997-1999.

総 説

- No. 1 今川重彦, 中野陽子, 小原 直, 鈴木教郎, 土肥 武, 児玉龍彦, 長澤俊郎, 山本雅之:
新規エリスロポエチン発現促進剤(K-7174): 腎性貧血への試み.
医学のあゆみ. 2003 ; 204(4) : 291-292.
- No. 2 長澤俊郎:
特発性血小板減少性紫斑病. エキスパートに学ぶ治療戦略
今月の治療(臨時増刊号). 2003 ; 10 : 185-190.
- No. 3 今川重彦, 中野陽子, 小原 直, 鈴木教郎, 土肥 武, 児玉龍彦, 長澤俊郎, 山本雅之:
二次性貧血に対する新規治療薬の開発.
医学のあゆみ. 2003 ; 204(12) : 903-904.
- No. 4 清水誠一, 長澤俊郎:
血液疾患患者での薬剤の使用上の注意点.
臨床医. 2003 ; 29(9) : 1706-1708.
- No. 5 長谷川雄一, 長澤俊郎:
人工血小板の開発の歴史と現状.
人工血液. 2003 ; 11(4) : 193-199.
- No. 6 今川重彦:
血液学からみたドーピング.
臨床スポーツ医学. 2003 ; 20(2) : 195-200.
- No. 7 今川重彦:
慢性骨髄増殖性疾患(RV, ET, MF).
Modern Physician. 2003 ; 23(2) : 181-185.
- No. 8 今川重彦:
診療の秘訣: 慢性骨髄性白血病慢性期の治療.
Modern Physician. 2003 ; 23(8) : 1288.
- No. 9 今川重彦:
GATA転写因子によるエリスロポエチン発現制御機構.
分子細胞治療. 2003 ; 2(5) : 516-521.
- No. 10 今川重彦:
私の処方: 鉄欠乏性貧血
Modern Physician. 2003 ; 23(10) : 1538-1539.
- No. 11 今川重彦:
総論 尿毒症環境と貧血概論、特集 腎性貧血をもう一度考える.
臨床透析. 2003 ; 19(4) : 23-29.
- No. 12 小野寺雅史:
再発白血病に対する養子免疫遺伝子細胞治療.
ゲノム医学. 2003 : 417-423.

著 書

- No. 1 長谷川雄一，長澤俊郎：
本態性血小板血症。
改訂第3版 外来診療のすべて. 東京：メジカルビュー社，2003：822.
- No. 2 Imagawa S：
Function of transcription factor GATA-2.
Erythropoietin：Molecular Biology and Clinical Use
F.P.GRAHAM PUBLISHING CO.，Johnson City，TN(W.Jelkmann Eds) 2003；pp129-144.

学会発表

- No. 1 丸山秀和，小野寺雅史，長澤俊郎，本間 寛，山口 巖：
レトロウイルスベクターを用いたVEGF遺伝子導入細胞作製の試み。
第29回日本微小循環学会総会(熊本)，2月，2003
- No. 2 Hasegawa Y，Ohnuki S，Yanagi K，Ohshima N，Suzuki H，Takeda S，Ikeda Y，
Nagasawa T：
In vivo evaluation of new platelet substitute glycoprotein b- α bound on
recombinant albumin polymer.
The 9th International Symposium on Blood Substitutes(also 10th Annual
meeting of the Society of Blood Substitutes，Japan)(Tokyo，Japan) 3月，2003
(人工血液11(1)：58，2003)
- No. 3 石垣太郎，清水誠一，金子 新，鈴川和己，向井陽美，長谷川雄一，今川重彦，小島 寛，
長澤俊郎：
原因不明の無菌性肺炎を合併した骨髓異形成症候群(RAEB).
第146回日本臨床血液学会例会 (東京)，3月，2003
- No. 4 高山直也，安島 厚，長澤俊郎：
Capillary leak syndromeを呈した成人血球貪食症候群の1剖検例。
第146回日本臨床血液学会例会 (東京)，3月，2003
- No. 5 鈴川和己，石垣太郎，金子 新，吉田近思，清水誠一，向井陽美，長谷川雄一，今川重彦，
小島 寛，長澤俊郎：
高用量CHOP療法によるdiffuse large B-cell lymphoma(DLBL)の治療成績。
第100回日本内科学会講演会(福岡)，4月，2003
(日本内科学会雑誌 92(臨時増刊号)：198，2003)
- No. 6 長澤俊郎：
血小板産生異常の臨床。(教育講演)
第26回日本医学会総会(福岡)，4月，2003
(学術講演要旨：149，2003)
- No. 7 大津 真：
ADA欠損症における血液幹細胞を標的とする遺伝子治療。(シンポジウム)
第106回日本小児科学会学術集会(福岡)，4月，2003

- No . 8 Kojima H , Hasegawa Y , Suzukawa K , Mukai HY , Nagasawa T , Kamoshita M , Kobayashi T :
Feasibility and efficacy of dose-escalated CHOP regimen for diffuse large B-cell lymphoma(DLBCL).
American Society of Clinical Oncology , 39th annual meeting(Chicago) 6月 , 2003
(American Society of Clinical Oncology 22 : 598 , 2003)
- No . 9 Imagawa S , Nakano Y , Obara N , Suzuki N , Doi T , Nagasawa T , Yamamoto M :
K-7174(A GATA-specific inhibitor) rescues anemia of chronic disease.
6th International Lubeck Conference on the Pathophysiology and Pharmacology of Erythropoietin and other Hematopoietic Factors. (Lubeck , Germany)) 6月 , 2003
(Annals of Hematology 82(6) : S116 , 2003)
- No . 10 Suzuki N , Mukai HY , Ohneda O , Imagawa S , Nagasawa T , Yamamoto M :
Chemical induction of dimerizer of EPO receptor cytosolic domain regulates erythropoiesis in vivo.
6th International Lubeck Conference on the Pathophysiology and Pharmacology of Erythropoietin and other Hematopoietic Factors. (Lubeck , Germany)) 6月 , 2003
(Annals of Hematology 82(6) : S116 , 2003)
- No . 11 Otsu M , Ichimura R , Yoshida J , Hatano N , Kobayashi I , Kawamura N , Ariga T , Okano M , Kobayashi K , Hershifield MS , Sakiyama Y :
Discontinuation of PEG-ADA replacement therapy in a patient with ADA-deficiency previously treated with retroviral-mediated , T cell-directed gene therapy.
American Society of Gene Therapy , the 6th meeting(Washington DC) 6月 , 2003
- No . 12 小島 寛 , 長谷川雄一 , 鈴川和己 , 向井陽美 , 品川篤司 , 鴨下昌晴 , 小林敏貴 , 長澤俊郎 , 森 尚義 :
“ peripheral T-cell lymphoma , unspecified ” の臨床病理学的特徴.
第43回日本リンパ網内系学会総会(福岡) , 6月 , 2003
(日本リンパ網内系学会会誌43 : 58 , 2003)
- No . 13 町野孝幸 , 石垣太郎 , 金子 新 , 望月菜緒美 , 鈴川和己 , 長谷川雄一 , 今川重彦 , 小島 寛 , 長澤俊郎 , 千勝紀生 , 品川篤司 :
CD34 positive purging PBSCTを用いた大量化学療法が奏効したintravascular lymphomatosis(IVL).
第147回日本臨床血液学会例会 (東京) , 6月 , 2003
- No . 14 望月菜緒美 , 町野孝幸 , 桂 行孝 , 金子 新 , 鈴川和己 , 長谷川雄一 , 今川重彦 , 小島 寛 , 長澤俊郎 :
皮膚白血病細胞腫で発症した急性骨髄性白血病.
第23回茨城造血器疾患研究会(つくば) , 7月 , 2003
- No . 15 長澤俊郎 :
周術期と抗血栓療法.
Refresher Course Lecture 2003(東京麻酔専門医会) (東京) , 7月 , 2003
(Refresher Course Lecture 56-61 , 2003)

- No. 16 今川重彦：
貧血治療薬の現状と今後の展望。
興和(株)東京創薬第二研究所 講演(東京)，7月，2003
- No. 17 小島 寛，長谷川雄一，鈴川和己，向井陽美，小林敏貴，品川篤司，川内康弘，森 尚義，
長澤俊郎：
“ peripheral T-cell lymphoma(PTCL)，unspecified ” の臨床像、予後因子の解析。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：146，2003)
- No. 18 向井陽美，鈴木教郎，大根田修，長澤俊郎，山本雅之：
化学的二量体化物質による人工的赤血球造血制御。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：214，2003)
- No. 19 中野陽子，今川重彦，小原 直，鈴木教郎，長澤俊郎，山本雅之：
新規GATA特異的阻害薬の経口投与による慢性貧血改善の試み。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：214，2003)
- No. 20 清水誠一，向井陽美，鈴川和己，長谷川雄一，今川重彦，小林敏貴，鴨下昌晴，小島 寛，
長澤俊郎：
高齢者悪性リンパ腫に対するTHP-CVP療法の効果：長期予後の検討。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：268，2003)
- No. 21 小原 直，鈴木教郎，大根田修，高橋 智，今川重彦，長澤俊郎，山本雅之：
機能的レスキュー法を用いた個体レベルでの血球系GATA因子群の分子機能比較。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：279，2003)
- No. 22 鈴川和己，清水誠一，根本範子，竹井七保子，長澤俊郎：
急性骨髄性白血病におけるAF17遺伝子内新規染色体切断点同定とMLL-AF17融合
遺伝子の検出。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：323，2003)
- No. 23 金子 新，石垣太郎，清水誠一，鈴川和己，向井陽美，長谷川雄一，今川重彦，小島 寛，
長澤俊郎：
CMLより急性転化し、イマチニブが著功したTリンパ芽球性リンパ腫の一例。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：335，2003)
- No. 24 伊藤孝美，長谷川雄一，長澤俊郎，椎貝達夫：
全身のリンパ節腫大を呈し、IgM型M蛋白が疑われたALアミロイドーシス。
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪)，8月，2003
(臨床血液44(8)：361，2003)

- No . 25 石垣太郎, 清水誠一, 金子 新, 長谷川雄一, 鈴川和己, 向井陽美, 小島 寛, 長澤俊郎 :
原因不明の肺病変を合併したder(1q ; 7p)を持つMDSの3例.
第65回日本血液学会総会・第45回日本臨床血液学会総会(大阪), 8月, 2003
(臨床血液44(8) : 403, 2003)
- No . 26 Imagawa S :
A novel GATA-specific inhibitor(GSI) rescues anemia of chronic disease by oral
administration.
Oxygen and the Cell. Harnack-Haus, (Berlin), 9月, 2003.
- No . 27 望月菜緒美, 町野孝幸, 桂 行孝, 金子 新, 鈴川和己, 長谷川雄一, 今川重彦, 小島 寛,
長澤俊郎 :
赤芽球低形成と溶血を伴った $\gamma \cdot \delta$ -T-GLPD.
第148回日本臨床血液学会例会 (東京), 10月, 2003
- No . 28 長澤俊郎 :
血小板産生とその異常.
第6回岡山血液凝固・線溶研究会 (岡山), 10月, 2003
- No . 29 Nakano Y, Imagawa S, Obara N, Suzuki N, Nagasawa T, Yamamoto M :
A GATA-specific inhibitor(GSI) rescues anemia chronic disease by oral
administration.
The 76th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society, (横浜),
10月, 2003
- No . 30 小原 直, 今川重彦, 中野陽子, 長澤俊郎, 鈴木教郎, 大根田 修, 山本雅之 :
BAC(Bacterial Artificial Chromosome)トランスジェニックマウスを用いたエリスロ
ポエチン(Epo) 産生細胞の同定.
第12回腎とエリスロポエチン研究会(東京), 11月, 2003
- No . 31 長澤俊郎 :
血液検査・凝固検査データの見かた.
第230回下館医師会研修会(下館), 11月, 2003
- No . 32 Kaneko S, Onodera M, Kojima H, Otsu M, Hasegawa Y, Fukushima T, Shimizu T,
Sumazaki R, Matsui A, Tsuchida M, Sakamaki H, Kato S, Nakauchi H,
Nagasawa T :
Genetically modified donor lymphocyte infusion into the patient with relapsed
leukemia after allogeneic bone marrow transplantation.
European Society of Gene Therapy, 11th Annual Congress(Edinburgh) 11月, 2003
- No . 33 濱仲早苗, 臼井丈一, 高橋 智, 長田道夫, 金子 新, 長澤俊郎, 中内啓光, 小野寺雅史 :
メチル化抵抗性レトロウイルスベクターGCDNsapによる胚性幹細胞の遺伝子改変.
第33回日本免疫学会総会 (福岡), 12月, 2003
(日本免疫学会総会・学術集会記録33 ; 69, 2003)

- No . 34 Imagawa S , Nakano Y , Obara N , Suzuki N , Nagasawa T , Yamamoto M :
A novel GATA-specific inhibitor(GSI) rescues anemia of chronic disease by oral administration.
American Society of Hematology , 45th annual meeting (San Diego)12月 , 2003
(Blood 102(11) : 510a , 2003)
- No . 35 Kozuma Y , Kojima H , Shirado Y , Nagasawa T :
Calpain , but not caspase , is involved in platelet production from megakaryocytes in a manner independent of cellular apoptosis.
American Society of Hematology , 45th annual meeting (San Diego) 12月 , 2003
(Blood 102(11) : 828a , 2003)
- No . 36 鍋倉 宰 , 中内啓光 , 長澤俊郎 , 小野寺雅史 :
遺伝子改変樹状細胞を用いた癌免疫細胞療法の確立.
第33回日本免疫学会総会 (福岡) , 12月 , 2003
(日本免疫学会総会・学術集会記録33 ; 326 , 2003)
- No . 37 濱仲早苗 , 臼井丈一 , 高橋 智 , 吉田尚弘 , 長田道夫 , 金子 新 , 中内啓光 , 長澤俊郎 , 小野寺雅史 :
Gene silencing抵抗性レトロウイルスベクターGCDNsapによる胚性幹細胞の遺伝子改変.
第26回日本分子生物学会 (神戸) , 12月 , 2003
- No . 38 Hasegawa Y. :
Synthetic Platelets.
ASAIO-ISAIO joint conference (Washington DC) 6月 , 2003
- No . 39 長谷川雄一 , 桂 行孝 , 町野孝幸 , 望月菜緒美 , 金子 新 , 鈴川 和己 , 向井陽美 , 今川重彦 , 小島 寛 , 長澤俊郎 :
多発性骨髄腫に対する auto PBSCT 併用大量 L-PAM 療法の検討 .
第26回日本造血細胞移植学会総会 (横浜) , 12月 , 2003
- その他
- No . 1 今川重彦 :
腎性貧血対策の現況.
ラジオ短波9月21日 , 2003
- No . 2 今川重彦 :
腎性貧血対策の現況.
BSCテレビ10月7日 , 2003
- No . 3 今川重彦 :
造血システムにおける自己複製と分化機構の解析.
平成10年度-平成13年度科学研究費補助金(特定領域研究(A)(1))研究成果報告書
研究代表者 須田年生 1月 , p202-p204 : 2003

2003年（神経内科グループ）

原 著

- No . 1 Mochizuki A, Ueda Y, Komatsuzaki Y, Tsuchiya K, Arai T, Shoji S :
Progressive supranuclear palsy presenting with primary progressive
aphasia-clinicopathological report of an autopsy case
Acta Neuropathol (Berl) 105(6) : 610-614 , 2003
- No . 2 Kalaria RN, Thomas A, Oakley A, Ince P, Tamaoka A, Mori H, Kenny RA, Ballard C :
Cerebrovascular amyloidosis and dementia
Curr Med Che – Immun Endoc & Metab Agents 3 : 317-327 , 2003
- No . 3 Ishii K, Tamaoka A, Matsuno S, Shoji S :
Isolated peroneal nerve palsy complicating weight loss due to anterior pituitary
hypofunction
Eur J Neurol 10(2) : 187-188 , 2003
- No . 4 Chisaki K, Okuda Y, Suzuki S, Miyauchi T, Soma M, Ohkoshi N, Sone H, Yamada N,
Nakajima T :
Eicosapentaenoic acid suppresses basal and insulin-stimulated endothelin-1
production in human endothelial cells
Hypertens Res 26(8) : 655-661 , 2003
- No . 5 Yoshizawa T, Watanabe M, Furusho K, Shoji S :
Magnetic resonance imaging demonstrates differential atrophy of pontine base
and tegmentum in Machado-Joseph disease
J Neurol Sci 215 : 45-50 , 2003
- No . 6 Ohkoshi N, Satoh D, Nishi M, Shoji S :
Neuroleptic malignant-like syndrome due to donepezil and maprotiline
Neurology 60(6) : 1050 , 2003
- No . 7 Nishino S, Kanbayashi, Fujiki N, Uchino M, Ripley B, Watanabe M, Ishiguro H,
Shoji S, Nishida Y, Overeem S, Toyoshima I, Yoshida Y, Shimizu T, Taheri S,
Mignot E :
CSF hypocretin levels in Guillain-Barre syndrome and other inflammatory
neuropathies
Neurology 61 : 823-825 , 2003
- No . 8 Watanabe M, Harada S, Nakamura T, Ohkoshi N, Yoshizawa K, Hayashi A, Shoji S :
Association between catechol-O-methyltransferase gene polymorphisms and
wearing-off and dyskinesia in Parkinson's disease
Neuropsychobiology 48(4) : 190-193 , 2003
- No . 9 Ishii K, Tokuda T, Matsushima T, Miya F, Shoji S, Ikeda S, Tamaoka A :
Pravastatin at 10 mg/day does not decrease plasma levels of either amyloid- β (A
 β) 40 or A β 42 in humans
Neurosci Lett 350(3) : 161-164 , 2003

- No . 10 Watanabe M, Nissato S, Ohkoshi N, Yoshizawa T, Yoshizawa K, Hayashi A, Shoji S :
Molecular genetic analysis of DRD2 and MAOB loci in patients with Parkinson's
disease treated with dopamine agonists and/or specific MAO-B inhibitor
New Trends in Alzheimer and Parkinson related disorders
113-117 , 2003
- No . 11 Kikuchi N, Nomura A, Ishii Y, Sekizawa K, Harada H, Ishii K, Wada T :
Progressive encephalomyelitis with rigidity as refractory asthma
Thorax 58(7) : 645 , 2003
- No . 12 鈴木 淳一 , 相澤 好治 , 福島 統 , 森田 孝夫 , 松岡 健 , 庄司 進一 , 吉岡 俊正 ,
掘 原一 :
座談会 : 大学外卒前医学教育-地域での医学教育Community-Based Medical
Education-特集-大学外卒前医学教育Community-Based Medical Education
医学教育 34(3) : 141-144 , 2003
- No . 13 庄司 進一 , 大林 雅之 , 赤林 朗 , 森下 直貴 , 白浜 雅司 :
第1回医療倫理教育ワークショップ報告
医学教育 34(3) : 187-192 , 2003
- No . 14 松尾 理 , 庄司 進一 , 堀内 三郎 , 井内 康輝 , 掘 有行 , 鈴木 雅隆 :
モデル・コア・カリキュラムを踏まえた基礎医学教育の在り方
医学教育 34(5) : 297-302 , 2003
- No . 15 渡邊 雅彦 , 飯島 弘晃 , 中島 禎一 , 阿武 泉 , 大越 教夫 , 庄司 進一 :
重症貧血患者に認められたperiodic limb movements in sleepの1例
運動障害(0917-5601) 13 (1) : 15-18 , 2003
- No . 16 玉岡 晃 , 古庄健太郎 , 石井 一弘 , 渡邊 雅彦 , 庄司 進一 :
重症筋無力症に伴った筋萎縮と運動ニューロン疾患との鑑別が困難であった症例
こころの臨床a・la・carte22 (増刊号) : 98-100 , 2003
- No . 17 石井 一弘 :
クリサミンGとその誘導体はアミロイドβ蛋白質によるマウス神経細胞に対する毒性
を減弱させる
第30回かなえ医薬振興財団助成金 受賞者研究業績集(第30集)
財団法人 かなえ医薬振興財団 : 64-68 , 2003
- No . 18 石井 一弘 , 玉岡 晃 , 大塚 藤男 :
特別講演1 , ジフェニルアルシン酸等による井戸水汚染と健康影響
第11回ヒ素シンポジウム講演要旨集 , 日本ヒ素研究会 : 1-2 , 2003
- 総 説
- No . 1 庄司 進一 :
Muscle cramp in Machado-Joseph disease. Altered motor axonal excitability
properties and mexiletine treatment
神経治療学 20(4) : 503 , 2003

- No. 2 庄司 進一：
外国雑誌文献速報2報
神経治療学 20(5)：621，2003
- No. 3 庄司 進一：
外国雑誌文献速報8報
神経治療学 20(6)：763-764，2003
- No. 4 庄司 進一：
21世紀の医師の世界最少必須条件：Global minimum essential requirements for the doctor of the 21st century
医学教育 34(1)：表紙，2003
- No. 5 庄司 進一：
国際医学教育名簿
医学教育 34(1)：12，2003
- No. 6 庄司 進一：
マーストリヒト大学医学部の夏期コース「問題基盤型学習の拡大する地平」
医学教育 34(1)：19，2003
- No. 7 庄司 進一：
第1回アジア太平洋医学教育会議
医学教育 34(1)：28，2003
- No. 8 庄司 進一：
第7回国際医科学教育者連合年次大会
医学教育 34(2)：100，2003
- No. 9 庄司 進一：
欧州医学教育連合年次大会2003(第2報)
医学教育 34(2)：100，2003
- No. 10 庄司 進一：
ガンジーの碑文に刻まれた七つの社会的罪
医学教育 34(2)：108-109，2003
- No. 11 庄司 進一：
国際会議「教育，訓練，健康ケア配分の公平を目指して」
医学教育 34(2)：136，2003
- No. 12 庄司 進一：
医学教育発見コース：評価
医学教育 34(2)：136，2003
- No. 13 庄司 進一：
マックマスター大学PBLワークショップ
医学教育 34(2)：137，2003
- No. 14 庄司 進一：
訪問者向けワークショップ：マックマスター大学の健康科学教育へのアプローチ概観
医学教育 34(2)：137，2003

- No. 15 庄司 進一：
 ニュース World Conference of World Federation for Medical Education
 医学教育 34(3)：184，2003
- No. 16 庄司 進一：
 ニュース 教育改革国際シンポジウム
 「大学評価の国際的動向 高等教育改革のゆくえ」
 医学教育 34(3)：184，2003
- No. 17 庄司 進一：
 国際仮想医学校
 医学教育 34(3)：185，2003
- No. 18 庄司 進一：
 書評 ケースブック医療倫理
 医学教育 34(3)：192，2003
- No. 19 庄司 進一：
 書評 医学教育プログラム開発—6段階アプローチによる学習と評価の一体化—
 医学教育 34(3)：206，2003
- No. 20 庄司 進一：
 ニュース 日本高等教育学会第6回大会
 医学教育 34(4)：276，2003
- No. 21 庄司 進一：
 生涯医学教育同盟第29回年次大会
 医学教育 34(5)：309，2003
- No. 22 庄司 進一：
 医学教育研究連合年次大会2004
 医学教育 34(5)：322，2003
- No. 23 庄司 進一：
 脳死と臓器移植における倫理的問題に関する国際会議
 医学教育 34(5)：322，2003
- No. 24 庄司 進一：
 欧州健康管理におけるコミュニケーション国際会議2004
 医学教育 34(5)：341，2003
- No. 25 庄司 進一：
 欧州医学教育連合年次大会2004
 医学教育 34(5)：341，2003
- No. 26 庄司 進一：
 編集後記
 医学教育 34(5)：362，2003
- No. 27 庄司 進一：
 特色ある大学教育支援プログラム
 医学教育 34(6)：表紙，2003

- No. 28 庄司 進一：
マーストリヒト大学医学部ワークショップ
医学教育 34(6)：367，2003
- No. 29 庄司 進一：
生涯医学教育国際会議2004
医学教育 34(6)：412，2003
- No. 30 庄司 進一：
第3回医学校における倫理教育国際会議
医学教育 34(6)：417，2003
- No. 31 庄司 進一：
編集後記
医学教育 34(6)：432，2003
- No. 32 庄司 進一：
書評 中村健一著『臨床医のためのデジカメ活用マニュアル』
日本医事新報 4133：52，2003
- No. 33 庄司 進一：
学会印象記 第9回日本臨床死生学会
日本緩和医療学会ニューズレター 22：7，2003
- No. 34 Tamaoka A：
Paramyotonia congenita and skeletal sodium channelopathy
Intern Med 42(9)：769-770，2003
- No. 35 玉岡 晃：
アルツハイマー病治療薬
薬事日報 9820：20，2003
- No. 36 石井 一弘，玉岡 晃，庄司 進一：
Down症候群
日本臨床（別冊）領域別症候群シリーズ 39：427-430，2003
- No. 37 玉岡 晃：
Insulin-degrading enzyme (IDE)
日本臨床 61（増刊号9）：54-61，2003
- No. 38 玉岡 晃：
知の螺旋
茨城県医師会報 589：47-48，2003
- No. 39 玉岡 晃：
痴呆症状
CLINICAL NEUROSCIENCE 21（4）：382-387，2003
- No. 40 玉岡 晃：
脳脊髄への転移
Modern Physician 23(3)：353-355，2003

- No. 41 大越 教夫：
内科医のための神経内科Minimum Essential：内科疾患に伴う神経症状；甲状腺疾患
内科 91(4)：670-674，2003
- No. 42 大越 教夫：
脳脊髄液：最新の脳脊髄液検査と治療の実際：癌性髄膜炎
Clinical Neuroscience 21 (8)：913-916，2003
- No. 43 吉澤 利弘：
総合診療医・家庭医のための妊婦の診療「てんかん患者の妊娠における留意点」
治療 85：1531-1534，2003
- No. 44 村田 美穂，三村 俊英，千葉 滋，吉澤 利弘：
座談会「今，内科医に求められる神経内科」
内科 91：713-725，2003
- No. 45 吉澤 利弘：
スタチンによる神経筋障害
内科 91：1337，2003
- No. 46 葛原 茂樹，山之内芳雄，直井 信，渡邊 雅彦，瀬川 昌也：
討論12：5-HT・DA系遺伝子多型による非定型抗精神病薬の臨床効果予測：
Pharmacogenetic approachの試み
Prog Med 23：2815-2819，2003
- No. 47 望月 昭英，新井 晶子：
高活性レトロウイルス療法(HAART)中の後天性免疫不全症候群(AIDS)に進行性多
巣性白質脳症(PML)が発症した1例
常陽医療福祉新聞：3，2003
- No. 48 石井 一弘，作田 学：
このヒトに聞く，有機ヒ素中毒の発見をめぐる
脳と神経 55 (12)：1065-1072，2003
- 著 書
- No. 1 庄司 進一：
IV.四肢の異常 8.手足のしびれ
内科鑑別診断学 第2版 (杉本 垣明，小俣 政男総編集)
朝倉書店，東京，pp336-339，2003
- No. 2 庄司 進一：
「生・老・病・死を考える15章 -実践臨床人間学入門-」
編著 朝日選書
朝日新聞社，東京，2003
- No. 3 庄司 進一：
筋生検・神経生検
より良いインフォームド・コンセント(IC)のために (認定内科専門医会編)
日本内科学会，東京，pp 334-343，2003

- No. 4 庄司 進一：
第97回医師国家試験問題解説書
医学評論社，東京，必須篇pp90-91，一般／臨床篇pp145-147，2003
- No. 5 庄司 進一：
臨床現場におけるコミュニケーションの基礎と実践
死の臨床とコミュニケーション（教育研修委員会編）
日本死の臨床研究会，大阪，pp45-50，2003
- No. 6 柿川 房子，山崎 章郎，志真 泰夫，庄司 進一，高沢 洋子，臼田美智子：
ターミナルケアにおけるコミュニケーションスキル
死の臨床とコミュニケーション（教育研修委員会編）
日本死の臨床研究会，大阪，pp93-105，2003
- No. 7 玉岡 晃：
検体検査（血液検査，髄液検査）
新体系看護学8疾病の成り立ちと回復の促進 神経・筋疾患／内分泌疾患
（黒岩 義之，紫芝 良昌編集）
メヂカルフレンド社，東京，pp69-73，2003
- No. 8 玉岡 晃：
一般内科疾患に伴う神経・筋障害
新体系看護学8疾病の成り立ちと回復の促進 神経・筋疾患／内分泌疾患
（黒岩 義之，紫芝 良昌編集）
メヂカルフレンド社，東京，pp186-193，2003
- No. 9 大越 教夫：
アラン・デュシェンヌ型筋萎縮症 4611102
遺伝性筋萎縮性硬化症 4611103
エメリ・デレフュス症候群 4611104
遠位性脊髄性筋萎縮症 4611105
家族性脊髄性筋萎縮症 4611106
筋萎縮性側索硬化症 4611107
クルヴェイエ病 4611108
デュシェンヌ・アラン病 4611109
糖尿病性筋萎縮症 4611110
片麻痺性筋萎縮症 4611111
医学書院医学大辞典（CD-ROM）（伊藤 正男，井村 裕夫，高久 史磨総編集）
医学書院，東京，2003
- No. 10 吉澤 利弘：
神経可塑性亢進とFAD関連遺伝子
Key Word精神（第3版）
（樋口 輝彦，神庭 重信，染谷 俊幸，宮岡 等編集）
先端医学社，東京，pp180-181，2003

学会発表

- No. 1 渡邊 雅彦, 飯島 弘晃, 中島 禎一, 阿武 泉, 大越 教夫, 庄司 進一:
重症貧血患者に認められたperiodic limb movements in sleepの1例
運動障害 (東京), 1月, 2003
- No. 2 吉田佐好子, 渡邊 雅彦, 杉本 浩一, 石井 一弘, 大越 教夫, 藤田 祐之, 玉岡 晃,
庄司 進一:
ハードコンタクトレンズ長期装用により両側眼瞼下垂をきたした1例
第506回日本内科学会関東地方会 (東京), 2月, 2003
- No. 3 栗田 尚樹, 石井 一弘, 藤田 祐之, 渡邊 雅彦, 玉岡 晃, 庄司 進一:
Brown-Sequard症候群を呈し, 髄内病変が認められた頸椎症の1例
第4回茨城県脊髓・脊椎研究会 (つくば), 2月, 2003
- No. 4 松野佐好子, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
MELASに対するジクロロ酢酸治療中に末梢神経障害を呈し, 腓腹神経生検にて細胞
浸潤を認めた1例
第164回日本神経学会関東地方会 (東京), 3月, 2003
- No. 5 栗田 尚樹, 石井 一弘, 藤田 祐之, 渡邊 雅彦, 玉岡 晃, 庄司 進一:
Brown-Sequard症候群 (BSS) を呈した頸椎症性脊髓症の1例
第507回日本内科学会関東地方会 (東京), 3月, 2003
- No. 6 石井亜紀子, 河野 豊, 大越 教夫, 庄司 進一:
外転神経単独麻痺例の臨床的検討
第100回日本内科学会総会・講演会 (福岡), 4月, 2003
- No. 7 Watanabe M, Nissato S, Ohkoshi N, Yoshizawa K, Hayashi A, Yoshizawa T, Shoji S:
Molecular genetic analysis DRD2 and MAOB loci in patients with Parkinson's
disease treated with dopamine agonists and/or specific MAOB inhibitor
6th International Conference AD/PD (Seville, Spain), 5月, 2003
- No. 8 吉田亜紀子, 望月 昭英, 吉田佐好子, 渡邊 雅彦, 庄司 進一:
サイアミンが著効した外眼筋麻痺と球麻痺を呈した1例
第508回日本内科学会関東地方会 (東京), 5月, 2003
- No. 9 石川 欽也, 大越 教夫, 庄司 進一, 加藤 丈夫, 長島 和郎, 木南 英紀,
水澤 英洋:
SCA6脳での封入体にはlysosomal proteaseが関連している
第44回日本神経学会総会 (横浜), 5月, 2003
- No. 10 富満 弘之, 清水 潤, 石川 欽也, 大越 教夫, 金澤 一郎, 水澤 英洋:
筋線維のrimmed vacuoleを特徴とする遠位型ミオパチー患者のGNE遺伝子変異と臨
床像
第44回日本神経学会総会 (横浜), 5月, 2003
- No. 11 石井 一弘, 玉岡 晃, 徳田 隆彦, 松島 照彦, 原田 祐嗣, 宮 冬樹, 池田 修一,
庄司 進一:
血漿A β 蛋白分子種に及ぼすPravastatinの効果
第44回日本神経学会総会 (横浜), 5月, 2003

- No. 12 松野佐好子, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 星野 茂:
実験的頭部外傷ラット脳の慢性期におけるアミロイド β 蛋白の定量と対照群との比較
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 13 石井亜紀子, 林 明人, 大越 教夫, 庄司 進一:
Stiff-person症候群における自己抗体の検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 14 吉澤 利弘, 渡邊 雅彦, 古庄健太郎, 庄司 進一:
Machado-Joseph病橋病変のMRIによる形態学的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 15 白岩 伸子, 吉澤 利弘, 庄司 進一:
ベル麻痺患者の予後予測因子の検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 16 古庄健太郎, 吉澤 利弘, 新里寿美子, 庄司 進一:
Ataxin-3の凝集体形成と細胞死に対するタンパク安定化試薬の効果について
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 17 中馬越清隆, 古庄健太郎, 藤田 祐之, 玉岡 晃, 庄司 進一:
注視性眼振と前庭インバランスの関係について
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 18 渡邊 雅彦, 新里寿美子, 大越 教夫, 吉澤 利弘, 庄司 進一, 吉沢 和朗, 林 明人:
日本人パーキンソン病患者におけるDRD2遺伝子およびMAOB遺伝子多型の解析
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 19 星野 幸子, 大越 教夫, 望月 昭英, 庄司 進一, 久野 節二:
筋萎縮性側索硬化症の延髄, 脊髄におけるVGLUT1発現の免疫学的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 20 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 松野佐好子, 原田 祐嗣, 望月 昭英, 庄司 進一,
原田 勝二:
アルツハイマー病脳における過酸化脂質とミトコンドリア型アルデヒド脱水素酵素の
多型
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 21 金丸 和富, 山之内 博, 玉岡 晃, 松野佐好子, 村山 繁雄:
 $A\beta$ 42とtauのCSF gradient
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 22 藤田 祐之, 大越 教夫, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一:
非典型的な脳MRI所見を呈した多発性硬化症の臨床的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 23 大越 教夫, 矢藤 睦子, 星野 幸子, 石井亜紀子, 庄司 進一:
各種血管炎性ニューロパチーにおける臨床的・組織学的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003

- No. 24 原田 祐嗣, 石井 一弘, 宮 冬樹, 亀高 諭, 亀谷富由樹, 庄司 進一, 玉岡 晃:
Beta-site APP-cleaving enzyme 1 (BACE1) 抗体の作成とヒト脳におけるBACE1の
解析
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 25 望月 昭英, 岩本 浩之, 菅間 博, 野口 雅之, 庄司 進一:
Pure akinesiaを呈した進行性核上性麻痺における大脳病変の病理学的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 26 原田 勝利, 永田 博司, 古賀 博子, 大越 教夫, 庄司 進一:
糖尿病モデルにおける末梢神経crush injuryと神経栄養因子の免疫組織学的検討
第44回日本神経学会総会(横浜), 5月, 2003
- No. 27 望月 昭英, 小松崎八寿子, 本井ゆみ子, 土谷 邦秋, 唐崎三千代:
広範囲にPick小体を認めたPick病と考えられる1例
第44回日本神経病理学会総会学術研究会(名古屋), 5月, 2003
- No. 28 石井 一弘, 玉岡 晃, 中馬越清隆, 新 健治, 庄司 進一:
ミオクローヌス・小脳失調を呈した茨城県南東部の地域集積例—有機ヒ素中毒との関
連も含めて—
第165回日本神経学会関東地方会(東京), 6月, 2003
- No. 29 坪井 洋人, 渡邊 雅彦, 中馬越清隆, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 木村 泰三:
von Recklinghausen 病に髄膜瘤を合併した痙性対麻痺を呈した1例
第509回日本内科学会関東地方会(東京), 6月, 2003
- No. 30 佐藤 弘茂, 柴田 智行, 玉岡 晃, 長谷川雄一:
Wallenberg症候群を呈した本態性血小板血症の1例
第32回茨城県南脳血管障害研究会(つくば), 6月, 2003
- No. 31 藤田 祐之, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一:
小脳症状, 痴呆を呈した遅発性放射線脳障害の1例
第32回茨城県南脳血管障害研究会(つくば), 6月, 2003
- No. 32 保坂 愛, 吉澤 利弘, 庄司 進一, 谷中 清之, 阿武 泉, 山本 三幸:
右紡錘状回梗塞により一過性の相貌失認を呈した家族性高コレステロール血症の1例
第169回茨城県内科集談会(水戸), 6月, 2003
- No. 33 松野佐好子, 石井 一弘, 玉岡 晃, 木村 泰三, 庄司 進一:
他院にて本態性振戦症として加療されていた症候性てんかんの1例
第25回茨城てんかん懇話会(つくば), 6月, 2003
- No. 34 庄司 進一:
緩和ケア教育のためのロールプレイ授業, ワークショップ「緩和医療教育」
第8回日本緩和医療学会総会(幕張), 6月, 2003
- No. 35 水野ひとみ, 藤田 祐之, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一, 松野佐好子:
片側chorea-ballismusの発症を契機として診断され, 画像上線条体病変を認めた糖尿
病の1例
第10回茨城臨床神経ビデオフォーラム(つくば), 7月, 2003

- No. 36 上野 友之, 大越 教夫, 藤田 祐之, 石井 一弘, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一 :
 髄膜炎様の発症形式を呈した非定型的多発性硬化症の2例
 第510回日本内科学会関東地方会 (東京), 7月, 2003
- No. 37 石井 一弘, 玉岡 晃, 中馬越清隆, 庄司 進一, 新 健治, 緒方 剛, 石崎 睦雄,
 土井 幹雄, 下條 信弘 :
 茨城県神栖町に発生した有機ヒ素 (ジフェニルアルシン化合物) 中毒について
 第25回日本中毒学会総会・学術集会 (福島), 7月, 2003
- No. 38 白岩 伸子, 吉澤 利弘, 大越 教夫, 庄司 進一 :
 急性散在性脳脊髄炎に多発性神経根炎を合併し, 免疫グロブリン療法が有効だった1例
 第4回茨城県神経免疫フォーラム (つくば), 7月, 2003
- No. 39 吉沢 和朗, 星野 幸子, 吉田真由美, 大越 教夫 :
 不随意運動を初発症状としたcorticobasal degenerationと思われる1例
 運動障害 (東京), 7月, 2003
- No. 40 藤田 祐之, 大越 教夫, 望月 昭英, 玉岡 晃, 庄司 進一 :
 症状増悪に伴って高血圧, 内眼筋障害を呈したIsaacs 症候群の1例
 第166回日本神経学会関東地方会 (東京), 9月, 2003
- No. 41 和泉 梢, 大越 教夫, 藤田 祐之, 玉岡 晃, 庄司 進一, 大久保英樹, 佐藤 重規 :
 ダンス中の打撲により頸静脈孔症候群 (Vernet症候群) を呈した1例
 第511回日本内科学会関東地方会 (東京), 9月, 2003
- No. 42 Mochizuki A, Shoji S :
 Clinicopathological study of atypical progressive supranuclear palsy cases
 XVth Congress of the International Society of Neuropathology
 (Turin, Italy), 9月, 2003
- No. 43 Ohkoshi N, Nakamagoe K, Furusho K, Yoshida H, Shoji S :
 Clinico-pathologic studies in fasciitis : diffuse fasciitis with eosinophilia and
 macrophagic myofasciitis
 XVth Congress of the International Society of Neuropathology
 (Turin, Italy), 9月, 2003
- No. 44 Ishii A, Ohkoshi N, Hayashi A, Shoji S :
 Autoantibody in stiff-person syndrome in Japan
 XVth Congress of the International Society of Neuropathology
 (Turin, Italy), 9月, 2003
- No. 45 Fujita Y, Ohkoshi N, Kohno Y, Shoji S, Morishita Y, Noguchi M :
 Neoplastic meningitis : a clinico-pathological study of three cases
 XVth Congress of the International Society of Neuropathology
 (Turin, Italy), 9月, 2003

- No. 46 Hoshino S, Ohkoshi N, Mochizuki A, Hisano S :
Expression of an inorganic phosphate/vesicular glutamate transporter (BNPI/VGLUT1) in the medulla oblongata and spinal cord of amyotrophic lateral sclerosis (ALS)
XVth Congress of the International Society of Neuropathology
(Turin, Italy), 9月, 2003
- No. 47 庄司 進一 :
「神経難病でのインフォームドコンセント」
パネルディスカッション「インフォームドコンセントはどこまで進んでいるか？」
第1回日本神経疾患医療福祉従事者学会(横浜), 9月, 2003
- No. 48 藤田 祐之, 大越 教夫, 水野ひとみ, 玉岡 晃, 庄司 進一 :
INH髄注療法とステロイド療法が奏効した結核性髄膜炎の1例
第16回茨城神経内科集談会(つくば), 9月, 2003
- No. 49 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 松野佐好子, 原田 祐嗣, 望月 昭英, 庄司 進一, 原田 勝二 :
アルツハイマー病におけるミトコンドリア型アルデヒド脱水素酵素の多型と過酸化脂質
第22回日本痴呆学会(東京)10月, 2003
- No. 50 原田 祐嗣, 石井 一弘, 宮 冬樹, 亀高 諭, 亀谷富由樹, 庄司 進一, 玉岡 晃 :
 β site APP-cleaving enzyme 1 (BACE1) 抗体の作成とヒト脳におけるBACE1の解析
第22回日本痴呆学会(東京)10月, 2003
- No. 51 松野佐好子, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 星野 茂 :
実験的頭部外傷ラット脳の慢性期におけるアミロイド β 蛋白の定量-対照群との比較検討を含めて-
第22回日本痴呆学会(東京)10月, 2003
- No. 52 中澤 健介, 藤田 祐之, 玉岡 晃, 石井 一弘, 庄司 進一, 石井 賢二 :
片側舞蹈運動を呈し, 同側の尾状核ラクナ梗塞を認めた症例における臨床・放射線学的検討
第512回日本内科学会関東地方会(東京), 10月, 2003
- No. 53 大塚 茂男, 玉岡 晃, 藤田 祐之, 庄司 進一, 伴野 朋裕, 大塚 藤男 :
胸腺腫と低 γ グロブリン血症(Good症候群)に舌の扁平苔癬を合併した1例
第26回茨城県画像診断研究会(水戸), 10月, 2003
- No. 54 中澤 健介, 藤田 祐之, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一, 添田 敦子, 柿木 信重, 柴原 健, 田中 直見 :
若年性脳梗塞を合併したCrohn病の1例
第25回茨城医学会内科分科会, 第170回茨城県内科集談会(水戸), 10月, 2003
- No. 55 宮崎 邦彦, 渡邊 雅彦, 上野 友之, 望月 昭英, 庄司 進一 :
著しい高インスリン血症を認めた筋強直性ジストロフィーの1例
第513回日本内科学会関東地方会(東京), 11月, 2003

- No . 56 Yoshizawa T, Watanabe M, Furusho K, Shoji S :
Magnetic Resonance Imaging demonstrates differential atrophy of pontine base
and tegmentum in Machado-Joseph disease
33st Annual Meeting of Society for Neuroscience
(New Orleans), 11月, 2003
- No . 57 Tamaoka A, Matsuno S, Ishii K, Shoji S, Yamamoto N, Nagata H :
Amyloid β protein species in rat brains with bilateral occlusion of common carotid
arteries – in comparison with sham rats –
33st Annual Meeting of Society for Neuroscience
(New Orleans), 11月, 2003
- No . 58 Tamaoka A, Matsuno S, Ishii K, Shoji S, Yamamoto N, Nagata H :
Amyloid β protein species in rat brains with bilateral occlusion of common carotid
arteries – in comparison with sham rats –
The 7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology
(Tokyo), 11月, 2003
(Geriatrics Gerontology International 3(supplement 1) : S69, 2003)
- No . 59 上野 友之, 石井 一弘, 大越 教夫, 玉岡 晃, 庄司 進一 :
小脳萎縮, 糖尿病, 高グルタミン酸血症を呈したCMT病と考えられる1例
第167回日本神経学会関東地方会 (東京), 11月, 2003
- No . 60 武藤 秀治, 大越 教夫, 藤田 祐之, 中澤 健介, 吉澤 利弘, 玉岡 晃, 庄司 進一,
吉田 郁雄, 渡辺 重行, 山口 巖 :
虚血性心疾患を合併したPOEMS症候群の1例
第514回日本内科学会関東地方会 (東京), 12月, 2003

班研究報告

- No . 1 玉岡 晃, 松野佐好子, 石井 一弘, 庄司 進一, 山本 和央, 永田 博司 :
ラット慢性脳虚血モデルにおける脳内アミロイド β 蛋白の解析
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度研究報告書, pp119-123, 2003
- No . 2 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 原田 祐嗣, 庄司 進一, 松島 照彦, 徳田 隆彦,
池田 修一 :
血漿A β 分子種に及ぼすpravastatinの効果
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度研究報告書, pp124-128, 2003
- No . 3 葛原 茂樹, 伊藤 伸郎, 成田 有吾, 小久保康昌, 佐々木良元, 森島 真穂,
井原 康夫, 玉岡 晃 :
紀伊半島の筋萎縮性側索硬化症 / パーキンソン痴呆複合脳および脳脊髄の β アミロイ
ド定量
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度研究報告書, pp129-132, 2003

- No. 4 玉岡 晃, 松野佐好子, 石井 一弘, 庄司 進一, 山本 和央, 永田 博司:
ラット慢性脳虚血モデルにおける脳内アミロイドβ蛋白の解析
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイド沈着による病的要素の検索に関する研究
アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度合同研究報告会(東京), 1月, 2003
- No. 5 玉岡 晃, 石井 一弘, 宮 冬樹, 原田 祐嗣, 庄司 進一, 松島 照彦, 徳田 隆彦,
池田 修一:
血漿Aβ分子種に及ぼすpravastatinの効果
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイド沈着による病的要素の検索に関する研究
アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度合同研究報告会(東京), 1月, 2003
- No. 6 葛原 茂樹, 伊藤 伸郎, 成田 有吾, 小久保康昌, 佐々木良元, 森島 真穂,
井原 康夫, 玉岡 晃:
紀伊半島の筋萎縮性側索硬化症/パーキンソン痴呆複合脳および脳脊髄のβアミロイド定量
厚生労働省特定疾患対策研究事業アミロイド沈着による病的要素の検索に関する研究
アミロイドーシスに関する調査研究
平成14年度合同研究報告会(東京), 1月, 2003
- No. 7 玉岡 晃, 原田 祐嗣, 石井 一弘, 庄司 進一, 成田 正明, 宮崎 晴子, 櫻井 隆,
貫名 信行, 藤田 忍:
APOEノックアウト及びノックインマウスにおける酸化ストレス
文部科学省特定領域研究「先端脳」平成15年度班会議(東京), 12月, 2003
- No. 8 水澤 英洋, 富満 弘之, 石川 欽也, 清水 潤, 大越 教夫, 金澤 一郎:
筋ジストロフィーに関連する疾患の病態解明と治療法の開発に関する研究GNE遺伝子変異からみたdistal myopathy with rimmed vacuoles
厚生労働省精神・神経疾患研究委託費による14年度研究報告集, pp 584, 2003
- No. 9 石井 一弘, 玉岡 晃, 大塚 藤男:
茨城県神栖町におけるジフェニルアルシン酸等による健康被害について
第1回ジフェニルアルシン酸等による健康影響に関する臨床研究会議
(つくば) 10月, 2003
- No. 10 石井 一弘, 玉岡 晃:
茨城県神栖町に発生した集団有機ヒ素中毒例について
環境省 第2回ジフェニルアルシン酸に係る健康影響等についての臨床検討会
(東京), 6月, 2003
- その他
- No. 1 庄司 進一:
神経難病をもつ患者の日常生活で気をつけること
難病講演会(つくば), 12月, 2003

- No. 2 玉岡 晃：
アミロイドβ蛋白から見たアルツハイマー病の分子病態研究
第21回昭和大学神経研究会（東京），7月，2003
- No. 3 玉岡 晃：
高齢者の神経疾患（アルツハイマー病を中心に）
水郷医師会学術講演会（行方郡麻生町），7月，2003
- No. 4 玉岡 晃：
痴呆 薬物療法は今
第1070回医食同源（東京），7月，2003
- No. 5 玉岡 晃：
高度な片側顔面攣縮2例に対するボトックス治療
茨城県保険医協会学術講演会（つくば），7月，2003
- No. 6 玉岡 晃：
脳血管性パーキンソニズムが疑われ、カベルゴリンが奏効した症例
第3回茨城パーキンソン病治療研究班会議（つくば），12月，2003
- No. 7 玉岡 晃：
アルツハイマー病-最近の治験薬と臨床現場が求める新薬像-
情報機構セミナー（東京），12月，2003
- No. 8 大越 教夫：
パーキンソン病治療のアルゴリズム：治療ガイドラインについて
日立市医師会学術講演会（日立），11月，2003
- No. 9 吉澤 利弘：
遺伝性脊髄小脳変性症をモデルとした神経変性の理解と治療法探索への試み
第99回つくばブレインサイエンスセミナー（つくば）5月，2003
- No. 10 渡邊 雅彦：
カベルゴリン単独療法について
茨城県保険医協会学術講演会（つくば），7月，2003
- No. 11 渡邊 雅彦：
進行期パーキンソン病の治療
日立市医師会学術講演会（日立），11月，2003
- No. 12 石井 一弘，玉岡 晃，大塚 藤男：
ジフェニルアルシン酸等による井戸水汚染と健康影響
第11回ヒ素シンポジウム（特別講演）（札幌），10月，2003
- No. 13 石井 一弘：
有機ヒ素（ジフェニルアルシン化合物）中毒の臨床について
平成15年毒劇物テロ対策セミナー（広島），12月，2003

2003年（精神医学グループ）

原 著

- No . 1 Sakasegawa,Y., Kishida, H., Sakurai, M., **Asada, T.**, Kinoshita, T., Goto, Y., Kimura, H., Kuroiwa, Y., Hachiya, NS., Kaneko, K. :
Lack of association between TrkA single nucleotide polymorphisms and sporadic Alzheimer's disease in a Japanese population.
Neurosci Lett 353 : 49-52 , 2003
- No . 2 Tanaka, N., Kinoshita, T., **Asada, T.**, Ohashi, Y. :
Long-linear models for assessing gene-age interaction and their application to case-control studies of the apolipoprotein E (apoE) gene in Alzheimer's disease.
J Hum Genet 48 : 520-524 , 2003
- No . 3 Ohkubo, T., Sakasegawa, Y., **Asada, T.**, Kinoshita, T., Goto, Y., Kimura, H., Mizusawa, H., Hachiya, NS., Kaneko, K. :
Absence of association between codon 129/219 polymorphisms of the prion protein gene and Alzheimer's disease in Japan.
Ann Neurol 54 : 553-554 , 2003
- No . 4 Matsuda, H., Ohnishi, T., **Asada, T.**, Zhi-jie ,Li., Kanetaka, H., Imabayashi, E., Tanaka, F., Nakano, S. :
Correction for partial-volume effects on brain perfusion SPECT in healthy men.
J Nucl Med 44 : 1243-1252 , 2003
- No . 5 Sakamoto, S., Matsuda, H., **Asada, T.**, Ohnishi, T., Nakano, S., Kanetaka, H., Takasaki, M. :
Apolipoprotein E genotype and early Alzheimer's disease : a longitudinal SPECT study.
J Neuroimaging 13,113-123 , 2003
- No . 6 **Asada T** :
Clinical characteristics of Alzheimer's disease.
Intern Med 42(3) : 310-1 , 2003
- No . 7 Nemoto K., Mizukami K., Mizuhiki T., **Asada T.** :
Eating disorder with hyperthyroidism.
Psychiat Clin Neurosci 57(3) : 341-342 , 2003
- No . 8 Ohta M., Mizukami K., Katano T., Sato S., Takeda T., **Asada T.** :
A case of delusional disorder, somatic type with remarkable improvement of clinical symptoms and single photon emission computed tomography findings following modified electroconvulsive therapy.
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 27(5) : 881-884 , 2003

- No . 9 Armstrong DM., Sheffield R., Mishizen-Eberz AJ., Carter TL., Rissman RA.,
Mizukami K., Ikonovic MD. :
Plasticity of glutamate and GABAA receptors in the hippocampus of patients with
Alzheimer's disease.
Cell Mol Neurobiol. 23(4-5) : 491-505 , 2003
- No . 10 Harada, S., Tachikawa, H., Kawanishi , Y. :
A possible association between an insertion/ deletion polymorphism of the NQO2
gene and schizophrenia.
Psychiatric Genetics 13 : 205-209 , 2003
- No . 11 Hori M., Asada T. :
Life-style regularity and core body temperature phase in delayed sleep phase
syndrome.
Sleep and Biological Rhythms 1 : 251-252 , 2003
- No . 12 佐藤 普爾, 朝田 隆 :
Etizolamで軽快したSSRI s 断薬症候群の1例
精神科治療学18 : 71-77 , 2003
- No . 13 小林 純, 山口 直美, 畑中 公孝, 太刀川弘和, 佐藤 晋爾, 朝田 隆, 水上 勝義 :
摂食障害の病像と父親の特徴との関係 —特に専制型の父親に注目して—
臨床精神医学32(2) : 193-200 , 2003
- No . 14 太刀川弘和, 遠藤 剛, 袖山 紀子, 山口 直美, 水上 勝義, 朝田 隆 :
人格障害が疑われ、入院家族療法が有効であったEating Disorder,NOSの2例
心療内科7(3) : 253-257 , 2003
- No . 15 石川 正憲, 水上 勝義, 朝田 隆 :
大うつ病性障害を呈した一卵性双生児の女性例
臨床精神医学32(11)1431-1436 , 2003
- No . 16 太刀川弘和, 遠藤 剛, 袖山 紀子, 山口 直美, 水上 勝義, 朝田 隆 :
人格障害が疑われ、入院家族療法が有効であったEating Disorder,NOSの2例
心療内科7(3) : 253-257 , 2003
- No . 17 小川 俊樹, 鈴木久美子, 堀 正士 :
パーソナリティ特徴と被養育体験からみた抑うつ of 心理的特質-予備的研究-
筑波大学心理学研究 26 : 235-242 , 2003
- No . 18 有園 陽子, 谷向 知 :
言語障害を伴う痴呆性高齢者のRorschach法反応 - 思考言語カテゴリーを用いて
ロールシャッハ法研究7 : 51-61 , 2003
- No . 19 河合 伸念, 堀 孝文, 朝田 隆, 鈴木 浩明 :
薬物治療中に清涼飲料水の多飲から著しい高血糖をきたした統合失調症の1例
精神医学45(1) : 87-89 , 2003
- No . 20 牧 たか子, 藤田 光江, 柴崎佳代子, 磯部 規子, 岡本 美穂, 南風原幸子, 堀 孝文 :
一般病院小児科における神経性食欲不振症の治療経験
小児科診療)66(6) : 1060-1063 , 2003

- No. 21 袖山 紀子, 畑中 公孝, 堀 孝文, 朝田 隆 :
いわゆる「インターネット中毒」の1例

精神医学45(9) : 995-997, 2003

総 説

- No. 1 朝田 隆 :
軽度認知障害の考え方

日本医事新報 No4153 : 101, 2003

- No. 2 朝田 隆 :
老年期痴呆と家族 : 過去と現在

精神科治療学18 : 557-562, 2003

- No. 3 山川百合子, 馬場 淳臣, 朝田 隆 :
迷走神経刺激法—うつ病治療への応用—

Depression Frontier1 : 69-74, 2003

- No. 4 佐藤 普爾, 朝田 隆 :
痴呆に対する非薬物療法. 診断と治療

91 : 304-307, 2003

- No. 5 朝田 隆 :
老化に伴う認知機能の障害と痴呆の鑑別

精神科2 : 113-116, 2003

- No. 6 朝田 隆, 服部 恵子, 金子 健二 :
アルツハイマー病へのアプローチ

J Clinical Rehabilitation, 12(2) : 120-124, 2003

- No. 7 遠藤 憲一, 朝田 隆 :
統合失調症を遺伝のせいや親の育て方のせいにはいけない

治療 85 (3月増刊号) : 685-687, 2003

- No. 8 水上 勝義 :
P T S D

内科91(6) : 1309, 2003

- No. 9 水上 勝義 :
S S R I , S N R I

内科91(6) : 1310, 2003

- No. 10 水上 勝義 :
非定型抗精神病薬

内科91(6) : 1311, 2003

- No. 11 水上 勝義, 朝田 隆 :
進行性皮質下膠症・痴呆症学(2)—高齢社会と脳科学の進歩— 臨床編-各論-II. 神経変性疾患による痴呆(変性性痴呆)その他の変性性痴呆

日本臨床62増刊1193-196, 2004

- No. 12 水上 勝義, 朝田 隆 :
筑波大学における臨床研修プログラム・新・必修精神科研修プログラム(1)
-主要病院における研修プラン-
精神科3(1) : 20-22, 2003
- No. 13 水上 勝義 :
中期アルツハイマー病の臨床症状
こころの臨床アラカルト22(4)443-447, 2003
- No. 14 太刀川弘和, 朝田 隆 :
代謝性脳疾患 精神疾患
特集 : 意識障害へのアプローチ ; 診断・治療のポイントとピットフォール
救急医学27(8) : 981-983, 2003
- No. 15 堀 正士 :
妄想性うつ病の臨床
臨床精神医学32 : 819-825, 2003
- No. 16 谷向 知, 朝田 隆 :
痴呆
日本臨床(40) : 145-148, 2003
- No. 17 谷向 知 :
家族性アルツハイマー病 ApoE
老年精神医学雑誌14(11); 1354-1360, 2003
- No. 18 谷向 知, 朝田 隆 :
初期アルツハイマー病と軽度認知障害
こころの臨床ア・ラ・カルト 22(4) ; 435-442, 2003
- No. 19 佐々木恵美 :
精神医学症候群 . 器質性混合性感情障害
別冊日本臨床40 : 180-183, 2003
- No. 20 堀 孝文 :
臨床医はどんな時に多剤を併用しているか? 臨床的経験から - 気分障害
精神科治療学18(7) ; 800-803, 2003
- No. 21 堀 孝文 :
思春期妄想症
別冊日本臨床 領域別症候群シリーズ40 ; 111-113, 2003

著 書

- No. 1 朝田 隆 :
老年期の精神障害.改訂版 精神科看護の専門性をめざして 専門編
日本精神科看護技術協会監修
精神看護出版 東京 pp279-288, 2003

- No. 2 太刀川弘和：
慢性疼痛、抑うつ状態に著功した多剤併用からの切り替え例
パロキセチン症例報告集「抗うつ薬の新たな治療戦略」
医薬情報センター 東京 pp.32-33, 2003
- No. 3 堀 正士：
少年の自殺の背景と予防
子供をとりまく問題と教育11-自殺-、開隆堂出版, pp183-199, 2003
- No. 4 谷向 知, 三浦 利奈, 有園 陽子：
痴呆の認知障害. 新世紀の精神科治療「認知の科学と臨床」, 武田雅俊編
中山書店, 東京, pp103-115, 2003
- No. 5 遠藤 英俊, 三浦 久幸, 谷向 知, 上村 和正：
高齢者の生活管理とケア. ダイナミックメディスン7, 下条文武, 斎藤康監修
西村書店, 東京, pp30-20-22, 2003

学会発表

- No. 1 谷向 知：
遺伝子多型を用いたアルツハイマー型痴呆の診断と評価の検討
平成14年度効果的医療技術の確立推進研究事業班会議（吹田）, 2月, 2003
- No. 2 遠藤 剛, 太刀川弘和, 袖山 紀子, 井出 政行, 山口 直美, 水上 勝義, 朝田 隆：
人格障害が疑われ、入院家族療法が有効であったEating Disorder,NOSの2例
東京精神医学会第67回学術集会（東京）, 3月, 2003
- No. 3 谷向 知, 有園 陽子, 三浦 利奈：
記憶障害のある高齢者に有効な情報提供法を行なうための予備的研究
第3回NILS研究発表会（大府）, 3月, 2003
- No. 4 石川 正憲, 水上 勝義, 朝田 隆：
統合失調症と躁うつ病の前頭葉皮質におけるNMDA受容体の免疫組織化学的検討
第8回日本神経精神医学会（愛媛）, 4月, 2003
- No. 5 堀 孝文, 安部 秀三, 遠藤 憲一, 楊 朝令, 山口 美佳, 井出 政行, 鈴木 利人, 朝田 隆：
新生仔期腹側海馬傷害ラットにおける代謝型グルタミン酸受容体mRNAの発現について
第25回日本生物学的精神医学会（金沢）, 4月, 2003
- No. 6 安部 秀三, 楊 朝令, 鈴木 利人, 堀 孝文, 遠藤 憲一, 山口 美佳, 朝田 隆：
コカインおよびフェンシクリジン投与ラットにおけるグルタミン酸トランスポーターmRNAの変化
第25回日本生物学的精神医学会（金沢）, 4月, 2003
- No. 7 山口 美佳, 鈴木 利人, 石 龍徳, 新井 平伊, 堀 孝文, 朝田 隆, 志賀 隆：
コカイン慢性投与の行動感作下における神経新生現象（Adult Neurogenesis）の変化
第25回日本生物学的精神医学会（金沢）, 4月, 2003

- No. 8 水上 勝義, 石川 正憲, 岩切 雅彦, 菅間 博, 朝田 隆:
Alterations of RNA-binding proteins A2 and B1 in the rat hippocampus after a
unilateral perforant pathway lesion
第44回日本神経病理学会総会学術研究会 (名古屋), 5月, 2003
- No. 9 小林 純, 山口 直美, 畑中 公孝, 太刀川弘和, 佐藤 晋爾, 水上 勝義, 朝田 隆:
摂食障害の発症時期と病態との関連について
第99回日本精神神経学会総会 (東京), 5月, 2003
- No. 10 佐々木恵美, 日高 真, 朝田 隆:
MCIの疫学的検討
第99回日本精神神経学会総会 (東京), 5月, 2003
- No. 11 谷向 知:
痴呆の早期診断における精神科医の役割
第99回日本精神神経学会総会シンポジウム (東京), 5月, 2003
- No. 12 谷向 知, 有園 陽子, 三浦 利奈:
作話に関する予備的研究 - 痴呆性高齢者のコミュニケーションを損なう要因として -
平成14年度老人保健健康増進等事業研究成果発表会 (大府), 5月, 2003
- No. 13 宮本 美佐, 日高 真, 中島真理子, 佐々木恵美, 朝田 隆, 山下 典生, 木之下 徹:
MCIの地域調査; スクリーニングの参加群と不参加群の比較
第18回日本老年精神医学会 (名古屋), 6月, 2003
- No. 14 日高 真, 佐々木恵美, 宮本 美佐, 朝田 隆, 木之下 徹, 山下 典生, 中島真理子:
地域高齢者におけるうつの有病率
第18回日本老年精神医学会 (名古屋), 6月, 2003
- No. 15 谷向 知:
痴呆症の診断におけるビタミンB1の意義
第18回日本老年精神医学会 (名古屋), 6月, 2003
- No. 16 奥村由美子, 久世 淳子, 谷向 知:
痴呆介護にかかわる専門職がいただくイメージの違いに関与する要因について - 高齢者
と痴呆性高齢者へのイメージの違いを中心に -
第45回日本社会科学会 (名古屋), 6月, 2003
- No. 17 畑中 公孝, 片野 綱大, 堀 孝文, 朝田 隆:
慢性硬膜下血腫除去術後に幻嗅を呈しSPECTで前頭・側頭領域に血流低下を認めた1
例
第68回東京精神医学会 (東京), 7月, 2003
- No. 18 太刀川弘和, 芦沢 裕子, 堀 孝文, 朝田 隆:
3DCGの表現病理 - 統合失調症患者の発病前後の作品から -
日本精神病理学会 第26回大会 (つくば), 10月, 2003
- No. 19 太刀川弘和, 田中 耕平, 片野 綱大, 高尾 哲也, 山口 直美, 水上 勝義, 朝田 隆:
TCIを用いた精神疾患の診断判別研究
第23回日本精神科診断学会 (宇都宮), 10月, 2003

- No. 20 堀 孝文, 畑中 公孝, 佐藤 晋爾, 朝田 隆 :
統合失調症にみられた視覚性仮性幻覚 - その被影響性について -
第26回日本精神病理学会 (つくば), 10月, 2003
- No. 21 太刀川弘和, 芦沢 裕子, 堀 孝文, 朝田 隆 :
3DCGの表現病理 - 統合失調症患者の発症前後の作品から -
第26回日本精神病理学会 (つくば), 10月, 2003
- No. 22 田中 耕平, 太刀川弘和, 片野 綱大, 高尾 哲也, 佐々木恵美, 水上 勝義,
朝田 隆 :
感情障害におけるTCI (Temperament and Character Inventory)の検討
第52回茨城精神医学集談会, 第25回茨城医学会精神科分科会 (水戸),
11月, 2003
- No. 23 石井 竜介, 谷向 知, 水上 勝義, 朝田 隆 :
主症状の出現前に抑うつ状態を呈したレビー小体を伴う痴呆の4例
東京精神医学会大69回学術集会 (東京), 11月, 2003
- No. 24 Mizukami K, Kamma H, Ikonovic MD, Ishikawa M, Hidaka S, Iwakiri M, Dekosky S,
Asada T :
Immunohistochemical study of the hnRNP B1 in the hippocampus of subjects with
Alzheimer's disease
33th Annual Meeting Society for Neuroscience, November, 2003
- No. 25 田中 耕平, 太刀川弘和, 片野 綱大, 高尾 哲也, 佐々木恵美, 水上 勝義, 朝田 隆 :
感情障害におけるTCI (Temperament and Character Inventory)の検討
第52回茨城精神医学集談会 (水戸), 11月, 2003
- No. 26 河合 伸念, 山川 百合子, 松坂 尚, 馬場 淳臣, 太刀川弘和, 堀 孝文, 朝田 隆 :
抗精神病薬多剤併用療法からの脱却と非定型薬への切り替え (第一報):
薬剤減量は何をもたらすか?
第52回茨城精神医学集談会 (水戸), 11月, 2003
- No. 27 飯島 佳路, 小倉宏三, 谷向 知, 太刀川弘和, 堀 孝文, 水上 勝義, 朝田 隆 :
無けいれん性通電療法後に躁転を呈した5例
第52回茨城精神医学集談会 (水戸), 11月, 2003
- No. 28 小倉 宏三, 飯島 佳路, 谷向 知, 堀 孝文, 佐々木恵美, 太刀川弘和, 朝田 隆 :
無けいれん性通電療法施行後に躁転した5例
東京精神医学会第69回学術集会 (東京), 11月, 2003
- No. 29 谷向 知, 飯島 佳路, 小倉 宏三, 堀 孝文, 朝田 隆 :
双極性障害への無けいれん性通電療法の是非を考える
- 5例の躁転例を通して -
第2回Bipolar Disorder研究会 (東京), 11月, 2003
- No. 30 谷向 知, 有園 陽子, 奥村由美子, 久世 淳子 :
心理検査を用いた作話の判定と家族指導への試み
第4回痴呆ケア学会 (仙台), 11月, 2003

- No. 31 奥村由美子, 窪内 敏子, 久世 淳子, 原田 和佳, 数井 裕光, 谷向 知:
痴呆性高齢者への回想法における評価方法と実施回数について
第4回痴呆ケア学会 (仙台), 11月, 2003
- No. 32 畑中 公孝, 片野 綱大, 堀 孝文, 朝田 隆:
慢性硬膜下血腫除去術後に幻嗅を呈しSPECTで前頭・側頭領域に血流低下を認めた1例
第52回茨城精神医学集談会 (水戸), 11月, 2003
- No. 33 河合 信念, 山川百合子, 松坂 尚, 馬場 淳臣, 太刀川弘和, 堀 孝文, 朝田 隆:
抗精神病薬多剤併用療法からの脱却と非定型薬への切り替え (第一報): 薬物減量は何をもたらすか?
第52回茨城精神医学集談会 (水戸), 11月, 2003
- No. 34 Hori T, Abe S, Endo K, Ishizawa S, Yamaguchi M, Suzuki T, Asada T;
Changes in metabotropic glutamate receptor mRNA in rats with neonatal ventral hippocampal lesions.
Society for Neuroscience 32nd Annual Meeting, (New Orleans), November, 2003
- No. 35 三浦 利奈, 服部 英幸, 谷向 知:
発症から8年が経過した語義失語の1例
第27回日本高次脳機能障害学会 (東京), 12月, 2003

班研究報告

- No. 1 上月 英樹, 堀 正士, 山口 直美, 嶋崎 素吉:
小規模大学における精神保健活動について
Campus Health 40(1) : pp338-339, 2003
- No. 2 堀 正士:
人付き合いに戸惑う学生たち (対人関係) — 第一分科会まとめ—
北関東・甲信越地区メンタルヘルス研究協議会
平成14年度報告書 pp39-40, 2003
- No. 3 堀 正士, 山口 直美, 上月 英樹, 杉江 征, 佐藤 純, 松尾 和美:
筑波大学における自殺学生の実態分析
Campus Health 40(1) : pp378-379, 2003
- No. 4 堀 正士, 古屋 隆広:
人付き合いに戸惑う学生たち (対人関係) — 第一分科会まとめ—
メンタルヘルス研究協議会平成14年度報告書 pp38-39, 2003
- No. 5 谷向 知:
遺伝子多型を用いたアルツハイマー型痴呆の診断と評価の検討
効果的医療の確立推進臨床研究
アルツハイマー病生物学的診断マーカーの確立に関する臨床研究
平成14年度総括研究報告書 pp32-35, 2003

- No. 6 谷向 知, 有園 陽子, 三浦 利奈 :
 作話に関する予備的研究
 - 痴呆性高齢者のコミュニケーションを損なう要因として -
 平成14年度老人保健健康増進等事業 研究報告書 pp102-110, 2003
- No. 7 谷向 知, 藤本よし子, 三浦 利奈, 有園 陽子
 非アルツハイマー型痴呆患者への医療スタッフの関わりがもたらす効果に関する研究
 平成14年度長寿医療共同研究報告書 印刷中2003
- No. 8 谷向 知, 有園 陽子, 奥村由美子, 久世 淳子
 痴呆性高齢者の介護・看護従事者への痴呆研修会がもたらす効果について
 平成14年度大同生命厚生事業 研究報告書 pp407-412, 2003

書 評

- No. 1 堀 正士 :
 下園 壮太著「自殺の危機とカウンセラー自殺念慮への対応とディブリーフィング」
 精神療法 29 : pp122-123, 2003

その他

- No. 1 上月 英樹 :
 学生相談室から——「保護者の皆様へ」
 紫峰会報 88号, pp5, 2003
- No. 2 上月 英樹 :
 パニック障害について
 つくばスチューデント 530号, pp7, 2003
- No. 3 谷向 知 :
 痴呆症の症状別・疾患別介入を考える
 大同生命研究助成第2回痴呆介護教室(東浦)1月, 2003
- No. 4 谷向 知 :
 痴呆症の鑑別とその対策 - 診断からケアまで -
 第3回痴呆を語る会(名古屋)1月, 2003
- No. 5 水上 勝義 :
 From the world Conference最新ハイライト
 Society for Neuroscience 32nd Annual Meeting. Cognition and Dementia
 136-137, 2月, 2003
- No. 6 谷向 知 :
 痴呆症の診断
 痴呆介護セミナー(名古屋), 2月, 2003
- No. 7 谷向 知 :
 医療と福祉の連携を考える - 医療の立場から -
 大同生命研究助成第3回痴呆介護教室(和歌山), 2月, 2003

- No. 8 佐々木恵美：
職場のメンタルヘルス－管理職が気をつけたいこと－
日立マクセル株式会社（水海道），3月，2003
- No. 9 谷向 知：
介護ストレス
平成14年度和歌山YMCA第7回市民カレッジ（和歌山），3月，2003
- No. 10 谷向 知：
日常診療に役立つ痴呆の診断と治療 -老年期うつ病と痴呆症を中心に-
平成14年度愛知県精神神経科診療所協会学術講演会（名古屋），3月，2003
- No. 11 谷向 知：
痴呆症の介護学
第2回尾北地区老人性痴呆疾患研究会（犬山），3月，2003
- No. 12 堀 正士：
職場におけるメンタルヘルス
筑波大学付属病院看護部講演会（つくば），4月，2003
- No. 13 太刀川弘和：
パキシルは、こんな人に効く -主観的薬物効果について-
グラクソ・スミスクライン社内勉強会（つくば），4月，2003
- No. 14 太刀川弘和：(PSYCHOLOSOFT)：
インターネット・メンタルケアシステム
第5回いばらきベンチャーマーケット（つくば），5月，2003
- No. 15 谷向 知：
痴呆性疾患の理解を深める
日本福祉大学ワーキンググループ勉強会（半田），5月，2003
- No. 16 堀 正士：
放射線と不安
2003年度放射線関連機器管理責任者・放射線管理士認定講習会
（土浦市），6月，9月，2003
- No. 17 谷向 知：
精神科薬物療法への私見-SSRIに期待するもの-
GSK社内勉強会（つくば），6月，2003
- No. 18 上月 英樹：
職場における健康管理
文部科学省図書館情報大学共催大学図書館職員長期研修（つくば），7月，2003
- No. 19 堀 正士：
現代学生のメンタルヘルスについて
第43回東京・関東甲信越地区国公立大学等学生指導職員研修会
（東京），7月，2003
- No. 20 堀 正士：
職場におけるメンタルヘルス
筑波大学付属病院看護部講演会（つくば），7月，2003

- No. 21 谷向 知：
痴呆最前線 - その正しい理解と対応法について -
田辺市市民講座（田辺），7月，2003
- No. 22 谷向 知：
医学講座「痴呆の早期診断のために」デジタルたんば501
SKY PerfecTV! 501ch，7月，2003
- No. 23 谷向 知：
痴呆って何？ - 正しい介護と予防 -
海南市市民教育講座（海南），8月，2003
- No. 24 谷向 知
痴呆の介護を考える-きちんと診断をしてもらっていますか？
ぽ～れば～れ あいち（呆け老人を抱える家族の会愛知県支部版），8月，2003
- No. 25 谷向 知：
高齢者でみられる不定愁訴の鑑別
メイラックス発売15周年記念・特別講演（周南），9月，2003
- No. 26 谷向 知：
痴呆の医学的知識
和歌山県痴呆性老人処遇技術研修会（専門課程）（和歌山），9月，2003
- No. 27 堀 正士：
精神障害の概念
茨城いのちの電話要請講座（つくば），10月，2003
- No. 28 谷向 知：
痴呆性疾患の介護・介入指導と実践に現場で役立つ知恵袋
- 痴呆診療の現場から保健師へ -
茨城県市町村保健福祉師研修会（水戸），10月，2003
- No. 29 谷向 知：
ロフラゼブ酸エチルの使用経験 -身体表現性障害で効果がみられた一例-
メイラックス発売15周年記念・一般演題（つくば），10月，2003
- No. 30 谷向 知：
痴呆の介護を考える-病気の特徴を知って介護を行なっていますか？
ぽ～れば～れ あいち（呆け老人を抱える家族の会愛知県支部版），10月，2003
- No. 31 太刀川弘和，根本 清貴，佐藤 利之，片野 綱大，高尾 哲也，遠藤 剛，朝田 隆：
インターネットを用いた県精神医療ポータルサイトの構築
於シンポジウム「精神医療・福祉のネットワークを考える：お互いを知ろう」
第52回茨城精神医学集団会（水戸），11月，2003
- No. 32 太刀川弘和，高尾 哲也：
単剤治療を目的とした新しい向精神薬の副作用評価尺度
第1回北関東急性期・単剤治療研究会幹事会（東京），12月，2003

- No. 33 太刀川弘和, 根本 清貴, 佐藤 利之, 袖山 紀子, 片野 綱大, 太田 深秀,
高尾 哲也, 遠藤 剛, 真壁 健一, 橋本 幸紀, 馬場 淳臣, 朝田 隆:
ウェブ精神医療研究サイト「3RD LIFE」
ウェブ精神医療研究団体「PSYCHOLOSOFT」(つくば), 12月, 2003
- No. 34 谷向 知:
痴呆性疾患の診療 - 現状と展望 -
茨城県看護協会 平成15年度看護師職能研修会(水戸), 12月, 2003
- No. 35 谷向 知:
痴呆の介護を考える-介護体制の状況に応じた介護を考えていますか?
ぼ~れば~れ あいち(呆け老人を抱える家族の会愛知県支部版), 12月, 2003
- No. 36 堀 孝文:
統合失調症の薬物療法
エーザイツくば研究所(つくば), 12月, 2003
- No. 37 谷向 知:
ビタミンB1補充療法 - 正常下限値の痴呆性疾患に有効 -
Medical Tribune 36(30,31): 15, 2003
- No. 38 太刀川弘和, 根本 清貴:
インターネットを利用した精神疾患の診断・予防システム(特願2003-165892)

2003年（皮膚科グループ）

原 著

- No . 1 Takehiko Tsuda, Masashi Ishikawa, Tomohiro Banno, Hiroshi Fujisawa, Sumihisa Imakado, Fujio Otsuka :
A case of adult T-cell leukemia/lymphoma with an indolent clinical course has an unusual proviral DNA integration pattern
Acta Dermato-Venereologica 83 : 139-140 , 2003
- No . 2 Yasuhiro Kawachi, Xuezhong Xu, Eiko Ichikawa, Sumihisa Imakado, Fujio Otsuka :
Expression of angiogenic factors in neurofibromas
Experimental Dermatology 12 : 412-417 , 2003
- No . 3 Nobuyuki Wakabayashi, Ken Itoh, Junko Wakabayashi, Hozumi Motohashi, Shuhei Noda, Satoru Takahashi, Sumihisa Imakado, Tomoe Kotsuji, Fujio Otsuka, Dennis R. Roop, Takanori Harada, James Douglas Engel, Masayuki Yamamoto :
Keap 1-null mutation leads to postnatal lethality due to constitutive Nrf 2 activation
Nat Genet 35 (3) : 238-245 , 2003
- No . 4 Yoshiyuki Ishii, Tsutomu Ogura, Masayuki Tatemichi, Hiroshi Fujisawa, Fujio Otsuka, Hiroyasu Esumi :
Induction of matrix metalloproteinase gene transcription by nitric oxide and mechanisms of MMP-1 gene induction in human melanoma cell lines
International Journal of Cancer; 103 (2) : 161-8 , 2003
- No . 5 Jun Yamakoshi, Fujio Otsuka, Atsushi Sano, Shoichi Tokutake, Makoto Saito, Mamoru Kikuchi, Yoshiro Kubota :
Lightening effect on ultraviolet-induced pigmentation of guinea pig skin by oral administration of a proanthocyanidin-rich extract from grape seeds
Pigment Cell Res 16 : 629-638 , 2003
- No . 6 Atsushi Sano, Jun Yamakoshi, Shoichi Tokutake, Makoto Saito, Mamoru Kikuchi, Yoshiro Kubota, Fujio Otsuka :
Efficacy of oral intake of proanthocyanidin-rich extract from grape seeds in women with chloasma
Photomed Photobiol 25 : 22 , 2003
- No . 7 Ayato Arima, Hiroko Sato, Yoshihiro Umebayashi, Fujio Otsuka :
A case of erythropoietic protoporphyria
Photomed Photobiol 25 : 22 , 2003
- No . 8 Yumi Nishio, Emiko Noguchi, Masahiko Shibasaki, Makoto Kamioka, Eiko Ichikawa, Kunio Ichikawa, Yoshihiro Umebayashi, Fujio Otsuka, Tadao Arinami :
Association between polymorphisms in the SPINK 5 gene and atopic dermatitis in the Japanese
Genes Immunol 4 : 515-517 , 2003

- No . 9 Eiko Ichikawa , Jyunichi Furuta, Taro Mochizuki, Sumihisa Imakado, Fujio Otsuka :
Cutaneous malignant fibrous histiocytoma of the face
International Journal of Dermatology 42 : 952-954 , 2003
- No . 10 Tamio Suzuki, Yoshinori Miyamura, Jun Matsunaga, Hiroshi Shimizu,
Yasuhiro Kawachi, Naoko Ohyama , Osamu Ishikawa, Tomoyuki Ishikawa,
Hiroshi Terao, Yasushi Tomita :
Six novel P gene mutations and oculocutaneous albinism type2 frequency in
Japanese albino patients
Journal of Investigative Dermatology 120 : 781-783 , 2003
- No . 11 Yuichiro Tsunemi, Takenori Takahashi, Takeshi Tamaki :
Penicillium marneffeii infection diagnosed by polymerase chain reaction from the
skin specimen
Journal of American Academy of Dermatology 49 : 344-346 , 2003
- No . 12 Yuichiro Tsunemi, Takashi Matsushita, Takenori Takahashi, Takeshi Tamaki :
Childhood capillary hemangioma presenting as infantile perianal protrusion
Dermatology 207 : 408-409 , 2003
- No . 13 Tomohiro Banno, Makoto Adachi, Lakshmi Mukkamala, Miroslav Blumenberg :
Unique keratinocyte-specific effects of interferon-gamma that protect skin from
viruses, identified using transcriptional profiling
Antiviral Therapy 8(6) : 541-554 , 2003
- No . 14 小杉 眞司,野水 整,小原 孝男,金子 明博,吉田 輝彦,執印 太郎,大塚 藤男,
石川 秀樹,富和 清隆 :
総説、我が国における家族性腫瘍の遺伝子診断と遺伝子カウンセリング
--第8回家族性腫瘍研究会学術集会ワークショップ報告--
家族性腫瘍 3(1) : 30-33 , 2003
- No . 15 堀井のり子,佐藤 寛子,石川 雅士,市川 栄子,藤澤 裕志,今門 純久,
大塚 藤男 :
7歳男児に生じたFibrosarcomatous DFSPの1例
皮膚科の臨床 45(5) : 501-503 , 2003
- No . 16 今門 純久,川内 康弘,大塚 藤男,大川 裕美,若林 伸直,伊東 健,山本 雅之 :
ヒト表皮角化細胞におけるNrf2、Keap1の発現
第17回角化症研究会記録集, pp.41-43 , 日本ロッシュ株式会社 , 2003
- No . 17 田口詩路麻,津田 毅彦,佐藤 寛子,川内 康弘,今門 純久,大塚 藤男 :
前腕に生じた単発型 Glomangioma(グロムス血管腫)の1例
皮膚科の臨床45(8) : 996-997 , 2003
- No . 18 田口詩路麻,津田 毅彦,川内 康弘,今門 純久,大塚 藤男,伊藤 周作,立石 毅 :
大腿に生じたスポロトリコーシスの1例
--筑波大学皮膚科の8年間36例の集計解析を加えて--
皮膚科の臨床45(9) : 1007-1012 , 2003

- No. 19 佐藤 寛子, 市川 栄子, 今門 純久, 大塚 藤男:
eccrine hidrocystoma—炭酸ガスレーザー治療例—
皮膚病診療 25 (10): 1107-1110, 2003
- No. 20 田口詩路麻, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
C型肝炎を合併した巨大扁平苔癬 (クリニカラー)
皮膚科の臨床 45 (10): 1131-1132, 2003
- No. 21 市川 栄子, 有馬 礼人, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
セフジニル (セフゾン) による Stevens-Johnson症候群
皮膚科の臨床 45 (10): 1139-1140, 2003
- No. 22 田口詩路麻, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
C型肝炎を合併した巨大扁平苔癬 (症例)
皮膚科の臨床 45 (10): 1221-1123, 2003
- No. 23 田口詩路麻, 梅林 芳弘, 市川 栄子, 大塚 藤男, 大前比呂思:
皮下腫瘍を呈した肺外糸状虫症
皮膚病診療 25: 1251-1254, 2003
- No. 24 市川 栄子, 大塚 藤男, 堀井のり子, 田中未知, 石井 則久, 杉田 靖:
ハンセン氏病の2例
日本ハンセン病学会雑誌 72: 271-273, 2003

総 説

- No. 1 榎本 久子, 南野 義和, 古田 淳一, 藤澤 裕志, 今門 純久, 大塚 藤男:
Pemphigoid nodularis
西日本皮膚 65(4): 324-328, 2003
- No. 2 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎—遺伝と環境—
茨城保険医新聞 301: 6-7, 2003
- No. 3 大塚 藤男:
紫外線による前癌性病変
ロート・スキンケア・インフォメーション 8, ロート製薬株式会社, 2003
- No. 4 大塚 藤男:
小児の皮膚疾患、母斑症
小児科診療 66 (増刊): 137-140, 2003
- No. 5 大塚 藤男:
汗孔角化症の病態と最近の知見
SEMINARIA DERMATOLOGIE 165: 4-8, 2003
- No. 6 大塚 藤男:
葉状白斑と結節性硬化症
医学のあゆみ 207 (7): 518-519, 2003
- No. 7 大塚 藤男:
難病指定皮膚疾患
日本皮膚科白書, pp. 292-298, 日本皮膚科学会, 2003

- No. 8 大塚 藤男：
難病の治療法と予後の改善は？-神経線維腫症1型 (NF1)
日本皮膚科学会誌，113 (13)：1913-1915，2003
- No. 9 梅林 芳弘：
紅皮症
Clinical Derma 5(2)：3-6，2003
- 著 書
- No. 1 大塚 藤男：
皮膚凍結療法
今日の治療指針2003 (山口徹，北原光夫編)
医学書院，東京，pp.776-777，2003
- No. 2 川内 康弘：
虫刺症 (ストロフルスを含む)
今日の小児治療方針第13版
医学書院，東京，pp.568-569，2003
- No. 3 大塚 藤男：
基底細胞癌
皮膚疾患最新の治療2003-2004 (新村真人，瀧川雅浩編)
南江堂，東京，pp.174，2003
- No. 4 大塚 藤男：
顔面脂腺腫
医学書院医学大辞典 (伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編)
医学書院，東京，pp.494，2003
- No. 5 大塚 藤男：
ゴルツ症候群
医学書院医学大辞典 (伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編)
医学書院，東京，pp.898，2003
- No. 6 大塚 藤男：
色素性乾皮症
医学書院医学大辞典 (伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編)
医学書院，東京，pp.999，2003
- No. 7 大塚 藤男：
神経皮膚黒色症
医学書院医学大辞典 (伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編)
医学書院，東京，pp.1242，2003
- No. 8 大塚 藤男：
進行性遺伝性四肢角化症
医学書院医学大辞典 (伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編)
医学書院，東京，pp.1249，2003

- No. 9 大塚 藤男：
先天性外胚葉形成不全
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp.1246，2003
- No. 10 大塚 藤男：
バート症候群
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp.1982，2003
- No. 11 大塚 藤男：
ハーバー症候群
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp.1986，2003
- No. 12 大塚 藤男：
母斑症
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp. 2299，2003
- No. 13 大塚 藤男：
疣贅状表皮發育異常症
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp.2453，2003
- No. 14 大塚 藤男：
粒起革様皮膚
医学書院医学大辞典（伊藤正男，井村裕夫，高久史麿編）
医学書院，東京，pp.2530，2003
- No. 15 大塚 藤男：
Rothmund-Thomson症候群
最新皮膚科学大系7卷
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.216-217，2003
- No. 16 大塚 藤男：
Bloom症候群
最新皮膚科学大系7卷
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.217-219，2003
- No. 17 大塚 藤男：
Hutchinson-Gilford症候群
最新皮膚科学大系7卷
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.219-220，2003

- No . 18 大塚 藤男 :
Wiedemann-Rautenstrauch症候群
最新皮膚科学大系7巻
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.220-221，2003
- No . 19 大塚 藤男 :
Cockayne症候群
最新皮膚科学大系7巻
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.221-223，2003
- No . 20 大塚 藤男 :
Hallermann-Streiff症候群
最新皮膚科学大系7巻
内分泌・代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症（玉置邦彦編）
中山書店，東京，pp.223-224，2003
- No . 21 川内 康弘，大塚 藤男 :
Sjögren症候群 環状紅斑
Color Atlas膠原病・リウマチ（住田隆之編）
診断と治療社，東京，pp.49，2003
- No . 22 大塚 藤男 :
老人の病氣、皮膚痒搔症
最新家庭の医学百科
主婦と生活社，東京，pp.925-926，2003
- No . 23 大塚 藤男 :
老人の病氣、慢性湿疹
最新家庭の医学百科
主婦と生活社，東京，pp.926，2003
- No . 24 大塚 藤男 :
老人の病氣、帯状疱疹
最新家庭の医学百科
主婦と生活社，東京，pp.926-927，2003

学 会

- No . 1 Junichi Furuta, Satoshi Yamashita, Fujio Otsuka, Toshikazu Ushijima :
Genome-wide scanning for aberrant CpG methylation in human melanomas by
methylation-sensitive-representational difference analysis
International Investigative Dermatology 2003
The 4th Joint Meeting of ESDR，JSID and SID，Miami，April 30-May 4，2003

- No . 2 Sumiko Hamanaka, Mariko Hara, Hiroyuki Nishio, Fujio Otsuka, Yoshikazu Uchida :
Human epidermal glucosylceramides as major precursors of stratum corneum
ceramides
International Investigative Dermatology 2003
The 4th Joint Meeting of ESDR , JSID and SID , Miami , April 30-May 4 , 2003
- No . 3 Yasuhiro Kawachi, Fujio Otsuka, DR Roop :
Identification of factors which interact with the calcium response element of
human keratin 1 and analysis of its functional role
International Investigative Dermatology 2003
The 4th Joint Meeting of ESDR , JSID and SID , Miami , April 30-May 4 , 2003
- No . 4 Tomohiro Banno, Miroslav Blumenberg, Makoto Adachi :
Transcriptional profiling and dissection of signaling pathways responsive to
proinflammatory cytokine TNF alpha
International Investigative Dermatology 2003
The 4th Joint Meeting of ESDR , JSID and SID , Miami , April 30-May 4 , 2003
- No . 5 川内 康弘 :
角化細胞分化におけるAP-1, Sp1の役割
第4回東京皮膚フォーラム , 東京 , 1月 , 2003
- No . 6 川内 康弘 , 市川 栄子 , 今門 純久 , 大塚 藤男 :
狭心症を合併した強皮症
第26回皮膚脈管・膠原病研究会 , 千葉 , 1月 , 2003
- No . 7 守屋美佳子 , 梅林 芳弘 :
血中ヒスタミン濃度の上昇を確認した food-dependent exercise -induced
anaphylaxis
第8回茨城皮膚アレルギー懇話会 , つくば , 2月 , 2003
- No . 8 梅林 芳弘 , 古田 淳一 :
薬剤性アナフィラキシーの2例
第8回茨城皮膚アレルギー懇話会 , つくば , 2月 , 2003
- No . 9 梅林 芳弘 , 古田 淳一 , 大塚 藤男 :
薬剤によるアナフィラキシー2例
第321回日本皮膚科学会東北六県合同地方会 , 仙台 , 2月 , 2003
- No . 10 川内 康弘 , 大塚 藤男 :
神経線維腫における血管増生因子の発現
第375回日本皮膚科学会大阪地方会 , 大阪 , 2月 , 2003
- No . 11 濱中すみ子 , 原 真理子 , 西尾 裕幸 , 内田 良一 , 大塚 藤男 :
角層セラミド由来となるスフィンゴ脂質
第66回日本皮膚科学会東京支部学術大会 , 東京 , 2月 , 2003
- No . 12 出月 健夫 , 加冶 賢三 , 久米麻里子 , 藤田 悦子 , 高瀬麻衣子 , 高橋 毅法 ,
五十嵐敦之 , 倉形 秀則 , 桜井 幸弘 :
急速に進行した壊疽性膿皮症の1例
第66回日本皮膚科学会東京支部学術大会 , 東京 , 2月 , 2003

- No. 13 細谷なぎさ, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男, 河村 智教:
8年間に臓病変を伴わなかった Degos病
第66回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2月, 2003
- No. 14 石塚 洋典, 田口詩路麻, 梅林 芳弘, 大塚 藤男, 高瀬 孝子:
脂腺癌の1例
第51回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2003
- No. 15 佐藤 哲也, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男, 人見 重美:
脂腺癌の1例
第51回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2003
- No. 16 守屋美佳子, 石井 良征, 堀田 総一, 梅林 芳弘:
著明な胆汁うっ滞型肝障害を伴ったToxic Epidermal Necrolysis
第51回日本皮膚科学会茨城地方会, つくば, 3月, 2003
- No. 17 加治 賢三, 久米 麻里子, 藤田 悦子, 出月 健夫, 高橋 毅法, 五十嵐敦之:
潰瘍性大腸炎に合併したneutrophilic dermatosisの1例
日本皮膚科学会第781回東京地方会, 東京, 4月, 2003
- No. 18 佐藤 寛子, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男, 下山田博明:
右足底に発症した spindle cell hemangioma
第102回日本皮膚科学会総会, 浦安, 5月, 2003
- No. 19 田口詩路麻, 市川 栄子, 梅林 芳弘, 大塚 藤男, 大前比呂思:
皮下腫瘍を呈した肺外犬糸状虫症
第102回日本皮膚科学会総会, 浦安, 5月, 2003
- No. 20 古田 淳一, 山下 聡, 大塚 藤男, 牛島俊和:
MS-RDA法を用いたメラノ-マにおいてサイレンシングされる遺伝子の
ゲノム網羅的探索
第102回日本皮膚科学会総会, 浦安, 5月, 2003
- No. 21 川内 康弘, 大塚 藤男:
高齢者水痘の1例
第2回茨城ヘルペスウイルス研究会, 水戸, 6月, 2003
- No. 22 石川 雅士, 今門 純久, 大塚 藤男:
手術後20年して再発した悪性黒色腫
第19回日本皮膚悪性腫瘍学会, 札幌, 6月, 2003
- No. 23 梅林 芳弘:
白癬と痒み
第8回茨城区真菌研究会, つくば, 6月, 2003
- No. 24 永江美香子, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
プリングル病患者にみられた頭部結合織母斑
第27回日本小児皮膚科学会, 浦安, 6月, 2003
- No. 25 佐藤 寛子, 市川 栄子, 有馬 礼人, 川内 康弘, 大塚 藤男:
セフジニル(セフゾン)によるStevens-Johnson症候群
第33回日本皮膚アレルギー学会, 東京, 7月, 2003

- No. 26 山越 純, 佐野 敦志, 徳武 昌一, 斉藤 實, 菊池 護, 久保田芳郎, 大塚 藤男:
ブドウ種子抽出物 (GSE) の色素沈着改善効果
第4回光老化研究会, 神戸, 7月, 2003
- No. 27 田口詩路麻, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
C型肝炎を合併した巨大扁平苔癬
第52回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2003
- No. 28 細谷なぎさ, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
神経と関連が認められた顆粒細胞腫
第52回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2003
- No. 29 佐藤 寛子, 佐藤 哲也, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
Nevus lipomatosus superficialis
第52回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2003
- No. 30 田口詩路麻, 石井 良征, 守屋美佳子, 梅林 芳弘:
Superficial angiomyxomaの1例
第52回日本皮膚科学会茨城地方会, 日立, 7月, 2003
- No. 31 佐野 敦志, 久保田芳郎, 大塚 藤男:
プロアントシアニジン高含有ブドウ種子抽出物摂取による肝斑改善効果 -第2報-
第25回日本光医学・光生物学会, 津, 7月, 2003
- No. 32 有馬 礼人, 佐藤 寛子, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
骨髄性プロトポルフィリン症の1例
第25回日本光医学・光生物学会, 津, 7月, 2003
- No. 33 高橋 毅法, 大塚 藤男, 安藤 巖夫, 玉置 邦彦:
肝細胞増殖因子(HGF/SF)による tyrosinase調節作用
平成15年厚生省がん研究助成金班 (悪性黒色腫) 第1回班会議, 東京, 8月, 2003
- No. 34 藤沢 康弘, 高橋 毅法, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
多発肝転移に対しDTIC動注を試みた1例
平成15年厚生省がん研究助成金班 (悪性黒色腫) 第1回班会議, 東京, 8月, 2003
- No. 35 川内 康弘, 大塚 藤男:
GATA-3/POU因子によるロリクリン遺伝子の正と負の発現調節
第18回角化症研究会, 東京, 8月, 2003
- No. 36 田口詩路麻, 細谷なぎさ, 梅林 芳弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
活性型ビタミンD3軟膏とビタミンA内服で軽快した毛孔性紅色秕糠疹
第18回日本乾癬学会, 高山, 9月, 2003
- No. 37 高橋 毅法, 川島 真季, 永江美香子, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
メラノーマ初期細胞株における浸潤能への肝細胞増殖因子(HGF/SF)の影響
日本皮膚科学会第326回福岡地方会, 北九州, 9月, 2003
- No. 38 中村 泰大, 大塚 藤男:
筑波大学皮膚科における下肢静脈瘤の治療
第67回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 旭川, 9月, 2003

- No. 39 中村 泰大, 永江美香子, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
後頭動脈瘤の1例
第67回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 旭川, 9月, 2003
- No. 40 梅林 芳弘, 守谷美佳子:
子宮癌に対する放射線照射部に生じた腫瘍(CPC)
第67回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 旭川, 9月, 2003
- No. 41 高瀬 孝子, 大塚 藤男:
スポロトリコーシス-小児の顔面に生じた固定型の2例
第47回日本医真菌学会, 東京, 10月, 2003
- No. 42 高橋 毅法, 市川 栄子, 藤澤 裕志, 川内 康弘, 今門 純久, 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎患者の血中好酸球数、ELAM-1値に与えるトシル酸
スプラタストの影響
第53回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 10月, 2003
- No. 43 丸山 浩, 守屋美佳子, 川内 康弘, 大塚 藤男:
陰茎及び下腿に生じた Angiolymphoid Hyperplasia with Eosinophilia
第53回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 10月, 2003
- No. 44 大塚 喜法, 有馬 礼人, 津田 毅彦, 梅林 芳弘, 川内 康弘, 大塚 藤男:
弛張熱を呈した水疱性類天疱瘡の1例
第53回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 10月, 2003
- No. 45 遠藤有貴子, 梅林 芳弘, 大塚 藤男, 河村 智教:
Subungual Blue Nevus
第53回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 10月, 2003
- No. 46 二藤部弘暁, 永江美香子, 梅林 芳弘, 高橋 毅法, 大塚 藤男:
集学的治療を行なった血管肉腫
第53回日本皮膚科学会茨城地方会, 水戸, 10月, 2003
- No. 47 高橋 毅法, 川島 真季, 永江美香子, 中村 泰大, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
肝細胞増殖因子(HGF/SF)によるメラノーマ細胞浸潤能の調節作用
第120回新群筑皮膚合同研究会, 新潟, 10月, 2003
- No. 48 古田 淳一, 梅林 芳弘, 大塚 藤男, 牛島 俊和:
トロンボモジュリンはメラノーマでサイレンシングされている
平成15年度厚生労働省がん研究助成金
悪性黒色腫の新しい診断及び治療法の開発に関する研究
第2回班会議, 東京, 11月, 2003
- No. 49 津田 毅彦, 中村 泰大, 高橋 毅法, 川内 康弘, 梅林 芳弘, 大塚 藤男:
Asy dermatosisの1例
第54回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪, 11月, 2003
- No. 50 中村 泰大, 高橋 毅法, 川内 康弘, 大塚 藤男:
Malignant peripheral nerve sheath tumor 細胞株の確立および性質の解析
平成15年度厚生労働省 神経皮膚症候群に関する研究班班会議, 東京, 12月, 2003

班研究報告書

- No. 1 大塚 藤男, 樋野 興夫, 金田 真理, 新村 真人, 澤田 俊一, 本田まり子,
太田 有史, 佐谷 秀行, 荒木 令江, 大野 耕策:
神経線維腫における血管増生因子の発現 (第II報)
厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
神経皮膚症候群に関する研究 平成14年度総括・分担研究報告書, pp.17-20, 2003

その他

- No. 1 大塚 藤男:
皮膚の潰瘍 (特別講演)
第7回七隈皮膚科セミナー, 福岡, 1月, 2003
- No. 2 大塚 藤男:
ポストゲノムの夢を語る、腫瘍 (シンポジウム、シンポジスト)
第66回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 東京, 2月, 2003
- No. 3 大塚 藤男:
神経皮膚症候群 (神経線維腫症 (NF1)) の治療法とQOLの改善
シンポジウム「難病の治療法と予後の改善」(シンポジスト、オ-ガナイザー)
第102回日本皮膚科学会総会, 浦安, 5月, 2003
- No. 4 大塚 藤男:
神経皮膚症候群--最近の話題-- (特別講演)
第330回日本皮膚科学会新潟地方会, 新潟, 7月, 2003
- No. 5 大塚 藤男:
筑波大学研究室だより
つくば皮膚科医会学術講演会, つくば, 7月, 2003
- No. 6 石井 一弘, 玉岡 晃, 大塚 藤男:
ジフェニルアルシン酸等による井戸水汚染と健康影響 (特別講演)
第11回ヒ素シンポジウム, 札幌, 10月, 2003
- No. 7 大塚 藤男:
汗孔角化症 (特別講演)
鹿児島市皮膚科医会, 医師会学術講演会, 鹿児島, 10月, 2003
- No. 8 大塚 藤男:
結節・腫瘤を呈する皮膚疾患
水戸市医師会学術講演会, 水戸, 11月, 2003
- No. 9 梅林 芳弘:
ほくろのがん (特別講演)
日立市市民公開講座, 日立, 11月, 2003
- No. 10 大塚 藤男:
アトピー性皮膚炎: 遺伝と環境 (特別講演)
第100回日本皮膚科学会宮崎地方会, 宮崎, 12月, 2003

- No. 11 大塚 藤男：
編集後記
皮膚科の臨床 45 (5) 638 , 2003
- No. 12 大塚 藤男：
編集後記
皮膚科の臨床 45 (10) : 1282 , 2003
- No. 13 大塚 藤男：
色素細胞母斑アンケート
Visual Dermatology 2(11) : 1201 , 2003
- No. 14 大塚 藤男, 前野 哲博, 工藤 典雄：
医学教育評価：特色ある大学教育支援プログラムとの関連で
筑波フォーラム66 : 65-68 , 2003
- No. 15 大塚 藤男：
参加者の感想と意見
第23回国内医科大学視察と討論の会報告書 , pp.159 , 医学教育振興財団 , 2003
- No. 16 大塚 藤男：
大学卒前教育：地域での医学教育
医学教育34 (5) : 296 , 2003
- No. 17 大塚 藤男：
汗孔角化症 , コメント
Skin Cancer 18 (2) : 136 , 2003

2003年（小児内科グループ）

原 著

- No . 1 Saitoh H, Kamoda T, Fukushima T :
The status of the GH-IGF-I axis in a child with psychosocial short stature.
J Pediatr Endocrinol Metab. 16 (3) : 439-441 , 2003
- No . 2 Kamoda T, Matsui A, Ochiai N. :
Osteofibrous dysplasia in a Japanese boy with Costello syndrome.
Clin Dysmorph. 12 (3) : 211-212 , 2003
- No . 3 Kamoda T, Matsui A :
Trichorhinophalangeal syndrome type I in a Japanese boy.
Eur J Pediatr 162 (11) : 810-811 , 2003
- No . 4 Shiono J, Horigome H, Matsui A, Terada Y, Miyashita T, Tsukada K :
Detection of repolarization abnormalities in patients with cardiomyopathy using current vector mapping technique on magnetocardiogram.
Int J Cardiovasc Imaging 19 : 163-170 , 2003
- No . 5 Shiono J, Horigome H, Yasui S, Miyamoto T, Takahashi-Igari M, Iwasaki N, Matsui A :
Electrocardiographic changes in cardiac rhabdomyoma associated with tuberous sclerosis.
Cardiol Young 13(3) : 258-263 , 2003
- No . 6 Murakami T, Horigome H, Yamaki S, Nakao T, Hiramatsu Y, Matsui A :
Pulmonary veno-occlusive disease associated with partial anomalous pulmonary venous connection.
Pediatr Int 45(6) : 747-750 , 2003
- No . 7 Tokunaga C, Hiramatsu Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, Noma M, Sakakibara Y. :
Palliative open heart surgery in an infant with factor VII deficiency.
Ann Thorac Surg 76(6) : 2093-2094 , 2003
- No . 8 Yoshinaga M, Nagashima M, Shibata T, Niimura I, Kitada M, Yasuda T, Iwamoto M, Kamimura J, Iino M, Horigome H, Seguchi M, Aiba S, Izumida N, Kimura T, Ushinohama H, Nishi J, Kono Y, Nomura Y, Miyata K :
Who is at risk for cardiac events in young patients with long QT syndrome?
Circ J 67(12) : 1007-1012 , 2003
- No . 9 Horigome H, Murakami T, Isobe T, Nagasawa T, Matsui A :
Soluble P-selectin and thrombomodulin-protein C-protein S pathway in cyanotic congenital heart disease with secondary erythrocytosis.
Thromb Res 112(4) : 223-227 , 2003
- No . 10 Horigome H, Shigeta O, Kuga K, Isobe T, Sakakibara Y, Yamaguchi I, Matsui A :
Ventricular fibrillation during anesthesia in association with J waves in the left precordial leads in a child with coarctation of the aorta.
J Electrocardiol 36(4) : 339-343 , 2003

- No . 11 Horigome H, Miyauchi T, Takahashi-Igari M, Maeda S, Matsui A :
Increased plasma level of endothelin-1 following percutaneous balloon dilatation of aortic coarctation in children.
Eur J Pediatr 162 : 543-544 , 2003
- No . 12 Iwata O, Iwata S, Tamura M, Nakamura T, Sugiura M, Ogiso Y, Takashima S :
Early head cooling in newborn piglets is neuroprotective even in the absence of profound systemic hypothermia.
Pediatr Int. 45(5) : 522-529 , 2003;
- No . 13 Iwata O, Iwata S, Tamura M, Nakamura T, Sugiura M, Ogiso Y :
Brain temperature in newborn piglets under selective head cooling with minimal systemic hypothermia.
Pediatr Int. 45(2) : 163-168 , 2003
- No . 14 Nakayama J, Hamano K, Iwasaki N, Ohta M, Nakahara S, Matsui A, Arinami T :
Mutation analysis of the leucine-rich, glioma inactivated 1 gene (LGI1) in Japanese febrile seizure patients.
Neuropediatrics 34(5).234-236 2003
- No . 15 Nakayama J, Hamano K, Noguchi E, Horiuchi Y, Iwasaki N, Ohta M, Nakahara S, Naoi T, Matsui A, Arinami T :
Failure to find causal mutations in the GABA(A)-receptor gamma2 subunit (GABRG2) gene in Japanese febrile seizure patients.
Neurosci Lett 343(2) : 117-120 , 2003
- No . 16 Okada Y, Kato T, Iwai K, Iwasaki N, Ohta T, Matsui A :
Evaluation of hippocampal infolding using magnetic resonance imaging
Neuroreport 14(10) : 1405-1409 , 2003
- No . 17 Ueno T, Yoshioka H, Iwasaki N, Tanaka R, Saida Y :
MR findings of spinal muscular atrophy type II : sibling cases
Magnetic Resonance in Medical Science 2(4) : 195-198 , 2003
- No . 18 Ueda I, Morimoto A, Inaba T, Yagi T, Hibi S, Sugimoto T, Sako M, Yanai F, Fukushima T, Nakayama M, Ishii E, Imashuku S :
Characteristic perforin gene mutations of haemophagocytic lymphohistiocytosis patients in Japan.
Br J Hematol 121 : 503-510 , 2003
- No . 19 Yasuda Y, Yabe H, Inoue H, Shimizu T, Yabe M, Yogo Y, Kato S :
Comparison of PCR-amplified JC virus control region sequences from multiple brain regions in PML.
Neurology 61(11) : 1617-1619 , 2003
- No . 20 Tsuboi K, Kishi K, Ohmachi K, Yasuda Y, Shimizu T, Inoue H, Matsumoto M, Hattori K, Yoshida F, Watanabe S, Ogawa Y, Kawada H, Yabe H, Yabe M, Kato S, Hotta T :
Multivariate analysis of risk factors for hemorrhagic cystitis after hematopoietic stem cell transplantation.
Bone Marrow Transplant 32(9) : 903-907 , 2003

- No . 21 Inoue H, Yasuda Y, Hattori K, Shimizu T, Matsumoto M, Yabe M, Yabe H, Tsuchida F, Tanaka Y, Hosoi G, Sako M, Kato S :
The kinetics of immune reconstitution after cord blood transplantation and selected CD34+ stem cell transplantation in children : comparison with bone marrow transplantation.
Int J Hematol 77(4) : 399-407 , 2003
- No . 22 村上 卓, 堀米 仁志, 塩野 淳子, 高橋 実穂, 荷見 博樹, 杉浦 正俊, 松井 陽 :
新生児のAccelerated Idioventricular Rhythm .
日本未熟児新生児学会雑誌 15(1) : 99-105 , 2003
- No . 23 堀米 仁志 :
Editorial comment : Fontan術後のplastic bronchitisと蛋白漏出性胃腸症 -特にリンパ凝固の関与について- .
日本小児循環器学会雑誌 19(1) : 56-58 , 2003
- No . 24 堀米 仁志, Wakai RT :
胎児心磁図の基礎と臨床応用 .
日本小児循環器学会雑誌 19(5) : 468-475 , 2003
- No . 25 中尾 朋平, 福島 敬, 岩崎 陽子, 石沢 美佳, 的場 公男, 岩川真由美, 金子 道夫, 松井 陽 :
上咽頭癌の2例 .
小児がん 40(4) : 600-606 , 2003
- No . 26 福島 敬, 藤原 暢子, 中嶋 玲子, 荷見 博樹, 宮崎 賢治, 的場 公男, 平井みさ子, 岩川真由美, 須磨崎 亮, 松井 陽, 金子 道夫 :
進行神経芽腫幼児例におけるDNA/RNA診断の有用性と白金製剤を含まない多剤併用療法の有効性について .
小児がん 40(4) : 578-581 , 2003
- No . 27 保田由喜治, 矢部 普正, 井上 裕靖, 清水 崇史, 矢部みはる, 加藤 俊一 :
侵襲性アスペルギルス症に対しリボ化アンホテリシンBおよび頻回の顆粒球輸血を施行した慢性肉芽腫症の1例 .
小児感染免疫 15 (2) : 235-239 , 2003
- No . 28 絹笠 英世, 岩崎 信明, 浜野 建三, 田中 竜太, 大戸 達之, 松井 陽 :
周期性片側性てんかん様放電(PLEDs) が認められたテオフィリン関連けいれん .
臨床脳波 45 : 60-64 , 2003
- No . 29 大戸 達之, 岩崎 信明, 高橋 実穂, 田中 竜太, 浜野 建三, 松井 陽 :
乳児期にてんかん性無呼吸を呈した脳形成障害児の1例 .
脳と発達 35 (6) : 511-514 , 2003
- No . 30 一戸 美佳, 市川 邦男, 今井 博則, 松井 陽 :
小児気管支喘息におけるテオフィリン除放製剤 (テオドールドライシロップ) の至適投与量に関する検討 .
日本小児アレルギー学会誌 17 (5) : 530-535 , 2003

総 説

- No. 1 松井 陽：
遺伝性肝疾患 肝トランスポーター異常を中心に 進行性家族性肝内胆汁うっ滞。
肝臓 44(10)：492-500，2003
- No. 2 須磨崎 亮，長谷川 誠：
症状からみた鑑別診断と臨床検査 黄疸。
小児科診療 66(11)：1873-1879，2003
- No. 3 須磨崎 亮，長谷川 誠：
小児消化器疾患における病因遺伝子研究の進歩。
医学のあゆみ 206(9)：584-588，2003
- No. 4 岩崎 信明，浜野 建三：
意識障害の診療 神経学的所見の取り方のポイント。
小児内科 35(2)：220-222，2003
- No. 5 杉浦 正俊：
検査データを考える 新生児医療における臨床検査の使いかた。
検査と技術 31(8)：731-737，2003
- No. 6 堀米 仁志：
成人チアノーゼ型先天性心疾患の血液学的異常と診断・治療上配慮すべき点。
小児科診療 66(7)：1125-1130，2003
- No. 7 須磨崎 亮：
乳児のB型肝炎予防接種。
日本医事新報 No.4133：95-96，2003

著 書

- No. 1 堀米 仁志：
新生児動脈管依存性心疾患のプロスタグランジン療法。
今日の小児治療指針第13版（大関武彦，古川 漸，横田俊一郎編）
医学書院，東京，pp.337-338，2003
- No. 2 岩崎 信明：
多発性硬化症・急性散在性脳脊髄炎。
今日の小児治療指針第13版（大関武彦，古川 漸，横田俊一郎編）
医学書院，東京，pp.452-453，2003
- No. 3 岩崎 信明：
アペール - クルーゾン病・ウォーカー - ワーブルグ症候群・小脳無形成・胎児性バル
プロ酸症候群・胎児アルコール症候群・尖塔頭蓋症。
医学大辞典（伊藤正男，他総編集，）
医学書院，東京 p44，p183，p1183，p1522，p1520，p1458，2003
- No. 4 岩崎 信明，浜野 建三：
研修医の小児医療研修のための基礎知識「頭痛」。
三共株式会社 pp.111-116，2003

No. 5 須磨崎 亮：
X連鎖性リンパ増殖症．

EBウイルス（高田賢蔵監修）
診断と治療社，東京，pp.139-144，2003

No. 6 須磨崎 亮：
慢性肝炎．

今日の小児治療指針第13版（大関武彦，古川 漸，横田俊一郎編）
医学書院，東京，pp.320-322，2003

No. 7 須磨崎 亮：
門脈圧亢進症，門脈体循環シャント，Budd-Chiari症候群，その他の先天性門脈異常．
小児消化器肝臓マニュアル（監修 白木和夫，編集 藤澤知雄 友政剛）
診断と治療社，pp.258-264，2003

学会発表

No. 1 堀米 仁志，高橋 実穂，松井 陽，長澤 俊郎，平松 祐司，磯部 剛志，塩野 淳子，
鈴木 英紀：
アイゼンメンガー症候群及び手術未施行のチアノーゼ性先天性心疾患における血小板
放出反応とロンボモジュリン・プロテインC系．
第5回成人先天性心疾患研究会（東京），1月，2003

No. 2 杉浦 正俊，森文 史郎：
どこまで行っていますか？人工呼吸器の安全管理 キーノートスピーチ．
第5回新生児呼吸療法・モニタリングフォーラム（長野），1月，2003

No. 3 陳 央仁，堀米 仁志，重光 貞彦，宗田 聡，濱田 洋実，塩野 淳子，高橋 実穂，
松井 陽：
胎児心磁図のP波，T波の検出率向上と標準データの確立を目指して - ベクトル型
心磁計の臨床応用 -
第9回日本胎児心臓病研究会（淡路島），2月，2003

No. 4 宮田 大揮，高橋 実穂，松永 真紀，堀米 仁志，平松 祐司，濱田 洋実，松井 陽：
胎児診断された新生児重症Ebstein奇形の1救命例．
第9回日本胎児心臓病研究会（淡路島），2月，2003

No. 5 重田みどり，吉田 尊雅，市川 邦男：
乳幼児期に吸入ステロイドによる早期介入を行った気管支喘息児の短期的予後につい
ての検討．
第73回日本小児科学会茨城県地方会（土浦），2月，2003

No. 6 西村 洋子，岡本 美穂，高橋 実穂，平井みさ子，福島 敬，平松 祐司，堀米 仁志，
松井 陽：
治療抵抗性のDICにダナパロイドナトリウムが著効した2症例．
第73回日本小児科学会茨城県地方会（土浦），2月，2003

- No. 7 加藤 愛章, 西村 洋子, 一色 伸子, 岡本 美穂, 荷見 博樹, 中嶋 玲子,
藤原 暢子, 福島 敬, 金子 道夫, 松井 陽:
診断確定までの間に呼吸困難が急速に進行した縦隔腫瘍の3例.
第73回日本小児科学会茨城県地方会 (土浦), 2月, 2003
- No. 8 大戸 達之, 岩崎 信明, 田中 竜太, 小嶋靖 子, 松井 陽:
両側視床病変が進行した髄鞘形成障害の1例.
第8回小児神経症例検討会蔵王セミナー (蔵王), 2月, 2003
- No. 9 小池 隆志, 清水 崇史, 井上 裕靖, 保田由喜治, 矢部 普正, 矢部みはる:
フルダラビンを含む移植前処置で心タンポナーデを合併した重症型再生不良性貧血の
1例.
日本小児科学会神奈川地方会 (横浜), 2月, 2003
- No. 10 岡本 美穂, 田中 竜太, 大戸 達之, 岩崎 信明, 中嶋 玲子, 飛田 直美, 松井 陽:
完全埋め込み型中心静脈カテーテルを用いてチトクロームC・ビタミンB1, B2合剤治
療をおこなったLeigh脳症の1例.
第38回日本小児神経学会関東地方会 (東京), 3月, 2003
- No. 11 Kamisago M, Kato T, Imamura S, Joh-o K, Maeda J, Horigome H, Ando M, Takao A,
Momma K, Nakazawa M, Matsuoka R:
Missense mutation in the PTPN11 as a cause of cardiac defects associated with
Noonan syndrome or LEOPARD syndrome.
第67回日本循環器学会総会 (福岡), 3月, 2003
- No. 12 廣井 愛子, 保田由喜治, 松本 正栄, 井上 裕靖, 清水 崇史, 矢部 普正,
矢部みはる:
中等量メソトレキセート療法にて急性腎不全・肺水腫を来したALLの1例.
日本小児科学会神奈川地方会 (横浜), 4月, 2003
- No. 13 齋藤 誠, 藤原 暢子, 杉浦 正俊, 松井 陽:
終末医療が剖検率に与える影響についての検討.
日本小児科学会 (福島), 4月, 2003
- No. 14 田村 正徳, 楠田 聡, 猪谷 泰史, 堺 武男, 北島 博之, 大野 勉, 亀山 順治,
丸山 憲一, 武井 章人, 杉浦 正俊, 中村 友彦:
NICUにおける呼吸理学療法ガイドライン(2002年版) NICUにおける呼吸理学療法ガ
イドライン検討委員会.
日本小児科学会, (福島), 4月, 2003
- No. 15 須磨崎 亮, 長谷川 誠, 松井 陽, 影山龍一郎:
Alagille症候群から学んだこと(2) 転写因子Hes1は膵臓と肝外胆管系の分化を制御
する.
第106回日本小児科学会学術集会, (福岡), 4月, 2003
- No. 16 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 鹿毛 政義, 松井 陽:
日本における小児自己免疫性肝炎の臨床像.
第106回日本小児科学会学術集会, (福岡), 4月, 2003

- No. 17 野末 裕紀, 鴨田 知博, 杉浦 正俊, 齊藤 誠, 岡本 美穂, 松井 陽, 西村 玄:
Baller-Gerold症候群と考えられた1女児例.
第106回日本小児科学会学術集会, (福岡), 4月, 2003
- No. 18 岡本 美穂, 大戸 達之, 福島 敬, 岩崎 信明, 須磨崎 亮, 柴崎 正修, 下山田博明,
野口 雅之, 余郷 嘉明, 長嶋和郎, 松井 陽:
重篤な中枢神経病変を合併した原発性免疫不全症の4例.
第106回日本小児科学会学術集会, (福岡), 4月, 2003
- No. 19 岩崎 信明, 浜野 建三, 竹谷 俊樹, 岩岡 浩子, 大戸 達之, 松井 陽:
重症心身障害児(者)の身体組成とエネルギー代謝量.
第45回日本小児神経学会総会 (福岡), 5月, 2003
- No. 20 大戸 達之, 岩崎 信明, 青木 健, 森山 伸子, 森 史子, 田中 竜太, 桑島 克子,
松井 陽:
脳症後てんかんにcritical illness polyneuropathyを伴った1例.
第45回日本小児神経学会総会 (福岡), 5月, 2003
- No. 21 岩崎 信明:
Neurofibromatosisの病理.
第17回Neuroradiology Club, 6月, 2003
- No. 22 向田 壮一, 大戸 達之, 岩崎 信明, 岡田 祐輔, 福島 敬, 松井 陽:
塩酸メキシレチンが奏効した症候性部分てんかんの2例.
第25回茨城てんかん懇話会 (つくば), 6月, 2003
- No. 23 岩崎 信明:
今回のてんかんに関連した道路交通法改正について.
第25回茨城てんかん懇話会 (つくば), 6月, 2003
- No. 24 Kandori A, Ogata K, Murakami M, Miyashita T, Tsukada K, Hosono T, Chiba Y,
Miyashita S, Horigome H, Matsui A:
BIOMED 2003 (ザルツブルク, オーストリア), 6月, 2003
- No. 25 大戸 達之, 岩崎 信明, 青木 健, 森山 伸子, 森 史子, 田中 竜太, 桑島 克子,
松井 陽:
脳症後てんかんにcritical illness polyneuropathyを伴った1例.
日本小児神経学会総会 (福岡), 6月, 2003
- No. 26 松永 真紀, 鴨田 知博, 松井 陽, 雨海 照祥:
閉塞性尿路疾患による二次性偽性低アルドステロン血症の1例.
第74回日本小児科学会茨城地方会, (つくば), 6月, 2003
- No. 27 西村 洋子, 岡本 美穂, 宮田 大輝, 松永 真紀, 清水 崇史, 福島 敬, 松枝 清,
水谷 太郎, 須磨崎 亮, 松井 陽:
腓醇素阻害剤・抗生物質持続動注療法が奏功した重症急性肺炎の1例.
第74回日本小児科学会茨城地方会, (つくば), 6月, 2003年
- No. 28 堀米 仁志, 村上 卓, 高橋 実穂, 松井 陽, 平松 祐司, 松崎 美緒:
成人チアノーゼ型先天性心疾患における血液凝固系と頭部MRI所見.
第39回日本小児循環器学会 (神戸), 7月, 2003

- No. 29 齊藤 誠, 岡本 美穂, 杉浦 正俊, 福島 敬, 須磨崎 亮, 松井 陽:
新生児ヘモクロマトーシス類似の臨床像を呈した胎内発症家族性血球貪食症候群.
第39回 日本新生児学会, (郡山市), 7月, 2003
- No. 30 塩野 淳子, 磯部 剛志, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 松井 陽:
結節性硬化症の心電図所見の検討.
第39回日本小児循環器学会 (神戸), 7月, 2003
- No. 31 松原 宗明, 平松 祐司, 野間 美緒, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 榊原 謙:
心室中隔欠損連続縫合閉鎖法によるFallot四徴症根治術の早期成績.
第39回日本小児循環器学会 (神戸), 7月, 2003
- No. 32 野間 美緒, 平松 祐司, 堀米 仁志, 高橋 実穂, 榊原 謙:
総肺静脈還流異常を伴う無脾症候群の外科治療.
第39回日本小児循環器学会 (神戸), 7月, 2003
- No. 33 杉田 憲一, 前田 美穂, 菊地 陽, 藤沢 康司, 野口 靖, 足立 尚登, 小森 功夫,
福島 敬, 小池 健一, 和田恵美子, 真部 淳, 森 本克, 高山 順, 大久保摩利子,
生田孝一郎, 土田昌宏:
東京小児がん研究グループ 小児急性リンパ性白血病治療後の2次がん: TCCSG
L81-10 -L99-15プロトコル, 19981-2002. 第65回日本血液学会総会
第45回日本臨床血液学会総会, (大阪), 8月, 2003
- No. 34 矢部 普正, 井上 裕靖, 清水 崇史, 松本 正栄, 浜之 上聡, 小池 隆志,
廣井 愛子, 矢部みはる, 迫正 廣, 藤原 充弘, 上田 恭典
母児間免疫寛容に基づくHLA不一致骨髓移植を施行した非腫瘍性疾患の6例.
第45回日本臨床血液学会総会, (大阪), 8月, 2003
- No. 35 松本 正栄, 井上 裕靖, 矢部みはる, 浜之 上聡, 小池 隆志, 廣井 愛子,
清水 崇史, 矢部 普正:
非血縁者間骨髓移植における死因の検討.
第45回日本臨床血液学会総会, (大阪), 8月, 2003
- No. 36 西村 洋子, 福島 敬, 岡本 美穂, 須磨崎 亮, 齊藤 誠, 堀米 仁志, 小島 寛,
松井 陽:
難治性小児DICに対するダナパロイドナトリウム(オルガラン)の投与法と効果判定について.
第45回日本臨床血液学会総会, (大阪), 8月, 2003
- No. 37 大戸 達之, 岩崎 信明, 一色 伸子, 加藤 愛章, 大久保英樹, 新 健治, 松井 陽:
完全声帯麻痺を呈したA群色素性乾皮症の1例.
第39回日本小児神経学会関東地方会, (東京), 9月, 2003
- No. 38 齊藤 久子, 鴨田 知博, 齋藤 誠, 杉浦 正俊, 松井 陽:
新生児におけるadiponectin値の検討.
第37日本小児内分泌学会 (札幌), 10月, 2003
- No. 39 野末 裕紀, 齊藤 貴志, 藤原 暢子, 今井 博則, 鴨田 知博:
HESX1遺伝子異常が認められた複合型下垂体機能低下症の1例.
第37日本小児内分泌学会 (札幌), 10月, 2003

- No. 40 宮崎 賢治, 飛田 尚美, 岩崎 陽子, 土田 昌宏, 鴨田 知博:
抗GAD抗体が経過中に陽性化した乳児期早期発症永続性1型糖尿病の1例.
第37日本小児内分泌学会 (札幌), 10月, 2003
- No. 41 保田由喜治, 矢部 普正, 井上 裕靖, 清水 崇史, 矢部みはる, 加藤 俊一:
ペニシリン耐性肺炎球菌による化膿性仙腸関節炎を発症した造血幹細胞移植後のIgGサブクラス欠乏例.
第35回日本小児感染症学会, (富山), 10月, 2003
- No. 42 高橋 実穂, 堀米 仁志, 平松 祐司, 松崎 美緒, 磯部 剛志, 塩野 淳子,
阿部 正一, 厚美 直孝, 佐藤 正昭, 松井 陽:
拡張型心筋症を発症した抗SSA抗体陽性の先天性完全房室ブロック.
第12回関東小児心筋疾患研究会 (東京), 10月, 2003
- No. 43 齊藤 貴志, 堀米 仁志, 岩崎 信明, 塩野 淳子, 高橋 実穂, 宮内 卓, 松井 陽:
Danon病家系の経時的心電図変化.
第8回日本小児心電学研究会 (東京), 11月, 2003
- No. 44 岡本 美穂, 西村 洋子, 宮田 大揮, 松永 真紀, 清水 崇史, 福島 敬, 松枝 清,
水谷 太郎, 須磨崎 亮, 松井 陽:
腓醇素阻害剤, 抗生物質持続動注療法が奏効した重症急性膵炎の1例.
第45回日本小児血液学会 (金沢), 10月, 2003
- No. 45 宮田 大揮, 福島 敬, 松永 真紀, 齊藤奈津子, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 清水 崇史,
須磨崎 亮, 松井 陽:
治療経過中に致死的な肺VODを併発したBurkitt's lymphomaの1例.
第45回日本小児血液学会 (金沢), 10月, 2003
- No. 46 中尾 朋平, 斎藤 誠, 岡本 美穂, 杉浦 正俊, 清水 崇史, 福島 敬, 上田育代,
今宿晋作, 須磨崎 亮, 松井 陽:
胎内で発症した家族性血球貪食症候群.
第45回日本小児血液学会 (金沢), 10月, 2003
- No. 47 小池 隆志, 松本 正栄, 清水 崇史, 井上 裕靖, 矢部みはる, 矢部 普正:
AML/Downに対してBU+AraC + CYによる前処置を施行した1例.
第45回日本小児血液学会 (金沢), 10月, 2003
- No. 48 井上 裕靖, 保田由喜治, 清水 崇史, 松本 正栄, 小池 隆志, 矢部みはる,
矢部 普正, 服部 欽哉, 加藤 俊一:
当科における非腫瘍性疾患に対する非血縁者間骨髄移植の成績.
第45回日本小児血液学会 (金沢), 10月, 2003
- No. 49 須磨崎 亮, 小林 圭子, 安田 智嗣, 佐伯 武頼, 松井 陽:
ヒト血球細胞におけるCitrinの発現に関する検討.
日本小児栄養消化器肝臓学会 (北九州), 11月, 2003
- No. 50 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 小林 圭子, 佐伯 武頼, 松井 陽:
母子共に無症状のCitrin欠損症 NICCDの重症度に関する考察.
日本小児栄養消化器肝臓学会 (北九州), 11月, 2003

- No. 51 小高 ゆり, 森 庸祐, 中里 豊, 児玉 浩子, 柳川 幸重, 高橋 一郎, 長谷川 誠, 須磨崎 亮, 松井 陽:
16年間経過を観察している良性反復性肝内胆汁うっ滞症(BRIC)の一例.
日本小児栄養消化器肝臓学会 (北九州), 11月, 2003
- No. 52 須磨崎 亮, 長谷川 誠, 松井 陽:
劇症肝炎の予知と肝移植適応基準 小児劇症肝炎の予知と肝移植適応基準
日本小児栄養消化器肝臓学会 (北九州), 11月, 2003
- No. 53 平井みさ子, 金子 道夫, 堀哲 夫, 雨海 照祥, 小室 広昭, 的場 公男, 相野谷慶子, 福島 敬:
経過中多発肝膿瘍を併発した巨大肝芽腫肺転移の一男児例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 54 松永 真紀, 福島 敬, 西村 洋子, 平井みさ子, 金子 道夫, 松井 陽:
HiMECを前処置とした自家骨髄移植後にFanconi症候群を発症し, 片腎萎縮をきたした肝芽腫の1例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 55 加藤 愛章, 福島 敬, 松永 真紀, 清水 崇史, 宮田 大揮, 菊池 斉, 斎藤 貴志, 中尾 朋平, 大戸 達之, 須磨崎 亮, 高野 晋吾, 菅原 信二, 金子 道夫, 松井 陽:
積極的に集学的治療を施行した脊髄原発Atypical teratoid/rhabdoid tumorの1乳児例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 56 平井みさ子, 雨海 照祥, 福島 敬, 大原 潔, 堀 哲夫, 小室 広昭, 清水 芳男, 的場 公男, 五藤 周, 中尾 朋平, 山口龍志郎, 金子 道夫:
尿管破裂を来たし診断された, 骨盤部原発胞巣型横紋筋肉腫多発肺転移の10歳女児例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 57 平井みさ子, 金子 道夫, 福島 敬, 堀 哲夫, 雨海 照祥, 小室 広昭, 的場 公男, 相野谷慶子:
経過中多発肝膿瘍を併発した巨大肝芽腫多発肺転移の一男児例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 58 中尾 朋平, 清水 崇史, 福島 敬, 松永 真紀, 斎藤 貴志, 宮田 大揮, 菊池 斉, 斎藤 誠, 吉松 昌司, 一戸 美佳, 杉浦 正俊, 岩川真由美, 金子 道夫, 松井 陽:
顆粒球輸血が奏効した5例.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 59 井上 裕靖, 矢部みはる, 服部 欽哉, 清水 崇史, 保田由喜治, 松本 正栄, 浜之上 聡, 小池 隆志, 矢部 普正, 加藤 俊一:
固形腫瘍に対する自家移植の長期成績とQOLの評価.
第19回 日本小児がん学会 (東京), 11月, 2003
- No. 60 榎本 有希, 斎藤 誠, 雪竹 義也, 杉浦 正俊, 松井 陽, 平井みさ子, 堀 哲夫, 金子 道夫, 藤木 豊, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
無顎症の2例.
第75回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 12月, 2003

No. 61 菊地 斉, 高橋 実穂, 村上 卓, 堀米 仁志, 松井 陽:

房室弁, 半月弁逆流を伴った先天性心疾患におけるアンギオテンシン変換酵素阻害剤の効果.

第75回日本小児科学会茨城地方会 (水戸), 12月, 2003

No. 62 松本 正栄, 矢部 普正, 矢部みはる, 井上 裕靖, 服部 欽哉, 浜之上 聡,

小池 隆志, 廣井 愛子, 清水 崇史, 柳町 徳春, 加藤 俊一:

副腎白質ジストロフィーに対する造血幹細胞移植の成績と臨床効果.

第26回日本造血細胞移植学会 (横浜), 12月, 2003

その他 (講演)

No. 1 杉浦 正俊:

人工呼吸器安全管理への取り組み.

第11回神奈川県新生児未熟児連絡会 (横浜), 6月, 2003

No. 2 杉浦 正俊:

新生児専門医制度の諸問題.

新生児医療連絡会新生児専門医制度に関する緊急フォーラム (東京), 6月, 2003

No. 3 杉浦 正俊:

新生児医療ゼミナール: 医療事故対策.

日本未熟児新生児学会第7回教育セミナー (長野), 8月, 2003

No. 4 杉浦 正俊:

最近の新生児呼吸管理.

日本未熟児新生児学会第7回教育セミナー (長野), 8月, 2003

2003年（感染症科グループ）

原 著

- No . 1 Mitsui H, Komine M, Shirai A, Kanda N, Asahina A, Okochi H, Hitomi S, Kimura S, Tamaki K. :
Chronic active EB virus infection complicated with IgG3 subclass deficiency: an adult case treated with intravenous immunoglobulin and IFN-alpha.
Acta Derm-Venereol 83(1) : 31-35 , 2003.
- No . 2 Kawada M, Okuzumi K, Hitomi S, Sugishita C. :
Transmission of Staphylococcus aureus between healthy lactating mothers and their infants by breastfeeding.
J Hum Lact 19(4) : 411-417 , 2003.
- No . 3 堤徳正, 宇田恵美, 木内環, 人見重美 :
驚口瘡患児が使用した乳首に対する電子レンジ煮沸の消毒効果 .
日環感 18(4) : 404-407 , 2003.

総 説

- No . 1 人見重美 :
医療機関・医療従事者に求められる院内感染対策 .
Medical Digest 52(1) : 17-24 , 2003.
- No . 2 人見重美 :
ツベルクリン反応 .
臨床検査データブック 2003-2004
(高久史磨監修, 黒川清, 春日雅人, 北村聖編集, 医学書院, 東京)
p.436-437 , 2003.
- No . 3 人見重美 :
サイトメガロウイルス感染症-初感染と再燃- .
内科 92(5) : 908-912 , 2003.

2003年（循環器外科・呼吸器外科グループ）

原 著

- No . 1 Kikuchi N, Satoh H, Sekizawa K, Ishikawa S :
Late recurrence after resection of stage I lung adenocarcinoma
Ann Thorac Surg 75(3) : 1069-1070 , 3月1日 , 2003
- No . 2 Yoshimura Y, Hiramatsu Y, Sato Y, Homma S, Enomoto Y, Sakakibara Y :
Activated neutrophils and platelet microaggregates impede blood filterability
through microchannels during simulated extracorporeal circulation
Ann Thorac Surg 75(4) : 1254-1260 , 4月 , 2003
- No . 3 Shioyama Y, Tokuyue K, Okumura T, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Akine Y,
Ishikawa S, Satoh H, Sekizawa K :
Clinical evaluation of proton radiotherapy for non-small cell lung cancer
Int J Radiat Oncol Biol Phys 56 (1) : 7-13 , 5月1日 , 2003
- No . 4 竹中 博昭, 荻野 均, 善甫 宣哉, 榊原 謙, 大北 裕, 山名 一有, 佐久間まこと,
安藤 太三, 石丸 新, 重松 宏, 岡留健一郎, 安田 慶秀, 矢野 孝, 内田 發三,
多田 祐輔, 中島 光好, 江里 健輔 :
Infra-inguinal bypassに対するシロスタゾール投与の臨床的有用性の検討
脈管学 43(6) : 251-258 , 6月 , 2003
- No . 5 Sato Y, Hiramatsu Y, Homma S, Sato S, Onizuka M, Sakakibara Y :
Phosphodiesterase type 4 inhibition of activated polymorphonuclear leukocytes in
a simulated extracorporeal circulation model.
J Thorac Cardiovasc Surg 125 : 172-177 , 6月 , 2003
- No . 6 Yamagishi H, Sankai Y, Yamane T, Jikuya T, Tsutsui T :
Development of built-in type and noninvasive sensor systems for smart artificial
heart
ASAIO Journal 49(3) : 265-270 , 6月 , 2003
- No . 7 松原 宗明, 平松 祐司, 佐藤 真剛, 徳永 千穂, 今水流智浩, 松崎 美緒,
軸屋 智昭, 榊原 謙 :
乳幼児開心術後縦隔洞炎に対する閉鎖式持続洗浄療法
胸部外科 56 : 761-764 , 8月 , 2003
- No . 8 Minami Y, Iijima T, Onizuka M, Sakakibara Y, Noguchi M :
Pulmonary adenocarcinoma with massive lymphocyte infiltration : report of three
cases
Lung Cancer 42(1) : 63-68 , 10月 , 2003
- No . 9 Yoshimura Y, Hiramatsu Y, Sato Y, Homma S, Enomoto Y, Jikuya T, Sakakibara Y :
ONO-6818, a novel, potent neutrophil elastase inhibitor, reduces inflammatory
mediators during simulated extracorporeal circulation.
Ann Thorac Surg 76(4) : 1234-1239 , 10月 , 2003

- No . 10 Akishima S, Sakurai J, Jikuya T :
Complex intimal flaps in acute aortic dissection.
Jap J Thorac Cardiovasc Surg 51 : 548-551 , 10月 , 2003
- No . 11 Horigome H, Shigeta O, Kuga K, Isobe T, Sakakibara Y, Yamaguchi I, Matsui A :
Ventricular fibrillation during anesthesia in association with j waves in the left precordial leads in a child with coarctation of the aorta
J Electrocardiol 36(4) : 339-343 , 10月 , 2003
- No . 12 秋島 信二 , 榊原 謙 :
糖尿病と動脈硬化—update , 冠動脈疾患 , 外科的治療とEBM .
現代医療 35(増) : 2727-2733 , 11月 , 2003
- No . 13 門間 英二 , 石川 成美 , 山本 達生 , 鬼塚 正孝 , 榊原 謙 :
気道狭窄に対する高周波スネアとホットパイオプシー鉗子を用いた気管支鏡下電気焼灼術
気管支学 25 : 513-519 , 11月 , 2003
- No . 14 金敷 真紀 , 相馬 雅行 , 松井 義博 , 齋藤 洋子 , 赤荻 栄一 , 山本 達生 :
喀痰細胞診による検診で発見された肺癌症例
日本臨床細胞学会雑誌 42(6) : 412-416 , 11月22日 , 2003
- No . 15 Murakami T, Horigome H, Yamaki S, Nakao T, Hiramatsu Y, Matsui A :
Pulmonary veno-occlusive disease associated with partial anomalous pulmonary venous connection.
Pediatrics International 45(6) : 747-750 , 12月 , 2003
- No . 16 Tokunaga C, Hiramatsu Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, Noma M, Sakakibara Y :
Palliative open heart surgery in an infant with factor VII deficiency.
Ann Thorac Surg 76(6) : 2093-2094 , 12月 , 2003
- No . 17 Akishima S, Matsushita S, Sakakibara Y, Hyodo K :
Evaluation of rat peripheral and coronary arteries by microangiography using synchrotron radiation.
Photon Factory Activity Report 2002 : 263 , 2003

学会発表

- No . 1 堀米 仁志 , 高橋 美穂 , 松井 陽 , 長澤 俊郎 , 平松 祐司 , 磯部 剛志 , 塩野 淳子 , 鈴木 英紀 :
手術未施行のチアノーゼ性先天性心疾患及びアイゼンメンガー症候群における血小板放出反応とトロンボモジュリン・プロテインC系.
第5回成人先天性心臓病研究会(東京) , 1月 , 2003.
- No . 2 平松 祐司 :
人工心肺が惹起する好中球活性化の薬理学的制御・Microchannel Array Flow Analyzerによる好中球レオロジー解析を指標として.
第6回つくば医療産業懇談会(つくば) , 1月 , 2003.

- No. 3 筒井 達夫, 軸屋 智昭, 榊原 謙, 滝谷 亮一, 山海 嘉之:
長期VAD症例の動脈圧パワースペクトルによる自律神経活動度評価
第31回人工心臓と補助循環懇話会(蔵王), 1月25日, 2003
第31回人工心臓と補助循環懇話会抄録集 p133, 2003
- No. 4 Yoshimura Y, Hiramatsu Y, Sato Y, Homma S, Enomoto Y, Jikuya T, Sakakibara Y. :
ONO-6818, a novel potent neutrophil elastase inhibitor, reduces inflammatory mediators during simulated extracorporeal circulation.
39th Annual Meeting of The Society of Thoracic Surgeons (San Diego), 2月, 2003
- No. 5 酒井 光昭, 石川 成美, 薄井 真悟, 小貫 琢哉, 小澤雄一郎, 中村 亮太, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
器質性肺炎との鑑別診断が困難で2年の経過観察後に切除した径12mm typeC腺癌の1例
第15回茨城早期肺癌研究会(土浦), 2月1日, 2003
- No. 6 小澤雄一郎, 山本 達生, 河合 弘二, 中村 亮太, 小貫 琢哉, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 野口 雅之:
化学療法に抵抗した縦隔胚細胞性腫瘍の1切除例
第125回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月15日, 2003
- No. 7 中村 亮太, 石川 成美, 小澤雄一郎, 小貫 琢哉, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 渡邊 雅彦:
多血症及び重症筋無力症を合併した浸潤性胸腺腫の1例
第22回日本胸腺研究会(東京), 2月15日, 2003
- No. 8 今水流智浩, 軸屋 智昭, 佐藤 真剛, 松原 宗明, 徳永 千穂, 野間 美緒, 松下昌之助, 平松 祐司, 榊原 謙:
体外循環送血部位に生じた上行大動脈仮性瘤の一手術例
第125回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月15日, 2003
- No. 9 中村 勝利, 寺田 康, 山本 達生:
家族性顔面多汗症の3手術例
第125回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 2月15日, 2003
- No. 10 石川 成美, 門間 英二, 中村 亮太, 小澤雄一郎, 小貫 琢哉, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
電気焼灼を用いた気管支鏡下治療
第12回呼吸器外科医会 冬季学術集会 Snow Side Meeting(田沢湖町), 2月21日, 2003
- No. 11 松下昌之助, 山吹 啓介, 大川 修一, 渡辺 寛, 檜山 輝男, 榊原 謙:
慢性心不全症例におけるQRS高周波数微小電位の分布の特徴
第13回体表微小電位研究会(東京), 2月22日, 2003
- No. 12 酒井 光昭, 石川 成美, 山本 達生, 鬼塚 正孝:
日本南極地域観測隊における医療活動と医学研究
第12回呼吸器外科医会 冬季学術集会 Snow Side Meeting(田沢湖町), 2月22日, 2003

- No. 13 永井健太郎, 徳永 千穂, 小貫 琢哉, 佐藤 真剛, 松原 宗明, 今水流智浩, 山本 達生, 軸屋 智昭, 松下昌之助, 松崎 美緒, 平松 祐司, 榊原 謙:
Buerger 病に対して胸腔鏡下交感神経節切除術が有効であった1例
第202回茨城外科学会(日立), 2月22日, 2003
- No. 14 佐藤 真剛, 大城 佳子, 松原 宗明, 徳永 千穂, 今水流智浩, 野間 美緒, 平松 祐司, 松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙, 徳植 公一, 秋根 康之:
心臓原発脂肪肉腫再発例に対して手術及び陽子線療法が有効であった一例
第57回茨城心臓血管研究会(つくば), 3月8日, 2003
- No. 15 Tokunaga C, Jikuya T, Imazuru T, Noma M, Hiramatsu Y, Matsushita S, Sakakibara Y:
Surgery for abdominal aortic aneurysm in octogenarians
4th Tokyo- Shanghai International Symposium for Vascular Surgery
(東京), 3月21日, 2003
- No. 16 Ichimura H, Parthasarathi K, Bhattacharya J, Onizuka M:
Infusion of colon cancer cells in lung capillaries increases endothelial calcium.
Experimental Biology 2003, (San Diego), 4月15日, 2003
- No. 17 鬼塚正孝:
肺転移巣の微小循環に関する研究
第14回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会(会津若松), 4月26日, 2003
- No. 18 徳永 千穂, 軸屋 智昭, 今水流智浩, 野間 美緒, 平松 祐司, 松下昌之助, 榊原 謙:
80歳以上の高齢者に対する腹部大動脈瘤手術の検討
茨城血管疾患研究会第4回研究発表会(つくば), 4月26日, 2003
- No. 19 小貫 琢哉, 山本 達生, 中村 亮太, 小澤雄一郎, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
胸腺腫のWHO分類に基づく周術期放射線治療の効果について
第14回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会(会津若松), 4月26日, 2003
- No. 20 小貫 琢哉, 山本 達生, 中村 亮太, 小澤雄一郎, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
胸腺上皮性腫瘍 WHO分類についての検討
第20回日本呼吸器外科学会総会(東京), 5月8日, 2003
- No. 21 小澤雄一郎, 石川 成美, 中村 亮太, 小貫 琢哉, 薄井 真悟, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
呼吸器外科手術後の乳糜胸症例の検討
第20回日本呼吸器外科学会総会(東京), 5月8日, 2003
- No. 22 池田 晃彦, 清田 純, 野間 美緒, 平松 祐司, 松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
ATS機械弁による大動脈弁置換術後の中期成績の検討
第33回日本心臓血管外科学会学術総会(札幌), 5月16日, 2003

- No . 23 Suzuki H, Sato Y, Shindo M, Yoshioka H, Onizuka M, Sakakibara Y :
Distribution of pulmonary perfusion improves in prone position evaluated using magnetic resonance imaging with arterial spin labeling technique: flow-sensitive alternating inversion recovery (FAIR)
2003 International Conference of American Thoracic Society (Seattle) ,
5月16-21日 , 2003
- No . 24 Sakai M, Sato Y, Yamamoto T, Ishikawa S, Onizuka M, Sakakibara Y :
The atmosphere with few particulate matter in Antarctica decreases human peripheral eosinophil and basophil counts in patients with allergic rhinitis
2003 International Conference of American Thoracic Society (Seattle) ,
5月16-21日 , 2003
- No . 25 中村 勝利, 寺田 康, 山本 達生 :
日帰り手術で行う胸腔鏡下交感神経遮断術の問題点の検討
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) , 6月5日 , 2003
- No . 26 寺田 康, 中村 勝利, 山本 達生 :
手掌多汗症に対する片側交感神経遮断術の妥当性の検討
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) , 6月5日 , 2003
- No . 27 Sugiura A, Sankai Y, Yamane Y, Jikuya T, Tsutsui T :
Development of small implantable multi-sensor circuit for artificial heart
49th ASAIO , (Washington DC) , 6月19日 , 2003
ASAIO Journal 49(2) : 217 , 2003
- No . 28 Yamane T, Maruyama O, Kato T, Nishida M, Miyamoto Y, Tsutsui T, Jikuya T :
Hemocompatibility of hemodynamic levitation blood pumps
49th ASAIO , (Washington DC) , 6月19日 , 2003
ASAIO journal 49(2) : 153 , 2003
- No . 29 松原 宗明, 平松 祐司, 佐藤 真剛, 徳永 千穂, 今水流智浩, 野間 美緒,
松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙 :
Non-heparin ECMOで救命した肺血栓摘除術後の肺出血
第126回日本胸部外科学会関東甲信地方会(東京) , 6月28日 , 2003
- No . 30 海野 英哉, 松崎 寛二, 軸屋 智昭 :
上行大動脈高度石灰化に対し脳分離体外循環を併用しAVRを施行した一例
第126回日本胸部外科学会関東甲信地方会(東京) , 6月28日 , 2003
- No . 31 Sakai M, Sato Y, Sato S, Yamamoto T, Ishikawa S, Onizuka M, Sakakibara Y :
The Atmosphere with few particle matter in Antarctica decreases human peripheral granulocyte colony stimulating factor (G-CSF), and interleukin - 6 (IL-6)
第3回PUC(Integrated Pulmonary Circulation Research)(東京) , 6月28日 , 2003
- No . 32 内藤 貴臣, 友安 信, 稲垣 雅春, 福江 眞隆, 山本 達生, 石川 成美, 鬼塚 正孝,
榊原 謙, 小貫 琢哉, 伊藤 博道, 薄井 真悟, 酒井 光昭 :
Lung lymph flow measurement by ultrasound transit time flow meter
第3回PUC(Integrated Pulmonary Circulation Research)(東京) , 6月28日 , 2003

- No. 33 鈴木 久史, 佐藤 幸夫, 新藤 雅司, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
MRI(FAIR法)による流量と信号強度の関係: 人工肺を用いた実験
第3回 i PUC(Integrated Pulmonary Circulation Research)(東京), 6月28日, 2003
- No. 34 中村 勝利, 中田 弘子, 寺田 康, 山本 達生, 鬼塚 正孝:
腋窩多汗症に対する胸腔鏡下交感神経遮断術の4例
第126回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 6月28日, 2003
- No. 35 河俣真由美, 小貫 琢哉, 伊藤 博道, 酒井 光昭, 山本 達生, 石川 成美,
鬼塚 正孝, 榊原 謙:
検診発見の横隔膜ヘルニアに対する胸腔鏡補助下手術の1例
第203回茨城外科学会(つくば), 7月5日, 2003
- No. 36 今水流智浩, 榊原 謙, 佐藤 真剛, 松原 宗明, 徳永 千穂, 野間 美緒, 松下昌之助,
平松 祐司, 福田 幾夫, 軸屋 智昭:
急性肺血栓栓症外科治療例の検討
第31回日本血管外科学会総会(金沢), 7月10日, 2003
- No. 37 松原 宗明, 軸屋 智昭, 徳永 千穂, 佐藤 真剛, 今水流智浩, 野間 美緒,
平松 祐司, 松下昌之助, 榊原 謙:
大動脈原発性悪性肉腫の2例
第31回日本血管外科学会総会(金沢), 7月10日, 2003
- No. 38 佐藤 真剛, 軸屋 智昭, 豊田 真紀, 松原 宗明, 徳永 千穂, 角田 肇, 今水流智浩,
野間 美緒, 平松 祐司, 松下 昌之助, 榊原 謙:
バルーン閉鎖法を用い一期的全摘除術を行った子宮原発多発性血管内平滑筋腫の手術
例
第31回日本血管外科学会総会(金沢), 7月10日, 2003
- No. 39 Tokunaga C, Jikuya T, Sato M, Matsubara M, Imazuru T, Noma M, Hiramatsu Y,
Matsushita S, Sakakibara Y:
Cystic adventitial degeneration of the femoral artery in a professional football
player
3rd Japan-Korea Joint Meeting for Vascular Surgery (金沢), 7月11日, 2003
- No. 40 秋島 信二, 松下昌之助, 兵藤 一行, 佐藤 藤夫, 今水流智浩, 野間 美緒,
平松 祐司, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
放射光によるラット後脚動脈造影の検討
第31回日本血管外科学術学会総会(金沢), 7月11日, 2003
- No. 41 野間 美緒, 平松 祐司, 堀米 仁志, 高橋 実穂, 榊原 謙:
総肺静脈還流異常を伴う無脾症候群の外科治療
第39回日本小児循環器学会総会(神戸), 7月17日, 2003
- No. 42 松原 宗明, 平松 祐司, 野間 美緒, 高橋 実穂, 堀米 仁志, 榊原 謙:
心室中隔欠損連続縫合閉鎖法によるFallot四徴症根治術の早期成績.
第39回日本小児循環器学会総会(神戸), 7月17日, 2003

- No. 43 伊藤 博道, 石川 成美, 小澤雄一郎, 小貫 琢哉, 酒井 光昭, 山本 達生,
鬼塚 正孝, 榊原謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
正岡IV期浸潤型胸腺腫に合併した径6mmの肺腺癌例
第16回茨城早期肺癌研究会(日立), 7月12日, 2003
- No. 44 杉森 治彦, 池田 晃彦, 徳永 千穂, 今水流智浩, 野間 美緒, 平松 祐司,
松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
冠動脈バイパスと腹部大動脈人工血管置換術の同時手術の一例
第203回茨城外科学会(つくば), 7月5日, 2003
- No. 45 Minami Y, Matsuno Y, Iijima T, Morishita Y, Onizuka M, Noguchi M:
Karyometric analysis of small-sized primary lung adenocarcinoma
10th World Congress for Lung Cancer (Vancouver), 8月14日, 2003
- No. 46 Naito T, Tomoyasu M, Inagaki M, Fukue M, Onuki T, Usui S, Sakai A, Yamamoto T,
Ishikawa S, Onizuka M:
Lung lymph flow measured by ultrasound transit time flow meter in anesthetized
sheep
19th International Congress of Lymphology (Freiburg, Germany), 9月2日, 2003
- No. 47 Tsutsui T, Takiya R, Jikuya T, Sakakibara Y, Sankai Y:
Effect of left ventricular assist device on circulatory autonomic nervous activity
30th Congress of European Society for Artificial Organs (Aachen), 9月4日, 2003
International Journal of Artificial Organs 26(7): 624, 2003
- No. 48 徳永 千穂, 平松 祐司, 野間 美緒, 杉森 治彦, 池田 晃彦, 今水流智浩, 重田 治,
松下昌之助, 榊原 謙:
肺血流の適正化に苦慮したasplenia, TAPVRの1例
第127回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 9月13日, 2003
- No. 49 丸山 岳人, 池田 晃彦, 杉森 治彦, 徳永 千穂, 野間 美緒, 平松 祐司,
今水流智浩, 重田 治, 榊原 謙:
左肺動脈欠損を伴ったファロー四徴症に対する右側MAPCAのunifocalization
第58回茨城心臓血管研究会(つくば), 9月20日, 2003
- No. 50 中村 勝利, 中田 弘子, 寺田 康, 山本達生:
当院の手掌多汗を伴わない腋窩多汗症の治療について
第9回日本胸腔鏡下交感神経遮断研究会(東京), 9月27日, 2003
- No. 51 一橋 史行, 山海 嘉之, 山根 隆志, 軸屋 智昭, 筒井 達夫:
Wearable自律管理サーバを用いた人工心臓管理システムの構築
第41回日本人工臓器学会総会(仙台), 10月31日, 2003
- No. 52 山根 隆志, 丸山 修, 西田 正浩, 加藤 孝久, 筒井 達夫, 軸屋 智昭, 山海 嘉之,
大久保保剛, 佐野 岳志, 宮本 祐介:
動圧浮上遠心ポンプの血液適合性の改善
第41回日本人工臓器学会総会(仙台), 11月1日, 2003

- No. 53 松崎 寛二, 平松 祐司, 吉村 幸浩, 本間 寛, 榊原 謙:
好中球エラスターゼ阻害剤Elaspolによるin vitro体外循環中の炎症機転制御および全血Microchannel通過性改善効果
第10回日本ヘモレオロジー学会(神戸), 11月6日, 2003
- No. 54 石川 成美, 伊藤 博道, 小貫 琢哉, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
実地臨床における肺癌光線力学的治療の成績
第44回日本肺癌学会総会(東京), 11月6日, 2003
- No. 55 酒井 光昭, 石川 成美, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 野口 雅之:
術中採血によりアミラーゼ産生を直接証明できた肺腺癌の1例
第44回日本肺癌学会総会(東京), 11月6日, 2003
- No. 56 伊藤 博道, 石川 成美, 小貫 琢哉, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
肺腺癌ⅠA期手術例に合併した腫瘤影の解析
第44回日本肺癌学会総会(東京), 11月7日, 2003
- No. 57 酒井 光昭, 石川 成美, 小貫 琢哉, 伊藤 博道, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 野口 雅之:
期小細胞肺癌に対する手術適応と臨床病期診断の問題点
第44回日本肺癌学会総会(東京), 11月7日, 2003
- No. 58 小貫 琢哉, 山本 達生, 伊藤 博道, 酒井 光昭, 石川 成美, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 飯島 達生, 野口 雅之:
胸腺腫におけるWHO分類別の放射線感受性の検討
第56回日本胸部外科学会総会(東京), 11月19日, 2003
- No. 59 松下昌之助, 杉森 治彦, 池田 晃彦, 徳永 千穂, 今水流智浩, 野間 美緒, 平松 祐司, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
開心術後心筋障害と体表心電加算平均法を用いたQRS高周波数電位の低下の関連
第56回日本胸部外科学会総会(東京), 11月19日, 2003
- No. 60 平松 祐司, 野間 美緒, 徳永 千穂, 今水流智浩, 松下昌之助, 軸屋 智昭, 榊原 謙:
各種心病変における連続縫合でのVSD閉鎖advantage and pit fall
第56回日本胸部外科学会総会(東京), 11月20日, 2003
- No. 61 石川 成美, 足立 信也, 稲毛 芳永, 中村 亮太, 井口けさ人, 南 優子, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙:
肺膿瘍後に生じた食道気管支瘻に対する手術
第56回日本胸部外科学会総会(東京), 11月21日, 2003
- No. 62 辻村 真一, 山海 嘉之, 古口 晴敏, 柳 健一, 軸屋 智昭, 筒井 達夫:
遠心型連続流人工心臓における近赤外光を用いた血栓検出
第6回日本栓子検出と治療学会(つくば), 12月6日, 2003
第6回日本栓子検出と治療学会抄録集 pp50-51, 2003

No. 63 古口 晴敏, 山海 嘉之, 榛沢 和彦, 山根 隆志, 軸屋 智昭, 筒井 達夫:

人工心臓抗血栓性試験におけるレーザーによる栓子検出の有効性

第6回日本栓子検出と治療学会(つくば), 12月6日, 2003

第6回日本栓子検出と治療学会抄録集 pp52-53, 2003

No. 64 池田 晃彦, 平松 祐司, 杉森 治彦, 徳永 千穂, 野間 美緒, 今水流智浩, 重田 治, 松下昌之助, 榊原 謙:

TCPC術後, 異常肝静脈-心房還流により低酸素血症を呈したaspleniaの1例.

第128回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 12月6日, 2003

No. 65 徳永 千穂, 平松 祐司, 野間 美緒, 今水流智浩, 重田 治, 松下昌之助, 榊原 謙:
遅発性悪性高熱症を発症したVSDの1手術例.

第128回日本胸部外科学会関東甲信越地方会(東京), 12月6日, 2003

No. 66 小貫 琢哉, 石川 成美, 伊藤 博道, 酒井 光昭, 山本 達生, 鬼塚 正孝, 榊原 謙, 南 優子, 森下由紀雄, 飯島 達生, 野口 雅之:

肺炎治療を契機に発見された小型細気管支肺胞上皮肺癌の1例

第138回日本肺癌学会関東支部会(東京), 12月20日, 2003

その他

No. 1 鬼塚正孝

編集後記

日本呼吸器外科学会雑誌 17(1): 1月, 2003

2003年（消化器外科グループ）

原 著

- No . 1 Ohkohchi N., Hirano T., Satake M., Satomi S. :
Immunological reactions in liver graft perireperfusion in living donor liver transplantation-change of expression of adhesion molecules, deposition of immunoglobulins and cytokine level
Hepato Gastroenterology 50 : 090-1096 , 2003
- No . 2 Todoroki T., Koike N., Morishita Y., Kawamoto T., Ohkohchi N., Shoda J., Fukuda Y., Takahashi H. :
Patterns and Predictors of Failure after Curative Resections of Carcinoma of the Ampulla of Vater
Annals of Surgical Oncology 10(10) : 1176-1183 , 2003
- No . 3 Yuzawa K., Konishi T., Takehana K., Iino Y., Ohnuki A., Kobayashi T., Fukao K., Ohkohchi N. :
APC0576:A novel small molecule, immunosuppressive agent effective in primate models
Transplantation 75(9) : 1463-1468 , 2003
- No . 4 Ishii G., Sangai T., Oda T., Aoyagi Y., Hasebe T., Kanomata N., Endoh Y., Okumura C., Okuhara Y., Magae J., Emura M., Ochiya T., Ochiai A :
Bone-marrow-derived myofibroblasts contribute to the cancer-induced stromal reaction
Biochem Biophys Res Commun 309 : 232-240 , 2003
- No . 5 Kinoshita T., Konishi M., Nakagohri T., Inoue K., Oda T., Takahashi S., Boku N., Ohtsu A., Yoshida S. :
Neoadjuvant chemotherapy with S-1 for scirrhou gastric cancer: a pilot study.
Gastric Cancer 6 Suppl 1 : 40-44 , 2003
- No . 6 Tanizawa Y., Nakagohri T., Konishi M., Inoue K., Oda T., Takahashi S., Kawahira H., Nakamura T., Nishimori T., Nagase M., Ueda T., Kinoshita T. :
Virtual pancreatoscopy of pancreatic cancer
Hepatogastroenterology 50 : 559-562 , 2003
- No . 7 Nakahashi C., Oda T., Kinoshita T., Ueda T., Konishi M., Nakagohri T., Inoue K., Furuse J., Chiai A., Ohkohchi N. :
The impact of liver metastasis on mortality in patients initially diagnosed with locally advanced or resectable pancreatic cancer
Int J Gastrointest Cancer 33 : 155-164 , 2003
- No . 8 Watanabe I., Hasebe T., Sasaki S., Konishi M., Inoue K., Nakagohri T., Oda T., Mukai ., Kinoshita T. :
Advanced pancreatic ductal cancer : fibrotic focus and beta-catenin expression correlate with outcome
Pancreas 26 : 326-333 , 2003

- No . 9 Fukunaga K., Takada Y., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Resection of localized recurrences after hepatectomy of colorectal cancer metastases
Hepatogastroenterology 50(54) : 1894-1897 , 2003
- No . 10 Takada Y., Ishiguro S., Fukunaga K. :
Large-animal models of fulminant hepatic failure
J Aritf Organs 6 : 9-13 , 2003
- No . 11 Adachi S., Inagawa S., Enomoto T., Shinozaki E., Oda T., Kawamoto T. :
Subjective and functional results after total gastrectomy : prospective study for longterm comparison of reconstruction procedures
Gastric Cancer 6 : 24-29 , 2003
- No . 12 Shoda J., Ueda T., Kawamoto T., Todoroki T., Asano T., Sugimoto Y., Ichikawa A., Maruyama T., Nimura Y., Tanaka N. :
Prostaglandin E Receptors in Bile Ducts of Hepatolitis Patients and the Pathobiological Significance for Cholangitis
Clinical Gastroenterology and Hepatology 1 : 285-296 , 2003
- No . 13 Nakagawa Y., Todoroki T., Kondo T., Kawamoto T., Ohkohchi N., Ohara K. :
A salvage treatment for solid liver metastasis after redical resection of Klatskin tumour
HPB 5(4) : 254-257 , 2003
- No . 14 Emura F., Kamma H., Ghosh M., Koike N., Kawamoto T., Saijo K., Ohno T., Ohkohchi N., Todoroki T. :
Establishment and characterization of novel xenograft models of human biliary tract carcinomas
Int J Oncol 23 : 1293-1300 , 2003
- No . 15 Ishiguro S., Takada Y., Gu M., Fukunaga K., Taniguchi H., Seino K., Kawamoto T., Yuzawa K., Otsuka M., Todoroki T., Fukao K. :
Auxiliary partial orthotopic liver transplantation for fulminant hepatitis:regeneration of the diseased native liver in a pig model
Transplantation 75(11) : 1901-1904 , 2003
- No . 16 Masuoka H., Kawagishi N., Inoue T., Ohkohchi N., Fujimori K., Koyamada N., Sekiguchi S., Tsukamoto S., Satomi S. :
Giant hepatic metastasis from gastrointestinal stromal tumor of the rectum 12 years after surgery
Hepato-Gastroenterology 50(1) : 1454-1456 , 2003
- No . 17 Ishii G., Sangai T., Oda T., Aoyagi Y., Hasebe T., Kanomata N., Endoh Y., Okumura C., Okuhara Y., Magae J., Emura M., Ochiya T., Ochiai A. :
Bone-marrow-derived myofibroblasts contribute to the cancer-induced stromal reaction
BBRC 309 : 232-240 , 2003

- No . 18 Asakura T., Ohkohchi N., Orii T., Koyamada N., Tsukamoto S., Sato M., Enomoto Y.,
Usuda M., Satomi S. :
Portal vein pressure is the key for successful liver transplantation of an extremely
small graft in the pig model
Transpl Int 16 : 376-382 , 2003
- No . 19 Fukumori T., Kato T., LevidL., Olson L., Nishida S., Ganz S., Nakamura N.,
Madariaga J., Ohkohchi N., Satomi S., Miller J. :
Use of older controlled non-heart-beating donors for liver transplantation
Transplantation 75 : 1171-1174 , 2003
- No . 20 Sato M., Ohkohchi N., Tsukamoto S., Koyamada N., Asakura T., Enomoto Y., Usuda M.,
Miyagi S., Okada A., Satomi S. :
Successful liver transplantation from agonal non-heart-beating donors in pigs
Transpl Int 16 : 100-107 , 2003
- No . 21 Otsuka M., Ohara K., Takada Y., Ueda T., Murata S., Ushijima R., Adachi S.,
Todoroki T. :
Radiation therapy for intrahepatic recurrence after hepatectomy for
hepatocellular carcinoma
Int J Clin Oncol 8 : 151-155 , 2003
- No . 22 Fukuda K., Abei M., Ugai H., Seo E., Wakayama M., Murata T., Todoroki T., Tanaka N.,
Hamada H., Yokoyama K. :
E1A, E1B Double-restricted Adenovirus for Oncolytic Gene Therapy of
Gallbladder Cancer
Cancer Res 63 : 4434-4440 , 2003
- No . 23 Liengswangwong U., Nitta T., Kashiwagi H., Kikukawa H., Kawamoto T., Todoroki T.,
Uchida K., Khuhaprema T., Karalak A., Srivatanakul P., Miwa M. :
Infrequent Microsatellite Instability in Liver Fluke Infection-Associated
Intrahepatic Cholangiocarcinomas from Thailand
Int J Cancer 107(3) : 375-380 , 2003
- No . 24 Ghosh M., Kawamoto T., Kamma H., Koike N., Miwa M., Kapoor V. K., Krishnani N.,
Agrawal S., Ohkohchi N., Todoroki T. :
Different Expression of MUC1 in the Gallbladder Disease.
The Internet Journal of Surgery 4(2) , 2003
- No . 25 轟 健, 湯沢 賢治, 川本 徹, 高田 泰次 :
血行再建を伴う胆嚢癌切除術
手術 57(2) : 151-156 , 2003
- No . 26 中川 裕司, 轟 健, 小池 直人, 川本 徹 :
腫瘍切除と術後補助化学療法により長期間再発を認めない原発巣不明腺癌の1例
癌と化学療法 30(3) : 423-426 , 2003
- No . 27 湯沢 賢治, 板垣 文雄, 本間 真人 :
シクロスポリンの薬物動態に影響を与える遺伝子多型と薬物相互作用
移植 16(6) : 617-620 , 2003

- No. 28 寺島 秀夫,菅原 宏文,平山 克:
胸部食道癌術後の乳び胸に対する至適な手術手技—食道再建経路を考慮した胸管への合理的な到達法—
胸部外科 56(6):465-468,2003
- No. 29 太田恵一朗,末永 光邦,佐藤 貴弘,阪本 良弘,大山 繁和,上野 雅資,関 誠,
山本 順司,大矢 雅敏,畦倉 薫,太田 博俊,山口 俊晴:
胃全摘後の再建方法;空腸間置法とdouble tract法
消化器外科 26(2):203-211,2003
- No. 30 榎本 好恭,大河内信弘,土井 秀之,里見 進:
肝再生早期における血小板の役割の検討-血症板と肝細胞の接触の意義について-
肝臓 44(8):383-394,2003
- No. 31 川岸 直樹,藤盛 啓成,大河内信弘,里見 進:
胆管変異に注目したグラフト採取と胆道再建
手術 57(3):293-298,2003
- No. 32 川岸 直樹,臼田 昌弘,榎本 好恭,関口 悟,小山田 尚,藤盛 啓成,大河内信弘,
里見 進:
生体肝移植における術後重症細菌感染症の診断と治療
日本外科感染症研究 15:7-10,2003
- No. 33 庄子 賢,菊池 廣行,関口 悟,大河内信弘,里見 進:
肝繊維化ラット肝切除後におけるビルビン酸投与の残肝再生ならびに蛋白代謝に与える効果
肝臓 44(3):92-102,2003
- No. 34 小ヶ口恭介,白幡 康弘,大河内信弘,安江 博,里見 進:
ブタ異種抗原転移酵素に対するアンチセンスRNA導入によるブタ細胞の異種抗原抑制の試み
移植 38(5):327-332,2003
- No. 35 矢島 義昭,大河内信弘,酒井 信光,宮崎 敦史,黒川 良望,川岸 初志,
高橋 信孝,木村 幸一,枝 幸基:
難治性腹水に対するperitoneovenous shunt施行後の凝固障害を軽減する工夫について
日門亢会誌 9:141-148,2003

著 書

- No. 1 太田恵一朗,大山 繁和,山口 俊晴:
胃癌治療のポイント 手術 術後合併症
三輪晃一,平山廉三編,胃癌診療の基本
東京,中山書店,187-190,2003
- No. 2 太田恵一朗:
腫瘍性疾患,悪性腫瘍の病期分類
後藤由夫編,コ・メディカルのための臨床医学
大阪,医薬ジャーナル社,114-128,2003

症例報告

- No. 1 Enomoto T., Todoroki T., Koike N., Kawamoto T., Matsumoto H. :
Xanthogranulomatous Cholecystitis Mimicking Stage IV Gallbladder Cancer
Hepato-Gastroenterology 50 : 1255-1258 , 2003
- No. 2 Shirahata Y., Ohkohchi N., Kawagishi N., Syouji M., Tsukamoto S., Sekiguchi S.,
Koyamada N., Oikawa S., Satomi S. :
Living-donor liver transplantation for homozygous familial Hypercholesterolemia
from a donor with heterozygous hypercholesterolemia
Transpl Int 16 : 276-279 , 2003
- No. 3 Orii T., Ohkohchi N., Sasaki K., Satomi S., Watanabe M., Moriya T. :
Cholangiocarcinoma arising from preexisting biliary hamartoma of liver-report of
a case
Hepato Gastroenterology 50 : 333-336 , 2003
- No. 4 Orii T., Ohkohchi N., Kikuchi H., Sekiguchi S., Kawagishi N., Tsukamoto S., Satomi S. :
Tube cholangio-jejunal bypass in unresectable hepatic hilar carcinoma for a better
quality of life
Hepato Gastroenterology 50 : 530-531 , 2003
- No. 5 山縣 香織, 湯沢 賢治, 清野研一郎, 谷口 英樹, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 深尾 立 :
献腎移植におけるレシピエントコーディネーターの必要性
術後抑うつ症状を呈した症例の分析から
今日の移植 15(2) : 192-196 , 2003

その他印刷物

- No. 1 塚本 茂樹, 大河内信弘, 里見 進 :
所性全肝移植 プタ(遠心ポンプ)
大動物臓器移植実験マニュアル
総編集 深尾 立, 編集協力 高田 泰次, 湯沢 賢治 :
日本医学館 : 78-83 , 2003
- No. 2 関口 悟, 藤盛 啓成, 大河内信弘, 里見 進 :
脾臓移植 プタ(脾移植門脈ドレナージ)
大動物臓器移植実験マニュアル
総編集 深尾 立, 編集協力 高田 泰次, 湯沢 賢治 :
日本医学館 : 149-154 , 2003
- No. 3 湯沢 賢治, 深尾 立 :
腎移植 サル
大動物臓器移植実験マニュアル
総編集 深尾 立, 編集協力 高田 泰次, 湯沢 賢治 :
日本医学館 : 166-172 , 2003

学 会

- No. 1 湯沢 賢治, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 大城 幸雄, 中橋ちぐさ, 牛嶋 良, 福沢 淳也, 久倉 勝治, 只野 惣介, 大河内信弘:
生体腎移植ドナーの腹腔鏡下腎摘出術を支える腎血管形成術
第36回日本臨床腎移植学会(岐阜)1月, 2003
- No. 2 中橋ちぐさ, 湯沢 賢治, 高田 泰次, 大城 幸雄, 牛嶋 良, 福沢 淳也, 久倉 勝治, 只野 惣介, 大塚 雅昭, 大河内信弘:
生体腎移植5ヶ月目に尿管膀胱吻合部完全閉塞をきたした1例
第36回日本臨床腎移植学会(岐阜)1月, 2003
- No. 4 湯沢 賢治, 小池 直人, 高田 泰次, 大塚 雅昭, 大河内信弘:
生体腎移植ドナーの完全腹腔鏡下腎摘出術
第11回クリニカル・ビデオ・フォーラム(CVF)(東京)1月, 2003
- No. 5 Ohkohchi N., Oikawa K., Tsukamoto S., Satoh M., Miyagi S., Satomi S.:
Suppression of kupffer cell function and administration of protease inhibitor are keys for successful Tx in non-heart-beating donor
64th Annual Meeting of Society of University Surgeons(Houston)1月, 2003
- No. 6 中橋ちぐさ, 高田 泰次, 大河内信弘:
肝癌に対するラジオ波焼灼治療
第24回・第25回茨城県消化器病懇話会(土浦)1月, 2003
- No. 7 近藤 匡, 轟 健, 村田聡一郎, 菅原 信二, 川本 徹, 大河内信弘:
Stage IVA 肝門部胆管癌術後腹膜再発に集学的治療が奏功した1例
第16回関越UFT研究会(大宮)1月, 2003
- No. 8 只野 惣介, 久倉 勝治, 福沢 淳也, 大城 幸雄, 牛嶋 良, 中橋ちぐさ, 湯沢 賢治, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 川本 徹, 高田 泰次, 足立 信也, 大塚 雅昭, 轟 健, 大河内信弘:
巨大腹壁癒痕ヘルニアに対する形状記憶リング付二層構造メッシュシートの使用経験
第202回茨城外科学会(日立)2月, 2003
- No. 9 太田恵一朗, 末永 光邦, 大山 繁和, 松原 敏樹, 太田 博俊, 山口 俊晴, 武藤徹一郎, 中島 聡總:
胃癌の腹腔洗浄細胞診の意義と陽性症例に対する治療
第75回日本胃癌学会総会(東京)2月, 2003
- No. 10 牛嶋 良, 川本 徹, 只野 惣介, 久倉 勝治, 福沢 淳也, 大城 幸雄, 中橋ちぐさ, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 湯沢 賢治, 足立 信也, 轟 健, 大河内信弘:
肝門部胆管及び門脈内進展を示した肝腫瘍の1例
第9回肝胆膵疾患セミナー(つくば)3月, 2003
- No. 11 川本 徹, 牛嶋 良, 中橋ちぐさ, 大城 幸雄, 福沢 淳也, 久倉 勝治, 只野 惣介, 轟 健, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 足立 信也, 大河内信弘:
肝切除後急性肝不全における深在性菌症の検討
第39回日本腹部救急医学会総会(弘前)3月, 2003

- No. 12 川岸 直樹, 藤盛 啓成, 大河内信弘, 里見 進:
生体肝移植における真菌感染対策
第39回日本腹部救急医学会総会(弘前) 3月, 2003
- No. 13 中橋ちぐさ, 湯沢 賢治, 高田 泰次, 大城 幸雄, 牛嶋 良, 福沢 淳也, 久倉 勝治,
只野 惣介, 大塚 雅昭, 大河内信弘:
生体腎移植5ヶ月目に尿管膀胱吻合部完全閉塞をきたした1例
第2回北関東移植研究会(東京) 3月, 2003
- No. 14 福沢 淳也, 湯沢 賢治, 寺島 秀夫, 牛嶋 良, 中橋ちぐさ, 大城 幸雄, 久倉 勝治,
只野 惣介, 小田 竜也, 川本 徹, 高田 泰次, 足立 信也, 大塚 雅昭, 轟 健,
大河内信弘:
ステロイド長期投与患者における消化管穿孔7例の検討
第39回日本腹部救急医学会総会(弘前) 4月, 2003
- No. 15 石黒 慎吾, 高田 泰次, 大河内信弘:
劇症肝炎に対する補助的部分肝移植-手術のタイミングとサイトカイン抑制効果
第39回日本腹部救急医学会総会(弘前) 4月, 2003
- No. 16 牛嶋 良, 川本 徹, 高野 恵輔, 只野 惣介, 久倉 勝治, 福沢 淳也, 大城 幸雄,
中橋ちぐさ, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 高田 泰次, 湯沢 賢治, 足立 信也, 大塚 雅昭,
轟 健, 大河内信弘:
肝門部胆管及び門脈内進展を示した未分化型胆管細胞癌の1例
第15回日本肝胆膵外科学会(金沢) 5月, 2003
- No. 17 小田 竜也, 木下 平, 小西 大, 中郡 聡夫, 高橋進一朗, 大河内信弘:
膵頭十二指腸切除(PD)後の在院期間 結腸間膜左・尾側の胃-空腸吻合による改善
第15回日本肝胆膵外科学会(金沢) 5月, 2003
- No. 18 寺島 秀夫, 大河内信弘, 轟 健, 湯沢 賢治, 小田 竜也, 川本 徹, 福沢 淳也,
柳沢 和彦, 橋本 真治, 及川 明奈, 高野 恵輔:
嚥下機能・安全性・根治性の3条件を満たす胸部食道癌切除後の再建術式-高位胸腔内
食道胃管吻合術(胃脾間膜による吻合部被覆法)-
第10回北関東機能温存手術研究会(東京) 5月, 2003
- No. 19 Ohta K., Suenaga M., Ohyama S., Yamaguchi T., Nakajima T.:
RECONSTRUCTION METHOD FOLLOWING TOTAL GASTRECTOMY.
The 5th International Gastric Cancer Congress (Rome, Italy) 5月, 2003
- No. 20 Ohta K., Suenaga M., Ohyama S., Yamaguchi T., Nakajima T.:
THE OPTIMAL RANGE OF RESECTION FOR CANCER OF THE CARDIA.
The 5th International Gastric Cancer Congress (Rome, Italy) 5月, 2003
- No. 21 中橋ちぐさ, 小田 竜也, 高田 泰次, 寺島 秀夫, 川本 徹, 湯沢 賢治, 足立 信也,
轟 健, 大河内信弘:
若年者における肝炎ウィルスマーカー陰性原発性肝細胞癌の症例
第15回日本肝胆膵外科関連会議(金沢) 5月, 2003

- No. 22 Kawamoto T., Shoda J., Asano T., Irimura T., Shinozaki E., Todoroki T., Ohkohchi N. :
A Tumor-Associated MUC 1 Mucin Recognized by mAb MY.1E12 is a Useful
Biomarker for Malignant Behavior of Human Gallbladder Carcinoma
DDW-米国消化器病週間(オランダ) 5月, 2003
- No. 23 川本 徹, 轟 健, 小池 直人, 大河内信弘 :
我々の肝門部肝管空腸吻合手技
第15回日本肝胆膵外科学会(金沢) 5月, 2003
- No. 24 川本 徹, 轟 健, 正田 純一, 入村 達郎, 大河内信弘 :
癌関連粘液形質, mAbMY.1E12 認識性シアリル化MUC1ムチンは胆嚢癌の悪性形質
を反映する有用な生物学的指標である
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) 6月, 2003
- No. 25 丸山 常彦, 大塚 雅昭, 青柳 啓之, 高田 泰次, 足立 信也, 轟 健, 大河内信弘 :
腹部重症感染症における肥満細胞の重要性
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) 6月, 2003
- No. 26 柳沢 和彦, 黒岩 憲二, 清野研一郎, 谷口 克, 大河内信弘 :
担癌状態におけるNK T細胞低反応性のメカニズム
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) 6月, 2003
- No. 27 福森 龍也, 藤盛 啓成, 小山田 尚, 関口 悟, 川岸 直樹, 赤松 順寛, 榎本 好恭,
土井 秀之, 里見 進, 大河内信弘 :
小児生体肝移植におけるシクロスポリン使用症例の検討
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) 6月, 2003
- No. 28 Ghosh M., Kawamoto T., Kamma H., Koike N., Miwa M., Kapoor V. K.,
Krishnani N., Agrawal S., Ohkohchi N., Todoroki T. :
MUC1 expression in the cancerous and non-cancerous gallbladder
The 49th Annual Congress of Japan Section, The International College of Surgeons
(Tokyo) 6月, 2003
- No. 29 福沢 淳也, 寺島 秀夫, 下山田博明, 中野 順隆, 中橋ちぐさ, 高野 恵輔,
及川 明奈, 柳沢 和彦, 太田恵一郎, 山本 雅由, 小田 竜也, 川本 徹, 湯沢 賢治,
轟 健, 大河内信弘 :
Alpha-fetoprotein(AFP)産生性食道癌の1症例
第57回日本食道学会学術集会(京都) 6月, 2003
- No. 30 太田恵一郎, 阪本 良弘, 大山 繁和, 上野 雅資, 関 誠, 山本 順司, 大矢 雅敏,
畦倉 薫, 太田 博俊, 山口 俊晴 :
「消化器外科癌取扱い規約を考える」 胃癌取扱い規約第13版の問題点
第58回日本消化器外科外科学会総会(東京) 7月, 2003
- No. 31 中野 順隆, 寺島 秀夫, 福沢 淳也, 小田 竜也, 川本 徹, 山本 雅由, 湯沢 賢治,
太田恵一郎, 轟 健, 大河内信弘, 南 優子, 野口 雅之 :
巨大食道憩室に併存し, 特異な発育形態を示した食道過誤腫の1例
第203回茨城外科学会(つくば) 7月, 2003

- No. 32 只野 惣介, 寺島 秀夫, 福沢 淳也, 小田 竜也, 川本 徹, 山本 雅由, 湯沢 賢治, 太田恵一朗, 轟 健, 大河内信弘:
鼠径ヘルニア嵌頓にて発見された横行結腸憩室穿孔の一例
第203回茨城外科学会(つくば)7月, 2003
- No. 33 王 宏昇, 臼田 昌広, 榎本 好恭, 宮城 重人, 福島 啓介, 舩岡 裕雄, 成田 知宏, 塚本 茂樹, 里見 進, 大河内信弘:
大量肝切除における門脈下大静脈シャントの効果についての検討
第58回日本消化器外科学会(東京)7月, 2003
- No. 34 Todoroki T.:
Treatment strategy and results for Gall Bladder Cancer
第7回アジア肝胆膵学会(チェンナイ, インド)8月, 2003
- No. 35 Todoroki T.:
Malignant biliary strictures
第7回アジア肝胆膵学会(チェンナイ, インド)8月, 2003
- No. 36 湯沢 賢治:
シクロスポリンの薬物動態に影響を与える遺伝子多型と薬物相互作用の解析
CPCF2003(名古屋)7月, 2003
- No. 37 倉田 昌直, 川本 徹, 青柳 靖之, 小田 竜也, 轟 健, 大河内信弘:
Antithrombin- によるラット肝虚血再灌流後肝転移の抑制効果
第62回日本癌学会(名古屋)9月, 2003
- No. 38 湯沢 賢治, 小西 敦, 竹鼻 健司, 飯野 幸生, 大貫 朗子, 小林 幹, 大河内信弘:
作用機序の全く異なる新規免疫抑制剤の開発 - APC0576-
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003
- No. 39 湯沢 賢治, 吉村 了勇, 高橋 公太, 深尾 立:
生体腎移植ドナーの鏡視下腎摘出術の現況
厚生労働科学研究費補助金研究報告
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003
- No. 40 板垣 文雄, 本間 真人, 湯沢 賢治, 大河内信弘, 幸田 幸直:
腎移植患者におけるCYP2C19・MDR1遺伝子多型とタクロリムスの薬物相互作用
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003
- No. 41 本間 真人, 富田 隆, 板垣 文雄, 湯沢 賢治, 堀 哲夫, 金子 道夫, 大河内信弘, 幸田幸直:
MEIA法におけるタクロリムス血中濃度測定に及ぼすヘマトクリット値の影響
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003
- No. 42 岡田 晃穂, 大河内信弘, 臼田 昌広, 宮城 重人, 里見 進:
ラット心停止肝移植におけるFR167653, PG12, Futhanの効果
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003
- No. 43 山縣 香織, 湯沢 賢治, 大塚 雅昭, 大河内信弘:
国内移植施設における患者への教育指導および移植患者の交流に関する実態調査
第39回日本移植学会総会(大阪)10月, 2003

- No. 44 湯沢 賢治, 福沢 淳也, 柳沢 和彦, 高野 恵輔, 及川 明奈, 太田恵一朗,
山本 雅由, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 小池 直人, 轟 健, 大河内信弘:
生体腎ドナーにおける完全腹腔鏡下腎摘出術 - 長い腎動脈を得る工夫 -
第39回日本移植学会総会 (大阪) 10月, 2003
- No. 45 太田恵一朗, 阪本 良弘, 瀬戸 泰之, 大山 繁和, 上野 雅資, 関 誠, 山本 順司,
大矢雅敏, 畦倉 薫, 太田 博俊, 山口 俊晴:
高齢者 (75歳以上) 胃癌患者の手術
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 46 福沢 淳也, 湯沢 賢治, 寺島 秀夫, 高野 恵輔, 及川 明奈, 橋本 真治,
柳沢 和彦, 山本 雅由, 小田 竜也, 川本 徹, 轟 健, 大河内信弘:
膠原病患者における消化管穿孔の検討
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 47 中川 裕二, 轟 健, 大河内信弘, 森下由紀雄:
切除と化学療法により長期生存中の原発巣不明癌の2例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 48 稲川 智, 福永 潔, 明石 義正, 阿竹 茂, 辻 勝久, 石川 詔雄:
多量の腹水及びイレウス症状を呈した結腸間膜脂肪織炎の1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 49 池田 治, 長田 明, 高橋 保正, 大河内信弘:
腹腔鏡補助下手術にて治療した左傍十二指腸ヘルニアの1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 50 山本 祐二, 文 由美, 大城 幸雄, 竹島 徹, 岡村 隆夫, 轟 健, 湯沢 賢治,
大河内信弘:
塩酸ゲムシタピンが奏功して切除し得た脾体部癌腹膜播種の一例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 51 山田 圭一, 足立 信也, 渡辺 基信, 湯沢 賢治, 轟 健, 大河内信弘, 深尾 立:
食道胃管吻合部ステント留置後, 難治性肉芽形成による狭窄に対して胸骨正中切開胃
管全摘結腸間置術を施行した1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 52 中野 順隆, 寺島 秀夫, 南 優子, 福沢 淳也, 柳沢 和彦, 及川 明奈, 高野 恵輔,
川本 徹, 小田 竜也, 足立 信也, 湯沢 賢治, 轟 健, 大河内信弘, 野口 雅之:
巨大食道憩室に併存し, 特異な発育形態を示した食道過誤腫の1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 53 牛嶋 良, 寺島 秀夫, 小田 竜也, 川本 徹, 湯沢 賢治, 轟 健, 大河内信弘:
クモ膜嚢胞に対する髄液シャント術後15年目に続発した腹腔内仮性嚢胞の1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003
- No. 54 山本 雅由, 浜口 洋平, 長堀 薫, 細井 英雄:
術後7年目に心膜転移で再発し, 化学療法が有効であった食道癌の1例
第65回日本臨床外科学会総会 (福岡) 11月, 2003

- No. 55 只野 惣介, 福沢 淳也, 久倉 勝治, 大城 幸雄, 牛嶋 良, 中橋ちぐさ, 小田 竜也,
川本 徹, 寺島 秀夫, 足立 信也, 湯沢 賢治, 大塚 雅昭, 轟 健, 大河内信弘:
鼠径ヘルニア嵌頓にて発見された横行結腸憩室穿孔の一例
第65回日本臨床外科学会総会(福岡)11月, 2003
- No. 56 篠崎 英司, 太田恵一朗, 福永 潔, 山本 雅由, 寺島 秀夫, 小池 直人, 小田 竜也,
川本 徹, 湯沢 賢治, 轟 健, 大河内信弘:
当科における上部胃癌切除例の臨床病理学的検討
第33回胃外科・術後障害研究会(金沢)11月, 2003
- No. 57 湯沢 賢治, 小池 直人, 小田 竜也, 寺島 秀夫, 山本 雅由, 轟 健, 大河内信弘:
生体腎移植ドナーの完全腹腔鏡下腎摘出術
第16回日本内視鏡外科学会総会(岡山)12月, 2003
- No. 58 角田 慎輔, 徳元 伸行, 青山 博道, 鈴木 秀海, 高野 浩昌, 轟 健:
当院における術中照射の検討
第1072回千葉医学会例会(千葉)12月, 2003

班研究

- No. 1 湯沢 賢治:
手術術式および周術期管理の研究「生体腎移植ドナーの鏡視下腎摘出術の現況」
平成14年度厚生労働科学研究費補助金「ヒトゲノム・再生医療等研究事業」
臓器移植の成績向上と新規治療開発に関する研究, 2003
- No. 2 湯沢 賢治:
手術術式および周術期管理の研究
平成14年度厚生労働科学研究費補助金「ヒトゲノム・再生医療等研究事業」
臓器移植の成績向上と開発に関する研究, 2003
- No. 3 太田恵一朗:
厚生労働省がん研究助成金
「我が国におけるがんの代替療法に関する研究」班 班長: 兵頭一之介
(国立病院機構四国がんセンター厚生労働省がん研究助成金), 2003

教育講演

- No. 1 太田恵一朗:
脳転移を有する悪性腫瘍患者の全身管理
第8回日本ガンマナイフ学会総会(東京)1月, 2003

特別講演

- No. 1 湯沢 賢治:
臓器移植の実際と茨城県の現状
茨城県病院薬剤師会(つくば)2月, 2003
- No. 2 湯沢 賢治:
これからの免疫抑制法(剤)のストラテジー
免疫抑制法研究セミナー(東京)2月, 2003

- No. 3 大河内信弘：
生体肝移植の合併症とその対策
第8回東海肝移植研究会（名古屋）6月，2003
- No. 4 轟 健：
Treatment strategy for advanced hilar bile duct cancer-surgery, radiation and chemotherapy
第6回国際外科消化器科医合同プロジェクト会議（バンコク，タイ王国）3月，2003
- No. 5 轟 健：
ガン外科治療の現状と将来
プレ・カレッジ講座（下館第一高等学校，下館）7月，2003
- No. 6 湯沢 賢治：
シクロスポリンの薬物動態に影響を与える遺伝子多型と薬物相互作用の解析
C P C F 2003（名古屋）7月，2003
- No. 7 轟 健：
Advanced Biliary Tract Cancer with Reference to Klatskin
第7回アジア肝胆膵学会（チェンナイ，インド）8月，2003
- No. 8 轟 健：
Treatment strategy for advanced hilar bile duct cancer-surgery, radiation and chemotherapy
アジア国立マラヤ大学消化器外科・内科合同カンファレンス
（クアラルンプール，マレーシア）9月，2003
- No. 9 大河内信弘：
肝癌の診断と治療の最近の進歩
第229 回下館医師会研修会(下館)10月，2003
- No. 10 太田恵一郎：
胃癌ガイドラインについて
第3回茨城県胃癌化学療法研究会（つくば）10月，2003
- No. 11 大河内信弘：
臓管移植の社会的問題点，医学的問題点
第11回水戸創傷治癌研究会（水戸）12月，2003

2003年（脳神経外科グループ）

原 著

- No . 1 Matsumaru Y, Yanaka K, Muroi A, Sato H, Kamezaki T, Nose T :
Significance of a small bulge on the basilar artery in patients with perimesencephalic nonaneurysmal subarachnoid hemorrhage. Report of two cases.
J Neurosurg. 98 : 426-942 , 2003
- No . 2 Sakamoto N, Yanaka K, Matsumaru Y, Nose T :
Cervical epidural hematoma causing hemiparesis.
Arch Neurol. 60 : 783 , 2003
- No . 3 Yanaka K, Matsumaru Y, Mashiko R, Hyodo A, Sugimoto K, Nose T :
Small unruptured cerebral aneurysms presenting with oculomotor nerve palsy.
Neurosurgery 52 : 553-7; discussion 556-7, 2003
- No . 4 谷中 清之, 松丸 祐司, 目黒 琴生, 岡崎 匡雄, 塚田 篤郎, 浅川 弘之,
上村 和也 :
内頸動脈瘤手術時の動脈損傷の対処.
脳卒中の外科 Surg Cereb Stroke (Jpn) 31 : 24-28 , 2003
- No . 5 Takigawa T, Yanaka K, Yasuda M, Asakawa H, Matsumaru Y, Nose T :
Head and neck fixation with head frame for distal internal carotid exposure in carotid endarterectomy. Technical note.
Neurol Med Chir (Tokyo) 43 , 271-274 , 2003
- No . 6 Yanaka K, Matsumaru Y, Uemura K, Matsumura A, Anno I, Nose T :
Perfusion-weighted MRI of spinal dural arteriovenous fistula.
Neuroradiology 45 : 744-747 , 2003
- No . 7 Yanaka K, Matsumaru Y, Okazaki M, Noguchi S, Asakawa H, Anno I, Nose T :
Intraoperative angiography in the surgical treatment of cerebral arteriovenous malformations and fistulas.
Acta Neurochir (Wien) 145 : 377-82; discussion 382-383 , 2003
- No . 8 Takigawa T, Yanaka K, Yasuda M, Asakawa H, Matsumaru Y, Nose T :
Head and neck extension-fixation with a head frame for exposure of the distal internal carotid artery in carotid endarterectomy--technical note.
Neurol Med Chir (Tokyo) 43 : 271-3; discussion 273 , 2003
- No . 9 Nishizawa K, Moritake T, Matsumaru Y, Tsuboi K, Iwai K :
Dose measurement for patients and physicians using a glass dosimeter during endovascular treatment for brain disease.
Radiation Protection Dosimetry 107 : 247-252 , 2003
- No . 10 Takano S, Tsuboi K, Matsumura A, Nose T :
Anti-vascular endothelial growth factor antibody and nimustine as combined therapy : effects on tumor growth and angiogenesis in human glioblastoma xenografts.
Neuro-Oncol 5 : 1-7 , 2003

- No . 11 阿久津博義, 高野 晋吾, 伊藤 嘉朗, 坪井 康次 :
Primary diffuse leptomeningeal gliomatosis(PDLG)の1例.
ニューロオンコロジー 12 : 22-25 , 2002
- No . 12 高野 晋吾, 室井 愛, 阿久津博義, 佐藤 弘茂, 松村 明 :
下垂体腺腫におけるVEGF発現と血管構築.
日本内分泌学会誌 79 : suppl 144-145 , 2003
- No . 13 鮎沢 聡, 高野 晋吾, 中村 和弘, 青木 司 :
Gliomatosis cerebriにおけるMRIガイド下定位的視床部生検の1経験例.
茨城県臨床医学雑誌 39 : 132 , 2003
- No . 14 坂本 規彰, 高野 晋吾, 松下 明 , :
嘔気, 嘔吐で発症した中枢神経サルコイドーシスの1例.
茨城県臨床医学雑誌 39 : 135 , 2003
- No . 15 井原 哲, 高野 晋吾, 高田 智也, 松村 明, 菅間 博 :
特異な病理組織像を呈した原発不明転移性脳腫瘍の1例.
茨城県臨床医学雑誌 39 : 139 , 2003
- No . 16 藤本 礼尚, 榎本 貴夫, 高野 晋吾 :
カルバマゼピンの投与により周波数認知の異常をきたした1女子例.
茨城県臨床医学雑誌 39 : 141 , 2003
- No . 17 福岡 講平, 高野 晋吾, 鶴田和太郎, 坪井 康次, 松村 明, 福島 敬, 清水 崇志 :
網膜芽腫に続発した松果体芽腫の1例.
ニューロオンコロジー 13 : 106-109 , 2003
- No . 18 松下 明, 坪井 康次, 高野 晋吾, 松村 明 :
頭蓋内Germinoma再発例の検討.
ニューロオンコロジー 13 : 20-23 , 2003
- No . 19 井原 哲, 高野 晋吾, 坪井 康次, 松村 明 :
Malignant germ cell tumor 6例の臨床病理学的検討.
ニューロオンコロジー 13 : 41-47 , 2003
- No . 20 Akutsu H, Sonobe M, Asugita K, Nakai Y, Matsumura A :
Familial association of basilar bifurcation aneurysm and moyamoya disease.-Four case reports-.
Neurol Med Chir (Tokyo) 43 : 435-438 , 2003
- No . 21 Akutsu H, Sugita K, Sonobe M, Matsumura A :
A case of nontraumatic epidural hematoma caused by extradural varix :
consideration of etiology.
The Spine Journal 3 : 534-538 , 2003
- No . 22 Tsuchiya Y, Matsubayashi M, Takeda T, Lwin TT, Wu J, Yoneyama A, Matsumura A,
Hori T, Itai Y :
Imaging of rabbit VX-2 hepatic cancer by cold and thermal neutron radiography.
Jpn J Appl Phys 42 : 7151-7153 , 2003

- No . 23 Shibata Y, Matsumura A, Yamamoto T, Akutsu H, Yasuda S, Nakai K, Nose T, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Ohtake S :
Prediction of boron concentration in blood from patients on boron neutron capture therapy.
Anticancer Res 23 : 231-5 , 2003
- No . 24 Yamamoto T, Matsumura A, Yamamoto K, Kumada H, Hori N, Torii Y, Shibata Y, Nose T :
Characterization of Neutron Beams for Boron Neutron Capture Therapy : In-air Radiobiological Dosimetry.
Radiat Res , 160 : 70-76 , 2003
- No . 25 Matsumura A, Zhang T, Yamamoto T, Yoshida F, Sakurai Y, Shimojo N, Nose T :
In Vivo Gadolinium Neutron Capture Therapy Using a otentially Effective Compound (Gd-BOPTA).
Anticancer Res , 23 : 2451-2456 , 2003
- No . 26 Kuroda K, Takei N, Mulkern RV, Oshio K, Nakai T, Okada T, Matsumura A, Yanaka K, Hynynen K, Jolesz FA :
Feasibility of Internally Referenced Brain Temparature Imaging with a Metabolite Signal.
Magnetic Resonance in Medical Sciences (MRMS) 2 : 17-22 , 2003
- No . 27 Nakai T, Matsumura A, Nose T, Kato C, Glover GH, Matsuo K :
The Effect of Task Block Arrangement on the Detectability of Activation in fMRI.
Magn Reson Imag 21 : 941-947 , 2003
- No . 28 Marushima A, Matsumura A, Fujita K, Enomoto T, Nose T :
Adult tethered cord syndrome presenting with refractory diarrhea.
J Neurol Neurosurg Psychiat 74 : 1596-1597 , 2003
- No . 29 Matsuda W, Matsumura A, Komatsu Y, Yanaka K, Nose T :
Awakenings from persistent vegetative state. -Report of three cases with arkinsonism and brain stem lesion on MRI-.
J Neurol Neurosurg Psychiat 74 : 1571-1573 , 2003
- No . 30 Matsumura A, Yanaka K, Akutsu H, Noguchi S, Moritake T, Nose T :
Combined Laminoplasty With Posterior Lateral Mass Plating for unstable Spondylotic Cervical Canal Stenosis. -Technical Note-.
Neurol Med Chir (Tokyo) 43 : 514-519 , 2003
- No . 31 Nakagawa Y, Pooh K, Kageji T, Uyama S, Matsumura A, Kumada H :
Clinical review of Japanese experience with boron neutron capture therapy and a proposed strategy using epithermal neutron beams.
J Neuro-Oncol 62 : 87-99 , 2003
- No . 32 井原 哲, 松村 明, 上村 和也, 塚田 篤郎 :
頸椎性脊髄症に対する主症状の重み付けを付加した新しい脊髄自己評価スケールの試み
Spinal Surgery 17 : 29-34 , 2003

- No . 33 磯辺 智範, 松村 明, 阿武 泉, 長友 康, 吉澤 卓, 板井 悠二 :
Gliomaにおける1H-MRSによる放射線治療効果の検討。- コリン化合物の定量的評価
の有用性 -
神経外科 31 : 167-172 , 2003
- No . 34 Tsuruta W, Yanaka K, Okazaki M, Matsumura A, Nose T :
Cervical myelopathy caused by hypoplasia of the atlas and ossification of the
transverse ligament--case report.
Neurol Med Chir (Tokyo) 43 : 55-59 , 2003
- No . 35 Tsuboi K, Saijo K, Ishikawa E, Tsurushima H, Takano S, Morishita Y, Ohno T :
Effects of local injection of ex vivo expanded autologous tumor-specific T
lymphocytes in cases with recurrent malignant gliomas.
Clin Cancer Res 9 : 3294-3302 , 2003
- No . 36 Moritake T, Tsuboi K, Anzai K, Ozawa T, Nose T :
Reduction of nitroxides and radioprotective ability in glioblastoma cells.
Brain Tumor Pathol 20 : 1-5 , 2003
- No . 37 Tsuruta W, Tsuboi K, Nose T :
Serial neuroimaging of encapsulated chronic intracerebral hematoma with
repeated hemorrhage—A case report.
Neurol Med Chir (Tokyo) : 43 439-442 , 2003
- No . 38 Moritake T, Tsuboi K, Anzai K, Ozawa T, Ando K, Nose T :
ESR spin trapping of hydroxyl radicals in aqueous solution irradiated with
high-LET carbon-ion beams.
Radiat Res 159 : 670-675 , 2003
- No . 39 Nishizawa K, Moritake T, Matsumaru Y, Tsuboi K, Iwai K :
Dose measurement for patients and physicians using a glass dosimeter during
endovascular treatment for brain disease.
Radiation Protection Dosimetry 107 : 247-252 , 2003
- No . 40 Nakamura K, Yanaka K, Ihara S, Nose T :
Multiple intracranial arterial stenoses around the circle of Willis in association
with Graves' disease : report of two cases.
Neurosurgery 53 : 1210-1215 , 2003
- No . 41 Asakawa H, Yanaka K, Nose T :
MRI of Claude's syndrome.
Neurology 61 , 575 , 2003
- No . 42 Kato N, Yanaka K, Nagase S, Hirayama A, Nose T :
The antioxidant EPC-K1 ameliorates brain injury by inhibiting lipid peroxidation
in a rat model of transient focal cerebral ischemia.
Acta Neurochir 145 : 489-493 , 2003
- No . 43 安田 宗義, 谷中 清之, 鈴木 謙介, 小林 栄喜 :
脳内出血患者における全身合併症. 特に肺炎の検討.
脳卒中の外科 31 : 406-409 , 2003

- No . 44 Fujita K, Yanaka K, Kamezaki T, Yamazaki T, Nagatomo Y, Nose T :
Ruptured middle cerebral artery aneurysm with medial mucoid degeneration in a child. Case report.
Pediatr Neurosurg 39 : 108-111 , 2003
- No . 45 Yanaka K, Matsumaru Y, Fujita K, Asakawa H, Noguchi S, Kato N, Nose T :
Intraoperative angiographic assessment of graft patency during extracranial-intracranial bypass.
Neurol Med-Chir 43 : 509-513 , 2003
- No . 46 Kato N, Yanaka K, Hyodo K, Honma K, Nagase S, Nose T :
Stable nitroxide Tempol ameliorates brain injury by inhibiting lipid peroxidation in a rat model of transient focal cerebral ischemia
Brain Res 979 : 188-193 , 2003
- No . 47 Yamazaki T, Yanaka K, Uemura K, Nose T :
Reply to Dr. Rafael's comments on our publication entitled "Cervical spondylotic myelopathy: Surgical results and factors affecting outcomes with special reference to age difference
(Neurosurgery 2003;52 : 122-126). Neurosurgery 43:787-788 , 2003
- No . 48 Kamezaki T, Yanaka K, Fujita K, Nagatomo Y, Nakamura K, Nose T :
Traumatic acute subdural hygroma mimicking acute subdural hematoma.
J Clin Neurosci 11 : 311-313 , 2003
- No . 49 Ihara S, Uemura K, Tsukada A, Yanaka K, Nose T. :
Aneurysm and fenestration of the azygos anterior cerebral artery. Case Report.
Neurol Med-Chir 43 : 246-249 , 2003
- No . 50 Tsuruta W, Yanaka K, Okazaki M, Matsumura A, Nose T :
Cervical myelopathy caused by hypoplasia of the atlas and ossification of the transverse ligament. Case report.
Neurol Med-Chir 43 : 55-59 , 2003
- No . 51 Yamazaki T, Yanaka K, Sato H, Uemura K, Tsukada A, Nose T :
Cervical spondylotic myelopathy: Surgical results and factors affecting outcome with special reference to age difference.
Neurosurgery 52 : 122-126 , 2003
- No . 52 Matsushita A, Yanaka K, Hyodo A, Nose T :
Persistent primitive otic artery and IC-cavernous aneurysm.
J Clin Neurosci 10 : 113-115 , 2003
- No . 53 Asakawa H, Yanaka K, Fujita K, Marushima A, Anno I, Nose T :
Intracranial dural arteriovenous fistula showing diffuse MR enhancement of the spinal cord. Case report and review of the literature.
Surg Neurol 58 : 251-257 , 2003

著 書

- No. 1 松村 明, 山本 哲哉 :
中性子捕捉療法 .
先端医療シリーズ18・脳神経外科「脳腫瘍の最新医療」 pp215-219, 2003
- No. 2 高野 晋吾 :
Tumor angiogenesis抑制療法 - 腫瘍に対する血管新生抑制療法。
Clinical Neuroscience 21 : 554-556, 2003
- No. 3 松村 明, 山本哲哉 :
脳腫瘍のキーワード最新版。放射線療法。中性子捕捉療法。
Clinical Neuroscience 21 : 564-565, 2003
- No. 4 安田 貢, 松村 明, 松丸 祐司, 青木 一泰, 松田 真秀, 勝村 豊三, 野口 博,
金川 進, 能勢 忠男, 尾見 康夫 :
虚血性脳血管障害に対する新脳血流解析アルゴリズムを用いたCT perfusionの有用性。
MEDIX 39 : 22-25, 2003.
- No. 5 坪井 康次, 盛武 敬 :
膠芽腫細胞における高LET重イオン線の細胞傷害性とラジカル反応に関する研究
放医研シンポジウムシリーズ, 第1回重粒子線医科学センターシンポジウム, 「粒子線
治療の基礎展開」 - その普及に向けて -
(曾我文宣 編) 独立法人放射線医学総合研究所 pp68-75, 2003年6月(千葉)
- No. 6 谷中清之, 松村明, 能勢忠男 :
小児頭部外傷の特殊性。
脳神経外科大系. 第13巻 小児脳神経外科. 中山書店. pp226-229.2003

総説・その他

- No. 1 山本 哲哉, 松村 明, 中井 啓, 遠藤 聖 :
JRR-4混合ビームによる開頭BNCT治療経過と今後の展開 .
平成14年度専門研究会報告書「中性子捕捉療法システムの高度化」 pp8-9, 2003
- No. 2 熊田 博明, 山本 和喜, 鳥居 義也, 松村 明, 山本 哲哉, 能勢 忠男, 中川 義信,
影治照喜, 内山順三 :
ホウ素中性子捕捉療法のための線量評価システム(JCDS) の開発 (協力研究).
JAERI-Tech 2003-002, 日本原子力研究所, 2003
- No. 3 高野 晋吾, 井原 哲, 坪井 康次, 松村 明 :
頭蓋内malignant germ cell tumor7例の臨床経過。
厚生労働省がん研究助成金・班会議,
脳高次機能保全をはかった小児悪性脳腫瘍治療法の確立
(松谷班) 7月 2003 (東京)
- No. 4 高野 晋吾, 福岡 講平, 鶴田和太郎, 松村 明 :
小児悪性松果体部腫瘍の2例。
厚生労働省がん研究助成金・班会議,
脳高次機能保全をはかった小児悪性脳腫瘍治療法の確立
(松谷班) 12月 2003年 (東京)

- No. 5 盛武 敬,坪井 康次,安西 和紀,伊古田暢夫 安藤 興一,小澤 俊彦,能勢 忠男:
神経膠腫細胞に対する,重粒子線照射によって生じるラジカル反応に関する基礎的研究. Measurement and protection of the oxidative damage induced by heavy-ion irradiation in human glioblastoma cell lines.
平成14年度放射線医学総合研究所重粒子線癌治療装置等共同利用研究報告書.
千葉:放射線医学総合研究所:pp125-126. 2003

学会発表

- No. 1 Isobe T, Matsumura A, Anno I, Yoshizawa T, Itai Y, Nose T :
The Diagnosis of Gliomas by using Metabolite Quantification with Proton Spectroscopy.
The 4th Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine, International Symposium Oncologic MR Imaging (兵庫) 1月, 2003
- No. 2 松村 明,木村 泰,高野 晋吾,坪井 康次,山本 哲哉,能勢 忠男:
高感度CCDカメラを用いた術中薬理学的画像診断。
第1回脳神経外科術中画像研究会(札幌), 1月, 2003
- No. 3 木村 泰,松村 明,小松 洋治,高野 晋吾,坪井 康次,小野 幸雄,中田 義隆,能勢 忠男:
5-ALAによる悪性グリオーマの術中蛍光診断の有用性の検討。
第12回茨城がん学会(水戸), 1月, 2003
- No. 4 山本 哲哉,松村 明,中井 啓,遠藤 聖:
JRR-4混合ビームによる開頭BNCT治療経過と今後の展開。「中性子捕捉療法システムの高度化」
平成14年度京都大学原子炉実験所専門研究会(大阪), 2月2003
- No. 5 熊田 博明,山本 和喜,松村 明,中川 信義,山本 哲哉:
BNCT線量評価システムの高度化に関する検討。「中性子捕捉療法システムの高度化」
平成14年度京都大学原子炉実験所専門研究会(大阪), 2月, 2003
- No. 6 鶴田和太郎,山本 哲哉,伊藤 政美,佐々木 司,鍋木 孝之,黒田 久俊:
当院における肺癌脳転移の治療経験。
第21回筑波脳神経外科研究会(つくば), 2月, 2003
- No. 7 松丸 祐司,中居 康展,園部 眞,佐藤 博明,加藤 徳之,鶴田和太郎,滝川 知司,能勢忠男:
脳動脈瘤血管内治療における合併症とその対策
第32回日本神経放射線学会 シンポジウム(つくば), 2月, 2003
- No. 8 松村 明,磯辺 智範,阿武 泉,高野 晋吾,能勢 忠男:
定量的MRS・MRSIを用いたグリオーマの診断。
第32回日本神経放射線学会シンポジウム(つくば), 2月, 2003
- No. 9 松丸 祐司,佐藤 博明,鶴田和太郎,加藤 徳之,松村 明,能勢 忠男,阿武 泉,滝川 知司,中居 康展,園部 眞:
脳動脈瘤血管内治療における合併症とその対策。
第32回日本神経放射線学会シンポジウム(つくば), 2月, 2003

- No. 10 木村 泰, 阿久津博義, 松田 和郎, 加藤 徳之, 小松 洋治, 松村 明, 高野 晋吾, 能勢 忠男:
「5ALAを用いたanaplastic oligodendrogliomaの術中蛍光診断」
第16回茨城脳腫瘍治療研究会(つくば), 2月, 2003
- No. 11 尾身 康夫, 宮崎 靖, 青柳 雅彦, 安田 貢, 金川 進, 野口 博, 松村 明, 能勢 忠男:
CT-Perfusionにおける高速解析アプリケーションの開発。
第32回日本神経放射線学会(つくば), 2月, 2003
- No. 12 松田 真秀, 青木 一泰, 安田 貢, 松村 明, 能勢 忠男:
各種画像診断と術中モニタリングにより良好な結果を得た傍矢状洞髄膜腫の1手術例。
第32回日本神経放射線学会(つくば), 2月, 2003
- No. 13 安田 貢, 松村 明, 松田 真秀, 青木 一泰, 金城 鎮, 野口 博, 金川 進, 尾身 康夫, 宮崎 靖, 青柳 雅彦, 能勢 忠男:
虚血性脳血管障害におけるMRI-DWIと新脳血流解析アルゴリズムに基づくCT-Perfusion
第32回日本神経放射線学会(つくば) 2月, 2003
- No. 14 藤森 広幸, 青木 司, 佐藤 直昭, 松村 明, 能勢 忠男:
Perfusion MR imageを用いた慢性期閉塞性脳血管障害の検討
第32回日本神経放射線学会(つくば), 2月, 2003
- No. 15 青木 一泰, 松村 明, 松田 真秀, 安田 貢, 能勢 忠男:
新しいCT perfusion解析アプリケーション(逆フィルター法)を用いた脳血管調節能の評価
第32回日本神経放射線学会(つくば), 2月, 2003
- No. 16 高野 晋吾, 室井 愛, 阿久津博義, 佐藤 弘茂, 能勢 忠男:
下垂体腺腫のVEGF発現および血管新生能。
第13回日本間脳下垂体腫瘍学会.(島根), 2月2003
- No. 17 阿久津博義, 高野 晋吾, 佐藤 弘茂, 能勢 忠男:
ラトケのう胞24例手術例の検討。
第13回日本間脳下垂体腫瘍学会.(島根), 2月2003
- No. 18 井原 哲, 高野 晋吾, 高田 智也, 松村 明, 能勢 忠男, 菅間 博:
特異な病理組織像を呈した原発不明転移性脳腫瘍の1例
第56回茨城県脳神経外科集談会(つくば), 3月, 2003
- No. 19 高田 智也, 高野 晋吾, 岡崎 匡男, 松村 明, 能勢 忠男:
髄液鼻漏で発症した成長ホルモン産生下垂体腺腫の1例。
第89回日本脳神経外科関東地方会.(東京) 3月, 2003
- No. 20 室井 愛, 高野 晋吾, 松村 明, 能勢 忠男:
心不全で発症したGH産生下垂体腺腫の1例。
第1回東京アクロメガリーフォーラム.(東京), 3月2003

- No. 21 山本 哲哉, 松村 明, 柴田 靖, 熊田 博明, 山本 和喜:
JRR-4混合ビームによる開頭BNCT治療経過と今後の展開
平成14年度京都大学原子炉実験所・専門研究会
「中性子捕捉療法システムの高度化」専門研究会(大阪), 3月, 2003
- No. 21 熊田 博明, 松村 明, 山本 哲哉, 山本 和喜:
BNCT線量評価システムの高度化に関する検討。
平成14年度京都大学原子炉実験所・専門研究会
「中性子捕捉療法システムの高度化」専門研究会(大阪), 3月, 2003
- No. 22 鶴田和太郎, 山本 哲哉, 伊藤 政美, 佐々木 司, 松丸 祐司:
水頭症を合併した硬膜動静脈奇形の1例。
第56回茨城県脳神経外科集談会(水戸), 3月, 2003
- No. 23 松下 明, 坪井 康次, 高野 晋吾, 松村 明, 能勢 忠男:
頭蓋内Germinoma再発例の検討。
第25回ニューロオンコロジーの会(東京), 4月, 2003
- No. 24 Matsumura A, Kimura H, Takano S, Yamamoto T, Zhang T, Shibata Y, Tsuboi K, Nose T:
Pharmacological fluorescence navigation of brain using color-chilled CCD system.
9th World Congress of the International Photodynamic Association 21 May, 2003
(Miyazaki, Japan)
- No. 25 Kimura H, Matsumura A, Takano S, Tsuboi K, Nose T:
Photodynamic diagnosis using 5-ALA of primary malignant brain tumor-
Intraoperative findings and histopathological investigation.
9th World Congress of the International Photodynamic Association 21 May, 2003
(Miyazaki, Japan)
- No. 26 室井 愛, 高野 晋吾, 坪井 康次, 松村 明, 長田 道夫, 能勢 忠男:
Medulloblastomaの臨床組織学的再評価: Atypical teratoid/rhabdoid tumorの一症例
第21回日本脳腫瘍病理学会,(東京), 5月, 2003
- No. 27 高野 晋吾, 室井 愛, 坪井 康次, 松村 明, 能勢 忠男, 野口 雅之:
Oligodendroglial tumorのgradeと血管新生能・染色体解析。
第21回日本脳腫瘍病理学会,(東京), 5月, 2003
- No. 28 山崎 友郷, 坪井 康次, 高野 晋吾, 松村 明, 能勢 忠男:
悪性髄膜腫症例の臨床検討。
第21回日本脳腫瘍病理学会,(東京) 5月, 2003
- No. 29 Takano S, Muroi A, Tsuboi K, Matsumura A, Nose T:
Angiogenesis and anti-angiogenic therapy for malignant gliomas.
The 3rd International Symposium of Brain Tumor Pathology. 5月, 2003
(Tokyo, Japan)
- No. 30 藤本礼尚, 高野晋吾, 高田智也, 松下 明, 松村 明, 寺島秀夫:
シャント機能不全で発症した仮性腸間膜のう胞の1例。
第90回日本脳神経外科関東地方会,(6月14日、東京), 2003

- No. 31 松村 明：
「頭痛の診断と治療」
下妻医師会講演会（下妻），6月2003
- No. 32 松丸 祐司，松村 明，園部 眞：
脳動脈瘤塞栓術における術中破裂とその対策
第22回関東脳神経外科懇話会（東京），6月，2003
- No. 33 松村 明，松下 明，井原 哲，安田 貢，上村 和也，石川 栄一，能勢 忠男：
脊髄髄内腫瘍手術における合併症の分析とその対策
第18回日本脊髄外科学会，（東京）6月，2003
- No. 34 鶴田和太郎，高野晋吾，藤本礼尚，坪井康次，松村 明：
神経内視鏡による診断・治療を行った松果体部腫瘍の2例。
第57回茨城県脳神経外科集談会（7月12日、つくば），2003
- No. 35 Fujimoto A, Takano S, Akimoto M, Matsumoto A:
Ruptured arachnoid cyst associated with increased intracranial pressure.
第18回日本脳神経外科国際学会フォーラム（7月18日、岡山），2003
- No. 36 松村 明，榊原 謙，松下昌之助，佐藤 尚江，阿部まゆみ，森田 倫子，工藤 典雄：
筑波大学のM4臨床技能実習とM5クリニカルクラークシップにおける実践の評価
第35回日本医学教育学会総会，（佐賀），7月，2003
- No. 37 伊藤 嘉朗，坪井 康次，井原 哲，能勢 忠男：
著明な脊髄の萎縮を伴ったキアリ奇形の1例。
第88回日本脳神経外科学会関東地方会（東京），7月，2003
- No. 38 松村 明，山本 哲哉，柴田 靖，中井 啓，遠藤 聖，能勢 忠男，熊田 博明，
山本和喜，中川義信，影治照喜：
JRR-4号炉における混合熱・熱外中性子捕捉療法のPhaseI/II studyの結果分析と今後の展開
第1回日本中性子捕捉療法研究会，（京都），8月，2003
- No. 39 松丸 祐司，佐藤 博明，鶴田和太郎，谷中 清之，松村 明，兵頭 明夫：
頭蓋内椎骨動脈および脳底動脈に対する血管形成術
第22回Mt. Fuji workshop on CVD（長崎），8月，2003
- No. 40 山本 哲哉，松村 明，柴田 靖，中井 啓，遠藤 聖，熊田 博明，山本 和喜：
熱外ビームBNCTでの線量分布の検討
第1回日本中性子捕捉療法研究会，（京都）8月，2003
- No. 41 中井 啓，吉田 文代，山本 哲哉，松村 明：
コメットアッセイによるBNCT実験系でのDNA損傷の検討。
第1回日本中性子捕捉療法研究会，（京都）8月，2003
- No. 42 山本 和喜，熊田 博明，遠藤 聖，山本 哲哉：
悪性脳腫瘍細胞浸潤モデルを応用したターゲット領域の設定に関する考察。
第1回日本中性子捕捉療法研究会，（京都），8月，2003

- No. 43 松村 明, 山本 哲哉, 柴田 靖, 中井 啓, 遠藤 聖, 能勢 忠男, 熊田 博明, 山本 和喜:
JRR-4号炉における混合熱・熱外中性子捕捉療法のPhase I/II studyの結果分析と今後の展開.
第1回日本中性子捕捉療法研究会(京都), 8月, 2003
- No. 44 Takashi Motritake, Koji Tsuboi, Kazunori Anzai, Nobuo Ikota, Toshihiko Ozawa, Koichi Ando, Tadao Nose:
Measurement and protection of the oxidative damage induced by high-LET carbon-ion irradiation in salmon sperm DNA solution.
12th International Congress of Radiation Research 2003 (Aug)
Brisbane, Austraria
- No. 45 Shingo Takano, Koji Tsuboi, Akira Matsumura:
Functional outcome of suprasellar germinomas.
First International Symposium on CNS Germ Cell Tumors (Sept 17, Kyoto), 2003
- No. 46 Shingo Takano, Satoshi Ihara, Koji Tsuboi, Akira Matsumura:
Clinical course of 7 cases of intracranial malignant germ cell tumors.
First International Symposium on CNS Germ Cell Tumors (Sept 17, Kyoto), 2003
- No. 47 佐藤允行, 高野晋吾, 藤本礼尚, 松村 明:
脳内出血を伴ったReversible posterior leukoencephalopathy syndromeの1例。
第91回日本脳神経外科学会関東地方会(9月20日、東京), 2003
- No. 48 松村 明:
特別口演「中性子捕捉療法の現状と展望」
第30回茨城県臨床核医学研究会(土浦), 9月, 2003
- No. 49 松丸祐司:
教育講演 破裂脳動脈瘤の塞栓術
第4回近畿脳神経血管内治療学会(大阪), 9月, 2003
- No. 50 高野晋吾, 阿久津博義, 室井 愛, 井口雅博, 坪井康次, 松村 明:
グリオーマにおけるhypoxia inducible factor・angiopoietinの発現と血管新生。
第62回日本脳神経外科学会総会(10月1日、仙台), 2003
- No. 51 佐藤弘茂, 高野晋吾, 阿久津博義, 室井 愛, 坪井康次, 松村 明:
下垂体腺腫の硬膜浸潤部におけるMMP2発現。
第62回日本脳神経外科学会総会(10月1日、仙台), 2003
- No. 52 福岡講平, 高野晋吾, 鶴田和太郎, 松村 明:
網膜芽腫に続発した松果体芽腫の1例。
第58回茨城県脳神経外科集談会(10月26日、水戸), 2003
- No. 53 松丸 祐司, 鶴田和太郎, 滝川 知司, 谷中 清之, 松村 明:
硬膜動静脈瘻に対する血管内および開頭手術
第62回日本脳神経外科学会総会(仙台), 10月, 2003

- No. 54 松村 明, 坪井 康次, 高野 晋吾, 山本 哲哉, 木村 泰, 磯辺 智範, 松下 明, 藤本 礼尚, 熊田 博明, 山本 和喜:
シンポジウム: グリオーマに対する治療戦略
第62回日本脳神経外科学会総会(仙台), 10月, 2003
- No. 55 坪井 康次, 能勢 忠男, 能勢 晴美, 坪井 一穂:
前頭蓋底アプローチによる眼窩腫瘍摘出術
第62回日本脳神経外科学会総会(仙台), 10月, 2003
- No. 56 鯨岡 裕司, 谷中 清之, 松丸 祐司, 松村 明, 能勢 忠男, 武田 徹, 田村 正夫:
統計画像解析ソフトeZISの虚血性脳血管障害における有用性の検討。
第62回日本脳神経外科学会総会(仙台), 10月, 2003
- No. 57 高野晋吾, 坪井康次, 阿久津博義, 松村 明:
下垂体腺腫以外の病変に対する経蝶形骨洞アプローチ手術の役割。
第8回日本脳腫瘍の外科学会(11月7日、沖縄), 2003
- No. 58 高野晋吾, 神山 洋, 阿久津博義, 坪井康次, 松村 明:
悪性グリオーマに対するIrinotecan(CPT-11)の治療効果: 基礎から臨床研究まで。
第21回日本脳腫瘍学会(11月16日、淡路), 2003
- No. 59 秋本 学, 高野晋吾, 鶴田和太郎, 松丸裕司, 松村 明:
内頸動脈瘤を伴った下垂体腺腫の治療: 症例報告。
第92回日本脳神経外科学会関東地方会(11月29日、東京), 2003
- No. 60 山本 哲哉, 松村 明, 熊田 博明, 山本 和喜, 中井 啓, 遠藤 聖, 柴田 靖:
中性子捕捉療法の臨床評価 - 熱外中性子ビームによる治療試験に向けて。
第21回日本脳腫瘍学会(兵庫), 11月, 2003
- No. 61 松村 明, 木村 泰, 山本 哲哉, 高野 晋吾, 坪井 康次, 藤本 礼尚, 石川栄一, 能勢 忠男:
薬理的蛍光navigationと術中誘発電位モニタ併用によるglioma手術成績向上への取り組み。
第21回日本脳腫瘍学会(兵庫), 11月, 2003
- No. 62 松丸 祐司, 鶴田和太郎, 谷中 清之, 松村 明, 兵頭 明夫, 佐藤 博明:
動脈硬化性頭蓋内血管狭窄に対する血管形成術
第19回日本脳神経血管内治療学会(横浜), 11月, 2003
- No. 63 盛武 敬, 坪井 康次, 安西 和紀, 伊古田暢夫, 安藤 興一, 小澤 俊彦:
高LET炭素線照射によるDNAの酸化的損傷とエダラボンによる防護効果の解析。
第45回磁気共鳴医学会第7回SFRRJapan合同学会 2003
- No. 64 坪井 康次, 石川 栄一, 高野 晋吾, 松村 明, 大野 忠夫:
シンポジウム術後維持療法 “悪性神経膠腫術後再発に対する自家使用ワクチン療法の試み”
第8回脳腫瘍の外科学会(沖縄), 11月, 2003
- No. 65 高野晋吾, 福岡講平, 鶴田和太郎, 藤本礼尚, 松村 明:
松果体部および脳室内腫瘍に対する神経内視鏡の有用性と限界。
第10回日本神経内視鏡学会(12月5日、名古屋), 2003

No . 66 福岡講平、高野晋吾、鶴田和太郎、坪井康次、松村 明 :

網膜芽腫に続発した松果体芽腫の1例。

第26回ニューロオンコロジーの会 (12月13日、東京) , 2003

No . 67 佐藤 允之、坪井 康次、石川 栄一、高野 晋吾、松村 明、大野 忠夫 :

悪性神経膠腫再発例に対する自家腫瘍ワクチンの効果。

第26回ニューロオンコロジーの会 (東京) , 12月 , 2003

2003年（腎泌尿器外科グループ）

原 著

- No . 1 Akaza H, Homma Y, Okada K, Yokoyama M, Usami M, Hirao Y, Tsushima T, Ohashi Y, Aso Y, The Prostate Cancer Study Group :
A prospective and randomized study of primary hormonal therapy for patients with localized or locally advanced prostate cancer unsuitable for radical prostatectomy: results of the 5-year follow-up
BJU Int 91(1) : 33-36 , 2003
- No . 2 Endo F, Manabe F, Takeshima H, Akaza H :
Protecting spermatogonia from apoptosis induced by doxorubicin using the luteinizing hormone-releasing hormone analog leuprolerin
Int J Urol 10 : 72-77 , 2003
- No . 3 Endo F, Monsees T K, Akaza H, Schill W B, Pflieger-Bruss S :
Effects of single non-ortho, mono-ortho, and di-ortho chlorinated biphenyls on cell functions and proliferation of the human prostatic carcinoma cell line, LNCaP
Reproductive Toxicology 17 : 229-236 , 2003
- No . 4 Kawai K, Miyazaki J, Tsukamoto S, Hinotsu S, Hattori K, Shimazui T, Akaza H :
Paclitaxel, ifosfamide and cisplatin regimen is feasible for Japanese patients with advanced germ cell cancer
Jpn J Clin Oncol 33(3) : 127-131 , 2003
- No . 5 Gotanda K, Shinbo A, Okada M, Nakano Y, Kobayashi H, Sasaki T, Hagiwara M, Akaza H :
Effects of combination therapy with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist and chlormadinone acetate on rat prostate weight and plasma testosterone levels
Prostate Cancer Prostatic Dis 6(1) : 66-72 , 2003
- No . 6 Swellam T, Miyanaga N, Onozawa M, Hattori K, Kawai K, Shimazui T, Akaza H :
Antineoplastic activity of honey in an experimental bladder cancer implantation model: In vivo and in vitro studies
Int J Urol 10(4) : 213-219 , 2003
- No . 7 Akaza H :
Combined androgen blockade may have long term survival benefits over monotherapy, but may increase adverse effects and reduce quality of life in advanced prostate cancer
Cancer Treat Rev 29(3) : 223 , 2003
- No . 8 Akaza H :
Early androgen suppression may reduce disease progression and improve long term survival compared with deferred androgen suppression in locally advanced prostate cancer
Cancer Treat Rev 29(3) : 224-225 , 2003

- No . 9 Shimazui T, Yoshikawa K, Uemura H, Kawamoto R, **Kawai K**, Uchida K, Hirao Y, Saga S, Akaza H :
Detection of cadherin-6 mRNA by nested RT-PCR as a potential marker for circulating cancer cells in renal cell carcinoma
Int J Oncol 23 : 1049-1054 , 2003
- No . 10 Akaza H, Koiso K, Ozono S, Kuroda M, Kameyama S, Okajima E, Kotake T, Kakizoe T, Kawabe K, The PMCJ-9 study group in Japan :
A clinical study of PMCJ-9 (bacillus calmette-guerin connaught strain) treatment of superficial bladder cancer and carcinoma in situ of the bladder
Jpn J Clin Oncol 33(8) : 382-390 , 2003
- No . 11 Miyazaki J, **Kawai K**, Hayashi H, Onozawa M, Tsukamoto S, Miyanaga N, Hinotsu S, Shimazui T, Akaza H :
The limited efficacy of methotrexate, actinomycin D and cisplatin (MAP) for patients with advanced testicular cancer
Jpn J Clin Oncol 33(8) : 391-395 , 2003
- No . 12 **Kawai K**, Saijo K, Oikawa T, Morishita Y, Noguchi M, Ohno T, Akaza H :
Clinical course and immune response of a renal cell carcinoma patient to adoptive transfer of autologous cytotoxic T lymphocytes
Clin Exp Immunol 134 : 264-269 , 2003
- No . 13 Hattori K, Mabuchi R, Fujiwara H, Sanzen N, Sekiguchi K, **Kawai K**, Akaza H :
Laminin expression patterns in human ureteral tissue
J Urol 170 : 2040-2043 , 2003
- No . 14 Miyanaga N, Akaza H, Tsukamoto S, Shimazui T, Ohtani M, Ishikawa S, Noguchi R, Manabe F, Nishijima Y, Kikuchi K, Sato K, Hayashi H, Kondo F, Shiraiwa H, Aoyama O :
Usefulness of urinary NMP22 to detect tumor recurrence of superficial bladder cancer after transurethral resection
Int J Clin Oncol 8 : 369-373 , 2003
- No . 15 Akaza H, Arai Y, Usami M, Naito S, Kanetake H, Kotake T, Ohashi Y, Yamaguchi A, Matsuda T, Igawa M :
Bicalutamide 80 mg in combination with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist (LHRHa) versus LHRHa monotherapy as first-line treatment for advanced prostate cancer
Meeting Proceedings of the American Society of Clinical Oncology 22 : 422 , 2003
- No . 16 Oikawa T, **Kawai K**, Ishiwata I, Ohno T, Akaza H :
Induction of potent antitumour natural-killer cells from peripheral blood of patients with advanced prostate cancer
BJU Int 92 : 1009-1015 , 2003

- No . 17 Miyanaga N, Akaza H, Takashima N, Nagata Y, Sonoda T, Mori M, Naito S, Hirao Y, Tsukumoto T, Fujioka T :
Higher consumption of green tea may enhance equol production
Asian Pacific J Cancer Prev 4 : 297-301 , 2003
- No . 18 Habuchi T, Kamoto T, Hara I, Kawai K, Nakao M, Nonomura N, Kobayashi T, Ogawa O, Kamidono S, Akaza H, Okuyama A, Kato T, Miki T :
Factors that influence the results of salvage surgery in patients with chemorefractory germ cell carcinomas with elevated tumor markers
Cancer 98(8) : 1635-1642 , 2003
- No . 19 宮永 直人, 赤座 英之, 高島 尚美, 内藤 誠二, 平尾 佳彦, 塚本 泰司, 藤岡 知昭, 森 満 :
前立腺癌罹患における血中イソフラボン濃度の影響：症例対照試験
腎臓予防医誌 11(1) : 87-89 , 2003
- No . 20 服部 一紀 :
茨城県における前立腺癌検診の現況
泌尿器外科 16(9) : 1001-1004 , 2003
- No . 21 服部 一紀, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之 :
内鏡視下腎摘除術における合併症：初期20例における検討
Jpn J Endourol ESWL 16 : 256-262 , 2003

総 説

- No . 1 Akaza H(Committee on Classification of Regional Lymph Nodes of Japan Society of Clinical Oncology) :
Classification of Regional Lymph Nodes in Japan
Int J Clin Oncol 8 : 248-275 , 2003
- No . 2 Akaza H, Chang S-J, Chen K-K, Esuvaranathan K, Fujioka T, Hirao Y, Hong S-J, Hinotsu S, Kim W-J, Lau W, Lee S E, Murai M, Naito S, Ogawa O, Rim J-S, Soebadi D M, Song J-M, Tsukamoto T, Umbas R, Usami M, Yang C-R, Yoon J H, Zhou L :
The 2nd conference on Asian trends in prostate cancer hormone therapy
Jpn J Cancer Chemother 30(10) : 1533-1542 , 2003
- No . 3 Kawai K, Akaza H :
Bleomycin-induced pulmonary toxicity in chemotherapy for testicular cancer,
Expert Opin Drug Saf 2(6) : 587-596 , 2003
- No . 4 宮永 直人, 赤座 英之 :
特集：前立腺癌;最新の治療と看護の実際
疾患を理解するための医学的知識;主な治療法とその注意点
放射線療法の現状と新しい流れ
臨床看護 29(1) : 73-79 , 2003

- No. 5 樋之津史郎, 赤座 英之:
特集・泌尿器科領域の薬の使い方 膀胱腫瘍(腎盂・尿管)
クリニカ 30(1): 40-44, 2003
- No. 6 宮永 直人, 赤座 英之:
特集・血尿〔血尿患者の検査〕尿細胞診と尿中マーカー
腎と透析 54(1): 44-48, 2003
- No. 7 清木 元治, 赤座 英之:
座談会 癌の骨転移をめぐる最近の話題
The BONE 17(2): 97-103(201-207), 2003
- No. 8 赤座 英之, 福岡 正博, 大津 敦, 宇佐美道之, 池田 正, 相羽 恵介, 磯西 成治,
大橋 靖雄, 西條 長広, 曾根 三郎, 塚越 茂, 鶴尾 隆, 加藤 益弘, 三上 修,
Rui-Ping Dong, Mikael von Euler, George Blackledge, Don Stribling:
特別寄稿 臨床試験の国際化
Jpn J Cancer Chemother 30(4): 555-565, 2003
- No. 9 宮永 直人, 赤座 英之:
最新のがん化学療法 - 膀胱がん
化学療法の領域 19(S-1): 183-188, 2003
- No. 10 田中優美子, 河合 弘二, 沖 明典, 角田 肇, 西田 正人, 赤座 英之, 吉川 裕之,
板井 悠二:
術後合併症の画像診断 泌尿生殖器
臨床放射線 48(3): 377-384, 2003
- No. 11 赤座 英之:
男性ホルモンと前立腺癌
アンドロゲン補充療法 (ART) は前立腺癌の発生・増悪に結びつかないか
医学のあゆみ 205(6): 403-406, 2003
- No. 12 樋之津淳子, 樋之津史郎, 赤座 英之:
がん治療におけるQOL評価
医病薬誌 39(5): 5-9, 549-553, 2003
- No. 13 赤座 英之, 佐々木常雄, 小西 敏郎, 佃 守:
座談会 これからの癌化学療法
Jpn J Cancer Chemother 30(10): 1422-1433, 2003
- No. 14 島居 徹, 赤座 英之:
特集 後腹膜腔アプローチによる手術
経腰の後腹膜アプローチによる腎, 副腎, 尿管, 傍大動脈の視野展開
手術 57(11): 1334-1340, 2003
- No. 15 島居 徹, 赤座 英之:
腎癌
ターミナルケア 13: 163-173, 2003
- No. 16 赤座 英之, 平尾 佳彦:
限局性および局所進行前立腺癌におけるホルモン単独療法の将来展望
泌尿紀要 49: 771-777, 2003

- No. 17 及川 剛宏, 河合 弘二, 西條 薫, 大野 忠夫, 赤座 英之:
腎癌および前立腺癌に対する活性化NK細胞療法
BCG・BRM療法研究会会誌 27: 51-53, 2003
- No. 18 関戸 哲利:
頻尿・尿失禁の治療
Prog Med 23: 2045-2052, 2003
- No. 19 河合 弘二:
精巣腫瘍化学療法の現況と今後
癌と化学療法 30(2): 171-180, 2003

著 書

- No. 1 Debruyne F.M.J, Akaza H, Spermon J R, Klotz L, Chopin D, Di Silverio F,
Da Silva F C, Habib F, Mahler C :
Innovative approaches in medical management of prostate cancer: Hormones
G. Bartsch, S. Khoury, M. Murai, A. Partin(Prostate Cancer Editors)
Health Publications (distributor: Editions21), 139-158, 2003
- No. 2 服部 一紀, 赤座 英之:
別冊・医学のあゆみ 腎疾患
診断法をめぐる最近の進歩
37.泌尿器科疾患診断法の進歩 - 上部尿路に対する細径内視鏡
浅野 泰, 小山 哲夫編
医歯薬出版, 142-144, 2003
- No. 3 亀山 周二, 赤座 英之:
臨床検査ガイド2003~2004
これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた
腫瘍マーカー 前立腺腫瘍マーカー
Medical Practice編集委員会編
文光堂, 958-961, 2003
- No. 4 赤座 英之:
内科学(第8版)
腎・尿路系の疾患 腎・尿路結石 腎・尿路腫瘍
腎・尿路の先天性異常 腎下垂 遊走腎
杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦(総編集)
朝倉書店, 1483-1488, 2003
- No. 5 樋之津史郎, 赤座 英之:
臨床泌尿器科: 前立腺疾患のすべて
前立腺癌の疫学
郡 健二郎(責任編集), 村井 勝, 藤岡 知昭(編集協力)
医学書院, 151-156, 2003

No. 6 塚本 定, 赤座 英之:

消化器外科5臨時増刊号

新ベッドサイド処置アトラス

消化器外科術前・術後に必要な処置 導尿

へるす出版, 916-919, 2003

No. 7 宮永 直人, 赤座 英之:

化学療法の領域 第19巻 増刊号

最新のがん化学療法 膀胱がん

(垣添 忠生 企画)

医薬ジャーナル社, 183-188, 2003

No. 8 河合 弘二, 赤座 英之:

臨床腫瘍学 改訂第3版

腎・尿路上皮癌 1. 腎細胞癌

(レビュアー: 三木 恒治)

有吉 寛, 上田 龍三, 西條 長宏, 峠 哲哉, 福岡 正博(編集幹事)

癌と化学療法社, 733-748, 2003

No. 9 島居 徹, 赤座 英之:

臨床腫瘍学 改訂第3版

腎・尿路上皮癌

(レビュアー: 小川 修)

有吉 寛, 上田 龍三, 西條 長宏, 峠 哲哉, 福岡 正博(編集幹事)

癌と化学療法社, 749-770, 2003

No. 10 赤座 英之:

今日の治療指針

泌尿器科疾患 腎盂・尿管癌

山口 徹, 北原 光夫(総編集)

医学書院, 765-766, 2003

学会発表

No. 1 小島 崇宏, 宮崎 淳, 塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人, 服部 一紀, 河合 弘二,

島居 徹, 赤座 英之:

再発性及び難治性胚細胞腫に対するTIP療法

第16回関越UFT研究会(大宮), 1月, 2003

No. 2 宮川 友明, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 樋之津史郎, 島居 徹, 赤座 英之:

腎癌との鑑別を要した腰椎破壊を伴う良性の神経鞘腫の1例

第55回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2003

No. 3 安東 聡, 小野澤瑞樹, 塚本 定, 服部 一紀, 島居 徹, 赤座 英之:

移植腎に存在した腎結石に対しESWLを施行した1例

第55回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2003

- No. 4 高岡栄一郎, 小島 崇宏, 河合 弘二, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
急速進行した表在性膀胱腫瘍の1例
第55回日本泌尿器科学会茨城地方会(つくば), 3月, 2003
- No. 5 赤座 英之, 河合 弘二:
腎細胞癌に対する免疫遺伝子治療および細胞療法の現状と将来
「癌に対する免疫遺伝子治療の現状と今後の展望」,
厚生労働科学研究費 研究成果等普及啓発事業
基礎研究成果の臨床応用推進研究(東京), 3月, 2003
- No. 6 Yokomizo A, Okumura K, Koga H, Akaza H, Tsukamoto T, Hirao Y, Naito S:
HPC/ELAC2 polymorphism associateds with sporadic prostate cancer in Japan
AUA 2003 Annual Meeting (Chicago), Apr., 2003
- No. 7 Shimazui T, Ami Y, Yoshikawa K, Uchida K, Shimizu K, Nakamura K, Fukatsu H,
Saga S, Miwa M, Akaza H:
Alteration of gene expression in association with sensitivity of interferon-alpha
detected by CDNA macroarray
AUA 2003 Annual Meeting (Chicago), Apr., 2003
- No. 8 Shimazui T, Yoshikawa K, Uemura H, Hirao Y, Saga S, Akaza H:
Messenger RNA level of cadherin-6 in peripheral blood is associated with site of
metastasis and occurrence of future metastatsis in renal cell carcinoma
AUA 2003 Annual Meeting (Chicago), Apr., 2003
- No. 9 佐々木 明, 菊池 孝治, 赤座 英之:
当科を4年間に受診した男子STD850例について
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 10 横溝 晃, 古賀 寛史, 奥村 幸司, 赤座 英之, 塚本 泰司, 平尾 佳彦:
前立腺癌における疾病感受性遺伝子HER2とHPC2の多型解析
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 11 植村 天受, 吉川 和宏, 島居 徹, 平尾 佳彦, 佐賀 信介, 赤座 英之:
術中患側腎静脈血液中癌細胞の検出と臨床的意義
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 12 藤本 清秀, 大園誠一郎, 三馬 省二, 金子 佳照, 守屋 昭, 丸山 良夫, 岡島英五郎,
平尾 佳彦, 樋之津史郎, 赤座 英之, 大橋 靖雄, 福島 昭治:
再発hazardのsmoothing解析からみたEpirubicin膀胱内注入療法の治療効果の検討
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 13 小島 崇宏, 安東 聡, 塚本 定, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
精巣腫瘍化学療法における α -フェトプロテイン-レクチン分画測定の有用性
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 14 安東 聡, 高岡栄一郎, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 塚本 定, 樋之津史郎, 河合 弘二,
島居 徹, 赤座 英之:
膀胱内進展を伴った乳房外Paget病の一例
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003

- No. 15 高岡栄一郎, 安東 聡, 福原 喜春, 小島 崇宏, 宮崎 淳, 塚本 定, 服部 一紀, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
膀胱小細胞癌の3例
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 16 後藤 百万, 西澤 理, 赤座 英之, 平尾 佳彦, 小野 佳成, 守殿 貞夫, 大島 伸一:
女性尿失禁 診療ガイドラインの作製: ガイドライン導入前の女性尿失禁に対する診療実態調査
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 17 島居 徹, 吉川 和宏, 植村 天受, 平尾 佳彦, 佐賀 信介, 赤座 英之:
循環血液中cadherin-6 mRNA定量値と腎癌転移巣の部位及び転移再発との相関性
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 18 白岩 浩志, 厨川 謙, 赤座 英之:
北茨城市における前立腺癌集団検診の現状
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 19 宮永 直人, 赤座 英之, 大谷 幹伸, 石川 悟, 野口 良輔, 真鍋 文雄, 西嶋由貴子, 菊池 孝治, 佐藤 健, 林 独志, 近藤 福次, 白岩 浩志, 青山 修:
表在性膀胱癌のモニタリングにおける尿中NMP22の有用性
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 20 服部 一紀, 安澤 彰平, 常楽 晃, 河合 弘二, 関戸 哲利, 赤座 英之:
Ureteral Acellular Matrix Graft (UAMG)を用いたブタ尿管の組織再生
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 21 及川 剛宏, 河合 弘二, 西條 薫, 塚本 定, 島居 徹, 大野 忠夫, 赤座 英之:
腎細胞癌症例における術前の血中Th1/Th2サイトカインプロファイル
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 22 中村小源太, 吉川 和宏, 小久保公人, 山田 芳彰, 本多 靖明, 清水 一宏, 植村 天受, 平尾 佳彦, 島居 徹, 赤座 英之, 加藤慶太郎, 佐賀 信介, 深津 英捷:
インターフェロン α 感受性株及び耐性株におけるヒト腎細胞癌培養細胞抽出液中タンパク質発現のプロテインチップによる解析
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 23 阿弥 良浩, 島居 徹, 内田 和彦, 三輪 正直, 赤座 英之:
マクロアレイを用いた腎癌細胞株のRNA発現プロファイリングとクラスター化
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003
- No. 24 山内 敦, 塚本 定, 小野澤瑞樹, 島居 徹, 赤座 英之, 白井 智之, 香川 雅孝:
DMAB誘発ラット前立腺癌における非環式レチノイド(2E, 4E, 6E, 10E) - 3,7,11,15-tetramethyl-2,4,6,10,14-hexadecapentaenoic acidの効果に関する研究
第91回日本泌尿器科学会総会(徳島), 4月, 2003

- No. 25 Akaza H, Arai Y, Usami M, Naito S, Kanetake H, Kotake T, Ohashi Y, Yamaguchi A, Matsuda T, Igawa M :
Bicalutamide 80 mg in combination with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist (LHRHa) versus LHRHa monotherapy as first-line treatment for advanced prostate cancer
39th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology (ASCO) (Chicago), May, 2003
- No. 26 宮川 友明, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之 :
高齢者全身麻酔下手術症例における術後せん妄発生因子の検討
第16回老年泌尿器科学会 (長野), 5月, 2003
- No. 27 福原 喜春, 小島 崇宏, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 塚本 定, 樋之津史郎, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之 :
当院における高齢者に対する尿路上皮癌に対するM-VAC療法の妥当性についての検討
第16回老年泌尿器科学会 (長野), 5月, 2003
- No. 28 小島 崇宏, 服部 一紀, 関戸 哲利, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之, 淡野 宏輔, 曾根 博仁, 山田 信博 :
両側精巣腫瘍を伴った先天性副腎過形成の1例
第56回日本泌尿器科学会茨城地方会 (つくば), 6月, 2003
- No. 39 稲井 広夢, 宮永 直人, 遠藤 剛, 持原 健勝, 小島 崇宏, 及川 剛宏, 関戸 哲利, 樋之津史郎, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之 :
膀胱鏡検査後に発症した前立腺膿瘍の1例
第56回日本泌尿器科学会茨城地方会 (つくば), 6月, 2003
- No. 30 宮川 友明, 小野澤瑞樹, 服部 一紀, 塚本 定, 島居 徹, 赤座 英之 :
尿閉で発症し, 自然軽快した尿道憩室の1例
第56回日本泌尿器科学会茨城地方会 (つくば), 6月, 2003
- No. 31 赤座 英之, 宮永 直人, 高島 尚美, 内藤 誠二, 平尾 佳彦, 塚本 泰司, 藤岡 知昭, 森 満 :
前立腺癌とequol産生能 - 日韓米の症例対照比較 - (一般口演)
第26回日本がん疫学研究会
第10回日本がん予防研究会 (札幌), 6月, 2003
- No. 32 服部 一紀, 内田 克紀, 赤座 英之, 岡崎 伸生, 大谷 幹伸, 斎藤 洋子 :
茨城県における前立腺癌検診の現況 (一般口演)
第12回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会 (札幌), 7月, 2003
- No. 33 池田のりこ, 本田 育郎, 武内 一紀, 矢野 郁也, 小山 明, 戸井田一郎, 河合 弘二, 赤座 英之 :
腫瘍再移植実験モデルによるBCG生菌および死菌の抗腫瘍効果の検討 : 投与法の影響
第31回BCG・BRM療法研究会 (東京), 7月, 2003

- No. 34 及川 剛宏, 河合 弘二, 赤座 英之, 西條 薫, 大野 忠夫:
腎癌および前立腺癌に対する活性化NK細胞療法
第31回BCG・BRM療法研究会(東京), 7月, 2003
- No. 35 長多 好恵, 園田 智子, 森 満, 高橋 敦, 塚本 泰司, 横溝 晃, 内藤 誠二,
藤本 清秀, 平尾 佳彦, 藤岡 知昭, 高島 尚美, 宮永 直人, 赤座 英之:
前立腺がんの宿主・環境要因に関する症例対照研究
第62回日本癌学会総会(名古屋), 9月, 2003
- No. 36 関戸 哲利, 久松 英治, 堤 雅一, 石川 悟, 赤座 英之:
腰部脊柱管狭窄症が原因と考えられた尿閉の3例
第10回日本排尿機能学会(千葉), 9月, 2003
- No. 37 Oikawa T, Kawai K, Ishiwata I, Ohno T, Akaza H:
Induction of potent antitumor natural killer cells from peripheral blood of
advanced prostate cancer patients
The 20th Korea-Japan Urological Congress (Busan), Oct., 2003
- No. 38 Sekido N, Tsukamoto S, Kawai K, Shimazui T, Akaza H:
Does overactive bladder in uncomplicated female patients represent detrusor
overactivity?
The 20th Korea-Japan Urological Congress (Busan), Oct., 2003
- No. 39 島居 徹:
泌尿器癌におけるcadherin-catenin複合体の異常の基礎と臨床(特別講演)
第68回日本泌尿器科学会東部総会(弘前), 10月, 2003
- No. 40 久松 英治, 服部 一紀, 小島 崇宏, 及川 剛宏, 関戸 哲利, 樋之津史郎,
宮永 直人, 西嶋由貴子, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
IVCに腫瘍塞栓を伴う腎癌症例の検討
第68回日本泌尿器科学会東部総会(弘前), 10月, 2003
- No. 41 川添 夏衣, 服部 一紀, 稲井 広夢, 小島 崇宏, 関戸 哲利, 樋之津史郎,
宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
後腹膜および前立腺に発生した悪性リンパ腫の5例
第68回日本泌尿器科学会東部総会(弘前), 10月, 2003
- No. 42 遠藤 剛, 稲井 広夢, 関戸 哲利, 樋之津史郎, 服部 一紀, 島居 徹, 赤座 英之:
単腎に発生したCentrally located renal tumorに対し腎部分切除を施行した1例
第25回茨城医学会泌尿器科分科会,
第57回日本泌尿器科学会茨城地方会(水戸), 10月, 2003
- No. 43 持原 健勝, 稲井 広夢, 及川 剛宏, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
クラインフェルター症候群に合併した後腹膜原発胚細胞腫の1例
第25回茨城医学会泌尿器科分科会,
第57回日本泌尿器科学会茨城地方会(水戸), 10月, 2003
- No. 44 赤座 英之, 塚本 泰司, 大西 哲郎, 三木 恒治, 木内 利明, 内藤 誠二:
腎細胞癌に対する低用量IL-2とIFN α 併用療法の第1/2相臨床試験(口演)
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003

- No. 45 柳下 次雄, 島崎 淳, 赤倉功一郎, 赤座 英之, 秋本 晋, 五十嵐辰男, 井坂 茂夫, 伊藤 晴夫, 垣添 忠生, 兼平 千裕, 香村 衡一, 高波真佐治, 畠 亮, 原田 昌興, 藤目 真, 丸岡 正幸, 森田 新六, 辻 比呂志, 辻井 博彦:
前立腺癌の重粒子線治療
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 46 稲井 広夢, 樋之津史郎, 小島 崇宏, 及川 剛宏, 関戸 哲利, 服部 一紀, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
Grade3成分を有する表在性膀胱癌の予後規定因子についての検討
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 47 宮永 直人, 稲井 広夢, 小島 崇宏, 及川 剛宏, 関戸 哲利, 樋之津史郎, 服部 一紀, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之, 山川 誠, 新田 尚隆, 椎名 毅, 松村 剛:
前立腺癌診断における組織弾性映像化システムの有用性
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 48 河合 弘二, 宮崎 淳, 関戸 哲利, 樋之津史郎, 服部 一紀, 宮永 直人, 島居 徹, 赤座 英之:
病期 C精巣腫瘍の治療成績
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 49 小島 崇宏, 高岡栄一郎, 塚本 定, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
CVD療法を施行した悪性褐色細胞腫の3例
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 50 藤本 清秀, 三馬 省二, 岡島英五郎, 吉田宏二郎, 渡辺 秀次, 山本 雅司, 植村 天受, 平尾 佳彦, 大園誠一郎, 樋之津史郎, 赤座 英之, 大橋 靖雄, 福島 昭治:
表在性膀胱癌術後再発に対するEpirubicin膀胱内注入療法 - 再発hazardのsmoothing解析からみた検討 -
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 51 福原 喜春, 稲井 広夢, 小島 崇宏, 及川 剛宏, 服部 一紀, 関戸 哲利, 樋之津史郎, 宮永 直人, 河合 弘二, 島居 徹, 赤座 英之:
M-VAC療法抵抗性尿路上皮癌に対するGemcitabine, Paclitaxel併用療法の検討
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 52 石戸谷滋人, 伊藤 明宏, 佐々木 亨, 青木 大志, 海法 康裕, 徳山 聡, 沼畑 健司, 佐藤 信, 斎藤 誠一, 荒井 陽一, 遠藤 希之, 宮川 友明, 島居 徹, 赤座 英之:
前立腺小細胞癌に対するgemcitabine, carboplatin, docetaxellによる化学療法
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003
- No. 53 島居 徹, 阿弥 良浩, 吉川 和宏, 内田 和彦, 清水 一宏, 中村小源太, 本田 靖明, 佐賀 信介, 三輪 正直, 赤座 英之:
テラーメイド医療に向けてのバイオマーカー: 診断の現況と将来
進行腎癌に対するインターフェロン α 治療
テラーメイド化のための基礎的検討(ワークショップ)
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月, 2003

- No. 54 小菅真理子, 高木 彩, 田生千鶴子, 井上 恭子, 及川 剛宏, 服部 一紀, 島居 徹,
赤座 英之:
膀胱温存を希望しながらも, 膀胱全摘に至ったケースを通して
第15回茨城老人泌尿器科研究会 (水戸), 11月, 2003
- No. 55 塚本 定, 赤座 英之:
アンドロゲンの前立腺発癌におよぼす影響
第3回日本Aging Male研究会 (大阪), 11月, 2003
- No. 56 島居 徹, 赤座 英之, 吉川 裕之, 左近 賢人, 前原 喜彦, 岩崎 甫:
本邦における腹部外科手術後の静脈血栓塞栓症 (VTE) の発生に関する
前向き疫学調査 (シンポジウム)
第26回日本血栓止血学会学術集会 (東京), 11月, 2003
- No. 57 Akaza H:
Selective endothelin receptor antagonist for prostate cancer; a clinical aspect
The 8th International Symposium on
Cancer Chemotherapy (Tokyo), Dec., 2003
- No. 58 赤座 英之, J-CaP研究会:
本邦における前立腺癌内分泌療法の現状 (口演) J-CaP研究会による実態調査
第19回前立腺シンポジウム (東京), 12月, 2003
- No. 59 赤座 英之:
泌尿器科領域における臨床試験のあるべき姿 (パネルディスカッション)
第91回日本泌尿器科学会総会 (徳島), 4月, 2003
- No. 60 赤倉功一郎, 辻井 博彦, 森田 新六, 辻 比呂志, 柳下 次雄, 井坂 茂夫,
伊藤 晴夫, 赤座 英之, 畠 亮, 藤目 真, 原田 昌興, 島崎 淳:
早期前立腺癌の治療 S7-2-3. 前立腺癌に対する重粒子線 (炭素イオン線) 治療
(シンポジウム)
第91回日本泌尿器科学会総会 (徳島), 4月, 2003
- No. 61 宮永 直人, 塚本 定, 赤座 英之:
前立腺がんのchemoprevention (シンポジウム)
第12回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会 (札幌), 7月, 2003
- No. 62 横溝 晃, 古賀 寛史, 奥村 幸司, 赤座 英之, 塚本 泰司, 平尾 佳彦, 内藤 誠二:
前立腺癌における疾病感受性遺伝子HER2とHPC2の多型解析 (シンポジウム)
第12回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会 (札幌), 7月, 2003
- No. 63 赤座 英之:
前立腺がん内分泌治療のブレークスルーを目指して (モーニングレクチャー)
第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003
- No. 64 宮永 直人, 赤座 英之, 塚本 泰司, 平尾 佳彦, 内藤 誠二, 藤岡 知昭, 森 満,
中地 敬:
ホルモン依存性のがん: 生化学から疫学まで
前立腺がん患者における血中イソフラボン濃度: 特にエコール産生能との相関
(シンポジウム)
第62回日本癌学会総会 (名古屋), 9月, 2003

No . 65 赤座 英之 :

前立腺癌の内分泌療法における課題“Palliative therapyとしての立場からの脱却”
(シンポジウム)

第53回日本泌尿器科学会中部総会(金沢), 11月, 2003

その他

No . 1 赤座 英之 :

男性性機能障害Androgen投与(ART)は前立腺癌の発生・憎悪に結びつくか?
(シンポジウム)

第4回茨城ED研究会(つくば), 2月, 2003

No . 2 赤座 英之 :

膀胱癌とBCG - 感染免疫からの考察 - (特別講演)

第2回KKUC(KAGAWA-KANSAI Urological Conference)(淡路島), 3月, 2003

No . 3 谷 恵三朗, 藤目 真, 赤座 英之, 奥村 康, 垣添 忠生, 浅野 茂隆 :

がんの克服 2. 遺伝子治療の最前線(シンポジウム)

第26回日本医学会総会(福岡), 4月, 2003

No . 4 赤座 英之 :

増えている前立腺癌 - 前立腺癌の診断・治療の最前線 - ホルモン療法の問題点と今後
(シンポジウム)

第26回日本医学会総会(福岡), 4月, 2003

No . 5 宮永 直人 :

今注目の前立腺癌 - 診断から治療まで - (市民公開講座)

第55回日本泌尿器科学会西日本総会(出雲), 11月, 2003

No . 6 Akaza H, Gleave M, Kuban D, Messing E :

Management of Recurrent and High Risk Disease(Panel Discussion)

2nd Asia-Pacific Society of Uro-Oncology Meeting (Hong Kong), Dec. , 2003

No . 7 Akaza H :

Uro-oncology in the Asia Pacific Relation of low prostate cancer incidence in Asia
and soy-bean isoflavones - Case control study in Japan Korea and USA
(Symposium)

2nd Asia-Pacific Society of Uro-Oncology Meeting (Hong Kong), Dec. , 2003

2003年（乳腺・甲状腺・内分泌外科グループ）

原 著

- No. 1 東野英利子, 植野 映, 角田 博子, 森島 勇, 太田代紀子, 金澤 宏 :
茨城県乳房超音波検診従事者講習会の講習効果
日本乳癌検診学会誌 12(1): 108-113, 2003
- No. 2 Yamakawa M., Nitta N., Shiima T., Matsumura T., Tamano S., Mitake T. and Ueno E. :
High-speed Freehand Tissue Elasticity Imaging for Breast Diagnosis
Jpn. J. Appl. Phys. 42(2003)Pt. 1, No.5B: 3265-3270, 2003
- No. 3 大関雄一郎, 原 尚人, 佐藤 茂範, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治, 伊藤 公一, 田淵 崇文 :
バセドウ病術後に発生する筋症状についての臨床的検討
内分泌外科 20(3): 262-266, 2003
- No. 4 矢野 由希子, 八代 享, 菊地 博 :
移植腺摘出に術中超音波検査が有用であった腎性上皮小体機能亢進症の移植腺由来再発例
超音波医学 30(2): 227-232, 2003
- No. 5 Isobe K., Tastsuno I., Yashiro T., Nanmoku T., Takekoshi K., Kawakami Y., Nakai T. :
Expression of mRNA for PACAP and its receptors in intra- and extra-adrenal human pheochromocytomas and their relationship to catecholamine synthesis
Regulatory Peptides 110: 213-217, 2003

総 説

- No. 1 植野 映 :
乳腺における超音波診断の最新テクニック 乳腺における超音波診断技術の変遷
DIGITAL MEDICINE 4(3): 30-32, 2003
- No. 2 植野 映 :
触知する乳房腫瘍の鑑別
日本医事新報 4147: 10-15, 2003
- No. 3 八代 享, 深沢 政勝 :
甲状腺疾患の診断と治療 - 甲状腺腫瘍
Mebio 20: 73-77, 2003
- No. 4 八代 享 :
甲状腺髄様癌（散発性・遺伝性）の周術期管理
内分泌外科 20: 35-358, 2003

著 書

- No. 1 八代 享, 原 尚人 :
・手術合併症とその処置 1) 反回神経・上喉頭神経損傷
内分泌外科標準手術アトラス改訂版（日本内分泌外科学会 編）
インターメルク, 東京, pp.138-144, 2003

No. 2 八代 享：

微小甲状腺癌

よくわかる甲状腺疾患のすべて（伴 良雄 編）

永井書店，東京，pp.394-396，2003

No. 3 植野 映，伊藤 吾子：

超音波診断の新しい流れ

先端医療シリーズ21・癌 乳癌の最新医療（小山博記，霞 富士雄 監修）

先端医療技術研究所，東京，pp.93-98，2003

学会発表

No. 1 梅本 剛，原 尚人，間中 研子，伊藤 吾子，八代 享，植野 映，相吉 悠治：

抗甲状腺剤の内服不能のため術前 thiamazole 静脈内投与にてコントロールしたパセドウ病手術経験例

第19回甲状腺病態生理研究会（東京）1月25日，2003

No. 2 原 尚人，間中 研子，梅本 剛，伊藤 吾子，八代 享，植野 映，相吉 悠治：

甲状腺乳頭癌，パセドウ病に対する内視鏡補助下手術

第19回甲状腺病態生理研究会（東京）1月25日，2003

No. 3 伊藤 吾子，梅本 剛，間中 研子，植野 映，原 尚人，八代 享，相吉 悠治，
東野英利子，管間 博：

当院における10年間の非浸潤癌および微小浸潤癌症例の検討

第202回茨城外科学会（日立），2月22日，2003

No. 4 石川 智義，益子 一樹，石澤 達也，門間 英二，飯田 浩行，五本木武志，
折居 和雄，原 尚人，八代 享：

高カルシウム血症による嘔吐を主訴としたstage -a 乳癌の1手術例

第202回茨城外科学会（日立），2月22日，2003

No. 5 間中 研子，梅本 剛，伊藤 吾子，植野 映，東野英利子，原 尚人，八代 享，
相吉 悠治：

超音波誘導下穿刺吸引細胞診により乳癌の胸骨傍リンパ節転移を診断し得た1症例

第202回茨城外科学会（日立），2月22日，2003

No. 6 永井健太郎，八代 享，間中 研子，梅本 剛，伊藤 吾子，原 尚人，植野 映，
相吉 悠治：

上皮小体一腺腫大の腺腫と診断した家族性上皮小体機能亢進症の一例

第3回茨城内分泌外科研究会（水戸），3月1日，2003

No. 7 石川 智義，益子 一樹，石澤 達也，門間 英二，飯田 浩行，五本木武志，原 尚人，
八代 享，折居 和雄：

PTx外来用および周術期用クリニカルパス導入の試み

第3回茨城内分泌外科研究会（水戸），3月1日，2003

No. 8 大関雄一郎，八代 享，佐藤 茂範，田淵 崇文：

超音波所見にて手術適用を決めた二次性上皮小体機能亢進症の一例

第3回茨城内分泌外科研究会（水戸），3月1日，2003

- No. 9 梅本 剛, 原 尚人, 間中 研子, 伊藤 吾子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治 :
抗甲状腺剤内服不能のための術前thiamazole静脈内投与にてコントロールしたパセドウ病手術経験例
第3回茨城内分泌外科研究会(水戸), 3月1日, 2003
- No. 10 原 尚人, 梅本 剛, 間中 研子, 田中 優子, 伊藤 吾子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治 :
パセドウ病に対する内視鏡補助下甲状腺垂全摘術
第3回茨城内分泌外科研究会(水戸), 3月1日, 2003
- No. 11 植野 映 :
特別講演 - 超音波組織特性の基礎とした乳房超音波診断
第17回千葉超音波カラードブラ研究会(千葉), 3月5日, 2003
- No. 12 植野 映 :
乳房疾患の病理、超音波と対比して
第10回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(京都), 4月5-6日, 2003
- No. 13 原 尚人, 梅本 剛, 間中 研子, 伊藤 吾子, 田中 優子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治, 東野英利子, 伊藤 公一, 小原 孝男 :
超音波画像による上皮小体癌の診断 - DW比について
第10回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(京都), 4月5-6日, 2003
- No. 14 水谷 三浩, 森島 勇, 安田秀光, 渡辺 隆紀, 秋山 太, 植野 映, 遠藤登喜子, 久保田光博, 小西 豊, 佐久間 浩, 島本佳寿広, 角田 博子, 橋本 秀行, 増田 慎三 :
Anatomic and Sonographic Correlation of the Breast
第10回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(京都), 4月5-6日, 2003
- No. 15 田中久美子, 角田 博子, 橋本 秀行, 増田 慎三, 水谷 三浩, 森島 勇, 安田 秀光, 渡辺 隆紀, 植野 映, 遠藤登喜子, 久保田光博, 小西 豊, 島本佳寿広 :
混合性の内部エコーを呈する腫瘍の超音波所見のカテゴリー分類の試み
第10回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(京都), 4月5-6日, 2003
- No. 16 Tsunoda-Shimizu H., Kato Y., Ueno E., Endo T., Shirouzu M., Watanabe R., Hashimoto H., Ogawa Y., Takashima T., Fuzimoto Y., Shirai H., Nagae M., Unuma N., Masuda N., Obane N., Morishima I., Kuziraoka Y., Omoto K., Taniguti N. :
The Usefulness of Depth-Width Ratio in Differentiation of Regular Invasive Ductal Carcinomas from Fibroadenomas
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003
- No. 17 Morishima I., Ueno E., Tohno E., Tsunoda-Shimizu H., Kujiraoka Y., Takasaki M. :
Ultrasonic Diagnosis of Non-mass Image Forming Breast Cancer
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003

- No . 18 Ueno E., Kawauchi A., Endo T., Kato Y., Konishi Y., Kubota M., Mizutani M.,
Taniguchi N., Tohno E., Tsunoda-Shimizu H., Yasuda H. :
Diagnostic Guideline for Mass Image Forming Lesions by Japan Society of
Ultrasonics in Medicine and JABTS-Draft
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003
- No . 19 Endo T., Kubota M., Konishi Y., Shimamoto K., Tanaka K., Tsunoda H., Hashimoto H.,
Masuda N., Mizutani M., Morishima I., Yasuda H., Watanabe T., Ueno E. :
Diagnostic Guidelines for Non Mass Image Forming Lesions by Japan Association
of Breast and Thyroid Sonology (JABTS)and Japan Society of Ultrasonics in
Medicine –Draft-
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003
- No . 20 Tsunoda-Shimizu H., Ueno E., Endo T., Ohnuki K., Okuno Y., Obane N., Kaoku S.,
Kurita T., Kuwashima A., Koyanagi N., Sakuma H., Sawai K., Shin E., Shirouzu M.,
Tsuchiya J., Tohno E., Nagase J., Nakatani S., Hashimoto H., Fujimoto Y., Makino H.,
Masuda N., Morikubo H., Morishima I., Morizono H., Yasuda H., Yuyama Y.,
Yonenaga F., Rai A. :
The Criteria for Re-call of Breast Cancer Screening by Ultrasound
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003
- No . 21 Manaka A., Ueno E., Tsunoda H., Tohno E., Morishima I., Kujiraoka Y., Moon Y. :
Fluid-fluid level in cystic tumors
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April 6-8, 2003
- No . 22 Takahashi H., Kinoshita S., Ma Enbo, Ueno E., Kano K. :
Age-Period-Cohort Analysis of Breast Cancer Mortality in Japan, 1960-1995
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 23 Kinoshita S., Takahashi H., Ma Enbo, Ueno E., Kano K. :
The Feature of Worldwide Mortality from Breast Cancer
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 24 Watanabe T., Ueno E., Endo T., Kubota M., Konishi Y., Sakuma H., Shimamoto K.,
Tsunoda-Shimizu H., Hahimoto H., Masuda N., Mizutani M., Morishima I.,
Yasuda H. :
Shape
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003

- No . 25 Mizutani M., Morishima I., Yasuda H., Watanabe T., Ueno E., Endo T., Kubota M.,
Konishi Y., Sakuma H. Shimamoto K., Tsunoda-Shimizu H., Hahimoto H.,
Masuda N. :
Labeling of Breast Ultrasonographic Images
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 26 Hashimoto H., Masuda S., Mizutani M., Morishima I., Yasuda H., Watanabe T.,
Tanaka K., Ueno E., Endo T., Kubota M., Konishi Y., Sakuma H. Shimamoto K.,
Tsunoda-Shimizu H. :
Posterior echoes
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 27 Kujiraoka Y., Ueno E., Tohno E., Morishima I., Tsunoda-Shimizu H. :
The Incident Angle of Plunging Artery in Breast Tumours
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 28 Manaka A., Ueno E., Morishima I., Tohno E., Tsunoda-Shimizu H. :
Internal Mammary Staging by Ultrasound Guided fine Needle Aspiration cytology
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 29 Itoh A., Ueno E., Tohno E., Tsunoda-Shimizu H., Morishima I., Manaka A.,
Umemoto T., Hara H., Yashiro T., Aiyoshi Y., Kujiraoka Y., Moon Y., Kamma H. :
Comparison between the ultrasound diagnosis and pathological diagnosis of breast
diseases for the last decade
13th International Congress on the Ultrasonic Examination of the Breast
International Breast Ultrasound School(Kyoto)April6-8, 2003
- No . 30 原 尚人, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治 :
甲状腺乳頭癌, バセドウ病に対する内視鏡補助下甲状腺手術
第15回日本内分泌外科学会総会 (京都), 4月11-12日, 2003
- No . 31 梅本 剛, 原 尚人, 間中 研子, 伊藤 吾子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治 :
抗甲状腺剤内服不能のため術前thiamazole静脈内投与にてコントロールしたバセド
ウ病手術経験例
第15回日本内分泌外科学会総会 (京都), 4月11-12日, 2003
- No . 32 磯部 和正, 龍野 一郎, 八代 享, 竹越 一博, 川上 康, 中井 利昭 :
PACAPおよびPACAP受容体の発現とカテコールアミン産生との関連
第76回日本内分泌学会学術総会 (横浜) 4月, 2003
- No . 33 原 尚人, 間中 研子, 梅本 剛, 伊藤 吾子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治 :
バセドウ病に対する内視鏡補助下手術
第5回内視鏡下内分泌手術研究会 (京都), 4月12日, 2003

- No. 34 植野 映：
特別講演 超音波の基礎と臨床
第10回大阪乳腺疾患フォーラム（大阪）4月19日，2003
- No. 35 伊藤 吾子，植野 映，門林 論子，田中 優子，三島 英行，原 尚人，八代 享，
相吉 悠治，管間 博，東野英利子：
扁平上皮化生を示した葉状腫瘍の一例
第29回茨城乳腺疾患研究会（日立），5月31日，2003
- No. 36 田中 優子，植野 映，門林 論子，三島 英行，伊藤 吾子，原 尚人，八代 享，
相吉 悠治：
動注による乳房温存療法を試み5年経過した症例
第29回茨城乳腺疾患研究会（日立），5月31日，2003
- No. 37 矢野由希子，原 尚人，八代 享，相吉 悠治，三輪 正直，内田 和彦：
甲状腺乳頭癌における遺伝子発現プロファイリング
日本外科学会総会（札幌），6月5日，2003
- No. 38 原 尚人，八代 享，植野 映，相吉 悠治：
乳癌脳転移に対する全身化学療法の影響
第11回日本乳癌学会総会（新潟），6月12-13日，2003
- No. 39 植野 映，伊藤 吾子，間中 研子，梅本 剛，原 尚人，八代 享，相吉 悠治：
乳房皮下剥離用メス -Heramess- の開発
第11回日本乳癌学会総会（新潟），6月12-13日，2003
- No. 40 伊藤 吾子，植野 映，東野英利子，森島 勇，梅本 剛，間中 研子，原 尚人，
八代 享，相吉 悠治，管間 博，鯨岡 結賀，文 由美：
当院における10年間の非浸潤癌および微小浸潤癌症例の検討
第11回日本乳癌学会総会（新潟），6月12-13日，2003
- No. 41 原 尚人，八代 享，植野 映，相吉 悠治：
甲状腺乳頭癌に対する内視鏡補助下甲状腺切除，頸部リンパ節D2郭清
第28回日本外科系連合学会学術集会（東京），6月20-21日，2003
- No. 42 三島 英行，八代 享，門林 論子，田中 優子，伊藤 吾子，原 尚人，植野 映，
相吉 悠治：
右非反回下咽頭神経と右胸管を認めた甲状腺乳頭癌の一例
第203回茨城外科学会（つくば），7月5日，2003
- No. 43 植野 映：
特別講演 乳房画像診断の進歩
第4回乳癌最新情報カンファレンス（沖縄）7月21日，2003
- No. 44 植野 映：
特別講演 乳房超音波の基礎と臨床
第106回大阪超音波研究会（大阪）9月24日，2003
- No. 45 矢野由希子，八代 享，相吉 悠治，三輪 正直，内田 和彦：
甲状腺乳頭癌，健常人末梢血循環細胞の遺伝子発現プロファイリングによる遺伝子診
断マーカーの検索
第62回日本癌学会総会（ ），9月25日，2003

- No. 46 有我 直宏, 間中 研子, 田枝 督教, 植木 浜一, 堀口由利子, 植野 映, 東野英利子, 八代 享:
要精検とならなかった症例
第11回茨城乳がん検診研究会(乳がん検診従事者講習会)(つくば), 9月26日, 2003
- No. 47 玉田 崇和, 三島 英行, 田中 優子, 伊藤 吾子, 植野 映, 東野英利子, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治:
要精検の症例
第11回茨城乳がん検診研究会(乳がん検診従事者講習会)(つくば), 9月26日, 2003
- No. 48 石井 美帆, 田中 優子, 三島 英行, 伊藤 吾子, 植野 映, 東野英利子, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治:
要精検の症例
第11回茨城乳がん検診研究会(乳がん検診従事者講習会)(つくば), 9月26日, 2003
- No. 49 伊藤 吾子, 植野 映, 東野英利子, 椎名 毅, 山川 誠, 新田 尚隆, 松村 剛, 玉野 聡, 三竹 毅:
乳腺疾患における Elastography の臨床応用
第11回日本乳腺甲状腺超音波診断会議(宇都宮), 10月11-12日, 2003
- No. 50 三島 英行, 八代 享, 門林 論子, 田中 優子, 伊藤 吾子, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治:
右非反回下咽頭神経と右胸管を合併した甲状腺乳頭癌の一例
第36回甲状腺外科研究会(京都), 10月30-31日, 2003
- No. 51 原 尚人, 間中 研子, 梅本 剛, 伊藤 吾子, 八代 享, 植野 映, 相吉 悠治:
甲状腺乳頭癌に対する内視鏡補助下甲状腺切除+頸部リンパ節D2郭清20例の経験
第41回日本癌治療学会総会(札幌), 10月22-24日, 2003
- No. 52 田中 優子, 八代 享, 三島 英行, 伊藤 吾子, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治, 管間 博:
多発脳転移を来した甲状腺癌の2例
第65回日本臨床外科学会(福岡), 11月, 2003
- No. 53 八代 享, 三島 英行, 田中 優子, 伊藤 吾子, 原 尚人, 植野 映, 相吉 悠治:
原発性上皮小体機能亢進症の術後に一過性甲状腺中毒症をきたした2例
第65回日本臨床外科学会(福岡), 11月, 2003
- No. 54 伊藤 吾子, 植野 映, 東野英利子, 椎名 毅, 山川 誠, 松村 剛, 三竹 毅, 田中 優子, 三島 英行, 大久保浩一, 米山 智, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治, 管間 博:
乳腺疾患における超音波 Elastography の臨床応用
第30回茨城乳腺疾患研究会(水戸), 11月29日, 2003
- No. 55 米山 智, 植野 映, 大久保浩一, 田中 優子, 三島 英行, 伊藤 吾子, 原 尚人, 八代 享, 相吉 悠治, 東野英利子, 管間 博:
石灰化の経過観察中に腫瘤を形成した乳癌の一症例
第30回茨城乳腺疾患研究会(水戸), 11月29日, 2003

No. 56 大久保浩一，植野 映，田中 優子，米山 智，三島 英行，伊藤 吾子，原 尚人，
八代 享，相吉 悠治，東野英利子，管間 博：

男性乳癌の一症例

第30回茨城乳腺疾患研究会（水戸），11月29日，2003

No. 57 植野 映：

頸部超音波診断の基礎と臨床

平成15年度日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会研修会（つくば），12月7日，2003

No. 58 植野 映：

乳房の超音波組織特性

第18回神奈川県乳房画像研究会（横浜），12月13日，2003

その他

No. 1 植野 映：

婦人科領域における超音波画像診断装置を用いた乳房検診について

茨城県産婦人科医会学術講演会（水戸），6月15日，2003

No. 2 植野 映：

超音波用語と診断基準 乳腺甲状腺の超音波診断

日本超音波医学会第3回超音波講習会（姫路），8月30日，2003

No. 3 森島 勇，植野 映：

各種検査法の実践 2. 超音波

再発乳癌治療ガイドブック（安達 勇、高塚雄一）

南江堂，東京，pp.64-68，2002

2003年（形成外科グループ）

原 著

- No. 1 Endo T., Nakayama Y. :
Follow-ups: Nail Transfer: Evolution of the Reconstructive Procedure
Plast Reconstr Surg 111(7) : 2376 , 2003
- No. 2 遠藤 隆志, 中山 凱夫 :
血管吻合を付加した有茎胃・腸管移植による食道再建
手術 57(10) : 1121-1124 , 2003
- No. 3 杉田真太郎, 遠藤 隆志, 富樫 真二, 中山 凱夫, 井口 聖一 :
悪性軟部腫瘍54例の検討 : 病理悪性度分類と臨床病期分類を中心とした検討
日本形成外科学会誌 23(10) : 619-624 , 2003
- No. 4 馬本 直樹, 遠藤 隆志, 中山 凱夫 :
前腕皮弁を用いた巨大口蓋瘻孔閉鎖術
日本マイクロサージャリー学会会誌 16(4) : 389-394 , 2003
- No. 5 Hata J., Shimada M., Uchida A., Itoh M., Nakayama Y., Yatagai T. :
Treatment of nevus using medical tattooing
J Biomed Opt 8(1) : 93-101 , 2003

総 説

- No. 1 中山 凱夫 :
形成外科の治療指針update 皮膚疾患 ボーエン病
形成外科 46(増刊号) : 67-68 , 2003
- No. 2 中山 凱夫 :
形成外科の治療指針update 皮膚疾患 乳房外パジェット病
形成外科 46(増刊号) : 69-70 , 2003

学会発表

- No. 1 足立 孝二, 遠藤 隆志, 杉田真太郎, 馬本 直樹, 中山 凱夫, 清澤 智晴 :
薄筋VY伸展皮弁による外陰部再建
第46回日本形成外科学会総会学術集会（神戸）, 4月9-11日, 2003
- No. 2 杉田真太郎, 遠藤 隆志, 足立 孝二, 馬本 直樹, 中山 凱夫, 富樫 真二,
井口 聖一 :
当科における悪性軟部腫瘍67例の検討
第46回日本形成外科学会総会学術集会（神戸）, 4月9-11日, 2003
- No. 3 富樫 真二, 中山 凱夫, 高梨 昌幸, 芳賀 康史, 中谷 哲, 田中 雅昭 :
慢性肉芽腫症の経験
第203回茨城外科学会（つくば）, 7月5日, 2003
- No. 4 遠藤 隆志 :
トラフェルミンにより完治し得た足部骨髓炎の1例
第33回日本創傷治癒学会（千葉）, 12月9-10日, 2003

その他

No. 1 遠藤 隆志：
褥創対策について

茨城県立中央病院院内講演会（友部），2月3日，2003

No. 2 遠藤 隆志：
褥創の治療戦略

セミナー「療養病棟の明日を考える」（つくば），7月11日，2003

2003年（小児外科グループ）

原 著

- No. 1 土田嘉昭, 上井義, 設楽利二, 金子道夫, 牧本 敦 :
横紋筋肉腫治療へのイリノテカンの導入
小児外科 35(1) : 110-116, 2003
- No. 2 金子道夫, 平井みさ子, 四本克己, 的場公男 :
小児外科からみた横紋筋肉腫の治療
小児外科 35(1) : 28-44, 2003
- No. 3 池袋賢一, 金子道夫, 平井みさ子, 四本克己, 工藤寿美, 的場公男, 渡邊美穂 :
Storz 気管支鏡による気道閉塞法 - C 型食道閉鎖症, 小児分離肺換気への応用 -
日本小児外科学会雑誌, 39(1) : 64-69, 2003
- No. 4 吉田牧子, 藤田昌幸, 橋本公夫, 矢内友子, 金子道夫, 赤坂好宣, 金川公夫, 長嶋達也, 山本一樹, 石黒茂生 :
小児咬筋筋膜内に発生した clear cell sarcoma の1例
診断病理 20(2) : 106-109, 2003
- No. 5 Miho Watanabe, Hiroaki Komuro, Mamoru Niitsu, Kimio Matoba, Yuji Itai, Michio Kaneko :
Aneurysm of the superficial femoral artery in an infant.
Pediatric Radiology, 33 : 278-230, 2003
- No. 6 Natsumi Araya, Keiko Hirota, Yoko Shimamoto, Makoto Miyagishi, Eisaku Yoshida, Junji Ishida, Setsuko Kaneko, Michio Kaneko, Toshihiro Nakajima, Akiyoshi Fukamizu.
Cooperative interaction of EWS with CBP selectively activates HNF4-mediated transcription
J Biol Chem 278(7) : 5427-5432, 2003
- No. 7 Minoru Kuroiwa, Toshiyuki Takeuchi, Jung Hee Lee, Joji Yoshizawa, Michio Kaneko, Setsuko Kaneko, Seung Hoon Choi, Norio Suzuki, Hitoshi Ikeda, Yoshiaki Tsuchida
Continuous versus intermittent administration of human endostatin against xenografted human neuroblastoma.
J Pediatr Surg 38(10) : 1499-1505, 2003
- No. 8 Katsumi Yotsumoto Yasushi Okoshi, Kazuko Shibuya, Satoshi Yamazaki, Satoko Tahara-Hanaoka, Shin-ichiro Honda, Mitsujiro Osawa, Asato Kuroiwa, Yoichi Matsuda, Daniel T Tenen, Atsuchi Iwama, Hiromitsu Nakauchi, Akira Shibuya :
Paired activation and inhibitory immunoglobulin-like receptors, MAIR-I and MAIR-II, regulate mast cell and macrophage activation.
J Exp Med 198(2) : 223-233, 2003

- No . 9 Naoko Yoshino, Tetsuko Kojima, Satoru Asami, Shigeyasu Motohashi,
Yoshikazu Yoshida, Motoaki Chin, Hiroyuki Shichino, Yukihiro Yoshida,
Norimichi Nemoto, Michio Kaneko, Hideo Mugishima and Takashi Suzuki :
Diagnostic significance and clinical applications of chimeric genes in Ewing's
sarcoma.
Biol Pharm Bull 26(5) : 585-588 , 2003
- No . 10 Hiroaki Komuro, Miho Watanabe, Kimio Matoba, Michio Kaneko :
Gastroschisis with omphalomesenteric artery remnant, colonic atresia and
arthrogryposis multiplex congenita.
Eur J Pediatr Surg 13 : 334-336 , 2003
- No . 11 Yuka Nakanishi, Guoping Chen, Hiroaki Komuro, Takashi Ushida, Setsuko Kaneko,
Tetsuya Tateishi, Michio Kaneko :
Tissue-engineered urinary bladder wall using PLGA-collagen hybrid scaffold: A
comparison study of collagen sponge and gel as a scaffold.
J Pediatr Surg 38 : 1781-1784, 2003
- No . 12 福島 敬, 藤原暢子, 中嶋玲子, 荷見博樹, 宮崎賢司, 的場公男, 平井みさ子,
岩川眞由美, 須磨崎亮, 松井 陽, 金子道夫 :
進行神経芽腫幼児例における DNA/RNA 迅速診断の有用性と白金製剤を含まない多
剤併用療法の有用性について
小児がん 40(4) : 578-581 , 2003
- No . 13 中尾朋平, 福島 敬, 岩崎陽子, 石沢美佳, 的場公男, 岩川眞由美, 松井 陽, 金子道夫 :
上咽頭癌の2小児例
小児がん 40(4) : 600-606 , 2003
- No . 14 Seiichiro Inoue, Kazunori Tahara, Yasunaru Sakuma, Testuo Hori, Hiroo Uchida,
Yoji Hakamada, Takashi Murakami, Masafumi Takahashi, Hideo Kawarasaki,
Kohei Hashizume, Michio Kaneko and Eiji Kobayashi:
Impact of graft length on surgical damage after intestinal transplantation in rats.
Transplantation Immunology 11 : 207-214, 2003
- No . 15 Seiichiro Inoue ,Kazunori Tahara, Hisashi Shimizu, Hiroyuki Yoshino, Chihiro Suzuki,
Takashi Kaneko, Yoji Hakamata, Masafumi Takahashi, Takashi Murakami,
Michio Kaneko, Eiji Kobayashi :
Rat liver transplantation for total vascular reconstruction, using a suture method.
Microsurgery 23 : 1-6 , 2003
- No . 16 四本克己, 渋谷 彰. :
Myeloid associated Ig-like receptor(MAIR-I, MAIR-II)とマスト細胞, マクロファ
ージの機能.
臨床免疫 41(2) : 229-234 , 2004

総 説

No. 1 小室広昭, 金子道夫:

小児消化器外科, Annual Review2003 消化器 戸田剛一郎, 税所宏光, 寺野 彰,
幕内雅敏編

中外医学社: 195-200, 2003

No. 2 大越 靖, 四本 克己, 渋谷 彰:

MAIRファミリー分子と正と負の自然免疫制御. Annual Review免疫2004

中外医学社: 2003; 93-102.

著 書

No. 1 金子道夫:

神経芽腫, 月本一郎編 小児血液・腫瘍疾患治療プロトコール集

医薬ジャーナル社(大阪): 246-259, 2003

No. 2 堀 哲夫:

「通りゃんせ, 通りゃんせ, ここはどこ細道じゃ? - 子供の通過障害 -」

「小児疾患のとらえかた-目で見るベッドサイドの病態生理」編集: 別所文夫,
水谷修紀, 松井陽, 榊原洋一

文光堂: 208-230, 2003

学 会

No. 1 的場公男, 平井みさ子, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 金子道夫:

多発肝転移と肝膿瘍の鑑別が困難であった巨大肝芽腫肺転移の1例

日本小児肝癌スタディグループ(JPLT)研究会2003(東京)2003.1.17

No. 2 富澤 稔, 檜山英三, 松永正訓, 林 富, 安藤久實, 水田祥代, 堀江 弘, 金子道夫,
佐々木文章, 橋都浩平, 大沼直躬, 中川原章:

肝芽腫における転写因子CCAAT enhancer binding protein(C/EBP) alpha とC/EBP
beta の解析 - 診断および予後因子としての有用性について -

日本小児肝癌スタディグループ(JPLT)研究会2003(東京)2003.1.17

No. 3 檜山英三, 山岡裕明, 横山 隆, 松永正訓, 林 富, 安藤久實, 水田祥代, 堀江 弘,
金子道夫, 佐々木文章, 橋都浩平, 中川原章, 大沼直躬:

肝芽腫における転写因子cDNA マイクロアレイ解析

日本小児肝癌スタディグループ(JPLT)研究会2003(東京)2003.1.17

No. 4 堀 哲夫, 金子道夫, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 的場公男, 相野谷慶子, 松井陽,
橋倉泰彦:

肝細胞癌を合併した胆道閉鎖症に対する生体肝移植手術

第2回東日本肝移植周術期研究会(東京)2003.1.25

No. 5 金子道夫:

進行神経芽腫のグループスタディの現状

第9回西日本小児がんセミナー(京都)2003.2.15

- No. 6 山口龍志郎, 平井みさ子, 金子道夫, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男,
相野谷慶子, 小林尚寛, 明石義正, 加藤秀之:
骨盤内腫瘍により尿路破裂をきたした横紋筋肉腫の1例
第202回茨城外科学会 (日立) 2003.2.22
- No. 7 加藤秀之, 小室広昭, 雨海照祥, 堀哲夫, 平井みさ子, 的場公男, 相野谷慶子, 金子道夫:
生直後より経口困難で成長障害を来した1例
第73回日本小児科学会茨城地方会 (土浦) 2003.2.23
- No. 8 山口龍志郎, 平井みさ子, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男,
相野谷慶子, 金子道夫:
尿路破裂をきたし診断された骨盤部横紋筋肉腫の一女兒例
2002年関東甲信越小児がん登録研究会 (東京) 2003.3.8
- No. 9 平井みさ子, 金子道夫, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 的場公男, 相野谷慶子, 福島 敬:
経過中多発肝膿瘍を併発した巨大肝芽腫肺転移の一男児例
2002年関東甲信越小児がん登録研究会 (東京) 2003.3.8
- No. 10 中西由佳, 陳国平, 小室広昭, 牛田多加志, 金子道夫, 立石哲也:
PLGA-collagen hybrid scaffold を用いた生体外における膀胱組織再生
第2回日本再生医療学会 (神戸) 2003.3.12
- No. 11 堀 哲夫, 金子道夫, 高田泰次, 遠藤隆志, 池袋賢一, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子,
四本克己, 井上成一郎, 的場公男, 渡辺美穂, 相野谷慶子, 湯沢賢治, 久倉勝治,
中山凱夫, 大河内信弘, 河原崎秀雄:
生体肝移植術後に多量の右胸水を認めた1小児例。
第2回北関東移植研究会 (東京) 2003.3.29
- No. 12 金子道夫:
進行神経芽腫の治療
日本医学会総会 2003.4.(福岡)
- No. 13 Hiroaki Komuro, Yuka Nakanishi, Guoping Chen, Takashi Ushida, Setsuko Kaneko,
Tetsuya Tateishi, Michio Kaneko:
Ex vivo construction of tissue-engineered urinary bladder wall using
PLGA-collagen hybrid scaffold.
The 36th Annual Meeting of Pacific Association of Pediatric Surgeons (Sydney) 2003.5.15
- No. 14 金子道夫 (日本進行神経芽腫スタディグループ):
85/91年プロトコールによる進行神経芽腫の治療の解析 - 非腫瘍死の検討 -
第40回日本小児外科学会総会 (京都) 2003.5.28-30
- No. 15 堀 哲夫, Cassini P, Giuffra E, Andersson L, 大川治夫:
自然発症鎖肛ブタ家系を用いた鎖肛における疾患関連遺伝子の解析
第40回日本小児外科学会総会 (京都) 2003.5.28-30
- No. 16 小室広昭, 中西由佳, 陳国平, 牛田多加志, 立石哲也, 金子道夫:
PLGA-collagen hybrid scaffold を用いた対外での膀胱壁再構築
第40回日本小児外科学会総会 (京都) 2003.5.28-30

- No. 17 雨海照祥, 平井みさ子, 小室広昭, 金子道夫:
吸収性GIAによる膀胱再建拡大術(Goodwin法)の特徴
第40回日本小児外科学会総会(京都) 2003.5.28-30
- No. 18 平井みさ子, 雨海照祥, 濱田洋美, 堀 哲夫, 小室広昭, 金子道夫:
当科における先天性横隔膜ヘルニアの出生前診断と治療方針及び治療成績の推移
第40回日本小児外科学会総会(京都) 2003.5.28-30
- No. 19 金子道夫, 雨海照祥, 堀 哲夫, 池袋賢一, 大川治夫, 越智五平:
治療に難渋した食道閉鎖症に全胃吊り上げを施行し治癒させた2例
第40回日本小児外科学会総会(京都) 2003.5.28-30
- No. 20 四本克己, 池袋賢一, 金子道夫, 堀 哲夫, 小室広昭, 平井みさ子, 五藤 周:
障害児の気道管理
第92回 東京小児外科研究会(東京) 2003.6.17
- No. 21 黒岩 実, 鈴木則夫, 土田嘉昭, 金子道夫, 吉沢稷治, 竹内利行, Lee Jung Hee,
平戸純子:
ヒト神経芽腫移植株におけるエンドスタチンの持続投与による抗腫瘍効果: 増殖抑制率と免疫組織学的所見から見た連続間歇投与法との比較
第103回日本外科学会(札幌) 2003.6.
- No. 22 田中丈夫, 家原知子, 細井 創, 杉本 徹, 水田祥代, 澤田 淳, 金子道夫, 土田嘉昭:
マスキング発見腫瘍200例の生物学的評価 - マス例は退縮する腫瘍か? -
第106回日本小児科学会学術集会(福岡) 2003.4.
No. 23
No. 24
- No. 23 平井みさ子, 金子道夫, 大原 潔, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 岩川真由美,
大川治夫:
パネルディスカッション 小児悪性固形腫瘍における術中照射法の検討~15年間の治療経験から
第103回日本外科学会定期学術集会(札幌) 2003.6.4-6
- No. 24 小室広昭, 中西由佳, 陳国平, 牛田多加志, 立石哲也, 金子道夫:
PLGA-collagen hybrid scaffold をもちいた膀胱壁の再構築
第6回日本組織工学会(東京) 2003.6.12
- No. 25 Hajime Hosoi, Satoshi Teramukai, Yoshihumi Matsumoto, Kunihiko Tsuchiya,
Tomoko Iehara, Jun'ichi Hata, Yasunori Toyoda, Masaaki Kumagai,
Yasuhide Morikawa, Yutaka Hayashi, Tohru Sugimoto, Michio Kaneko, Tadaaki Kato,
Tadashi Sawada, Yoshiaki Tsuchida:
Background and project for rhabdomyosarcoma study in Japan
Children's Oncology Group Meeting 2003, Chicago(USA), 2003.7.1-3
- No. 26 小室広昭, 金子道夫:
PLGA-collagen hybrid scaffoldをもちいた膀胱壁の再構築
第12回日本小児泌尿器学会(神戸) 2003.7.3

- No. 27 小室広昭, 堀 哲夫, 平井みさ子, 金子道夫, 濱田洋美 :
胎児MRIにて診断された横隔膜挙上症の1例
第39回日本新生児学会 (郡山) 2003.7.14-15
- No. 28 五藤 周, 小室広昭, 堀 哲夫, 四本克己, 平井みさ子, 雨海照祥, 金子道夫 :
新生児先天性胆道拡張症のPTCD後に生じた胆汁性腹水の1例
第12回北関東外科感染症研究会 (東京) 2003.7.12
- No. 29 Natsumi Araya, Michio Kaneko, Setsuko Kaneko, Mitsuhiro Tada,
and Akiyoshi Fukamizu
Regulation of p53-mediated transcription through the transcriptional co-activator
EWS
International Symposium on Transcription Factors 2003.8 (Nagano)
- No. 30 五藤 周, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 四本克己, 堀 哲夫, 金子道夫, 毛利 健,
監物久夫, 大川治夫 :
重複後腸を伴った総排泄腔外反症の1例
第38回日本小児外科学会関東甲信越地方会 (千葉) 2003.10.25
- No. 31 瓜田泰久, 平井みさ子, 堀 哲夫, 雨海照祥, 小室広昭, 四本克己, 五藤 周, 川上 肇,
濱田洋美, 金子道夫 :
胎児超音波検査で下部消化管拡張像を認めた直腸尿道瘻の1例
第38回日本小児外科学会関東甲信越地方会 (千葉) 2003.10.25
- No. 32 川上 肇, 小室広昭, 雨海照祥, 平井みさ子, 四本克己, 瓜田泰久, 五藤 周, 西村洋子,
大原佑介, 片山裕子, 堀 哲夫, 金子道夫 :
Hirschsprung 病術後難治性直腸腔瘻を根治し得た1症例
第204回茨城外科学会 (水戸) 2003.10.26
- No. 33 四本克己, 池袋賢一, 金子道夫, 堀 哲夫, 平井みさ子 :
当科における先天性食道閉鎖症治療のスタンダード-Fogartyカテーテルを用いた術
中TEF閉塞による食道閉鎖症手術-
第19回小児外科学会秋季シンポジウム (淡路島) 2003.11.22
- No. 34 堀 哲夫, 大河内信弘, 金子道夫, 雨海照祥, 小室広昭, 平井みさ子, 四本克己,
的場公男, 五藤 周, 福永 潔 :
乳児生体部分肝移植手術における過大グラフトに対する閉腹時の工夫
第23回日本小児手術手技・小児内視鏡手術研究会 (淡路島) 2003.11.20-21
- No. 35 加藤愛章, 福島 敬, 松永真紀, 清水崇史, 宮田大揮, 菊地 斉, 斉藤貴志, 中尾朋平,
大戸達之, 須磨崎亮, 高野晋吾, 菅原信二, 金子道夫, 松井 陽 :
積極的に集学的治療を施行した atypical teratoid/rhabdoid tumor の1乳児例
第19回日本小児がん学会 (東京) 2003.11.27-28
- No. 36 田中丈夫, 家原知子, 細井 創, 杉本 徹, 澤田 淳, 浜崎 豊, 土田嘉昭, 金子道夫 :
期神経芽腫の治療強度層別の必要性 - 生物学的多様性の評価から -
第19回日本小児がん学会 (東京) 2003.11.27-28

- No. 37 金子道夫：
進行神経芽腫初期治療レジメン 91A3/98A3 の副作用調査報告 - 進行神経芽腫スタディグループより -
第19回日本小児がん学会（東京）2003.11.27-28
- No. 38 平井みさ子，雨海照祥，福島 敬，大原 潔，堀 哲夫，小室広昭，清水崇史，的場公男，
五藤 周，中尾朋平，山口龍志郎，金子道夫：
尿管破裂を来し診断された骨盤部原発胞巣型横紋筋肉腫多発肺転移の10歳女児例
第19回日本小児がん学会（東京）2003.11.27-28
- No. 39 平井みさ子，金子道夫，福島 敬，堀 哲夫，雨海照祥，小室広昭，的場公男，
相野谷慶子：
経過中多発肝膿瘍を併発した巨大肝芽腫多発肺転移の一男児例
第19回日本小児がん学会（東京）2003.11.27-28
- No. 40 金子道夫，平井みさ子，岩川真由美，大川治夫：
進行神経芽腫における手術療法の役割
第19回日本小児がん学会（東京）2003.11.27-28
- No. 41 榎本有希，斉藤誠，雪竹義也，杉浦正俊，松井 陽，平井みさ子，堀 哲夫，藤木豊，
宗田聡，濱田洋美，吉川裕之：
無顎症の2例
第75回日本小児科学会茨城地方会
- No. 42 四本 克己，大越 靖，渋谷 和子，山崎 聡，田原 聡子，本多伸一郎，岩間 厚志，
中内啓光，渋谷 彰：
新規Paired Ig-like ReceptorであるMAIR-I，MAIR-IIの解析.
第33回日本免疫学会総会（福岡）2003.12
- No. 43 大越 靖，四本 克己，中橋 ちぐさ，山崎 聡，渋谷 和子，渋谷 彰：
抑制性レセプターMAIR-Iのシグナル伝達機構の解析.
第33回日本免疫学会総会（福岡）2003.12
- No. 44 Akira Shibuya, Katsumi Yotsumoto, Yasushi Okoshi, Chigusa Nakahashi,
Kazuko Shibuya：
Regulation of Myeloid Cell Activation by Novel Paired Activating and Inhibitory
Immunoglobulin-Like Receptors, MAIR-I and MAIR-II.
第33回日本免疫学会総会(シンポジウム；Pattern recognition in innate immunity)
福岡 2003.12
- No. 45 小室広昭，的場公男：
病的な吞気症を伴う胃軸捻症に対する腹腔鏡下胃固定術
第16回日本内視鏡外科学会（岡山） 2003.12.5
- No. 46 瓜田泰久，雨海照祥，平井みさ子，小室広昭，堀 哲夫，金子道夫：
右多嚢胞性異形成腎，左VUR（IV°）の術中，左中部尿管狭窄の合併を発見した1
例
第93回東京小児外科研究会（東京）2003.12.9

講演等

No. 1 金子道夫：

グループスタディ運営の実際と実績報告；進行神経芽腫

小児がん京都会議（京都）2003.8.9

2003年（整形外科グループ）

原 著

- No. 1 李 小由, 石井 朝夫, 赤荻 博, 野沢 大輔, 池田耕太郎, 落合 直之:
延長仮骨形成不良症例の病理組織学的検討
日本創外固定・骨延長学会雑誌 14: 43-46, 2003
- No. 2 落合 直之:
肘関節機能評価, 肘周囲の神経障害
日本肘関節研究会雑誌 10(1): 25-26, 2003
- No. 3 宮内 幸男, 西浦 康正, 落合 直之:
橈骨頭脱臼を伴った先天性尺骨偽関節症の1例
日本肘関節研究会雑誌 10(1): 99-100, 2003
- No. 4 阿部 亮子, 西浦 康正, 村松 俊樹, 落合 直之:
イリザロフ創外固定器で治療した顆上部骨欠損を伴う上腕骨顆部開放骨折の1例
日本肘関節研究会雑誌 10(1): 137-138, 2003
- No. 5 田中 利一, 吉岡 大, 上野 映子, 西浦 康正, 落合 直之:
手関節三角線維軟骨複合体 (TFCC) 障害に対するMRIマイクロスコープコイルの使用経験
日本手の外科学会誌 20(4): 411-415, 2003
- No. 6 市村 晴充, 安部伊知朗, 原 友紀, 辻野 昭人, 落合 直之:
末梢神経緩徐伸長時のナトリウムチャンネルの動態
日本手の外科学会誌 20(5): 471-474, 2003
- No. 7 萩原 哲, 上牧 裕, 佐々木 了, 埜口 博司, 石井 朝夫, 落合 直之:
肘関節内に発生した腱鞘巨細胞腫の1例
整形・災害外科 46: 161-165, 2003
- No. 8 石井 朝夫, 宮川 俊平, 埜口 博司, 下條 仁士, 落合 直之:
機能的装具による保存療法, 足関節捻挫の治療法—保存療法vs観血療法
整形・災害外科 46(4): 293-302, 2003
- No. 9 福田 恵子, 西浦 康正, 鈴木 聖一, 落合 直之:
肘部上腕動脈穿刺による心臓カテーテル検査後に発症した高位正中神経麻痺の1例
末梢神経 14(1): 66-71, 2003
- No. 10 上杉 雅文, 金岡 恒治, 坂根 正孝, 村松 俊樹, 落合 直之:
腰椎破裂骨折に対するイリザロフ式創外固定器の使用経験
脊椎・脊髄神経手術手技 5(1): 107-112, 2003
- No. 11 作田 直記, 落合 直之, 佐々木誠一:
肋間神経移行後上腕二頭筋に現れた負荷補償反射
日手会誌 20(3): 225-229, 2003
- No. 12 和田 大志, 池田耕太郎, 石井 朝夫, 落合 直之:
骨化を伴った後腹膜変性型神経鞘腫の1例
関東整災誌 34(4): 247-250, 2003

- No . 13 清水 顕, 石井 朝夫, 馬見塚尚孝, 和田 大志, 船山 徹, 落合 直之 :
 感染性偽関節による広範囲骨欠損に対するbone-transport法
 日本骨・関節感染症研究会雑誌 17 : 19-23 , 2003
- No . 14 H.Kawamura , A.Ito, T.Muramatsu, S.Miyakawa, N.Ochiai, T.Tateishi :
 Long-term implantation of zinc-releasing calcium phosphate ceramics in rabbit femora.
 J Biomed Mater Res 65A : 468-474 , 2003
- No . 15 Yoshihisa Yatabe, Shumpei Miyakawa, Teruo Miyazaki, Yasushi Matsuzaki,
 Naoyuki Ochiai :
 Effects of Taurine administration in rat skeletal muscles on exercise.
 J Orthop Sci 8 : 415-419 , 2003
- No . 16 Ichiro Abe, Akihito Tsujino, Yuki Hara and Naoyuki Ochiai :
 Effect of the rate of prestretching a peripheral nerve on regeneration potential after transection and repair.
 J Orthop Sci 8 : 693-699 , 2003
- No . 17 Shigeru Hioki, Toru Fukubayashi, Kotaro Ikeda, Mamoru Niitsu, Naoyuki Ochiai :
 Effect of harvesting the hamstrings tendon for anterior cruciate ligament reconstruction on the morphology and movement of the hamstrings muscle: a novel MRI technique.
 Knee Surg Sports Traumatol arthrosc 11 : 223-227 , 2003
- No . 18 Yuki Hara, Takashi Shiga, Ichiro Abe, Akihito Tsujino, Harumitsu Ichimura,
 Nobuo Okado, Naoyuki Ochiai :
 P0 mRNA expression increases during gradual nerve elongation.
 Experimental Neurology 84 : 428-435 , 2003
- No . 19 Kamoda T, Matsui A, Ochiai N :
 Osteofibrous dysplasia in a Japanese boy with Costello syndrome.
 Clin Dysmorphol 12(3) : 211-212 , 2003
- No . 20 Yamaguchi I, Itoh S, Suzuki M, Sakane M, Osaka A, Tanaka J :
 The chitosan prepared from crab tendon I: the characterization and the mechanical properties.
 Biomaterials 24(12) : 2031-6 , 2003
- No . 21 I Yamaguchi, T. Kogure, M.Sakane, S. Tanaka, A.Osaka, J.Tanaka :
 Microstructure analysis of calcium phosphate formed in tendon. :
 Journal of Materials Science: Materials in Medicine 14 : 883-889 , 2003
- No . 22 Mamoru Niitsu, Kotaro Ikeda. :
 Routine MR examination of the knee using parallel imaging.
 Clinical Radiology 58 : 801-807 , 2003

- No . 23 Mamoru Niitsu, Kotaro Ikeda, Yuji Itai :
Reversed double PCL sign : unusual location of a meniscal fragment of the knee
observed by MR imaging.
Eur Radiol 13 : 181-184 , 2003
- No . 24 Ono K, Kaneoka K, Hattori S, Ujihashi S, Takhoumts EG, Haffner M, Eppinger R :
Cervical vertebral motions and biomechanical responses to direct loading of
human head.
Traffic Injury Prevention 4(2) : 141-152 , 2003
- No . 25 Koshiro Ono, Koji Kaneoka, Makoto Fukushima, Hayata Uwai, Sadayuki Ujihashi :
BIOMECHANICAL RESPONSE OF THE HEAD, NECK AND TORSO TO
DIRECT IMPACT ON THE BACK OF MALE AND FEMALE VOLUNTEERS.
Proceedings of IRCOB Conference 79-91 , 2003
- 総 説
- No . 1 鳥巢 岳彦, 落合 直之 :
ゴールドスタンダード整形外科 薬物療法と運動・理学療法
南江堂 , 2003
- No . 2 金岡 恒治, 落合 直之 :
化膿性関節炎 : ゴールドスタンダード整形外科 薬物療法と運動・理学療法
鳥巢 岳彦, 落合 直之編集
南江堂 416-418 , 2003
- No . 3 落合直之 :
神経疾患 : ゴールドスタンダード整形外科 診察・検査・画像診断
長野昭, 岩本幸英編集
南江堂 7-21 , 2003
- No . 4 落合 直之, 長野 昭 :
電気生理学的検査
整形外科クルズス 改訂第4版 中村耕三監修 南江堂 149-155 , 2003
- No . 5 田尻 康人, 落合 直之 :
神経
整形外科クルズス 改訂第4版 中村耕三監修 南江堂 66-70 , 2003
- No . 6 会田 育夫, 落合 直之 :
椎間板ヘルニア : 痛み 花岡一雄編集 B
朝倉書店 197-200 , 2003
- No . 7 安部伊知朗, 原 友紀, 市村 晴充, 落合 直之 :
末梢神経の緩徐伸長に対する適応
末梢神経 14(2) : 163-165 , 2003
- No . 8 雨海 照祥, 石井 朝夫 :
総排泄腔外反症の手術法, 骨盤手術の最新手技 腫瘍, 外傷, 股関節症など
新OS NOW 19 : 206-216 , 2003

- No. 9 池田耕太郎：
スノーボードによるスポーツ外傷
日医雑誌 130(3)：437，2003
- No. 10 池田耕太郎：
ゴールドスタンダード整形外科 薬物療法と運動・理学療法：手術前後の対策．抗菌薬の投与
南江堂，東京，pp.61-64，2003
- No. 11 福島 真，金岡 恒治，武藤 芳照：
本邦における脊椎脊髄損傷の疫学
脊椎脊髄ジャーナル 16(4)：266-270，2003
- No. 12 金岡 恒治：
疲労骨折の診断と治療 部位別の診断と治療 腰椎分離症
臨床スポーツ医学 20巻臨増：113-119，2003
- No. 13 金岡 恒治：
交通事故 交通外傷各論 交通事故と頸部傷害
救急医学 27(7)：824-828，2003
- No. 14 金岡 恒治，小野古志郎：
脊椎脊髄損傷 診断・治療・リハビリテーションの最前線 損傷脊椎・脊髄に対する治療 頸椎捻挫の発生機序と治療法
脊椎脊髄ジャーナル 16(4)：390-394，2003
- No. 15 金岡 恒治：
水中運動の効果と臨床への応用【水中運動の臨床応用 整形外科的運動療法】
臨床スポーツ医学 20(3)：297-301，2003
- No. 16 三島 初，吉岡 大，田中 利和，植野 照子，鯨岡 結賀：
Microscopy coilを利用したMRI - その臨床応用
整形・災害外科 46(4)：351-355，2003

著 書

- No. 1 石井 朝夫：
距骨下関節不安定症，新版スポーツ外傷・障害の理学診断理学療法ガイド
文光堂，東京，pp.376-383，2003

学会発表

- No. 1 Fukushima M, Kaneoka K, Ono K, Sakane M, Hattori S, Ujihashi S, Ochiai N：
Motion analysis of the cervical spine during cervical impact
Oral presentation at the 49th Orthopaedic Research Society. (New Orleans)，
2月，2003

- No . 2 Chen GP, Sato T, Ushida T, Sakane M, Ochiai N, Tateishi T :
Tissue engineering of canine anterior cruciate ligament by using a PLGA-collagen hybrid mesh.
Poster presentation at the 49th Orthopaedic Research Society.
(New Orleans) , 2月 , 2003
- No . 3 Sakane M, Sato T, Mutsuzaki H, Yamaguchi I, Zeminski J, Miyanaga Y, Nakajima H, Tanaka J, Ochiai N :
The Calcium Phosphite HYBRIDIZATION Method Results in Regeneration Of a Direct Insertion at the Tendon-Bone Tunnel Interface.
Oral presentation at the 3rd International Symposium on Ligament and Tendon.
(New Orleans) , 2月 , 2003
- No . 4 鎌田 浩史, 田中 利和, 三島 初, 清水 顕, 小川 健, 落合 直之 :
変形性遠位橈尺関節障害による指伸筋腱皮下断裂
第17回東日本手の外科研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 5 福田 恵子, 西浦 康正, 鈴木 聖一, 落合 直之 :
肘部上腕動脈穿刺による血管造影検査後に発症した正中神経麻痺の1例
第17回東日本手の外科研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 6 西浦 康正, 落合 直之, 新津 守 :
MR myelographyによる腕神経叢損傷の診断
第17回東日本手の外科研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 7 阿部 亮子, 西浦 康正, 六崎 裕高, 落合 直之, 村松 俊樹 :
イリザロフ創外固定器で治療した顎上部骨欠損を伴う上腕骨顎部開放骨折の1例
第15回日本肘関節研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 8 宮内 幸男, 西浦 康正, 落合 直之 :
橈骨頭脱臼を伴った先天性尺骨偽関節症の1例
第15回日本肘関節研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 9 落合 直之 :
肘関節機能評価ー肘周囲の神経障害、シンポジウム
第15回日本肘関節研究会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 10 後藤 如代, 田中 利和, 清水 顕, 三島 初, 落合 直之 :
関節リウマチにともなうInsufficiency Fractureの5例
618回関東整形災害外科学会整形外科集談会 (東京) , 2月 , 2003
- No . 11 Mutsuzaki H, Sakane M, Watanabe Y, Ikeda K, Ochiai N, Miyanaga Y, Savio L-Y Woo, Tanaka J :
Development of an Intra-operative Automatic Apparatus for Calcium Phosphate Coating in the Human Anterior Cruciate Ligament Graft
International Society of Arthroscopy, Knee Surgery, and Orthopaedic Sports Medicine (ISAKOS) (New Zealand) , 3月 , 2003

- No . 12 Yuichi Yoshii, Yasuhiko Watanabe, Kotaro Ikeda, Naoyuki Ochiai :
1.0 Tesla magnetic resonance imaging accuracy correlated with clinical symptoms
and arthroscopic findings.
International Society of Arthroscopy, Knee Surgery, and Orthopaedic Sports Medicine
(ISAKOS) (New Zealand) , 3月 , 2003
- No . 13 Kanamori A , Fukubayashi T , Ochiai N :
Effect of Axial Rotation of the Tibia on Activation of the Extensor Mechanism
-Implication for Non-contact ACL injury -
International Society of Arthroscopy, Knee Surgery, and Orthopaedic Sports Medicine
(ISAKOS) (New Zealand) , 3月 , 2003
- No . 14 Takashi Sato, Guoping Chen, Takashi Ushida, Tomoo Ishii, Naoyuki Ochiai,
Tetsuya Tateishi :
Tissue Engineered Cartilage by in vivo Culturing of Chondrocytes in a PLLA-
Collagen Hybrid Sponge
International Society of Arthroscopy, Knee Surgery, and Orthopaedic Sports Medicine
(ISAKOS) (New Zealand) , 3月 , 2003
- No . 15 味八木 茂, 赤荻 博, 牛田 多加志, 秋本 崇之, 坂根 正孝, 田中 順三, 宮永 豊,
落合 直之, 立石哲也 :
断裂前十字靱帯由来細胞群の骨芽細胞様細胞、軟骨細胞および脂肪細胞の分化
第2回日本再生医療学会総会 (神戸) , 3月 , 2003
- No . 16 佐藤 卓, 陳 国平, 牛田多加志, 石井 朝夫, 立石 哲也, 落合 直之 :
ポリL-乳酸とコラーゲンの複合基盤材料を用いた軟骨組織再生
第2回日本再生医療学会総会 (神戸) , 3月 , 2003
- No . 17 野内 隆治, 石井 朝夫, 常 非, 落合 直之 :
創外固定法による家兎広範囲軟骨欠損モデルの軟骨修復
第2回日本再生医療学会総会 (神戸) , 3月 , 2003
- No . 18 石井 朝夫, 野沢 大輔, 後藤 如代, 天野 国明, 早川 直毅, 落合 直之 :
DynaFix rail deformity systemによる大腿骨延長の経験
第16回日本創外固定・骨延長学会 (甲府) , 4月 , 2003
- No . 19 相野谷武士, 坂根 正孝, 宮川 俊平, 金岡 恒治, 石井 朝夫, 落合 直之 :
変形性股関節症が腰椎側彎に及ぼす影響－腰椎変性側彎症の成因に関する検討
第32回日本脊椎脊髄病学会 (福岡) , 4月 , 2003
- No . 20 金岡 恒治, 小野古志郎, 福島 真, 服部伸一郎, 坂根 正孝, 宇治橋 貞幸,
落合 直之 :
頭部直接衝撃時の頸椎拳動解析 - 非衝撃部位の違いによる拳動の差について -
第32回日本脊椎脊髄病学会 (福岡) , 4月 , 2003
- No . 21 馬見塚尚孝, 平林 宏之, 坂根 正孝, 金岡 恒治, 中島 宏, 落合 直之 :
脊椎・脊髄長不適合症候群：頸椎伸展型の提唱
第32回日本脊椎脊髄病学会 (福岡) , 4月 , 2003

- No. 22 西浦 康正, 宮内 幸男, 落合 直之:
小児前腕骨変形に対して緩徐骨延長後一期的矯正法を行った2例
第16回日本創外固定・骨延長学会(山梨), 4月, 2003
- No. 23 田中 利和, 鯨岡 結賀, 吉岡 大, 西浦 康正, 落合 直之:
手関節三角線維軟骨複合体(TFCC)障害に対するMRIマイクロスコープコイルの使用
経験
第46回日本手の外科学会(名古屋), 4月, 2003
- No. 24 市村 晴充, 安部伊知朗, 原 友紀, 辻野 昭人, 落合 直之:
末梢神経緩徐伸長時におけるナトリウムチャンネルの動態
第46回日本手の外科学会(名古屋), 4月, 2003
- No. 25 作田 直記, 佐々木誠一, 落合 直之:
肋間神経移行後の上腕二頭筋に現れた負荷補償反射
第46回日本手の外科学会(名古屋), 4月, 2003
- No. 26 鎌田 浩史, 田中 利和, 三島 初, 清水 颯, 小川 健, 市村 晴充, 落合 直之:
変形性遠位橈尺関節障害による指伸筋腱皮下断裂
第46回日本手の外科学会(名古屋), 4月, 2003
- No. 27 平野 篤, 落合 直之, 石井 朝夫, 福林 徹, 林 浩一郎:
Osgood-Schlatter病の病態と原因 - MRIおよびX線による解析
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 28 金岡 恒治, 小野古志郎, 福島 真, 服部伸一郎, 坂根 正孝, 宇治橋貞幸:
頭部直接衝撃時の頸椎挙動解析 - 頸部筋緊張が挙動に及ぼす影響について
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 29 宮川 俊平, 宮永 豊, 下條 仁士, 向井 直樹, 奥脇 透, 埜口 博司, 池田 耕太郎,
金岡 恒治, 落合 直之:
スポーツ選手におけるメヂカルチェックの意義 - 筑波大学体育専門学群の10年間のメ
ディカルチェックを振り返って
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 30 石井 朝夫, 吉井 雄一, 船山 徹, 後藤 如代, 落合 直之:
楔状骨での骨延長術
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 31 田中 利和, 金森 章浩, 三島 初, 鎌田 浩史, 清水 颯, 落合 直之:
人工膝関節手術における骨髓脂肪酸動態について
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 32 池田耕太郎, 六崎 裕高, 金森 章浩, 福林 徹, 落合 直之:
TKAにおける脛骨骨切りの工夫 - 脛骨結節を指標とした作図と術中角度計利用の有
用性
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003

- No. 33 田中 利和, 三島 初, 鎌田 浩史, 清水 顕, 植野 映子, 鯨岡 結賀, 新藤 雅司, 吉岡 大, 落合 直之:
手関節三角線維軟骨複合体(TFCC)障害に対するMRIマイクロスコープコイルの使用経験
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 34 池田耕太郎:
反復性膝蓋骨脱臼の治療: 手術のコツ: Distal Procedure.
第76回日本整形外科学会学術集会(金沢), 5月, 2003
- No. 35 早川 直毅, 金岡 恒治, 安部 哲哉, 坂根 正孝, 落合 直之:
高度な椎体破壊を生じた脊椎腫瘍の2例
第95回茨城県整形外科集談会(土浦), 5月, 2003
- No. 36 竹内 陽介, 石井 朝夫, 後藤 如代, 清水 顕, 相野谷武士, 半谷 美夏, 落合 直之:
先天性前足部欠損症に対し骨延長を行った1例
第95回茨城県整形外科集談会(土浦), 5月, 2003
- No. 37 阿部 亮子, 相野谷武士, 金岡 恒治, 落合 直之:
腕神経叢周囲に浸潤した再発巨大デスマイド腫瘍の1治療経験
第36回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学会学術集会(岡山), 7月, 2003
- No. 38 西浦 康正, 箱岩 篤, 竹内 陽介, 西野 衆文, 半谷 美夏, 渡辺 保彦, 落合 直之:
肘部管症候群術後に著明な上肢リンパ浮腫を生じた1例
第1回神経因性疼痛研究会(東京), 9月, 2003
- No. 39 天野 国明, 坂根 正孝, 酒井 晋介, 金岡 恒治, 原田 繁, 落合 直之:
軸椎椎弓の奇形により頸髄症を呈した一例
第52回東日本整形災害外科学会(東京), 9月, 2003
- No. 40 長谷 川伸, 武藤 芳照, 金岡 恒治, 岡田知佐子, 片山 直樹, 長谷川亜弓:
生涯スポーツの障害に対する治療と予防 水泳
第52回東日本整形災害外科学会(東京), 9月, 2003
- No. 41 Koshiro Ono, Koji Kaneoka, Makoto Fukushima, Hayata Uwai, Sadayuki Ujishashi:
BIOMECHANICAL RESPONSE OF THE HEAD, NECK AND TORSO TO DIRECT IMPACT ON THE BACK OF MALE AND FEMALE VOLUNTEERS.
IRCOBI Conference, Lisbon (Portugal), 9月, 2003
- No. 42 野内 隆治, 石井 朝夫, 常非, 赤荻 博, 三島 初, 落合 直之:
創外固定法による家兎広範囲軟骨欠損モデルの軟骨修復
- 骨髄間葉型細胞移植の影響 -
第18回日整会基礎学術総会(北九州), 10月, 2003
- No. 43 作田 直記, 佐々木誠一, 落合 直之:
末梢神経修復後の運動ニューロンへの脊髄下行路入力の変化
第18回日整会基礎学術総会(北九州), 10月, 2003
- No. 44 六崎 裕高, 坂根 正孝, 中島 弘美, 渡辺 保彦, 宮永 豊, 田中 順三, 池田耕太郎, 落合 直之:
移植腱の骨付着部の再生過程
第18回日整会基礎学術総会(北九州), 10月, 2003

- No. 45 市村 晴充, 安部伊知朗, 原 友紀, 照井 直人, 志賀 隆, 落合 直之:
末梢神経緩徐伸長時におけるナトリウムチャンネルの動態
第18回日整会基礎学術総会(北九州), 10月, 2003
- No. 46 藤井亜希子, 金岡 恒治, 長谷川亜弓, 武藤 芳照:
女子水泳選手とコーチの月経に関する意識の実態
第14回日本臨床スポーツ医学会(幕張), 11月, 2003
- No. 47 金岡 恒治, 清水 顕, 奥脇 透, 俵 紀行, 中嶋 耕平, 半谷 美夏, 馬見塚尚孝,
坂根正孝, 武藤 芳照, 落合 直之:
MRIによる腰椎椎間板メディカルチェック - 競泳選手 -
第14回日本臨床スポーツ医学会(幕張), 11月, 2003
- No. 48 渡辺 新, 池田耕太郎, 六崎 裕高, 渡辺 保彦, 落合 直之:
膝屈筋腱を用いたACL再建後の脛骨骨孔の組織学的評価
第14回日本臨床スポーツ医学会(幕張), 11月, 2003
- No. 49 渡辺 新, 池田耕太郎, 六崎 裕高, 落合 直之, 新津 守, 水町 隆雄, 岩指 仁,
狩野真士, 平林 宏之:
膝屈曲位MRIの有用性について
第30回関東膝を語る会(東京), 11月, 2003
- No. 50 阿部 亮子, 西浦 康正, 相野谷武士, 石井 朝夫, 落合 直之:
多発性嚢胞を伴った関節リウマチの1例
茨城リウマチ研究会(つくば), 11月, 2003
- No. 51 西浦 康正, 伊藤 恵康, 辻野 昭人, 落合 直之:
投球障害による肘内側側副靱帯損傷の診断と治療
第14回日本小児整形外科学会(東京), 11月, 2003
- No. 52 中村木綿子, 宮川 俊平, 三島 初, 井元 政義, 落合 直之:
ペルテス病の治療(8歳以上) 高齢発症ペルテス病の修復力の相違による治療法の検討
第14回日本小児整形外科学会(東京), 11月, 2003
- No. 53 鎌田 浩史, 田中 利和, 宮川 俊平, 向井 直樹, 三島 初, 落合 直之, 井元 政義:
Walking age(1~3歳)の完全脱臼 1歳以降に発見された先天性股関節脱臼における
保存的治療の治療経験
第14回日本小児整形外科学会(東京), 11月, 2003
- No. 54 赤荻 博, 三島 初, 常 非, 味八木 茂, 石井 朝夫, 牛田多加志, 立石 哲也,
田中 順三, 落合 直之:
骨髓由来自己フィブリンゲル-骨髓細胞混合体を用いた軟骨全層欠損修復の試み
第24回日本炎症・再生医学会(京都), 11月, 2003

その他

- No. 1 金岡 恒治:
頸椎捻挫の受傷機序

平成14年度 自賠責保険研修会(水戸), 2月, 2003

- No. 2 金岡 恒治：
スポーツ障害と予防
平成14年度高校生のためのスポーツセミナー（水戸），1月，2003
- No. 3 Mutsuzaki H, Sakane M, Watanabe Y, Ochiai N, Miyanaga Y, Nakajima H,
Hattori S, Tanaka J：
Healing process of the tendon-bone interface using a calcium phosphate
hybridization method
ナノ・バイオ融合テクノロジーに関する国際シンポジウム（つくば），3月，2003
- No. 4 Sakane M, Mutsuzaki H, Watanabe Y, Miyanaga Y, Nakajima Y, Hattori S, Ochiai N,
Tanaka J：
Healing process of the tendon-bone tunnel interface using a calcium phosphate
hybridization method
第8回IUMRS先進材料国際会議（横浜），10月，2003
- No. 5 六崎 裕高, 坂根 正孝, 宮永 豊, 中島 弘美, 田中 順三：
リン酸カルシウム複合化腱の骨孔内移植後の微細構造
第7回 生体関連セラミック討論会（東京），12月，2003
- No. 6 六崎 裕高, 坂根 正孝, 落合 直之, 宮永 豊, 中島 弘美, 田中 順三：
リン酸カルシウム複合化腱の骨孔内移植後の微細構造
第25回 日本バイオマテリアル学会（大阪），12月，2003
- No. 7 落合 直之：
今世紀リウマチ医療はこう変わる
茨城リウマチフォーラム（つくば），2月，2003
- No. 8 落合 直之：
スポーツと末梢神経障害
第38回山梨整形外科合同カンファランス（山梨），3月，2003
- No. 9 落合 直之：
上肢末梢神経障害の診断と治療
第390回東北大学整形外科談論会（仙台），3月，2003
- No. 10 落合 直之：
整形外科と機能再建学
日本ベーリンガーインゲルハイム臨床講座（つくば），4月，2003
- No. 11 落合 直之：
末梢神経損傷の診断と治療
日本手の外科学会第9回秋期教育研修会（つくば），9月，2003
- No. 12 落合 直之：
整形外科における機能再建とTissue Engineering
多賀医師会学術講演会・第139回医学集談会（北茨城），12月，2003

2003年（眼科グループ）

原 著

- No . 1 Yoshida T, Miyata K, Tokunaga T, Tanabe T, Oshika T :
Difference map or single elevation map in the evaluation of corneal forward shift after LASIK.
Ophthalmology 110 : 1926-1930 , 2003
- No . 2 Kawana K, Okamoto F, Nose H, Oshika T :
A case of angle closure glaucoma caused by plateau iris and Adie's pupil.
Am J Ophthalmol 135 : 717-718 , 2003
- No . 3 Okamoto F, Yamamoto N, Iguchi A, Komahashi M, Hommura S, Oshika T :
High-frequency ultrasonographic imaging in suprachoroidal hemorrhage after filtering surgery.
Ophthalmic Surg Lasers Imaging. 34 : 259-262 , 2003
- No . 4 Kamiya K, Oshika T :
Corneal forward shift after excimer laser keratorefractive surgery.
Semin Ophthalmol 18 : 17-22 , 2003
- No . 5 Ando H, Ando N, Oshika T :
Cumulative probability of neodymium : YAG laser posterior capsulotomy after phacoemulsification.
J Cataract Refract Surg 29 : 2148-2154 , 2003
- No . 6 Kaji Y, Amano S, Usui T, Oshika T, Yamashiro K, Ishida S, Suzuki K, Tanaka S, Adamis AP, Nagai R, Horiuchi S :
Expression and function of receptors for advanced glycation end products in bovine corneal endothelial cells.
Invest Ophthalmol Vis Sci 44 : 521-528 , 2003
- No . 7 Ishida S, Usui T, Yamashiro K, Kaji Y, Ahmed E, Carrasquillo KG, Amano S, Hida T, Oguchi Y, Adamis AP :
VEGF164 is proinflammatory in the diabetic retina.
Invest Ophthalmol Vis Sci 44 : 2155-2162 , 2003
- No . 8 Moore TC, Moore JE, Kaji Y, Frizzell N, Usui T, Poulaki V, Campbell IL, Stitt AW, Gardiner TA, Archer DB, Adamis AP :
The role of advanced glycation end products in retinal microvascular leukostasis.
Invest Ophthalmol Vis Sci 44 : 4457-4464 , 2003
- No . 9 Inoue K, Okugawa K, Oshika T, Amano S :
Influence of dorzolamide on corneal endothelium.
Jpn J Ophthalmol 47 : 129-133 , 2003
- No . 10 Kaji Y, Yamashita H, Oshika T :
Corneal wound healing after excimer laser keratectomy.
Semin Ophthalmol 18 : 11-16 , 2003

- No . 11 Mimura T, Amano S, Funatsu H, Araie M, Kagaya F, Kaji Y, Oshika T, Yamagami S, Okada E :
Oculocardiac reflex caused by contact lenses.
Ophthalmic Physiol Opt 23 : 263-264 , 2003
- No . 12 Yamamoto N, Wakabayashi T, Murakami K, Hommmura S :
Detection of CMV DNA in the aqueous humor of AIDS patients with CMV retinitis by AMPLICOR CMV test.
Ophthalmologica 217 : 45-48 , 2003
- No . 13 Inoue K, Okugawa K, Oshika T, Amano S :
Morphological study of corneal endothelium and corneal thickness in pseudoexfoliation syndrome.
Jpn J Ophthalmol 47 : 235-239 , 2003
- No . 14 Inoue K, Okugawa K, Kato S, Inoue Y, Oshika T, Amano S :
Ocular factors relevant to keratoepitheliopathy in glaucoma patients with and without diabetes mellitus.
Jpn J Ophthalmol 47 : 287-90 , 2003
- No . 15 Suzuki S, Oshika T, Oki K, Sakabe I, Iwase A, Amano S, Araie M :
Corneal thickness measurements: scanning-slit corneal topography and noncontact specular microscopy versus ultrasonic pachymetry.
J Cataract Refract Surg 29 : 1313-1318 , 2003
- No . 16 Imamura S, Amano S, Oshika T :
Corneal bed perforation by laser ablation during laser in situ keratomileusis.
J Cataract Refract Surg 29 : 1638-1640 , 2003
- No . 17 Sato M, Oshika T, Kaji Y, Nose H :
Three novel mutations in the x-linked juvenile retinoschisis (XLRs1) gene in 6 Japanese patients, 1 of whom had Turner's syndrome.
Ophthalmic Res 35 : 295-300 , 2003
- No . 18 Kamiya K, Hirohara Y, Mihashi T, Hiraoka T, Kaji Y, Oshika T :
Progression of pellucid marginal degeneration and higher order wavefront aberration of the cornea.
Jpn J Ophthalmol 47 : 523-525 , 2003
- No . 19 Mimura T, Amano S, Sugiura T, Funatsu H, Yamagami S, Oshika T, Araie M, Eguchi S :
10-year follow-up study of secondary transscleral ciliary sulcus fixated posterior chamber intraocular lenses.
Am J Ophthalmol 136 : 931-933 , 2003
- No . 20 Kodama M, Numaga J, Yoshida A, Kaburaki T, Oshika T, Fujino Y, Wu GS, Rao NA, Kawashima H :
Effects of a new dexamethasone-delivery system (Surodex) on experimental intraocular inflammation models.
Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol 241 : 927-933 , 2003

- No . 21 Inoue K, Okugawa K, Kato S, Inoue Y, Tomita G, Oshika T, Amano S :
Ocular factors relevant to anti-glaucomatous eyedrop-related
keratoepitheliopathy.
J Glaucoma 12 : 480-485 , 2003
- No . 22 Hayami M, Decock C, Brabant P, Van Kerckhoven W, Lafaut BA, De Laey JJ :
Optical coherence tomography of adult-onset vitelliform dystrophy.
Bull Soc Belge Ophtalmol 289 : 53-61 , 2003
- No . 23 Ishida S, Usui T, Yamashiro K, Kaji Y, Amano S, Ogura Y, Hida T, Oguchi Y, Ambati J,
Miller JW, Gragoudas ES, Ng YS, D'Amore PA, Shima DT, Adamis AP :
VEGF164-mediated inflammation is required for pathological, but not
physiological, ischemia-induced retinal neovascularization.
J Exp Med 198 : 483-489 , 2003
- No . 24 Amano S, Shimomura N, Kaji Y, Ishii K, Yamagami S, Araie M :
Antigenicity of porcine cornea as xenograft.
Curr Eye Res.26 : 313-318 , 2003
- No . 25 Yamashiro K, Tsujikawa A, Ishida S, Usui T, Kaji Y, Honda Y, Ogura Y, Adamis AP :
Platelets accumulate in the diabetic retinal vasculature following endothelial
death and suppress blood-retinal barrier breakdown.
Am J Pathol 163 : 253-259 , 2003
- No . 26 Mimura T, Shimomura N, Usui T, Noda Y, Kaji Y, Yamagami S, Amano S, Miyata K,
Araie M :
Magnetic attraction of iron-endocytosed corneal endothelial cells to Descemet's
membrane.
Exp Eye Res 76 : 745-751 , 2003
- No . 27 Ishida S, Yamashiro K, Usui T, Kaji Y, Ogura Y, Hida T, Honda Y, Oguchi Y,
Adamis AP :
Leukocytes mediate retinal vascular remodeling during development and
vaso-obstruction in disease.
Nat Med 9 : 781-788 , 2003
- No . 28 Usui T, Nakajima F, Ideta R, Kaji Y, Suzuki Y, Araie M, Miyauchi S, Heldin P,
Yamashita H :
Hyaluronan synthase in trabecular meshwork cells.
Br J Ophthalmol 87 : 357-360 , 2003
- No . 29 井口 綾, 国広和人, 大鹿哲郎 :
インターフェロン・リバビリン併用療法中に網膜症および黄斑部出血をきたした1例 .
あたらしい眼科 20 : 559-563 , 2003
- No . 30 山中昭夫, 三宅謙作, 中前勝彦, 玉井 信, 稲富 誠, 山本 節, 澤 充, 石橋達朗,
大鹿哲郎, 江口秀一郎, 雑賀司珠也 :
眼内レンズインプラントデータシステム委員会活動報告 (第7報, 2002年度).
IOL & RS 17 : 139-145 , 2003

- No. 31 木内貴博, 石井晃太郎, 矢部文顕, 大鹿哲郎:
成熟白内障手術におけるインドシアニングリーン前嚢染色の有用性と限界.
あたらしい眼科 20: 1159-1162, 2003
- No. 32 佐藤正樹, 大鹿哲郎, 澤 充:
2002年日本眼内レンズ屈折手術学会会員アンケート.
IOL&RS 17: 310-336, 2003
- No. 33 森田由香, 坂下千穂, 野々山智仁, 岡本芳史, 岡本史樹, 若林毅俊, 能勢晴美, 本村幸子:
牽引試験により術式を決定した先天性上斜筋麻痺に外斜視を合併した1例
臨眼 97: 357-360, 2003
- No. 34 駒橋美香子, 平塚健太郎, 能勢晴美, 大鹿哲郎, 本村幸子:
網膜腫瘍を合併した結節硬化症4例の臨床的検討.
眼臨 97: 563-567, 2003
- 総 説
- No. 1 大鹿哲郎:
近未来の眼内レンズ.
あたらしい眼科 20: 611-614, 2003
- No. 2 大鹿哲郎:
屈折矯正手術後のIOL手術—度数計算.
あたらしい眼科 20: 1533-1534, 2003
- No. 3 大鹿哲郎:
眼内レンズ挿入眼における偽調節.
IOL&RS 17: 98-101, 2003
- No. 4 岡崎光彦, 大鹿哲郎:
新粘弾性物質ヒーロンV.
IOL&RS 17: 146-148, 2003
- No. 5 大鹿哲郎:
近視は手術で治るか—現状と是非—. 近視矯正手術の問題点.
東京女子医大誌 73: 242-243, 2003
- No. 6 柿田哲彦:
眼内レンズ挿入眼における調節機能の回復と補償
眼科手術 16: 447-453, 2003
- No. 7 岡本周子, 大鹿哲郎:
白内障手術による眼光学特性の変化.
眼科手術 16: 461-466, 2003
- No. 8 山下亮子:
シリーズ・眼科疾患の薬物療法(12) 角膜感染症(ヘルペス・細菌・真菌)の薬物療法
週刊薬事新報 2263: 9-12, 2003

No. 9 武井一夫, 渋谷雅之, 森圭介, 大谷倫裕 :
第56回日本眼科学会印象記 網膜血管疾患1~2
眼科 45 : 645-46 2003

No. 10 佐藤正樹 :
第107回日本眼科学会総会印象記.
日本の眼科 74 : 585-586, 2003

著 書

No. 1 Oshika T :
Acrylic foldable intraocular lens: implantation technique and complication management. In Buratto L, Werner L, Zanni M, Apple D (eds) :
Phacoemulsification. Principles and Techniques. Slack, Thorofare, 456-464, 2003

No. 2 能勢晴美 :
全身検査 眼科診療プラクティス 90 眼窩疾患の診療 (丸尾敏夫編)
文光堂, 東京, 94-95, 2003

No. 3 佐藤正樹 :
眼内レンズ・アップデート. 眼科の最新医療.
先端医療技術研究所, 東京, 217-224, 2003

No. 4 平岡孝浩 :
オルソケラトロジー (Orthokeratology) 先端医療シリーズ23 眼科の最新医療
(増田寛次郎, 小口芳久, 田野保雄 編)
先端医療技術研究所, 東京, 68-75, 2003

学会発表

No. 1 大鹿哲郎 :
後囊破損, 硝子体脱出時の戦略
第26回日本眼科手術学会(シンポジウム), 京都市, 2月, 2003

No. 2 大鹿哲郎 :
我が国における白内障手術の趨勢 (学会会員アンケート)
第26回日本眼科手術学会(シンポジウム), 京都市, 2月, 2003

No. 3 加藤木寛和, 大鹿哲郎, 徳永忠俊, 宮田和典, 吉田照宏 :
LASIKによる角膜後面前方偏位の経時的変化.
第26回日本眼科手術学会, 京都市, 2月, 2003

No. 4 杉田美穂, 杉田円香, 立岩 尚, 杉田元太郎, 大鹿哲郎 :
POCOsystemによる一体型アクリルレンズの後囊混濁率の評価.
第26回日本眼科手術学会, 京都市, 2月, 2003

No. 5 田中義和, 加藤 聡, 林 佳枝, 宮田和典, 本坊正人, 子島良平, 大鹿哲郎 :
白内障術後の後囊混濁定量化におけるScheimpflug systemの限界.
第26回日本眼科手術学会, 京都市, 2月, 2003

- No. 6 子島良平, 宮田和典, 徳永忠俊, 鮫島智一, 天野史郎, 田邊樹郎, 大鹿哲郎:
PRKおよびLASIKによる角膜上皮バリア機能の経時的変化の比較.
第26回日本眼科手術学会, 京都市, 2月, 2003
- No. 7 小椋祐一郎, 大鹿哲郎, 鳥井秀雄, 徳田芳浩:
眼科プレゼンテーションAV講座.
第26回日本眼科手術学会(インストラクションコース), 京都市, 2月, 2003
- No. 8 大鹿哲郎, 徳田芳浩, 小澤忠彦, 長井伸二:
白内障手術教育と術中合併症対策.
第26回日本眼科手術学会(インストラクションコース), 京都市, 2月, 2003
- No. 9 加藤木寛和, 能勢晴美, 大鹿哲郎, 中野伸一郎, 坪井康次, 松村 明, 伊藤嘉郎:
眼窩奇形腫の1例.
第34回筑波大学眼科集談会, つくば市, 2月, 2003
- No. 10 岡崎光彦, 糸賀俊郎, 岡本史樹, 大鹿哲郎:
新しい粘弾性物質ヒーロンVを用いた白内障手術.
第34回筑波大学眼科集談会, つくば市, 2月, 2003
- No. 11 川名啓介, 加治優一, 大鹿哲郎, 大木孝太郎, 坂部功生:
3種類の角膜厚測定方式の比較.
第34回筑波大学眼科集談会, つくば市, 2月, 2003
- No. 12 山形周子, 大鹿哲郎, 鮫島智一, 宮田和典:
円錐角膜眼における波面収差と視機能の関係.
第34回筑波大学眼科集談会, つくば市, 2月, 2003
- No. 13 石井晃太郎, 木内貴博, 矢部文顕, 島昇, 川西裕子, 平岡孝浩:
筑波学園病院における最近4年間の時間外救急診療の状況
第34回筑波大学眼科集談会(つくば市), 2月, 2003
- No. 14 岡本史樹:
最近の網膜硝子体手術
第34回筑波大学眼科集談会(教育講演), つくば市, 2月, 2003
- No. 15 大鹿哲郎:
内眼手術から内皮を守る.
第27回角膜カンファレンス・第19回日本角膜移植学会(イブニングセミナー),
軽井沢町, 2月, 2003
- No. 16 大鹿哲郎:
近視矯正手術の安全性.
第327回東京女子医科大学学会例会(シンポジウム), 東京, 3月, 2003
- No. 17 大鹿哲郎:
For the comfort of patients - 患者に優しい白内障手術.
群馬県眼科医会春季集談会(特別講演), 群馬県, 3月, 2003
- No. 18 大鹿哲郎:
白内障手術.
眼科診療アップデートセミナー2003, 京都市, 3月, 2003

- No. 19 大鹿哲郎：
For the comfort of patients - 患者に優しい白内障手術
第73回沖縄眼科集談会（特別講演），那覇市，3月，2003
- No. 20 大鹿哲郎：
眼光学と臨床：ヒトの視力はどこまで良くなるのか？
第2回N34° Ocular Surface Forum（特別講演），福岡，3月，2003
- No. 21 林 佳枝，田中義和，大鹿哲郎，杉田元太郎，加藤 聡：
糖尿病患者における後発白内障の定量的評価—POCOMAN法を用いて．
第9回日本糖尿病眼学会，仙台市，3月，2003
- No. 22 大鹿哲郎：
Viscoadaptiveから新世代IOLまで．
The Basic Clinical Ophthalmology Series（シンポジウム），東京，3月，2003
- No. 23 加治優一，天野史郎，大鹿哲郎，臼井智彦，山城健児，石田 晋，Adamis AP，永井竜司，堀内正公：
蛋白糖化最終産物（AGE）は加齢に伴う角膜内皮細胞減少に関わるか？
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 24 佐藤正樹，加治優一，天野史郎，大鹿哲郎，臼井智彦，山城健児，石田 晋，Adamis AP，永井竜司，堀内正公：
角膜内皮における蛋白糖化最終産物（AGE）蓄積の分子メカニズム．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 25 糸賀俊郎，大鹿哲郎，江口秀一郎，大木孝太郎，谷口重雄，ビッセン宮島弘子，太田一郎，杉田元太郎，宮田和典：
白内障手術におけるヒーロンVとヒーロンの臨床比較—無作為多施設研究．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 26 川西祐子，岡本周子，岡本史樹，佐藤正樹，加治優一，平岡孝浩，若林毅俊，大鹿哲郎，鯨島智一，宮田和典，広原陽子，三橋俊文：
円錐角膜眼における波面収差と文字コントラスト感度．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 27 山根奈世理，佐藤正樹，平岡孝浩，岡本史樹，若林毅俊，加治優一，大鹿哲郎，広原陽子，三橋俊文，鯨島智一，宮田和典：
Laser in situ keratomileusisによる波面収差の変化と視機能．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 28 加藤木寛和，平岡孝浩，佐藤正樹，若林毅俊，岡本史樹，加治優一，大鹿哲郎，徳永忠俊，宮田和典，吉田照宏：
Laser in situ keratomileusisによる角膜前方偏位の経時変化に影響する因子の検討．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003
- No. 29 木内貴博，若林毅俊，大鹿哲郎：
放射線照射家兎角膜の晩期障害—組織学的検討．
第107回日本眼科学会総会，福岡市，4月，2003

- No. 30 坂田典繁, 加治優一, 若林毅俊, 岡本史樹, 佐藤正樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎, 広原陽子, 三橋俊文, 鮫島智一, 宮田和典:
Photorefractive keratectomyによる高次波面収差とコントラスト感度.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 31 岡本史樹, 岡本芳史, 川名啓介, 中野伸一郎, 大鹿哲郎:
毛様体の前方傾斜と浅前房との関係.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 32 川名啓介, 岡本史樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎:
網膜剥離術後毛様体浮腫の局在と経時的変化.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 33 森田由香, 坂下千穂, 野々山智仁, 渡辺章充, 大鹿哲郎:
急性小脳炎に伴い発症した急性共同性内斜視の一例.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 34 岡崎光彦, 岡本史樹, 大鹿哲郎:
Vented Gas Forced Infusion Systemを用いた白内障・硝子体手術.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 35 若林毅俊, 胡 倍華, 山下亮子, 小阪 淳, 大鹿哲郎:
新規遺伝子ARG357はThapsigarginによるBH3-only proteinの発現誘導を抑制する.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 36 平岡孝浩, 古谷愛理, 岡本史樹, 大鹿哲郎, 松本雄二郎:
オルソケラトジーにより生じる角膜乱視の定量的評価.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 37 鈴鴨よしみ, 大鹿哲郎, 大木孝太郎, 湯沢美都子, 富所敦男, 徳田芳浩, 高橋奈津子, 福原俊一:
NEI-VFQ25日本語版の開発と信頼性・妥当性の検討.
第107回日本眼科学会総会, 福岡市, 4月, 2003
- No. 38 大鹿哲郎:
Viscoadaptiveの力.
Healon Vセミナー in 名古屋(シンポジウム), 名古屋市, 4月, 2003
- No. 39 大鹿哲郎:
進化する白内障手術.
第99回広島県眼科医会講習会(特別講演), 広島市, 4月, 2003
- No. 40 大鹿哲郎:
進化する白内障手術.
印旛・佐倉眼科症例検討会(特別講演), 佐倉市, 4月, 2003
- No. 41 Kawana K, Okamoto F, Hiraoka T, Oshika T:
Ciliary body edema after scleral buckling surgery for rhegmatogenous retinal detachment.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May, 2003

- No . 42 Okamoto F, Okamoto Y, Kawana K, Nakano S, Oshika T :
Forward inclination of the ciliary process and anterior chamber depth.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale , Florida
May , 2003
- No . 43 Hiraoka T, Furuya A, Okamoto F, Sakata N, Hiratsuka K, Oshika T, Matsumoto Y :
Quantitative evaluation of corneal regular and irregular astigmatism in subjects
undergoing overnight orthokeratology.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale,Florida
May , 2003
- No . 44 Okamoto C, Ishii Y, Oshika T, Samejima T, Miyata K, Hirohara Y, Mihashi T :
Wavefront aberration and letter contrast sensitivity in keratoconus.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 45 Yamane N, Sato M, Hiraoka T, Okamoto F, Kaji Y, Oshika T, Samejima T, Miyata K,
Hirohara T, Mihashi T :
Ocular higher-order aberrations and contrast visual function after laser in situ
keratomileusis.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 46 Sakata N, Kaji Y, Wakabayashi T, Okamoto F, Sato M, Hiraoka T, Oshika T,
Hirohara Y, Mihashi T, Samejima T, Miyata K :
Effects of photorefractive keratectomy on higher-order aberration and contrast
sensitivity function.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 47 Katogi H, Kaji Y, Wakabayashi T, Okamoto F, Sato M, Hiraoka T, Oshika T, Tokunaga T,
Miyata K, Yoshida T :
Time course of changes in corneal forward shift after laser in situ keratomileusis.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 48 Okazaki T, Oshika T, Eguchi S, Oki K, Yaguchi S, Bissen-Miyajima H, Ota I, Sugita G,
Miyata K :
Clinical comparison of Healon5 and Healon in phacoemulsification and intraocular
lens implantation: a randomized multicenter study.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 49 Kaji Y, Amano S, Oshika T, Usui T, Yamashiro K, Ishida S, McMullen T, Moore J,
Adamis AP, Nagai R, Horiuchi S :
Advanced glycation end products induce apoptosis in corneal endothelium.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003

- No . 50 Sato M, Kaji Y, Amano S, Oshika T, Usui T, Yamashiro K, Ishida S, McMullen T, Moore J, Adamis AP, Nagai R, Horiuchi S :
Expression of advanced glycation end product (AGE) receptors in corneal endothelial cells.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 51 Fujikado T, Kuroda T, Maeda N, Oshika T, Hirohara Y, Mihashi T :
Light scattering and optical aberration as objective parameters to predict visual deterioration in cataracts.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 52 Mihashi T, Hirohara Y, Kuroda T, Maeda N, Fujikado T, Oshika T :
Temporal changes of tear film break-up observed by a real time Hartmann-Shack wavefront aberrometer.
Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida
May , 2003
- No . 53 岡本周子, 大鹿哲郎 :
白内障手術による眼光学特性の変化
第18回日本眼内レンズ屈折手術学会 (シンポジウム), 京都市, 6月, 2003
- No . 54 柿田哲彦 :
調節機能の回復と補償
第18回日本眼内レンズ屈折手術学会 (シンポジウム), 京都市, 6月, 2003
- No . 55 佐藤正樹, 大鹿哲郎, 澤 充 :
2002年日本眼内レンズ屈折手術学会会員アンケート.
第18回日本眼内レンズ屈折手術学会, 京都市, 6月, 2003
- No . 56 大鹿哲郎 :
患者に優しい白内障手術 - For the comfort of patients .
第19回日本眼科看護研究会 (特別講演), 札幌市, 7月, 2003
- No . 57 浅野宏規, 岡本周子, 平岡孝浩, 岡本史樹, 大鹿哲郎, 鮫島智一, 宮田和典 :
縫着眼内レンズの偏位傾斜が高次波面収差に及ぼす影響 .
第39回日本眼光学学会・第18回眼科ME学会合同学会総会, 大阪市, 9月, 2003
- No . 58 園尾純一郎, 佐藤正樹, 木内貴博, 加治優一, 若林毅俊, 大鹿哲郎, 杉田元太郎 :
非球面眼内レンズTecnisによる眼球光学特性の変化 .
第39回日本眼光学学会・第18回眼科ME学会合同学会総会, 大阪市, 9月, 2003
- No . 59 岡崎光彦, 岡本史樹, 大鹿哲郎 :
Vented Gas Forced Infusion Systemを用いた白内障手術での前房内圧変化 .
第39回日本眼光学学会・第18回眼科ME学会合同学会総会, 大阪市, 9月, 2003
- No . 60 大鹿哲郎 :
Viscoadaptive製剤とquality of surgery (ランチョンセミナー).
第69回日本中部眼科学会・第100回中国四国眼科学会, 岡山市, 10月, 2003

- No. 61 大鹿哲郎：
患者に優しい白内障手術 - For the comfort of patients .
兵庫県眼科医会秋期定時総会（特別講演），神戸市，10月，2003
- No. 62 大鹿哲郎：
眼科MEの展望 .
第57回日本臨床眼科学会（シンポジウム），名古屋市，10月，2003
- No. 63 大鹿哲郎：
眼内レンズ・屈折矯正手術の動向 .
第57回日本臨床眼科学会（シンポジウム），名古屋市，10月，2003
- No. 64 大鹿哲郎：
白内障手術とQOL .
第57回日本臨床眼科学会（シンポジウム），名古屋市，10月，2003
- No. 65 大鹿哲郎：
Quality of surgeryと粘弾性物質 .
第57回日本臨床眼科学会（ランチョンセミナー），名古屋市，10月，2003
- No. 66 大鹿哲郎：
IOL術後度数ずれ対策 .
第57回日本臨床眼科学会（ランチョンセミナー），名古屋市，10月，2003
- No. 67 大鹿哲郎：
新世代フェイコマシンのすべて - インフィニティの全貌がいま明らかに - .
第57回日本臨床眼科学会（イブイングセミナー），名古屋市，10月，2003
- No. 68 能勢 晴美，加藤木寛和：
画像診断に苦慮した眼窩奇形腫
第57回日本臨床眼科学会「画像診断」専門別研究会，名古屋市，10月，2003
- No. 69 林英之，中尾雄三，能勢晴美：
インストラクションコース「眼科画像診断のコツと落とし穴」
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 70 栗原勇大，岡本史樹，平岡孝浩，佐藤正樹，大鹿哲郎：
25G経結膜硝子体手術システム（TSV25TM）における術後強膜創の超音波生体顕微鏡による観察 .
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 71 坂田典繁，岡本史樹，川名啓介，岡本周子，大鹿哲郎：
硝子体単独手術後の角膜不正乱視のフーリエ解析 .
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 72 駒橋美香子，野々山智仁，大鹿哲郎，石川 史，清水純一：
胎内感染によるヘルペス脳炎に合併した網脈絡膜炎の1例 .
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 73 糸賀俊郎，木内貴博，平岡孝浩，岡本史樹，佐藤正樹，大鹿哲郎，杉田元太郎：
縫着眼内レンズの偏位傾斜と高次波面収差の関係 .
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003

- No. 74 平塚健太郎, 加治優一, 岡本史樹, 平岡孝浩, 大鹿哲郎, 広原陽子, 三橋俊文, 鮫島智一, 宮田和典:
LASIK後のコントラスト感度と高次波面収差の経時変化.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 75 松下千穂, 若林毅俊, 平塚健太郎, 大鹿哲郎, 鮫島智一, 宮田和典:
Photorefractive keratectomy後のコントラスト感度の長期変化.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 76 岡本史樹, 加治優一, 平岡孝浩, 佐藤正樹, 坂田典繁, 山根奈世理, 大鹿哲郎:
ステロイド作用のない新しい物質を用いた可視化硝子体手術.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 77 園尾純一郎, 岡本史樹, 木内貴博, 加治優一, 大鹿哲郎, 杉田元太郎:
非球面眼内レンズTecnisの術後成績.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 78 山根奈世理, 岡本史樹, 岡本周子, 平岡孝浩, 佐藤正樹, 川名啓介, 坂田典繁, 大鹿哲郎:
裂孔原性網膜剥離に対する強膜内陥術後の波面収差の変化.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 79 南部パトリシア尚美, 平岡孝浩, 若林毅俊, 胡 倍華, 木内貴博, 加治優一, 大鹿哲郎:
ファンガード®点眼の安全性の検討.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 80 浅野宏規, 駒橋美香子, 能勢晴美, 大鹿哲郎, 早乙女俊一, 板垣秀夫, 遠藤勝幸, 梅林芳弘, 富田知栄:
多彩な全身前駆症状を呈したHLA-DR4・53陰性の原田病の症例.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 81 岡本周子, 岡本史樹, 平岡孝浩, 佐藤正樹, 加治優一, 若林毅俊, 大鹿哲郎:
眼内レンズ眼における波面収差とコントラスト感度との関係.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 82 森田由香, 大鹿哲郎, 野々山智仁:
超低出生体重児における未熟児網膜症の進行と体重増加率の関係.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 83 川名啓介, 佐藤正樹, 加治優一, 木内貴博, 大鹿哲郎, 徳永忠俊, 宮田和典:
3種類の角膜厚測定方式のLASIK術後眼における比較.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 84 胡 倍華, 加治優一, 平岡孝浩, 岡本史樹, 山根奈世理, 大鹿哲郎:
11-デオキシコルチゾール前房内注入の眼圧及び角膜内皮への影響の検討.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 85 加治優一, 平岡孝浩, 岡本史樹, 若林毅俊, 胡 倍華, 山根奈世理, 坂田典繁, 大鹿哲郎:
11-デオキシコルチゾールを用いた破嚢後の脱出硝子体処理法の開発.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003
- No. 86 平岡孝浩, 古谷愛理, 岡本史樹, 大鹿哲郎, 松本雄二郎:
オルソケラトロジーによる角膜内皮細胞変化.
第57回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 10月, 2003

- No. 87 高比良友則，大上智弘，大鹿哲郎，鮫島智一，宮田和典，前田直之，不二門 尚，
広原陽子，三橋俊文：
種々の水晶体状態における角膜と眼球の高次波面収差の比較。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 88 岡崎光彦，岡本周子，大鹿哲郎，鮫島智一，宮田和典，前田直之，不二門 尚，広原陽子，
三橋俊文：
無水晶体眼における角膜と眼球の高次波面収差の比較。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 89 中里啓子，渡辺秀樹，大鹿哲郎：
網膜中心静脈分枝閉塞（BRVO）患者における動脈硬化の評価。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 90 木内貴博，大鹿哲郎，石井晃太郎，岡本 一：
線維柱帯切除術後の晚期房水漏出に対し羊膜移植術を施行した1例。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 91 宮井尊史，宮田和典，子島良平，鮫島智一，天野史郎，大鹿哲郎：
フーリエ解析を用いた角膜移植眼の視力測定。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 92 吉田照宏，木内貴博，加治優一，若林毅俊，大鹿哲郎，徳永忠俊，宮田和典：
LASIKによる角膜後面前方偏位の長期経過。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 93 臼井智彦，南波敦子，濱田直紀，天野史郎，大鹿哲郎，俊野敦子，宇野敏彦，大橋裕一，
山口達夫，三橋俊文：
遠視・遠視性乱視矯正laser in situ keratomileusis後の角膜高次波面収差の変化。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 94 濱田直紀，加藤 聡，天野史郎，富田剛司，大鹿哲郎，海谷忠良：
LASIKによる視神経乳頭パラメータの長期変化。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 95 大鹿哲郎：
特殊例・難症例の白内障手術（インストラクションコース）
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 96 大鹿哲郎：
屈折矯正手術と白内障手術に役立つ角膜形状・波面収差解析。
第57回日本臨床眼科学会，名古屋市，10月，2003
- No. 97 岡崎光彦，岡本史樹，若林毅俊，大鹿哲郎：
次世代白内障手術装置インフィニティの使用経験と前房安定性に関する実験的検証。
第25回茨城県眼科医会集談会，水戸市，11月，2003
- No. 98 岡本史樹，浅野宏規，栗原勇大，大鹿哲郎：
25G経結膜硝子体手術システム（TSV25TM）を用いた硝子体手術。
第25回茨城県眼科医会集談会，水戸市，11月，2003

No. 99 浅野宏規，岡本周子，平岡孝浩，岡本史樹，大鹿哲郎，鮫島智一，宮田和典：

縫着眼内レンズの偏位傾斜が高次波面収差に及ぼす影響．

第25回茨城県眼科医会集談会，水戸市，11月，2003

No. 100 川名啓介，山根奈世理，木内貴博，加治優一，大鹿哲郎：

熱傷による重度角膜上皮障害に対する羊膜移植術．

茨城県眼科医会集談会，水戸市，11月，2003

その他

No. 1 能勢晴美：

緑内障の診断と治療

話題の医学（テレビ番組），12月，2003

2003年（婦人周産期グループ）

原 著

- No . 1 Kei Kawana, Toshiharu Yasugi, Hiroyuki Yoshikawa, Yukiko Kawana, Koji Matsumoto, Shunsuke Nakagawa, Takashi Onda, Akihiko Kikuchi, Tomoyuki Fujii, Tadahito Kanda, Yuji Taketani :
Evidence for the presence of neutralizing antibodies against human papillomavirus type 6 in infants born to mothers with condyloma acuminata
American Journal of Perinatology 20(1) : 11-16 , 2003
- No . 2 Yumiko Oishi Tanaka, Masato Nishida, Hajime Tsunoda, Yoshihito Ichikawa, Yukihiisa Saida, Yuji Itai :
A thickened or indistinct junctional zone on T2-weighted MR images in patients with endometrial carcinoma: pathologic consideration based on microcirculation
European Radiology 13(8) : 2038-2045 , 2003
- No . 3 Kiyoshi Ohara, Yumiko Oishi Tanaka, Hajime Tsunoda, Shinji Sugahara, Takayuki Hashimoto, Kenji Kagei, Koichi Tokuyue, Yasuyuki Akine, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai :
Nonoperative assessment of nodal status for locally advanced cervical squamous cell carcinoma treated by radiotherapy with regard to patterns of treatment failure
International Journal of Radiation Oncology, Biology, Physics 55(2) : 354-361 , 2003
- No . 4 Yasuko Horikoshi, Hirokazu Matsumoto, Yoshihiro Takatsu, Tetsuya Ohtaki, Chieko Kitada, Satoshi Usuki, Masahiko Fujino :
Dramatic Elevation of Plasma Metastin Concentrations in Human Pregnancy: Metastin as a Novel Placenta-Derived Hormone in Humans
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 88(2) : 914-919 , 2003
- No . 5 Kiyoshi Ohara, Hajime Tsunoda, Masato Nishida, Shinji Sugahara, Takayuki Hashimoto, Y Shioyama, K Hasezawa, Hiroyuki Yoshikawa, Yasuyuki Akine, Yuji Itai :
Use of small pelvic field instead of whole pelvic field in postoperative radiotherapy for node-negative, high-risk stages I and II cervical squamous cell carcinoma
International Journal of Gynecological Cancer 13(2) : 170-176 , 2003
- No . 6 Koji Matsumoto, Hiroyuki Yoshikawa, Toshiharu Yasugi, Shunsuke Nakagawa, Kei Kawana, Atsushi Takeoka, Nobuo Yaegashi, Tsuyoshi Iwasaka, Koji Kanazawa, Yuji Taketani, Tadahito Kanda :
IgG antibodies to human papillomavirus 16, 52, 58, and 6 L1 capsids: case-control study of cervical intraepithelial neoplasia in Japan
Journal of Medical Virology 69(3) : 441-446 , 2003

- No . 7 Masatoshi Yokoyama, Tsuyoshi Iwasaka, Chisato Nagata, Shiro Nozawa, Soei Sekiya, Yasuo Hirai, Koji Kanazawa, Shinji Sato, Hiroshi Hoshiai, Motoyasu Sugase, Takashi Kawana, Hiroyuki Yoshikawa :
Prognostic factors associated with the clinical outcome of cervical intraepithelial neoplasia: a cohort study in Japan
Cancer Letter 192(2) : 171-179 , 2003
- No . 8 Takahide Arimoto, Toyomasa Katagiri, Katsutoshi Oda, Tatsuhiko Tsunoda, Toshiharu Yasugi, Yutaka Osuga, Hiroyuki Yoshikawa, Osamu Nishii, Tetsu Yano, Yuji Taketani, Yusuke Nakamura :
Genome-wide cDNA microarray analysis of gene-expression profiles involved in ovarian endometriosis
International Journal of Oncology 22(3) : 551-560 , 2003
- No . 9 Tomoko Nakauchi-Tanaka, Satoshi Sohda, Katsumi Someya, Keiko Kono, Hiromi Hamada, Hiroyuki Yoshikawa :
Acquired haemophilia due to factor VIII inhibitors in ovarian hyperstimulation syndrome: Case report
Human Reproduction 18(3) : 506-508 , 2003
- No . 10 Yoshikazu Okamoto, Yumiko Oishi Tanaka, Masato Nishida, Hajime Tsunoda, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai :
MR imaging of the uterine cervix: imaging-pathologic correlation
Radiographics 23(2) : 425-445 , 2003
- No . 11 Shin Takizawa, Shunsuke Nakagawa, K Nakagawa, Toshiharu Yasugi, Tomoyuki Fujii, Koji Kugu, Tetsu Yano, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani :
Abnormal Fhit expression is an independent poor prognostic factor for cervical cancer
British Journal of Cancer 88(8) : 1213-1216 , 2003
- No . 12 Yoshihito Ichikawa, Tomoko Nakauchi, Toyomi Sato, Akinori Oki, Hajime Tsunoda, Hiroyuki Yoshikawa :
Ultrasound diagnosis of uterine arteriovenous fistula associated with placental site trophoblastic tumor
Ultrasound in Obstetrics and Gynecology 21(6) : 606-608 , 2003
- No . 13 Suzuka Okuno, Hideyo Sato, Kazumi Kuriyama-Matsumura, Michiko Tamba, Hongyu Wang, Satoshi Sohda, Hiromi Hamada, Hiroyuki Yoshikawa, Takahito Kondo, Shiro Bannai :
Role of cystine transport in intracellular glutathione level and cisplatin resistance in human ovarian cancer cell lines
British Journal of Cancer 88(6) : 951-956 , 2003

- No . 14 Yutaka Fujiki, Kazuo Fukawa, Kenji Kameyama, Osamu Kudo, Masafumi Onodera, Yukio Nakamura, Ken-ichi Yagami, Yoshihiro Shiina, Hiromi Hamada, Akira Shibuya, Hiromitsu Nakauchi :
Successful multilineage engraftment of human cord blood cells in pigs after in utero transplantation
Transplantation 75(7) : 916-922 , 2003
- No . 15 Reiko Furuta, Yasuo Hirai, Katsuyoshi Katase, Shinichi Tate, Tokuichi Kawaguchi, Futoshi Akiyama, Yo Kato, Kazuki Kumada, Tsuyoshi Iwasaka, Nobuo Yaegashi, Koji Kanazawa, Hiroyuki Yoshikawa, Tomoyuki Kitagawa :
Ectopic chromosome around centrosome in metaphase cells as a marker of high-risk human papillomavirus-associated cervical intraepithelial neoplasias
International Journal of Cancer 106(2) : 167-171 , 2003
- No . 16 Koji Matsumoto, Toshiharu Yasugi, Akinori Oki, Hiroshi Hoshiai, Yuji Taketani, Takashi Kawana, Hiroyuki Yoshikawa :
Are smoking and chlamydial infection risk factors for CIN? Different results after adjustment for HPV DNA and antibodies
British Journal of Cancer 89(5) : 831-833 , 2003
- No . 17 Kei Kawana, Toshiharu Yasugi, Tadahito Kanda, Nao Kino, Katsutoshi Oda, Satoshi Okada, Yukiko Kawana, Tomomi Nei, Toshio Takada, Sosuke Toyoshima, Akira Tsuchiya, Kazunari Kondo, Hiroyuki Yoshikawa, Osamu Tsutsumi, Yuji Taketani :
Safety and immunogenicity of a peptide containing the cross-neutralization epitope of HPV16 L2 administered nasally in healthy volunteers
Vaccine 21(27-28) : 4256-4260 , 2003
- No . 18 Koji Matsumoto, Toshiharu Yasugi, Shunsuke Nakagawa, Mitsuo Okubo, Ranko Hirata, Hiroo Maeda, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Taketani :
Human papillomavirus type 16 E6 variants and HLA class II alleles among Japanese women with cervical cancer
International Journal of Cancer 106(6) : 919-922 , 2003
- No . 19 Rie Minami, Hajime Tsunoda, Tatsuo Iijima, Hiroyuki Yoshikawa, Ryoichi Nemori, Masayuki Noguchi :
Early acquisition of gelatinolytic activity in carcinogenesis of the uterine cervix
Modern Pathology 16(11) : 1164-1170 , 2003
- No . 20 Naoki Kita, Toyomi Satoh, Mamiko Onuki-Tanabe, Yoko Ainoya, Naoki Yamada, Akinori Oki, Hajime Tsunoda, Hiroyuki Yoshikawa :
Undifferentiated Carcinoma with Osteoclast-Like Multinucleated Giant Cells Arising in an Ovarian Mature Cystic Teratoma
Gynecologic and Obstetric Investigation 56(4) : 184-187 , 2003
- No . 21 安部 加奈子, 新井 ゆう子, 福山 千代子, 清末 美奈子, 武知 公博, 西田 正人, 吉川 裕之 :
子宮頸部明細胞腺癌の1例—子宮頸部細胞診所見を中心に—
茨城県立病院医学雑誌 21(2) : 153-159 , 2003

- No. 22 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
 プロテオーム解析を用いた妊娠中毒症における新しい関連蛋白の同定
 日本妊娠中毒症学会雑誌 11: 132-133, 2003

総 説

- No. 1 吉川 裕之:
 ヒトパピローマウイルス16型ワクチンの比較試験-ウイルス発がんを予防する初の臨床試験-
 CRITICAL EYES on Clinical Oncology 8: 3-4, 2003
- No. 2 西出 健, 吉川 裕之:
 子宮がんの化学療法
 化学療法の領域 19(増刊): 189-195, 2003
- No. 3 宗田 聡:
 死産した母親に「次の子供をがんばって」と安易に言うてはいけない!(増刊「先生! ちょっと待って! ~日常臨床で陥りやすいミスを防ぐ~」)
 治療 85(増刊): 124-126, 2003
- No. 4 宗田 聡:
 妊婦に安易にビタミン摂取を勧めてはいけない!(増刊「先生! ちょっと待って! ~日常臨床で陥りやすいミスを防ぐ~」)
 治療 85(増刊): 315-317, 2003
- No. 5 吉川 裕之:
 リンパ節郭清
 産科と婦人科 70(増刊): 214-220, 2003
- No. 6 角田 肇, 吉川 裕之:
 傍大動脈リンパ節郭清(特集「婦人科診療の再評価-その有効性と限界-」)
 産婦人科の実際 52(3): 299-306, 2003
- No. 7 沖 明典, 吉川 裕之:
 子宮筋腫の鑑別診断 とくに腺筋症・肉腫との鑑別(特集「子宮筋腫の管理」)
 産婦人科治療 86(3): 262-267, 2003
- No. 8 安岡 真奈, 吉川 裕之:
 抗ウイルス剤(特集「女性診療科医のための薬物療法マニュアル」)
 産婦人科治療 86(増刊): 421-426, 2003
- No. 9 市川 喜仁, 吉川 裕之:
 家族歴のある上皮性卵巣癌-分子生物学的遺伝子診断とその臨床的意義-(特集「産婦人科の分子生物学」)
 産婦人科の世界 55(増刊): 82-86, 2003
- No. 10 宗田 聡:
 妊婦と遺伝相談
 治療 85(4): 135-140, 2003

- No. 11 臼杵 愼, 渡邊 倫子 :
更年期障害の漢方療法 (特集「女性医療と漢方」)
産婦人科治療 86(5) : 952-959, 2003
- No. 12 吉川 裕之 :
子宮頸癌とHPV-その予防に向けた戦略-
Medical Science Digest 29(14) : 543-545, 2003
- No. 13 角田 肇, 吉川 裕之 :
子宮体癌の治療 リンパ節郭清-骨盤および傍大動脈節郭清個別化の基準-(臨時増刊特集「ベストEBM産婦人科治療」)
産婦人科の実際 52(12) : 1705-1712, 2003
- No. 14 角田 肇, 吉川 裕之 :
子宮体がん4 リンパ節郭清の適応と範囲は? (特集「婦人科がん治療の難題を解く-最新のエビデンスを考慮した解説-」)
臨床婦人科産科 57(12) : 1513-1517, 2003

著 書

- No. 1 市川 喜仁, 吉川 裕之 :
婦人科治療学 1 手術療法 2) 付属器の手術 iv) 悪性卵巢腫瘍の手術
臨床エビデンス婦人科学 (佐藤和雄, 藤本征一郎 編)
メジカルビュー社, 東京, pp. 544-551, 2003
- No. 2 佐藤 豊実, 吉川 裕之 :
卵巢悪性腫瘍
リスクマネジメントの実際「産婦人科領域」-医療安全管理のポイント- (杉本 充弘 編)
医薬ジャーナル社, 大阪, pp. 243-251, 2003
- No. 3 臼杵 愼 :
エストリオール測定法, 他
医学大辞典 (伊藤 正男, 井村 裕夫, 高久 史磨 編)
医学書院, 東京, p. 220, 2003

学会発表

- No. 1 渡邊 倫子, 櫻井 学, 染谷 勝巳, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之 :
両児染色体異常を認めたICSI双胎妊娠の症例
第137回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 39 : 87-88, 2003
- No. 2 北 直喜, 和田 篤, 越智 寛幸, 吉川 裕之 :
既往帝切全前置胎盤の帝切時, 自己血輸血が有用であった1症例 (当科における自己血輸血の実際)
第137回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 水戸, 1月
茨城県臨床医学雑誌. 39 : 85, 2003

- No. 3 陳 央仁, 堀米 仁志, 重光 貞彦, 宗田 聡, 濱田 洋実, 塩野 淳子, 高橋 実穂, 松井 陽:
胎児心磁図のP波, T波の検出率向上と標準データの確立を目指して-ベクトル型心磁計の臨床応用-
第9回日本胎児心臓病研究会, 淡路島, 2月
- No. 4 宮田 大揮, 高橋 実穂, 松永 真紀, 堀米 仁志, 濱田 洋実, 平松 祐司, 松井 陽:
胎児診断された新生児重症Ebstein奇形の1救命例
第9回日本胎児心臓病研究会, 淡路島, 2月
- No. 5 Yumiko Oishi Tanaka, Sadahiko Shigemitsu, Yoshihito Ichikawa, Satoshi Sohda, Hiroyuki Yoshikawa, Yuji Itai:
Postpartum hemorrhage: Differential diagnosis with MR
European Congress of Radiology, Vienna (Austria), 3月
- No. 6 千葉 幸子, 小野 まゆみ, 田家 真奈, 相馬 雅行, 角田 肇, 青木 雅弘, 新井 ゆう子, 佐藤 有希, 西田 正人, 金敷 真紀, 斎藤 洋子:
子宮がん検診で発見された体部腺癌の体部と頸部の細胞像について
第18回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, 水戸, 3月
- No. 7 藤原 広美, 深沢 政勝, 下山田 博明, 沖 明典, 佐藤 豊実, 角田 肇, 吉川 裕之, 森下 由紀雄, 飯島 達生, 野口 雅之:
外陰原発表在拡大型悪性黒色腫の一例
第18回日本臨床細胞学会茨城県支部学術集会, 水戸, 3月
- No. 8 吉川 裕之:
「卵巣癌予後向上へのチャレンジ」について
第26回日本医学会総会, 福岡, 4月
- No. 9 市川 喜仁, 杉本 雅樹, 佐藤 豊実, 沖 明典, 角田 肇, 田中 優美子, 吉川 裕之:
卵巣癌の進行期診断におけるCT, MRIの精度
第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 367, 2003
- No. 10 宗田 聡, 濱田 洋実, 漆川 邦, 小倉 剛, 安岡 真奈, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 山田 直樹, 吉川 裕之:
母体末梢血中の胎児細胞除去におけるFas抗原-Fasリガンド系の関与
第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 473, 2003
- No. 11 山田 直樹, 佐藤 豊実, 八木 洋也, 漆川 邦, 沖 明典, 市川 喜仁, 角田 肇, 吉川 裕之:
子宮頸部円錐切除とHPV感染
第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 176, 2003
- No. 12 奥野 鈴鹿, 沖 明典, 杉本 雅樹, 角田 肇, 吉川 裕之:
卵巣癌培養細胞株のシスプラチン耐性獲得におけるxc-系の役割
第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 301, 2003

- No. 13 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
 プロテオーム解析を用いた妊娠中毒症における新しい関連蛋白の同定
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 243, 2003
- No. 14 高野 克己, 市川 喜仁, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
 卵巣明細胞腺癌に特徴的な遺伝子コピー数異常と遺伝子発現プロファイル
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 386, 2003
- No. 15 南 里恵, 角田 肇, 佐藤 豊実, 沖 明典, 市川 喜仁, 吉川 裕之:
 卵巣癌細胞株におけるヒト中皮細胞との接着性およびヌードマウス腹膜播種形成能との関係
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 298, 2003
- No. 16 安岡 真奈, 濱田 洋実, 藤木 豊, 宗田 聡, 吉川 裕之:
 multiplex PCR法を用いた細菌性膣症の客観的診断法の確立
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 254, 2003
- No. 17 杉本 雅樹, 西出 健, 市川 喜仁, 重光 貞彦, 佐藤 豊実, 沖 明典, 角田 肇,
 久保 武士, 吉川 裕之:
 婦人科癌リンパ節郭清に後腹膜縫合は必要か
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 261, 2003
- No. 18 小貫 麻美子, 佐藤 豊実, 豊田 真紀, 杉本 雅樹, 山田 和美, 沖 明典,
 市川 喜仁, 角田 肇, 吉川 裕之:
 広汎子宮全摘術を行なった子宮頸癌症例の予後因子の検討
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 317, 2003
- No. 19 山田 和美, 沖 明典, 中尾 砂理, 渡邊 倫子, 藤木 豊, 佐藤 豊実, 市川 喜仁,
 角田 肇, 吉川 裕之:
 子宮頸部すりガラス細胞癌における腫瘍熱とサイトカイン
 第55回日本産科婦人科学会学術講演会, 福岡, 4月
 日本産科婦人科学会雑誌. 55(2): 180, 2003
- No. 20 八巻 利弘, 田中 優美子, 北川 裕美子, 松枝 清, 斎田 幸久, 櫻井 学, 沖 明典,
 角田 肇, 吉川 裕之:
 壁在結節を伴う特殊な卵巣粘液性腫瘍について
 第17回腹部放射線研究会, 東京, 5月
- No. 21 平井 みさ子, 雨海 照祥, 濱田 洋実, 堀 哲夫, 小室 広昭, 金子 道夫:
 当科における先天性横隔膜ヘルニアの出生前診断と治療方針及び治療成績の推移
 第40回小児外科学会総会, 京都, 5月
 日本小児科外科学会雑誌. 39(3): 454, 2003

- No. 22 越智 有美, 佐藤 豊実, 越智 寛幸, 沖 明典, 角田 肇, 深沢 政勝, 飯島 達生,
森下 由紀雄, 野口 雅之, 吉川 裕之:
腔壁腫瘍として発見された子宮頸部漿液性腺癌の一例
第44回日本臨床細胞学会総会, 東京, 5月
日本臨床細胞学会雑誌. 42(Suppl.1): 238, 2003
- No. 23 市川 良太, 藤木 豊, 八木 洋也, 岩下 寛子, 玉川 有美, 越智 寛幸, 漆川 邦,
比嘉 佐和子, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
当院におけるRetained placentaの取り扱い
第105回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(2): 201, 2003
- No. 24 越智 寛幸, 沖 明典, 佐藤 豊実, 玉川 有美, 櫻井 学, 中尾 砂理, 市川 喜仁,
角田 肇, 吉川 裕之:
進行子宮頸癌に対するchemoradiationの至適CDDP投与量の検討
第105回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(2): 156, 2003
- No. 25 玉川 有美, 宗田 聡, 豊田 真紀, 渡邊 倫子, 藤木 豊, 染谷 勝巳, 濱田 洋実,
吉川 裕之:
保存的治療により軽快したイレウス合併妊娠の一例
第105回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(2): 220, 2003
- No. 26 渡邊 倫子, 染谷 勝巳, 越智 寛幸, 櫻井 学, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
帝王切開癒痕部妊娠の3例
第105回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 東京, 6月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(2): 216, 2003
- No. 27 櫻井 学, 沖 明典, 越智 寛幸, 玉川 有美, 藤木 豊, 渡邊 秀樹, 佐藤 豊実,
角田 肇, 吉川 裕之:
急速な転帰を辿った卵巣癌, Mucinous cystadenocarcinoma with anaplastic carcinomaの1例
第139回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 下館, 6月
- No. 28 豊田 真紀, 佐藤 豊実, 玉川 有美, 越智 寛幸, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 沖 明典,
角田 肇, 吉川 裕之:
術前に深部静脈血栓症(DVT)を発症し得た肥満を伴わない子宮体部明細胞腺癌の1例
第139回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会, 下館, 6月
- No. 29 松本 寛和, 堀越 康子, 高津 吉宏, 大瀧 徹也, 北田 千恵子, 臼杵 愼:
妊娠の経過に伴う血中Metastatin濃度の変動
第76回日本内分泌学会学術集会, 横浜, 6月
- No. 30 越智 寛幸, 沖 明典, 佐藤 豊実, 市川 喜仁, 角田 肇, 吉川 裕之:
外陰癌切除の個別化とV-Y伸展皮弁による再建
第34回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 京都, 7月
日本婦人科腫瘍学会雑誌. 21(3): 219, 2003

- No. 31 市川 良太, 宗田 聡, 中尾 砂理, 漆川 邦, 小倉 剛, 小畠 真奈, 渡邊 秀樹, 藤木 豊, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
Early second-trimesterに出生前診断された人魚体シークエンスの2例
第39回日本新生児学会学術講演会, 郡山, 7月
日本新生児学会雑誌. 39(2): 245, 2003
- No. 32 小室 広昭, 堀 哲夫, 平井 みさ子, 金子 道夫, 濱田 洋実:
胎児MRIにて診断された横隔膜挙上症の1例
第39回日本新生児学会学術講演会, 郡山, 7月
日本新生児学会雑誌. 39(2): 387, 2003
- No. 33 高野 克己, 市川 喜仁, 吉川 裕之, 植松 直也, 三輪 正直, 内田 和彦:
卵巣明細胞腺癌における17番染色体長腕の増幅と遺伝子発現
第62回日本癌学会総会, 名古屋, 9月
- No. 34 安部 加奈子, 佐藤 豊実, 安倍 梓, 北 直喜, 渡邊 秀樹, 佐藤 奈加子, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
SCCの下降を指標としたIII-IV期子宮頸癌に対するconcurrent chemo-radiationの治療効果
第106回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 静岡, 10月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(3): 384, 2003
- No. 35 竹内 沢子, 藤木 豊, 漆川 邦, 市川 良太, 志村 玲奈, 渡邊 秀樹, 宗田 聡, 濱田 洋実, 吉川 裕之:
産褥性心筋症の1例
第106回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 静岡, 10月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(3): 358, 2003
- No. 36 櫻井 学, 沖 明典, 安倍 梓, 安部 加奈子, 北 直喜, 渡邊 秀樹, 佐藤 奈加子, 佐藤 豊実, 角田 肇, 吉川 裕之:
卵巣mucinous cystadenocarcinoma with anaplastic carcinomaの一例
第106回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会, 静岡, 10月
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報. 40(3): 307, 2003
- No. 37 渡邊 秀樹, 濱田 洋実, 漆川 邦, 山田 直樹, 宗田 聡, 吉川 裕之:
プロテオーム解析を用いた妊娠中毒症における新しい関連蛋白の同定
第24回日本妊娠中毒症学会, 名古屋, 10月
- No. 38 角田 肇, 佐藤 奈加子, 佐藤 豊実, 沖 明典, 吉川 裕之:
婦人科癌における妊孕性を温存した治療可能症例の選択基準と治療法の実際(ワークショップ)
第41回日本癌治療学会総会・学術集会, 札幌, 10月
- No. 39 佐藤 豊実, 越智 寛幸, 越智 有美, 小貫 麻美子, 佐藤 奈加子, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
30歳未満の子宮頸部浸潤癌症例の検討
第41回日本癌治療学会総会・学術集会, 札幌, 10月
日本癌治療学会雑誌. 38: 98, 2003

- No. 40 小貫 麻美子, 佐藤 豊実, 越智 有美, 越智 寛幸, 佐藤 奈加子, 沖 明典, 角田 肇,
吉川 裕之:
子宮頸癌Ⅳ期の検討
第41回日本癌治療学会総会・学術集会, 札幌, 10月
日本癌治療学会雑誌. 38: 98, 2003
- No. 41 越智 寛幸, 沖 明典, 越智 有美, 佐藤 奈加子, 佐藤 豊実, 角田 肇, 吉川 裕之:
当科における子宮体癌Ⅳ期症例の治療法の変遷
第41回日本癌治療学会総会・学術集会, 札幌, 10月
日本癌治療学会雑誌. 38: 97, 2003
- No. 42 越智 有美, 佐藤 豊実, 藤原 広美, 深沢 政勝, 越智 寛幸, 佐藤 奈加子,
沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之:
子宮癌検診を契機に発見されたperitoneal Carcinomaの1例
第42回日本臨床細胞学会秋期大会, 横浜, 10月
日本臨床細胞学会雑誌. 42(Suppl.2): 528, 2003
- No. 43 瓜田 泰久, 平井みさ子, 堀 哲夫, 雨海 照祥, 小室 広昭, 四本 克巳, 五藤 周,
川上 肇, 金子 道夫, 濱田 洋実:
胎児超音波検査で下部消化管拡張像を認めた直腸尿道瘻の1例
第38回日本小児外科学会関東甲信越地方会, 千葉, 10月
日本小児外科学会雑誌. 40(1): 115-116, 2004
- No. 44 Hiroyuki Yoshikawa :
Surgical Treatment for Advanced Ovarian Cancer (Symposium : Management of
Ovarian Cancer)
6th International Conference of the Asian Clinical Oncology Society (ACOS) ,
Seoul (Korea) , 11月
- No. 45 Satoshi Sohda, Hiroko Tsukamoto, Yutaka Fujiki :
Posttraumatic stress disorder of women after stillbirth with fetal anomalies
The 53rd Annual Meeting of The American Society of Human Genetics ,
Los Angeles (United States) , 11月
American Journal of Human Genetics 73(5)supple : 357 , 2003
- No. 46 安倍 梓, 佐藤 豊実, 安部 加奈子, 北 直喜, 越智 有美, 佐藤 奈加子, 沖 明典,
角田 肇, 吉川 裕之:
子宮体癌再発に伴い腫瘍随伴症候群 (PNS) を発症した1例
第140回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会
(第25回茨城医学会産婦人科分科会), 水戸, 11月
- No. 47 志村 玲奈, 藤木 豊, 竹内 沢子, 漆川 邦, 安部 加奈子, 渡邊 秀樹, 濱田 洋実,
吉川 裕之:
遺残胎盤の用手剥離術に骨盤腹腔鏡が有用であった1例
第140回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会
(第25回茨城医学会産婦人科分科会), 水戸, 11月

- No. 48 沖 明典：
良悪性鑑別を中心とした子宮筋層病変の画像診断（特別講演）
第4回子宮筋層病変生検研究会，山口，11月
子宮筋層病変生検研究会誌第4回研究会記録
- No. 49 Yumiko Oishi Tanaka, Hajime Tsunoda, Hiroyuki Yoshikawa：
Functioning ovarian tumors: direct and indirect findings on MR
89th Annual Meeting of radiology Society of North America，
Chicago (United States)，12月
- No. 50 角田 肇，吉川 裕之：
卵巣癌の手術療法（開腹手術）（ワークショップ：Open versus endoscopic surgery 現状での適応と成績（子宮癌・卵巣癌））
第16回日本内視鏡外科学会，岡山，12月
- その他
- No. 1 吉川 裕之：
婦人科医療におけるインフォームドコンセント（2）卵巣腫瘍
ラジオたんぱ（1月28日放送），1月
- No. 2 宗田 聡：
周産期のトピックス
第14回茨城県産婦人科医会県南・南支部講演会，牛久，1月
- No. 3 越智 寛幸，吉川 裕之：
生体腎移植後の妊娠について
常陽医療福祉新聞，1月
- No. 4 吉川 裕之：
子宮頸がんへの挑戦
平成15年度文部科学省科研費特定領域「がんの疫学研究領域」公開シンポジウム，東京，2月
- No. 5 吉川 裕之：
特別講演：産婦人科医療の現状と将来展望-特に婦人科がんについて-
第200回広島市臨床産婦人科医会，広島，2月
- No. 6 佐藤 奈加子，吉川 裕之：
閉経後ホルモン補充療法と卵巣癌発症リスク・エストロゲン補充療法と卵巣癌発症リスク（翻訳）
JAMA日本語版2003. pp.81-91，2003
- No. 7 吉川 裕之：
平成14年度厚生労働科学研究費「効果的医療技術の推進臨床研究事業（がん分野）」研究発表会
東京，3月
- No. 8 吉川 裕之：
卵巣がん予後向上へのチャレンジ
第26回日本医学会総会会誌. p. 68，2003

- No. 9 吉川 裕之：
特別講演：子宮頸癌の予防を目指して-特にHPVと関連して-
母体保護法指定医師研修会，静岡，4月
- No. 10 吉川 裕之：
特別講演：卵巢癌の治療-特に手術療法について-
群馬婦人科腫瘍講演会，前橋，5月
- No. 11 沖 明典，玉川 有美，渡邊 秀樹，藤木 豊，佐藤 豊実，角田 肇，吉川 裕之：
III/IV期卵巢癌・卵管癌・腹膜癌に対する術前化学療法
第3回つくば婦人科癌治療研究会，つくば，6月
- No. 12 染谷 勝巳：
不妊症治療の基本と展望
下館市医師会研修会，下館，6月
- No. 13 吉川 裕之：
特別講演：進行卵巢癌の治療について
埼玉婦人科腫瘍研究会，大宮，6月
- No. 14 吉川 裕之：
HPV感染と子宮頸部発がんに関するコホート研究
がん特定領域研究研究代表者会議，東京，7月
- No. 15 吉川 裕之：
特別講演：子宮頸癌発生の予防を目指して
第36回日本産科婦人科学会四国連合地方部会学術講演会，徳島，7月
- No. 16 吉川 裕之：
特別講演：進行卵巢癌の予後向上を目指して
第9回北陸婦人科腫瘍講演会，金沢，9月
- No. 17 濱田 洋実：
妊婦健診における胎児心臓スクリーニングについて
日本産科婦人科学会茨城県西支部集談会，下妻，10月
茨城県産婦人科医会県母医報. 215：17-18，2003
- No. 18 角田 肇：
カレントレビュー「癌治療と腹腔鏡下手術のレビュー」
第3回つくば癌セミナー，つくば，10月
- No. 19 吉川 裕之：
特別講演：子宮体がんの傍大動脈リンパ節郭清について
札幌婦人科腫瘍研究会，札幌，10月
- No. 20 吉川 裕之：
特別講演：卵巢がんの治療-手術を中心として-
日本産科婦人科学会香川地方部会総会，高松，10月
- No. 21 佐藤 豊実：
子宮癌・見つけて・治そう
古河三高PTA総和町支部研修会講演会，総和町，11月

- No. 22 佐藤 豊実：
子宮体がん検診の向上をめざして－細胞診の立場から－
平成15年度子宮がん検診従事者講習会，水戸，11月
- No. 23 吉川 裕之：
特別講演：卵巣がん治療について－化学療法と手術療法－
岐阜婦人科治療研究会，岐阜，11月
- No. 24 藤木 豊，濱田 洋実，安倍 梓，志村 玲奈，安部 加奈子，北 直喜，竹内 沢子，
漆川 邦，渡邊 秀樹，吉川 裕之：
クリニカルカンファレンス周産期「VBACについて」
日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 40巻4号，pp. 491-498，12月
- No. 25 吉川 裕之：
婦人科腫瘍グループの研究について
JCOG総合班会議，東京，12月

2003年（耳鼻咽喉科グループ）

原 著

- No . 1 Tabuchi K, Tsuji S, Fujihira K, Oikawa K, Hara A, Kusakari J :
Outer hair cells functionally and structually deteriorate during reperfusion
Hear res 173 : 153-163 , 2003
- No . 2 Tabuchi K,Oikawa K,Uemaetomari I,Tsuiji S,Wada T,Hara A :
Gulucocorticoids and dehydroepiandrosterone sulfate ameliorate ischemia-
induced injury of the cochler
Hear res 180 : 51-56 , 2003
- No . 3 Tabuchi K,Hoshino T,Murashita H,Oikawa K,Uemaetomari I,Nishimura B,
Tobita T,Hara A :
Involvement of poly (ADP-ribose)synthetase in acoustic trauma of the cochlea
Tohoku J exp med 200 : 195-202 , 2003
- No . 4 Tabuchi K,Okubo H,Takahashi K,Uemaetomari I,Shimoyamada H,Nakayama Y,Hara A :
Nevoid basal cell carcinoma syndrome:report of an aggressive case with ethmoid
sinus invasion
ANL30 : 421-423 , 2003
- No . 5 田淵 経司,和田 哲郎,瀬成田雅光,大久保英樹,高橋 和彦,上前泊 功,原 晃 :
口腔・中咽頭癌 期症例における化学療法
耳鼻臨床 96 (1) : 67-71 , 2003
- No . 6 原 晃 :
非穿孔鼓膜耳の中耳機能検査
耳鼻臨床 96 (3) : 191-196 , 2003
- No . 7 上前泊 功,田淵 経司,和田 哲郎,原 晃,草刈 潤,飯島 達生,菅間 博 :
顎下腺悪性筋上皮腫例
耳鼻臨床 96 (3) : 237-243 , 2003
- No . 8 小堀 理佳,田淵 経司,大久保英樹,高橋 和彦,下山田博明,原 晃 :
蝶形骨洞原発の腺様嚢胞癌症例
耳鼻臨床 96 (11) : 959-962 , 2003
- No . 9 原 晃 :
白金製剤による難聴の基礎と臨床
耳喉・頭頸 75 (2) : 107-109 , 2003
- No . 10 境 修平,辻 茂希,大久保英樹,原 晃 :
外耳道に生じた皮脂腺癌の1症例
耳喉・頭頸 75 (8) : 557-560 , 2003

著 書

- No. 1 和田 哲郎, 原 晃 :
.耳鼻咽喉科治療薬 —6.副腎皮質ホルモン—
耳鼻咽喉科薬物療法マニュアル (神崎 仁, 小川 郁 編),
金原出版, 東京, pp54-58, 2003
- No. 2 原 晃 :
薬剤による難聴の臨床
日本医事新報 4140, pp42-47, 2003
- No. 3 原 晃
1. 麻酔・切開 5) Tympanomeatal flapの作り方
イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 耳・鼻編
(村上 泰 監修, 飯沼壽孝, 木田亮紀, 小林俊光, 久 育男, 森山 寛 編),
東京医学社, 東京, p12, 2003

学会発表

- No. 1 Nakamori A, Oikawa K, Tabuchi K, Hara A, Kusakari J :
Involvement of nuclear factor-kappa B in acoustic trauma
ARO (Florida), 24 Feb, 2003
- No. 2 Tabuchi K, Uemaetomari I, Oikawa K, Nakamori A, Fujihira K, Hara A :
Deterioration of outer hair cells in reperfusion injury of the cochlea
ARO (Florida), 24 Feb, 2003
- No. 3 及川 慶子, 田淵 経司, 中森 暁子, 大久保英樹, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃 :
音響外傷に対するSB203580の保護効果
第104回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 5月22日, 2003
- No. 4 田淵 経司, 及川 慶子, 中森 暁子, 上前泊 功, 飛田 忠道, 大久保英樹, 原 晃 :
ステロイド剤虚血前投与の蝸牛保護効果
第104回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 5月22日, 2003
- No. 5 高橋 和彦, 大久保英樹, 田淵 経司, 中森 暁子, 小嶋 理佳, 和田 哲郎, 原 晃 :
嗅神経芽細胞腫の4症例
第104回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 5月22日, 2003
- No. 6 和田 哲郎, 田淵 経司, 高橋 和彦, 大久保英樹, 原 晃 :
当科における耳下腺悪性腫瘍の検討
第104回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 5月23日, 2003
- No. 7 松原 篤, 佐々木 亮, 新川 秀一, 田淵 経司, 中森 暁子, 原 晃, 草刈 潤 :
虚血状態における末梢前庭器のグルタミン酸及びグルタミンの変動—イムノゴールド
法による定量的解析—
第104回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 (東京), 5月23日, 2003
- No. 8 田中 秀峰, 星野 朝文, 及川 慶子, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃 :
放射線治療によるドライマウスへの対処
第51回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会 (水戸), 6月29日, 2003

- No. 9 西村 文吾, 中山 雅博, 西村 一記, 星野 朝文, 上前泊 功, 田淵 経司,
高橋 和彦, 大久保英樹, 和田 哲郎, 原 晃:
Laryngo Pharyngeal Reflux Diseaseによると考えられた喉頭病変について
第51回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸), 6月29日, 2003
- No. 10 星野 朝文, 田中 秀峰, 西村 文吾, 及川 慶子, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
上顎に発生したbasaloid squamous cell carcinoma の一例
第51回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸), 6月29日, 2003
- No. 11 野村 正猛, 西村 一記, 星野 朝文, 田淵 経司, 大久保英樹, 高橋 和彦,
和田 哲郎, 原 晃:
当科における顎下腺悪性腫瘍の検討
第51回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会(水戸), 6月29日, 2003
- No. 12 及川 慶子, 田淵 経司, 中森 暁子, 大久保英樹, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
音響外傷におけるP38MAPK阻害剤の保護効果
第12回日本聴覚医学会耳音響放射射研究会(東京), 7月4日, 2003
- No. 13 原 晃:
聴神経腫瘍の診断とEBM
日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会・研修会(呉市), 7月4日, 2003
- No. 14 原 晃:
聴神経腫瘍診断の問題点
第52回日本耳鼻咽喉科学会東北連合会(山形市), 7月26日, 2003
- No. 15 西村 文吾, 中山 雅博, 西村 一記, 星野 朝文, 上前泊 功, 田淵 経司,
高橋 和彦, 大久保英樹, 和田 哲郎, 原 晃:
Laryngo Pharyngeal Reflux Diseaseの喉頭病変について
第8回日本耳鼻咽喉科学会北関東連合会(つくば市), 9月7日, 2003
- No. 16 田淵 経司, 及川 慶子, 星野 朝文, 村下 秀和, 西村 文吾, 上前泊 功, 辻 茂希,
大久保英樹, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
内耳虚血再灌流障害におけるグルココルチコイドの外有毛細胞保護効果
第48回聴覚医学会総会・学術講演会(東京), 9月26日, 2003
- No. 17 及川 慶子, 田淵 経司, 中森 暁子, 大久保英樹, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
音響外傷におけるP38MAPK阻害剤の保護効果の検討
第48回聴覚医学会総会・学術講演会(東京), 9月26日, 2003
- No. 18 新井 峻, 阿瀬 雄治, 岡田 慎一, 照沼久美子, 原 晃:
茨城県における新生児聴覚スクリーニングの現状と体制整備について
第48回聴覚医学会総会・学術講演会(東京), 9月26日, 2003
- No. 19 星野 朝文, 田淵 経司, 村下 秀和, 和田 哲郎, 原 晃:
内耳音響性障害における非ステロイド性抗炎症薬の効果
第13回日本耳科学会総会・学術講演会(千葉), 10月17日, 2003
- No. 20 村下 秀和, 田淵 経司, 星野 朝文, 和田 哲郎, 原 晃:
音響性障害における一酸化窒素合成阻害薬の効果
第13回日本耳科学会総会・学術講演会(千葉), 10月17日, 2003

- No. 21 和田 哲郎, 中山 雅博, 青柳 安典, 上前泊 功, 田淵 経司, 高橋 和彦,
大久保英樹, 安積 靖敏, 高橋 邦明, 原 晃:
中耳手術後にみられた髄膜瘤の1症例
第13回日本耳科学会総会・学術講演会(千葉), 10月18日, 2003
- No. 22 田淵 経司, 高橋 和彦, 大久保英樹, 和田 哲郎, 原 晃:
当科における耳性頭蓋内合併症症例
第13回日本耳科学会総会・学術講演会(千葉), 10月18日, 2003
- No. 23 西村 文吾, 野村 正猛, 及川 慶子, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
頸部交感神経由来と考えられた神経鞘腫の1症例
第52回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方分会(水戸市), 10月25日, 2003
- No. 24 野村 正猛, 田中 秀峰, 西村 文吾, 星野 朝文, 及川 慶子, 田淵 経司,
高橋 和彦, 大久保英樹, 和田 哲郎, 原 晃:
頸部リンパ節転移を初発症状とした扁桃癌症例
第52回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方分会(水戸市), 10月25日, 2003
- No. 25 星野 朝文, 田淵 経司, 大久保英樹, 高橋 和彦, 和田 哲郎, 原 晃:
当科で経験した小児悪性腫瘍の7症例
第52回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方分会(水戸市), 10月25日, 2003
- No. 26 和田 哲郎, 西村 文吾, 野村 正猛, 田淵 経司, 高橋 和彦, 大久保英樹, 原 晃,
影井 兼司, 秋根 康之:
中・下咽頭原発扁桃上皮癌に対するTAR療法(TS-1, VitaminA併用放射線療法)に
ついて
第52回日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方分会(水戸市), 10月25日, 2003
- No. 27 Tabuchi K, Murashita H, Tobita T, Tsuji S, okubo H, Takahashi K, Wada T, Hara A:
Preoperative evaluation of ossicular chain abnormality in the patient of conductive
deafness without perforation of the tympanic membrane
The 7th Japan-Taiwan conference in Otolaryngology Head and Neck Surgery
(Tokyo), 31 Oct, 2003
- No. 28 原 晃:
聴神経腫瘍診断の問題点
第61回日本耳鼻咽喉科学会島根地方分会学術講演会(松江市), 12月11日, 2003

その他

- No. 1 和田 哲郎:
花粉症について
NHK水戸FM, 4月2日, 2003
- No. 2 高橋 和彦:
味覚障害について
NHK水戸FM, 4月2日, 2003
- No. 3 和田 哲郎:
日常診療における“めまい”治療
茨城県保険医協会・県西地区研究会(下館市)5月29日, 2003

No. 4 和田 哲郎：

怖いめまいと怖くないめまい

つくば市医師会・講演会（つくば市）6月21日，2003

2003年（麻酔診療グループ）

原 著

- No . 1 Sumiya K, Homma M, Watanabe M, Baba Y, Inomata S, Kihara S, Toyooka H,
Kohda Y :
Sedation and plasma concentration of clonidine hydrochloride for pre-anesthetic
medication in pediatric surgery
Biol Pharm Bull 26 (4) : 421-423 , 2003
- No . 2 Kihara S, Brimacombe J, Yaguchi Y, Watanabe S, Taguchi N, Komatsuzaki T :
Hemodynamic responses among three tracheal intubation devices in normotensive
and hypertensive patients
Anesth Analg 96 (3) : 890-895 , 2003
- No . 3 Unoki T, Mizutani T, Toyooka H :
Effects of expiratory rib cage compression and/or prone position on oxygenation
and ventilation in mechanically ventilated rabbits with induced atelectasis
Respir Care 48 (8) : 754-762 , 2003
- No . 4 Shimizu T, Inomata S, Toyooka H :
Artifactual dextrocardia associated with a defect in the ECG labeling
Anesth Analg 96 (4) : 1232 , 2003 (Letter to the editor)
- No . 5 Hosoya M, Inomata S, Sukegawa I, Saito S, Toyooka H :
Pulmonary artery catheter sutured to pulmonary artery trunk during cardiac
surgery
Anesth Analg 97 (2) : 606-607 , 2003 (Letter to the editor)
- No . 6 Watanabe K, Inomata S, Miyabe M, Saito S, Toyooka H :
Cerebral hypoperfusion with systemic hypotension during common carotid ligation
Anaesthesia 58 (8) : 819-820 , 2003 (Correspondence)
- No . 7 Kihara S, Brimacombe J :
Sex-based ProSeal™ laryngeal mask airway size selection: a randomized
crossover study of anesthetized, paralyzed male and female adult patients
Anesth Analg 97 (1) : 280-284 , 2003
- No . 8 Kihara S, Yaguchi Y, Inomata S, Watanabe S, Brimacombe J, Taguchi N,
Komatsuzaki T :
Influence of nitrous oxide on minimum alveolar concentration of sevoflurane for
laryngeal mask insertion in children
Anesthesiology 99 (5) : 1055-1058 , 2003
- No . 9 Kihara S, Komatsuzaki T, Brimacombe J, Yaguchi Y, Taguchi N, Watanabe S :
A silicone-based wire reinforced tracheal tube with a hemispherical bevel reduces
nasal morbidity for nasotracheal intubation
Anesth Analg 97 (5) : 1488-1491 , 2003

- No . 10 Hoshi T, Miyabe M, Takahashi S, Toyooka H :
Evaluation of the Arrow Flex Tip Plus™ epidural catheter tip position and migration during continuous thoracic analgesia
Can J Anaesth 50 (2) : 202-203 , 2003 (Correspondence)
- No . 11 Nakayama S, Takahashi S, Toyooka H :
Curved-end guidewire for central venous cannulation in neonate
Anesth Analg 97 (3) 917-918 , 2003 (Letter to editor)
- No . 12 Takahashi S, Fujii Y, Hoshi T, Uemura A, Miyabe M, Toyooka H :
Milrinone attenuates the negative inotropic effects of landiolol in halothane-anesthetized dogs
Can J Anaesth 50 (8) : 830-834 , 2003
- No . 13 Fujii Y, Uemura A, Toyooka H :
Effect of inhaled colforsin daropate on contractility of fatigued diaphragm in dogs
Anesth Analg 96 (4) : 1032-1034 , 2003
- No . 14 Fujii Y, Uemura A, Toyooka H :
Midazolam-induced muscle dysfunction and its recovery in fatigued diaphragm in dogs
Anesth Analg 97 (3) : 755-758 , 2003
- No . 15 Fujii Y :
Effects of diltiazem compared with nicardipine on diaphragmatic fatigability in vivo
Eur J Anaesth 20 (7) : 575-588 , 2003 (Correspondence)
- No . 16 Uemura A, Fujii Y, Toyooka H :
Olprinone for the treatment, but not prevention, of fatigue-induced changes in guinea pig diaphragmatic contractility
Anesth Analg 96 (6) : 1679-1782 , 2003
- No . 17 Numazaki M, Fujii Y :
Reduction of emetic symptoms during cesarean delivery with antiemetics: propofol at subhypnotic dose versus traditional antiemetics
J Clin Anesth 15 (6) : 423-427 , 2003
- No . 18 Inomata S, Nagashima A, Osaka Y, Kazama T, Tanaka E, Sato S, Toyooka H :
Propofol inhibits lidocaine metabolism in human and rat liver microsomes.
J Anesth 17 (4) : 246-250 , 2003
- No . 19 Inomata S, Nagashima A, Osaka Y, Tanaka E, Toyooka H :
Effects of clonidine on lidocaine metabolism in human or rat liver microsomes
J Anesth 17 (4) : 281-283 , 2003
- No . 20 Miyabe M, Tajima K, Takahashi H, Toyooka H :
Olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, does not affect hypoxia-induced pial arteriolar dilatation in rabbits
Can J Anaesth 50 (2) : 193-197 , 2003

- No . 21 Kondo T, Toyooka H, Arita H :
Hiccup reflex is mediated by pharyngeal of glossopharyngeal nerve in cats
Neuroscience Research 47 (3) : 317-321 , 2003
- No . 22 Fukuda T, Kakiuchi Y, Miyabe M, Kihara S, Kohda Y, Toyooka H :
Free lidocaine concentrations during continuous epidural anesthesia in geriatric patients
Regional Anesthesia and Pain Medicine 28 (3) : 215-220 , 2003
- No . 23 櫻井 洋志,猪股 伸一,垣内 祥宏,宮部 雅幸,大坂 佳子,森 智子,馬場 泰行,
福田 妙子,幸田 幸直,豊岡 秀訓 :
5%リドカインクリーム外用薬の除痛効果と血中リドカイン濃度
ペインクリニック24 (2) : 237-240 , 2003
- No . 24 中山 慎,宮部 雅幸,田畑 江哉,豊岡 秀訓 :
血栓塞栓摘出術中に生じた大量肺出血の麻酔管理
麻酔52 (8) : 863-865 , 2003
- No . 25 助川 岩央,宮部 雅幸,藤井 猛雄,星 拓男,高橋 伸二,豊岡 秀訓 :
腎摘出後に横紋筋融解症を発症した2症例
麻酔52 (8) : 882-885 , 2003
- No . 26 高橋 宏,田島 啓一,水谷 太郎,斎藤 重行,猪股 伸一,宮部 雅幸,豊岡 秀訓 :
一次救命処置手技における教育のあり方に関する検討
麻酔と蘇生39 (1) : 1-5 , 2003
- No . 27 藤井 善隆 :
ジルチアゼムの横隔膜収縮力および横隔膜筋電図に及ぼす影響
麻酔52 (12) : 1327-1331 , 2003
- No . 28 古垣 達也,大塚 雅昭,高橋 宏,中山 凱夫,軸屋 智昭,榊原 謙 :
in vitroで算出するヘパリン / プロタミン量の算出-ヘモクロンレスポンスと
Hepocon-HMSの比較-
体外循環技術. 30 (2) : 82-84 , 2003
- No . 29 古垣 達也,大塚 雅昭,高橋 宏,中山 凱夫 :
メス先電極のインピーダンス測定
医科学73 (10) : 569-570 , 2003
- No . 30 細谷 真人,水谷 太郎,高橋 伸二,豊岡 秀訓 :
自発呼吸におけるPSV もしくはtube compensation 設定,気管チューブの長さ・内
径の差異が換気量に及ぼす影響-シュミレーターを用いた検討-
人工呼吸20 (2) : 194 , 2003
- No . 31 卯野木 健,木下 佳子,水谷 太郎,高橋 伸二,田村富美子,豊岡 秀訓 :
気管内吸引時のキシロカインスプレー反復噴霧は気管チューブ内壁の摩擦力を増大さ
せる
人工呼吸20 (2) : 146 , 2003
- No . 32 大塚 雅昭,高橋 宏,斎藤 重行,古垣 達也,佐藤 典子,中山 凱夫 :
筑波大学手術部における医療事故防止対策-患者誤認防止対策-
日本手術医学会誌24 (1) : 61-62 , 2003

No. 33 八木原正浩, 福田 妙子, 宮部 雅幸, 渡邊 雅彦, 豊岡 秀訓:

眼咽頭遠位型ミオパチーの麻酔経験

麻酔 52 (2): 151-153, 2003

総 説

No. 1 猪股 伸一, 豊岡 秀訓:

小児用硬膜外針と方法

臨床麻酔 27 (9): 1471-1475, 2003

No. 2 水谷 太郎:

特集人工呼吸の安全対策を考える-事故を防止するアラームの設定

人工呼吸 20 (2): 110-112, 2003

No. 3 藤井 善隆:

横隔膜運動障害に対する薬物療法

臨床生理 35 (2): 85-90, 2003

著 書

No. 1 水谷 太郎:

家庭用品中毒 (タバコ, 化粧品) (高久史磨他 監修)

外来診療のすべて MEDICAL VIEW, 東京, pp.1012-1013, 2003

No. 2 宮部 雅幸:

脊髄くも膜下麻酔, 硬膜外麻酔のときの昇圧薬の使い

麻酔科プラクティス 9. 周術期治療薬ガイド (高崎真弓他 編)

文光堂, 東京, pp.40-41, 2003

No. 3 宮部 雅幸:

抗コリン作動薬

麻酔科プラクティス 9. 周術期治療薬ガイド (高崎真弓他 編)

文光堂, 東京, pp.205-206, 2003

No. 4 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:

救急蘇生とインテンシブ・ケアに必要な処置12 体位ドレナージ

消化器外科5 新ベッドサイド処置アトラスへるす出版, 東京, pp.1021-1025, 2003

No. 5 猪股 伸一:

セボフルランはなぜVIMAに適しているか?

今日から実践できるVIMA (並木昭義他 編) 真興交易, 東京, pp.11-18, 2003

No. 6 藤井 善隆:

術後の悪心・嘔吐

麻酔科診療プラクティス: 周術期の危機管理 (稲田英一 編)

文光堂, 東京, pp.246-249, 2003

No. 7 藤井 善隆:

制酸薬の使い分

麻酔科診療プラクティス: 周術期治療薬ガイド (高崎真弓 編) 文光堂, 東京, 2003

No . 8 宮部 雅幸 :
気管チューブ : 気管切開チューブ
麻酔科診療プラクティス : 気道確保のすべて (高崎真弓 編)
文光堂 , 東京 , pp.48-50,83-86 , 2003

No . 9 斎藤 重行 , 豊岡 秀訓 :
PiCCOによる心拍出量測定-中心静脈ラインと温度センサー付き動脈ラインで連続的
心拍出量と心肺系の容量測定が可能 -.
救急・集中治療 総合医学社 , pp.379-390 , 2003

学会発表

No . 1 Hosoya M, Mizutani T, Takahashi S, Toyooka H :
Effect of pressure support ventilation or tube compensation and tracheal tube size
and length on tidal volume during spontaneous breathing- A simulator study
Annual Meeting American Society of Anesthesiologists (San Francisco) ,
Oct. , 2003

No . 2 Miyabe M, Toyooka H :
Nicardipine increases ICP during normotension but not during hypertension
Annual Meeting American Society of Anesthesiologists (San Francisco) ,
Oct. , 2003

No . 3 Uemura A, Miyabe M, Toyooka H :
Epidural ropivacaine with and without fentanyl for postoperative pain relief in
children(1-10years)
Joint Meeting of Society of Pediatric Anesthesia and
Japanese Society of Pediatric Anesthesia
(San Francisco , USA) , Oct. , 2003

No . 4 Tanaka E, Nagashima A, Inomata S, Honda K :
A study of the in vitro interaction between lidocaine and premedications using rat
and human liver microsomes(II)
The International Association of Forensic Toxicologists (TIAFT)
41st International Meeting (Melbourn) , Nov , 2003

No . 5 Takahashi S, Toyooka H, Tanaka M :
Fentanyl does not decrease the efficacy of hemodynamic and T-webe criteria for
detecting intravascular injection of the epinephrine test dose during propofol
anesthesia : A dose-response study
IARS (Florida U.S.A.) , March , 2003

No . 6 水谷 太郎 :
座長 呼吸 (4)
第30回日本集中治療医学会 (札幌) , 2月 , 2003

No . 7 錦井 秀和 , 大塚 定徳 , 新富 義候 , 山口 巖 , 本間 覚 , 水谷 太郎 :
特異な経過を示した肺炎球菌肺炎によるARDSの一人例.
第30回日本集中治療医学会 (札幌) , 2月 , 2003

- No. 8 水谷 太郎, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓, 本間 覚, 筒井 達夫:
ペントナイト懸濁液気管内注入による新しい無気肺モデル作成の試み
第30回日本集中治療医学会 (札幌), 2月, 2003
- No. 9 宮部 雅幸:
シンポジウム 神経麻酔・集中治療における麻酔関連薬の選択と適応-吸入麻酔薬
第7回日本神経麻酔・集中治療研究会 (岐阜), 3月, 2003
- No. 10 宮部 雅幸, 田島 啓一, 高橋 宏, 豊岡 秀訓:
PDEIII阻害薬オルプリノンは低酸素血症による脳軟膜動脈拡張に影響を及ぼさない
第7回日本神経麻酔・集中治療研究会 (岐阜), 3月, 2003
- No. 11 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 風間 富栄, 佐藤 重仁:
P450代謝系における静脈麻酔薬(プロポフォール)と局所麻酔薬(リドカイン)の相互作用
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 12 藤井 善隆:
教育講演 横隔膜運動障害に対する薬物療法
第90回臨床呼吸生理研究会 (東京), 5月, 2003
- No. 13 沼崎 満子, 富永 知子, 竹内久美子, 豊岡 秀訓, 富永 真琴:
カプサイシンによる鎮痛の分子機構
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 14 田島 啓一, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
脳動脈径の低血圧に対する反応は一側総頸動脈遮断中も保たれる
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 15 木原 真一, 矢口 裕一, 田口 典子, 渡辺 誠治:
性別によるプロシールラリングルマスク(PLMA)の適切サイズ選択
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 16 藤倉 健三, 福田 妙子, 古川 宗, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
脊麻・硬膜外麻酔施行時のSpO₂の低下と酸素投与の効果
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 17 綾 大介, 宮部 雅幸, 清水 雄, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
保存療法により治癒した硬膜外血腫の1例
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 18 豊岡 秀訓:
司会 脊髄虚血の病体と治療
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 19 豊岡 秀訓:
司会 オレキシンの交感神経活動に及ぼす影響
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 20 宮部 雅幸:
座長 硬膜外麻酔(研究)
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003

- No. 21 高橋 宏, 大久保直光, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
ヘパリン中和のためのプロタミン過剰投与は心機能を抑制する
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 22 高橋 伸二, 藤井 善隆, 星 拓男, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
LandiololとMilrinoneの同時投与時の循環動態の変動
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 23 古川 宗, 福田 妙子, 宮部 雅幸, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
全身麻酔下における気道内圧と体位による内頸静脈断面積の変化
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 24 藤井 善隆, 上村 明, 豊岡 秀訓:
鎮静量のミダゾラムは横隔膜収縮力を低下させる
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 25 上村 明, 藤井 善隆, 豊岡 秀訓:
モルモット横隔膜疲労における加齢の影響
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 26 中山 慎, 宮部 雅幸, 猪股 伸一, 大坂 佳子, 豊岡 秀訓:
持続硬膜外麻酔中のリドカイン代謝に及ぼすプロポフォルの影響
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 27 助川 岩夫, 猪股 伸一, 細谷 真人, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
術中肺動脈カテーテル損傷の2症例
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 28 山下創一郎, 斎藤 重行, 斎藤 歌織, 飯嶋 千裕, 千葉 あい, 猪股 伸一:
ヒドロキシエチルデンプンが胃切除術中の浸出液や術後の循環動態に及ぼす影響について
第50回日本麻酔科学会 (横浜), 5月, 2003
- No. 29 宮部 雅幸:
特別講演 虚血再灌流における一酸化窒素(NO) の役割
第7回浜松NO研究会 (浜松), 5月, 2003
- No. 30 古垣 達也, 大塚 雅昭, 高橋 宏, 中山 凱夫:
メス先電極のインピーダンス測定
第78回日本医科器械学会大会 (名古屋), 6月, 2003
- No. 31 星 拓男, 宮部 雅幸, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
挿入時の呼吸による硬膜外カテーテル先端位置の変化
第37回日本ペインクリニック学会 (仙台), 7月, 2003
- No. 32 卯野木 健, 大坂 佳子, 水谷 太郎, 高橋 伸二, 田村富美子, 豊岡 秀訓:
気管内吸引時のキシロカインスプレー反復噴霧は気管チューブ内壁の摩擦力を増大させる
第25回日本呼吸療法医学会,
第13回日本呼吸管理学会合同学術集会 (千葉), 8月, 2003

- No. 33 細谷 真人, 水谷 太郎, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
自発呼吸におけるPSVもしくはtube compensation設定, 気管チューブの長さ・内径
の差異が換気量に及ぼす影響 -シミュレーターを用いた検討-
第25回日本呼吸療法医学会,
第13回日本呼吸管理学会合同学術集会 (千葉), 8月, 2003
- No. 34 水谷 太郎:
座長 人工鼻・加温加湿,
第25回日本呼吸療法医学会
第13回日本呼吸管理学会合同学術集会 (千葉), 8月, 2003
- No. 35 豊岡 秀訓:
招請講演2 司会 Bacterial / Viral Filtration: Protecting Our Patients, Protecting
Ourselves
第13回日本呼吸管理学会合同学術集会 (千葉), 8月, 2003
- No. 36 豊岡 秀訓:
座長 小児, 血液浄化, その他
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (東京), 8月, 2003
- No. 37 楯山 定美, 古田 智美, 川口 寿彦, 川村 美幸, 阿部 安子, 水谷 太郎:
人工呼吸器装着のまま在宅に移行した一事例の報告
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (東京), 8月, 2003
- No. 38 西川 昌志, 高橋 伸二, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
Prader-Willi 症候群患者の人工呼吸管理経験.
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (東京), 8月, 2003
- No. 39 八木原正浩, 近藤 司, 松宮 直樹, 水谷 太郎, 豊岡 秀訓:
アセトアミノフェン中毒の治療中に呼吸困難をきたした症例
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会 (東京), 8月, 2003
- No. 40 豊岡 秀訓:
座長 人工呼吸管理の最近の進歩
日本麻酔科学会東京・関東甲信越支部第43回合同学術集会 (東京), 9月, 2003
- No. 41 荒木 祐一, 高橋 伸二, 宮部 雅幸, 豊岡 秀訓:
プロシールラジンリアルマスクで換気困難になった症例
日本麻酔科学会東京・関東甲信越支部第43回合同学術集会 (東京), 9月, 2003
- No. 42 星 拓男, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
総頸動脈誤穿刺後の対応 - アンケート調査の結果 -
第8回日本心臓血管麻酔学会学術大会・総会 (奈良), 9月, 2003
- No. 43 上村 明, 高橋 宏, 宮部 雅幸, 星 拓男, 豊岡 秀訓:
口腔鼻腔の閉鎖を伴った無顎症児の周術期管理.
第9回日本小児麻酔学会 (福岡), 9月, 2003
- No. 44 中山 慎, 高橋 伸二, 豊岡 秀訓:
小児の内頸静脈穿刺時, J タイプガイドワイヤーによって穿刺カニューレは変位する
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会 (下関), 10月, 2003

- No. 45 猪股 伸一：
コメンテーター 循環
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 46 宮部 雅幸：
座長 移植
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 47 水谷 太郎：
座長 集中治療
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 48 斎藤 重行，千葉 あい，斎藤 歌織，中山 慎，古川 宗，豊岡 秀訓：
硬膜外麻酔を用いた子宮動脈塞栓術後鎮痛の開発
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 49 西川 昌志，猪股 伸一，助川 岩央，小原 由記，綾 大介，高橋 伸二，水谷 太郎，
豊岡 秀訓：
体外心臓マッサージ用ポンプ（ Cardio Pump™ ）を使用した肺洗浄
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 50 荒木 祐一，高橋 伸二，小松崎徹也，宮部 雅幸，豊岡 秀訓：
修正電気痙攣療法（ m - ECT ）の合併症調査
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 51 渡辺 和宏，上村 明，宮部 雅幸，豊岡 秀訓：
Arndt気管支ブロッカーを用いた小児分離肺換気の経験
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 52 猪股 伸一：
ランチョンセミナー（ 10 ）「 オフポンプCABGのVIMA 」
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会（下関），10月，2003
- No. 53 高橋 伸二：
座長 産科麻酔2
日本臨床麻酔学会第23 回大会学術集会（下関），10月，2003
- No. 54 渡辺 和宏，上村 明，宮部 雅幸，豊岡 秀訓：
Arndt気管支ブロッカーを用いた小児分離肺換気の経験
日本臨床麻酔学会第23回大会（下関），10月，2003
- No. 55 猪股 伸一，宮部 雅幸，豊岡 秀訓：
脊髄後根・後角における $\alpha 2$ -作動薬及びNMDA拮抗薬の鎮痛メカニズムに関する考察
第5回茨城県脊髄・脊椎研究会（つくば），11月，2003
- No. 56 宮部 雅幸：
座長 腰痛に対する神経ブロック治療
第5回茨城県脊髄・脊椎研究会（つくば），11月，2003
- No. 57 高橋 伸二，高橋 宏，木原 真一，宮部 雅幸，豊岡 秀訓：
手術室内でみられる術後低酸症に関する検討
日本手術医学会第25回総会（福岡），11月，2003

No. 58 高橋 伸二，高橋 宏，木原 真一：

手術室退室時にみられる低酸素血症に関する検討

第25回日本手術医学会総会（福岡），11月，2003

No. 59 野口 茂樹，濱野真由美，軍司ひろみ，岡田久美子，平石恵美子，高橋 宏，木原 真一，
中山 凱夫：

側臥位時に挿入する腋下ロール枕のサイズと体圧の関係

第25回日本手術医学会総会（福岡），11月，2003

No. 60 古垣 達也，高橋 宏，木原 真一，中山 凱夫，平松 祐司，榊原 謙：

MFU中の輸液加温器使用の有用性

第29回日本体外循環技術研究大会（京都），11月，2003

その他

No. 1 高橋 伸二：

人工呼吸療法と気管内挿管の基礎

第2回RCPセミナーin 茨城，2003

No. 2 水谷 太郎：

最新の人工呼吸療法

第2回RCPセミナーin 茨城，2003

2003年（歯科・口腔外科グループ）

原 著

- No. 1 Kojiro Onizawa, Naomichi Okumura, Hideo Saginoya, Hiroshi Yoshida :
Characterization of autofluorescence in oral squamous cell carcinoma
Oral Oncol 39 : 150-156 , 2003
- No. 2 鬼澤浩司郎, 新津 守, 遊佐 浩, 柳川 徹, 吉田 廣 :
口腔癌に対する術前放射線照射効果のMRによる観察
口科誌 52 : 1-5 , 2003
- No. 3 若月俊典, 遊佐 浩, 中野真祐, 柳川 徹, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
舌扁平上皮癌と食道癌肉腫の同時性重複癌の1例
日口外誌 49 : 268-271 , 2003
- No. 4 鬼澤浩司郎, 吉田 廣 :
骨結合型デンタルインプラントの短期臨床経過に関する検討
—IAT Fit インプラントについて—
日口腔インプラント誌 16 : 41-47 , 2003
- No. 5 Hiroshi Yusa, Hiroshi Yoshida, Masayuki Noguchi, Kiyoshi Ohara :
Volumetric and histologic responses to radiotherapy or radiochemotherapy of
metastatic cervical lymph nodes of oral squamous cell carcinoma
J Oral Maxillofac Surg 61 : 904-908 , 2003
- No. 6 Kojiro Onizawa, Hiroshi Yoshida :
Evaluation of ^{67}Ga citrate and $^{99\text{m}}\text{Tc}$ bone scintigraphy at initial examination for
primary oral squamous cell carcinoma
J Oral Maxillofac Surg 61 : 913-917 , 2003
- No. 7 Junko Aono, Toru Yanagawa, Ken Itoh, Baojie Li, Hiroshi Yoshida, Yoshito Kumagai,
Masayuki Yamamoto, Tetsuro Ishii :
Activation of Nrf2 and accumulation of ubiquitinated A170 by arsenic in osteoblasts
Biochem Biophys Res Com 305 : 271-277 , 2003
- No. 8 T Kawane, J Mimura, T Yanagawa, Y Fujii-Kuriyama, N Horiuchi :
Parathyroid hormone (PTH) down-regulates PTH/PTH- related protein receptor
gene expression in UMR-106 osteoblast-like cells via a 3',5'-cyclic adenosine
monophosphate-dependent, protein kinase A-independent pathway
J Endocrinol 178 : 247-56 , 2003
- No. 9 遊佐 浩, 武田さき子, 竹田弘美, 福島幸子, 大塚盛男, 吉田 廣 :
大学生の智歯抜歯時の不安
Campus Health 40 : 366-367 , 2003
- No. 10 白土貴之, 遊佐 浩, 中野真祐, 柳川 徹, 吉田 廣 :
下垂体機能低下症患者的歯科治療時の管理
障歯誌 24 : 565-570 , 2003

- No . 11 Kojiro Onizawa, Kazunari Nishihara, Kenji Yamagata, Hiroshi Yusa, Toru Yanagawa, Hiroshi Yoshida :

Factors associated with diagnostic delay of oral squamous cell carcinoma

Oral Oncol 39 : 781-788 , 2003

- No . 12 西原一成, 鬼澤浩司郎, 生井友農, 廣島広実, 遊佐 浩, 吉田 廣 :

下顎骨関節突起に生じた好酸球肉芽腫の1例

日口外誌 49 : 666-669 , 2003

学会発表

- No . 1 鬼澤浩司郎, 西原一成, 遊佐 浩, 柳川 徹, 吉田 廣 :

顎関節症患者の症型分類別治療経過

第57回日本口腔科学会総会 (福岡) , 5月 , 2003

- No . 2 鬼澤浩司郎, 生井友農, 山縣憲司, 若月俊典, 吉田 廣 :

顎関節症 b型の治療経過と初診時症状との関連性の検討

第57回日本口腔科学会総会 (福岡) , 5月 , 2003

- No . 3 西原一成, 鬼澤浩司郎, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣 :

大きさで分類した顎骨内嚢胞の臨床的検討

第57回日本口腔科学会総会 (福岡) , 5月 , 2003

- No . 4 Junko Aono, Toru Yanagawa, Ken Itoh, Hiroshi Yoshida, Yoshito Kumagai, Masayuki Yamamoto, Tetsuro Ishii :

Activation of Nrf2 and accumulation of ubiquitin-conjugated A170 stress protein in cultured murine osteoblasts by arsenic

JBS Bio-Frontier Symposium 2003 (つくば) , 6月 , 2003

- No . 5 Toru Yanagawa, Ken Itoh, Akira Yamaguchi, Yasuaki Shibata, Satoru Takahashi, Tetsuro Ishii, Hiroshi Yoshida, Masayuki Yamamoto :

Disruption of nrf2 gene causes tooth decolorization : iron transport disorder in nrf2 knockout enamel organ

JBS Bio-Frontier Symposium 2003 (つくば) , 6月 , 2003

- No . 6 Junko Aono, Toru Yanagawa, Ken Itoh, Hiroshi Yoshida, Yoshito Kumagai, Masayuki Yamamoto, Tetsuro Ishii :

Arsenic activates transcription factor Nrf2 and accumulation of ubiquitin-conjugated proteins in cultured murine osteoblasts

Free Radical Research (Ioannina , Greece) 6月 , 2003

- No . 7 遊佐 浩, 武田さき子, 竹田弘美, 福島幸子, 大塚盛男, 吉田 廣 :

大学生の智歯抜歯時の不安と鎮痛薬の服用量の関係

第41回全国大学保健管理研究集会 (金沢) , 10月 , 2003

- No . 8 山縣憲司, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 柳川 徹, 吉田 廣 :

術前放射線化学療法を行った口腔癌患者の白血球減少の程度と組織学的効果の関係

第48回日本口腔外科学会総会 (富山) , 10月 , 2003

- No. 9 武内保敏, 鬼澤浩司郎, 西原一成, 大塚由紀, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣, 廣畠広美:
全身麻酔下での智歯抜歯における局所麻酔薬の効果の検討
—フェンタネスト使用症例との比較—
第48回日本口腔外科学会総会(富山), 10月, 2003
- No. 10 中野真祐, 柳川 徹, 鬼澤浩司郎, 遊佐 浩, 吉田 廣, 原田浩之, 小村 健:
舌扁平上皮癌におけるペルオキシレドキシニンI型の再発マーカーとしての可能性
第48回日本口腔外科学会総会(富山), 10月, 2003
- No. 11 遊佐 浩, 鬼澤浩司郎, 柳川 徹, 吉田 廣:
智歯抜歯後疼痛に対する鎮痛薬の服用量
第48回日本口腔外科学会総会(富山), 10月, 2003
- No. 12 鬼澤浩司郎, 山縣憲司, 遊佐 浩, 吉田 廣:
顎関節症の発症に関連する因子の質問表による評価
第48回日本口腔外科学会総会(富山), 10月, 2003
- No. 13 西原一成, 鬼澤浩司郎, 柳川 徹, 遊佐 浩, 吉田 廣:
発音, 睡眠, 嚥下障害を呈した巨大な舌神経鞘腫の一例
第37回日本口腔科学会関東地方部会(前橋), 11月, 2003
- No. 14 米本芽衣, 遊佐 浩, 山縣憲司, 若月俊典, 柳川 徹, 鬼澤浩司郎, 吉田 廣, 藤田修一:
鰓性癌の1例
第176回日本口腔外科学会関東地方会(東京), 12月, 2003

2003年（臨床病理グループ）

原 著

- No . 1 Iida KT, Kawakami Y, Suzuki M, Shimano H, Toyoshima H, Sone H, Shimada K, Iwama Y, Watanabe Y, Mokuno H, Kamata K, Yamada N :
 Related Articles, Links Abstract Effect of thiazolidinediones and metformin on LDL oxidation and aortic endothelium relaxation in diabetic GK rats.
 Am J Physiol Endocrinol Metab. 2003 ;284(6) : 1125-30.
- No . 2 Sone H, Shimano H, Ebinuma H, Takahashi A, Yano Y, Iida KT, Suzuki H, Toyoshima H, Kawakami Y, Okuda Y, Noguchi Y, Ushizawa K, Saito K, Yamada N :
 Related Articles, Links Abstract Physiological changes in circulating mannose levels in normal, glucose-intolerant, and diabetic subjects.
 Metabolism. 2003 ;52(8) : 1019-27.
- No . 3 Takekoshi K, Isobe K, Kawakami Y , Shibuya S, Nakai T, Okuda Y. :
 Peptidergic Regulation of Pheochromocytoma.
 Current Pharmacogenomics 2003;1(2) : 127-137.
- No . 4 Nanmoku T, Takekoshi K, Ishii K, Kawakami Y , Isobe K, Shibuya S, Okuda Y, Nakai T. :
 Effect of Ghrelin on catecholamine secretion in rat pheochromocytoma PC12 cells.
 Endocrine Research 2003;29(1) : 17-21.
- No . 5 Nanmoku T, Takekoshi K, Isobe K, Kawakami Y, Nakai T, Okuda Y. :
 Prolactin-releasing peptide stimulates catecholamine release but not proliferation in rat pheochromocytoma PC12 cells.
 Neuroscience Letters 2003;350(1) : 33-36.
- No . 6 Isobe K, Tatsuno I, Yashiro T, Nanmoku T, Takekoshi K, Kawakami Y , Nakai T.
 Expression of mRNA for PACAP and its receptors in intra- and extra-adrenal human pheochromocytomas and their relationship to catecholamine synthesis.
 Regulatory Peptide 2003;110(3) : 213-217.

総 説

- No . 1 川上 康 :
 ハリソン内科学（訳） 共著
 メディカル・サイエンスインターナショナル社．東京21101 - 2158 , 2003

著 書

- No . 1 川上 康 , 山田信博 :
 糖尿病と動脈硬化性疾患：危険因子としての意義
 動脈硬化予防 Prevention of Arteriosclerosis 2(1) : 7-11 , 2003
- No . 2 川上 康 :
 こんな検査室があるといいー臨床からの要望
 検査と技術31(6) : 486 , 2003

- No. 3 川上 康, 山田信博 :
肥満の動脈硬化性疾患に対する危険度
動脈硬化予防Prevention of Arteriosclerosis 2(3) : 37-42, 2003
- No. 4 竹越一博, 川上康 :
レプチンをめぐる最近の話題 (特集: アディポサイトカイン).
ホルモンと臨床51(12) : 37-50, 2003
- No. 5 中井利昭, 磯部和正 :
妊娠中の検査データの読み方
治療85 : 1455 - 1458, 2003.
- No. 6 南木融, 磯部和正, 桜井武 :
オレキシンの副腎細胞におけるホルモン分泌に及ぼす効果,
内分泌・糖尿病科16 : 266-270, 2003.

学会発表

- No. 1 竹越一博, 南木融, 磯部和正, 渋谷俊介, 川上康, 中井利昭 :
Prolactin-releasing peptide(PrRP)は, 直接カテコールアミン分泌を刺激する.
第76回内分泌学会学術総会 (横浜) 5月, 2003.
- No. 2 磯部和正, 龍野一郎, 八代亨, 竹越一博, 川上康, 中井利昭 :
PACAPおよびPACAP受容体の発現とカテコ - ルアミン産生との関係.
第76回内分泌学会学術総会 (横浜) 5月, 2003.
- No. 3 石島道那, 川上 康, 飯塚儀明, 澤畑辰男, 竹越一博, 磯部和正 :
化学発光法によるヒトrecombinant TSHレセプターを用いたTRAb測定試薬の検討.
第35回日本臨床検査自動化学会 (横浜), 9月, 2003
- No. 4 岡野芳幸, 磯部和正, 及川 仁, 根本範子, 澤畑辰男, 竹越一博, 川上 康 :
全自動血液凝固線溶測定装置STAによる血漿FDP測定の検討
第35回日本臨床検査自動化学会 (横浜), 9月, 2003
- No. 5 及川 仁, 飯塚儀明, 澤畑辰男, 磯部和正, 川上 康 :
ラテックス法による血清4型コラーゲン測定試薬の性能評価
第35回日本臨床検査自動化学会 (横浜), 9月, 2003
- No. 6 磯部和正, 南木 融, 竹越一博, 川上 康, 宇高 徹, 中井利昭 :
褐色細胞腫におけるS D H D 遺伝子変異検索およびスクリーニング法の開発
第35回日本臨床検査自動化学会 (横浜), 9月, 2003
- No. 7 川上 康, 曽根博仁, 山田信博, 海老沼宏幸, 齋藤和典, 石島道那, 飯塚儀明, 磯部和正, 竹越一博 :
2型糖尿病患者における血中D - マンノース濃度測定の臨床的意義
第35回日本臨床検査自動化学会 (横浜), 9月, 2003
- No. 8 磯部和正, 龍野一郎, 八代 亨, 竹越一博, 川上 康, 中井利昭 :
PACAPおよびPACAP受容体の発現とカテコールアミン産生との関連
第76回日本内分泌学会学術総会 (横浜), 9月, 2003

- No . 9 K Isobe, I Tatsuno, K Takekoshi, Y Kawakami. :
Expression of mRNA for PACAP and its receptors in human pheochromocytomas.
The 6th International Symposium on VIP, PACAP and related peptides. Sep 1-4 ,
Hakone , Japan. 2003
- No . 10 竹越一博. :
生活習慣病の分子病態とカテコ - ルアミン (日本臨床検査医学会学会賞受賞講演) .
第50回日本臨床検査医学会総会 (広島) , 11月 , 2003.
- No . 11 竹越一博 , 南木融 , 磯部和正 , 渋谷俊介 , 川上康. :
Prolactin-releasing peptide(PrRP)は , 直接カテコールアミン分泌を刺激する.
第50回日本臨床検査医学会総会 (広島) , 11月 , 2003.
- No . 12 磯部和正 , 竹越一博 , 川上康. :
褐色細胞腫におけるproopiomelanocortin mRNAの発現.
第50回日本臨床病理学会総会 (広島) , 11月 , 2003.
- No . 13 川上康 , 曽根博仁 , 竹越一博 , 磯部和正 , 海老沼宏之 , 斉藤和典 , 山田信博. :
2型糖尿病患者における血中D - マンノ - ス濃度測定 of 臨床的意義.
第50回日本臨床病理学会総会 (広島) , 11月 , 2003.
- No . 14 竹越一博 , 磯部和正 , 渋谷俊介 , 川上康 , 中井利昭. :
Endothelin-1は , PKC依存性にカテコールアミン合成を刺激する.
第7回日本心血管内分泌代謝学会総会 (札幌) , 11月 , 2003.

2003年（放射線科グループ）

原 著

- No . 1 Siotani S, Kohno M, Ohashi N, Yamazaki K, Nakayama H, Watanabe K, Itai Y :
Dilatation of the heart on postmortem computed tomography (PMCT):Comparison with live CT.
Radiation Medicine 21(1) : 29-35 , 2003
- No . 2 Yoshioka H, Haishi T, Uematsu T, Matsuda Y, Itai Y, Kose K :
MR microscopy of the articular cartilage with a 1.0T permanent magnet portable MR system: preliminary results
Magnetic Resonance in Medical Sciences 2(1) : 51-55 , 2003
- No . 3 板井 悠二 :
特集 肝嚢胞性病変—画像と病理 Peribiliary Cyst
消化器画像5(1) : 35-40 , 2003
- No . 4 Yanagisawa O, Niitsu M, Yoshioka H, Goto K, Kudo H, Itai Y :
The use of magnetic resonance imaging to evaluate the effects of cooling on skeletal muscle after strenuous exercise.
Eur J Appl Physiol 89 : 53-62 , 2003
- No . 5 Watanabe M, Komuro H, Niitsu M, Matoba K, Itai Y, Kaneko M :
Aneurysm of the superficial femoral artery in an infant
Pediatr Radiol 33 : 278-280 , 2003
- No . 6 Yanagisawa O, Miyanaga Y, Shiraki H, Shimojo H, Mukai N, Niitsu M, Itai Y :
The effects of various therapeutic measures on shoulder strength and muscle soreness after baseball pitching.
The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness 43(2) : 189-201 , 2003
- No . 7 Yanagisawa O, Miyanaga Y, Shiraki H, Shimojo H, Mukai N, Niitsu M, Itai Y :
The effects of various therapeutic measures on shoulder range of motion and cross-sectional areas of rotator cuff muscles after baseball pitching.
The Journal of sports Medicine and Physical Fitness 43(3) : 356-366 , 2003
- No . 8 Yanagisawa O, Niitsu M, Yoshioka H, Goto K, Itai Y :
MRI determination of muscle recruitment variations in dynamic ankle plantar flexion exercise.
American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation 82(10) : 760-765 , 2003
- No . 9 Yanagisawa O, Niitsu M, Takahashi H, Goto K, Itai Y :
Evaluations of cooling exercised muscle with MR imaging and ³¹P MR spectroscopy.
Medicine and Science in Sports and Exercise 35(9) : 1517-1523, 2003
- No . 10 鬼澤浩司郎, 新津 守, 遊佐 浩, 柳川 徹, 吉田 廣 :
口腔癌に対する術前放射線照射効果のMRによる観察
J Jpn Stomatol Soc 52(1) : 1-5 , 2003

- No . 11 Niitsu M, Takeda T :
Solitary hot spots in the ribs on bone scan: value of thin-section reformatted computed tomography to exclude radiography-negative fractures
J Comput Assist Tomogr 27(4) : 469-474 , 2003
- No . 12 Hioki S, Fukubayashi T, Ikeda K, Niitsu M, Ochiai N :
Effect of harvesting the hamstrings tendon for anterior cruciate ligament reconstruction on the morphology and movement of the hamstrings muscle: a novel MRI technique.
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc11 : 223-227 , 2003
- No . 13 Niitsu M, Ikeda K :
Routine MR Examination of the Knee Using Parallel Imaging
Clinical Radiology (58) : 801-807 , 2003
- No . 14 Niitsu M, Tohno E, Itai Y :
Fat suppression strategies in enhanced MR imaging of the breast : Comparison of SPIR and water excitation sequences.
J of Magnetic Resonance Imaging 18 : 310-314 , 2003
- No . 15 Niitsu M, Ikeda K, Itai Y :
Reversed double PCL sign: unusual location of a meniscal fragment of the knee observed by MR imaging
Eur Radiol 13 : 181-184 , 2003
- No . 16 徳植 公一, 秋根 康之, 塩山 善之, 影井 兼司, 菅原 信二, 井垣 浩,
幡多 政治, 大原 潔, 橋本 孝之 :
筑波大学陽子線医学利用研究センターにおける陽子線治療の臨床試験報告.
日放腫会誌 15 (4) : 277-283 , 2003
- No . 17 Ohara K :
Parametrial involvement as a risk.
Int J Gynecol Cancer 14 (1) : 179-180 , 2003
- No . 18 Ohara K, Tanaka YO, Tsunoda H, Sugahara S, Hashimoto T, Kagei K, Tokuyue K, Akine Y, Yoshikawa H, Itai Y. :
Nonoperative assessment of nodal status for locally advanced cervical squamous cell carcinoma treated by radiotherapy with regard to patterns of treatment failure.
Int J Radiat Oncol Biol Phys 55 (2) : 354-361 , 2003
- No . 19 Ohara K, Tsunoda H, Nishida M, Sugahara S, Hashimoto T, Shioyama Y, Hasezawa K, Yoshikawa H, Akine Y, Itai Y :
Use of small pelvic field instead of whole pelvic field in postoperative radiotherapy for node-negative, high-risk stages I and II cervical squamous cell carcinoma.
Int J Gynecol Cancer 13 (1) : 170-176 , 2003

- No . 20 Kagei K, Tokuyue K, Okumura T, Ohara K, Shioyama Y, Sugahara S, Akine Y :
Long-term results of proton beam therapy for carcinoma of the cervix.
Int J Radiat Oncol Biol Phys 55 (5) : 1265-1271 , 2003
- No . 21 Shioyama Y, Tokuyue K, Okumura T, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Akine Y,
Ishikawa S, Satoh H, Sekizawa K :
Clinical evaluation of proton radiotherapy for non-small-cell lung cancer.
Int J Radiat Oncol Biol Phys 56 (1) : 7-13 , 2003
- No . 22 Otsuka M, Ohara K, Takada Y, Ueda T, Murata S, Ushijima R, Adachi S, Todoroki T :
Radiation therapy for hepatic recurrence after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.
Int J Clin Oncol 8 (3) : 151-155 , 2003
- No . 23 Yusa H, Yoshida H, Noguchi M, Ohara K :
Volumetric and histologic responses to radiotherapy or radiochemotherapy of metastatic cervical lymph nodes of oral squamous cell carcinoma.
J Oral Maxillofac Surg 61 (8) : 904-908 , 2003
- No . 24 Nakagawa Y, Todoroki T, Kondo T, Kawamoto T, Ohkohchi N, Ohara K :
A salvage treatment for solid liver metastasis after radical resection of Klatskin tumor.
HPB 5 (4) : 254-257 , 2003
- No . 25 Lu Ping, Saida Y, Yoshioka H, Itai Y :
MR imaging of epidermoids at the cerebellopontine angle.
Magnetic Resonance in Medical Science 2(3) : 109-115 , 2003
- No . 26 Ueno T, Yoshioka H, Iwasaki N, Tanaka R, Saida Y :
MR findings of spinal muscular atrophy type II : sibling cases.
Magnetic Resonance in Medical Sciences 2(4) : 195-198 , 2003
- No . 27 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Fumikura Y, Iida K, Kawano S, Yamaguchi I, Itai Y :
Enhanced washout of ^{99m}Tc-tetrofosmin in hypertrophic cardiomyopathy : quantitative comparisons with regional ¹²³I-BMIPP uptake and wall thickness determined by MRI.
Eur.J.Nucl.Med.Mol.Imaging 30 : 966-973 , 2003
- No . 28 Momose A, Koyama I, Yoshikawa H, Takeda T, Wu J, Itai Y, Takai K, Uesugi K, Suzuki Y :
Phase-contrast microtomography using an X-ray interferometer having a 40- μ m analyzer
J.Phys.IV France 104 : 599-602 , 2003
- No . 29 Ota M, Mizukami K, Katano T, Sato S, Takeda T, Asada T :
A case of delusional disorder, somatic type with remarkable improvement of clinical symptoms and single photon emission computed tomography findings following modified electroconvulsive therapy.
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 27 : 881-884 , 2003

- No . 30 Tsuchiya Y, Matsubayashi M, Takeda T, Thet Thet Lwin, Wu J, Yoneyama A, Matsumura A, Hori Y, Itai Y :
Imaging of rabbit VX-2 hepatic cancer by cold and thermal neutron Radiology.
Jpn J Appl Phys 42 : 7151-7153 , 2003
- No . 31 Okamoto Y, Tanaka YO, Nishida M, Tsunoda H, Yoshikawa H, Itai Y :
MR imaging of the uterine cervix : imaging-pathologic correlation.
RadioGraphics 23(2) : 425-445 , 2003
- No . 32 Tanaka YO, Nishida M, Tsunoda H, Ichikawa Y, Saida Y, Itai Y :
A thickened or indistinct junctional zone on T2-weighted MR images in patients with endometrial carcinoma: pathologic consideration based on microcirculation.
Eur Radiol 13:2038-2045 , 2003
- No . 33 東野 英利子, 植野 映, 角田 博子, 森島 勇, 太田 紀代子, 金澤 宏 :
茨城県乳房超音波検診従事者講習会の講習効果
日乳癌検診学会誌(J.Jpn.Assoc.Breast Cancer Screen.)12(1) : 108-113 , 2003

追 加

- No . 1. 柳澤 修, 新津 守 :
投球動作における肩関節回旋筋群の動員について—MRIによる評価—
臨床スポーツ医学会雑誌 10(3) : 529-533 , 2002

総 説

- No . 1 松枝 清, 稲葉 吉隆, 荒井 保明 :
転移性肝癌の進展度診断と術式決定—内科の現状
消化器画像5(3)353-358 , 2003
- No . 2 新津 守 :
膝関節のParallel Imaging
映像情報Medical 35(1) : 64-67 , 2003
- No . 3 新津 守 :
Parallel Imagingを用いた膝関節の高分解能ルーチン撮像
DIGITAL MEDICINE DM 4(1) : 40 , 2003
- No . 4 新津 守 :
パラレルイメージングの応用—骨
月刊新医療(30)6 : 62-63 , 2003
- No . 5 新津 守 :
多彩な下肢の外傷
画像診断(23)6 : 588-599 , 2003
- No . 6 新津 守 :
PCL損傷膝の画像評価—損傷PCL, 関節軟骨
臨床スポーツ医学(20)6 : 643-647 , 2003

- No. 7 新津 守：
膝関節の動的MR画像の試みーシネ画像から超高速画像まで
臨床放射線(48)11：1341-1347，2003
- No. 8 高橋 信幸，新津 守，吉岡 大，板井 悠二：
スポーツ外傷のMRI診断
Pharma Medica 21(2)：69-72，2003
- No. 9 齋田 幸久：
画像検査の特性
medicina 40 (4)：580-582，2003
- No. 10. 北川 裕美子，齋田 幸久：
胃癌
臨床医 29：1096-1097，2003
- No. 11 菅原 信二：
特集 手術に代わる放射線治療
食道癌の陽子線治療 手術の代替治療となりうるか
映像情報35(13)：1070-1075，2003
- No. 12 武田 徹，米山 明男，呉 勤，土屋 佳則，Thet-Thet-Lwin，百生 敦，兵藤 一行，
平野 馨一，板井 悠二：
X線干渉計を用いた生体イメージングの試み
KEK Proceedings 2002-22：37-40，2003
- No. 13 小山 一郎，百生 敦，濱石 佳孝，吉川 秀樹，武田 徹，呉 勤，板井 悠二，
高井 健吾，上杉謙太郎，鈴木 芳生：
高空間分解能X線干渉計の開発およびそれによる生体試料のマイクロ位相トモグラフィ
KEK Proceedings 2002-22：30-33，2003
- No. 14 武田 徹：
生きた生体撮像のための蛍光X線CT検出部の開発
INNERVISION 18：7，2003
- No. 15 赤塚 孝雄，深見 忠典，内田 公，呉 勤，武田 徹：
医用画像における情報融合処理
映像情報メディア学会誌 57：1235-1240，2003
- No. 16 田中優美子，河合 弘二，沖 明典，角田 肇，西田 正人，赤座 英之，吉川 裕之，
板井 悠二：
特集・術後合併症の画像診断 5 泌尿生殖器
臨床放射線48(3)：377-384，2003
- No. 17 田中優美子，新藤 雅司，大山 高一：
I 領域別MRIの最新動向（臨床）
5．骨盤部 1) 骨盤部（女性）撮像のテクニック
INNERVISION 18(9)：38-41，2003

- No. 18 岡本 嘉一, 田中優美子:
婦人科疾患のCT診断
産婦人科治療 2003; 86: 207-213
- No. 19 東野英利子, 村上 穆, 植木 浜一, 田枝 督教, 角田 博子, 鯨岡 結賀, 太田紀代子,
森島 勇, 川口 祐子:
マンモグラフィー併用検診の精度管理の現状と改善策
日乳癌検診学会誌(J.Jpn.Assoc.Breast Cancer Screen.)2003, 12(1): 26-29
- No. 20 東野英利子:
乳房超音波の診断基準と教育
映像情報35(8): 560-563, 2003
- No. 21 田中優美子:
女性生殖器疾患のminimum essential 序説
画像診断23(3): 227, 2003.
- No. 22 田中優美子:
Common disease のMRI診断. 女性骨盤
第22回東京MRI研究会(東京)7月, 2003

追 加

- No. 1 吉岡 大:
MRIの基本 - 自信をもって診断するために - MTC画像
画像診断 22(12): 1354-1359, 2002

著 書

- No. 1 武田 徹, 呉 勤, 大塚 定徳, 梅谷 啓二, 板井 悠二:
放射光心血管造影法-原理, 特徴, 問題点。冠動脈の臨床(上)
日本臨床61suppl4, pp213-224, 日本臨床社2003

学会発表

- No. 1 武田 徹, 呉 勤, 土屋 佳則, Thet-Thet-Lwin, 米山 明男, 銭谷 勉, 百生 敦,
兵藤 一行, 板井 悠二:
X線干渉計を用いたマンモグラフィーに関する基礎的検討。
第16回日本放射光学会年会・放射光科合同シンポジウム(姫路)1月, 2003
シンポジウム抄録集: 250, 2003
- No. 2 百生 敦, 小山 一郎, 濱石 佳孝, 吉川 秀樹, 武田 徹, 呉 勤, 板井 悠二,
高井 健吾, 上杉健太郎, 鈴木 芳生:
マイクロ位相トモグラフィーの開発と生体組織の観察。
第16回日本放射光学会年会・放射光科合同シンポジウム(姫路)1月, 2003
シンポジウム抄録集: 61, 2003

- No. 3 米山 明男, 武田 徹, 土屋 佳則, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, 兵藤 一行,
小泉 有生, 板井 悠二:
分離型X線干渉計を用いた大視野位相コントラストX線撮像装置の開発
第16回日本放射光学会年会・放射光科合同シンポジウム(姫路)1月, 2003
シンポジウム抄録集: 249, 2003
- No. 4 大塚 定徳, 山口 巖, 呉 勁, 武田 徹, 板井 悠二, 丸橋 晃, 兵藤 一行,
安藤 正海:
高エネルギー加速器研究機構における放射光冠状動脈造影の現状。
第8回放射光医学研究会学術集会(姫路)1月, 2003
学術集会抄録集: 6, 2003
- No. 5 百生 敦, 小山 一郎, 濱石 佳孝, 吉川 秀樹, 武田 徹, 呉 勁, 板井 悠二,
高井 健吾, 上杉健太郎, 鈴木 芳生:
Spring-8における位相CT装置の現状と生体組織観察。
第8回放射光医学研究会学術集会(姫路)1月, 2003
学術集会抄録集: 12, 2003
- No. 6 菅原 信二, Thet-Thet-Lwin, 土屋 佳則, 武田 徹, 宮川 牧子, 板井 悠二:
オートラジオグラフィを用いたラット放射線心筋障害の基礎的検討。
第29回茨城県臨床核医学研究会(水戸)2月, 2003
- No. 7 呉 勁, 宇野公一, 留森貴志, 岡 卓志, 鈴木 天之, 富吉 勝美, 武田 徹,
堀之内宏久:
FDG-PETで描出し得たB-cell bronchial associated lymphoid tissue lymphomaの一例
第29回茨城県臨床核医学研究会(水戸)2月, 2003
- No. 8 西浦 康正, 落合 直之, 新津 守:
MR myelographyによる腕神経叢損傷の診断
第17回東日本手の外科研究会(東京)2月, 2003
- No. 9 Okamoto Y, Tanaka YO, Tsunoda H, Yoshikawa H, Itai Y:
MR findings of ovarian tumors simulating uterine myogenic tumors.
15th European Congress of Radiology (Vienna)3月, 2003
- No. 10 Tanaka YO, Shigemitsu S, Ichikawa Y, Sohda S, Okamoto Y, Yoshikawa H, Itai Y:
Postpartum hemorrhage: Differential diagnosis with MR.
15th European Congress of Radiology (Vienna)3月, 2003
- No. 11 板井 悠二, 武田 徹, 呉 勁, Thet-Thet-Lwin, 米山 明男, 百生 敦, 小山 一郎,
兵藤 一行:
分離型干渉計を用いた位相コントラスト法による生体in vivo観察
第20回PFシンポジウム(つくば)3月, 2003
シンポジウム要旨集: 17, 2003
- No. 12 田中優美子, 植野 映子, 岡本 嘉一, 新津 守, 角田 肇, 吉川 裕之, 板井 悠二:
Parallel Imaging を用いた薄層多断面 dynamic MRI は内膜癌の筋層浸潤正診率を
向上させるか?
第62回日本医学放射線学会総会(横浜)4月, 2003

- No . 13 山口 雅之, 新津 守, 阿武 泉, 東野英利子, 田中優美子, 吉岡 大, 齋田 幸久, 板井 悠二 :
前立腺癌 : dynamic MRI 早期濃染病変の体積と prostate specific antigen (PSA) 値との相関
第62回日本医学放射線学会総会 (横浜) 4月, 2003
- No . 14 大原 潔, 菅原 信二, 影井 兼司, 橋本 孝之, 幡多 政治, 徳植 公一, 秋根 康之, 板井 悠二 :
子宮頸癌術後照射における小骨盤照射と全骨盤照射とでの有害事象の比較
第62回日本医学放射線学会学術発表会 (横浜) 4月, 2003
- No . 15 幡多 政治, 大原 潔, 徳植 公一, 菅原 信二, 影井 兼司, 橋本 孝之, 齋田 幸久, 宮永 直人, 赤座 英之, 秋根 康之 :
浸潤性膀胱癌に対する陽子線治療 : 動注化学療法と陽子線治療の併用による膀胱温存療法の治療成績
第62回日本医学放射線学会学術発表会 (横浜) 4月, 2003
- No . 16 植野 映子, 田中優美子, 藤木 豊, 吉川 裕之, 齋田 幸久 :
後腹膜平滑筋腫の一例
第17回腹部放射線研究会 (東京) 5月, 2003
- No . 17 八巻 利弘, 田中優美子, 北川裕美子, 松枝 清, 齋田 幸久, 櫻井 学, 沖 明典, 角田 肇, 吉川 裕之 :
壁在結節を伴う特殊な卵巣粘液性腫瘍について
第17回腹部放射線研究会 (東京) 5月, 2003
- No . 18 Yanagisawa O, Niitsu M, Takahashi H, Goto K, Itai Y :
Noninvasive estimation of cooling skeletal muscle after strenuous exercise.
50th Annual Meeting of the American College of Sports Medicine
(USA) May, 2003
- No . 19 Momose A, Koyama I, Hamaishi Y, Yoshikawa H, Takeda T, Wu J, Takai K, Uesugi K, Suzuki Y :
Recent developments in phase tomography using a crystal X-ray interferometer
International Workshop on Noncrystallographic Phase Retrieval
(Cairns, Australia) June 30-July 2, 2003
- No . 20 Takeda T, Wu J, Tsuchia Y, Thet-Thet-Lwin, Yoneyama A, Hirai Y, Itai Y :
Vessel imaging by interferometric phase-contrast x-ray technique
3rd World Congress on Heart Disease (Washington DC, USA) July, 2003
- No . 21 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Itai Y :
Evaluation of enhanced Tc-99m Tetrofosmin washout by autoradiography in cardiomyopathy hamsters.
3rd World Congress on Heart Disease (Washington DC, USA) July, 2003
- No . 22 武田 徹, 呉 勤, Thet-Thet-Lwin, 松村 明, 板井 悠二, 土屋 佳則, 米山 明男, 松林 政仁 :
中性子イメージングを医学応用するための基礎的研究
第7回黎明研究会報告会 (東海) 7月, 2003

- No . 23 武田 徹, 呉 勁, 土屋 佳則, Thet-Thet-Lwin, 米山 明男, 百生 敦, 兵藤 一行, 小泉 有生, 平井 康晴, 板井 悠二 :
干渉計を用いた位相型X 線血管造影の試み
第22回医用画像工学会大会 (東京) 7月, 2003
- No . 24 Tsuchiya Y, Matsubayashi M, Takeda T, Thet-Thet-Lwin, Wu J, Matsumura A, Yoneyama A, Itai Y :
Contrast effect of gadolinium for neutron CT.
第22回医用画像工学会大会 (東京) 7月, 2003
Medical Imaging Technology 2003; 21 : PP-07, 1-2, 2003
- No . 25 Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Yoneyama A, Thet-Thet-Lwin, Hyodo K, Itai Y :
Interferometric phase-contrast X-ray CT image of VX2 rabbit cancer at 35keV x-ray energy.
8th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation,
(San Francisco, USA) , August , 2003
- No . 26 Takeda T, Tsuchiya Y, Kuroe T, Zeniya T, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Yashiro T, Yuasa T, Hyodo K, Dilmanian FA, Itai Y, Akatsuka T :
Development of high-speed fluorescent x-ray micro-computed tomography.
8th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation,
(San Francisco, USA) , August , 2003
- No . 27 Yoneyama A, Takeda T, Tsuchiya Y, Wu J, Thet-Thet-Lwin, Hyodo K :
Large-area phase-contrast x-ray imaging system using a two-crystal x-ray interferometer.
8th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation,
(San Francisco, USA) , August , 2003
- No . 28 Hyodo K, Ando M, Otsuka A, Yamaguchi I, Takeda T, Itai Y :
An attempt to improve the image quality for two-dimensional intravenous coronary angiography at PF-AR, KEK.
8th International Conference on Synchrotron Radiation Instrumentation,
(San Francisco, USA) , August , 2003
- No . 29 Sugahara S, Tokuyue K, Okumura T, Nakahara A, Saida Y, Kagei K, Ohara K, Hata M, Tanaka N, Akune Y :
Clinical results of proton radiation therapy alone for esophageal cancer.
European Cancer Conference 12 (Copenhagen). September , 2003
- No . 30 Hata M, Miyanaga N, Tokuyue K, Ohara K, Saida Y, Sugahara S, Kagei K, Hashimoto T, Akaza H, Akine Y :
Proton therapy for invasive bladder cancer: Treatment results of a bladder preserving therapy with x-ray and concurrent intra-arterial chemotherapy followed by proton irradiation boost.
European Cancer Conference 12 (Copenhagen) September , 2003

- No . 31 Yamaguchi M, Shimazui T, Niitsu M, Tanaka YO, Saida Y, Kawai K, Miyanaga N, Hattori K, Akaza H :
Dynamic enhanced MR imaging of prostate cancer; enhancement of the tumour correlates microvessel density
10th European Symposium on Urogenital Radiology(Upsala, Sweden)
September , 2003
- No . 32 八木 貴子, 田中優美子, 斎田 幸久, 角田 肇, 吉川 裕之 :
30代で発症した卵巣悪性胚細胞性腫瘍の2例
Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 第4回シンポジウム
(淡路) 9月 , 2003
- No . 33 兵藤 一行, 安藤 正海, 大塚 定徳, 山口 巖, 武田 徹 :
放射光単色X線を用いた医用画像に関する診断能の向上について
第86回日本医学物理学術学会 (金沢) 9月 , 2003
- No . 34 武田 徹, 朝田 隆, 根本 清貴, ティティルイン, 呉 勤, 新津 守, 板井 悠二 :
ノーマルボランティアにおける脳血流解析
第43回日本核医学会総会 (東京) 10月 , 2003
- No . 35 Thet-Thet-Lwin, Takeda T, Wu J, Fumikura Y, Itai Y :
Correlation between autoradiography and histology in cardiomyopathic hamsters.
第43回日本核医学会総会 (東京) 10月 , 2003
- No . 36 Tokuyue K, Akine Y, Hashimoto T, Igaki H, Hata M, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Chiba T, Matsuzaki Y, Tanaka N :
Clinical results of proton radiotherapy for hepatocellular carcinoma.
American Society for Therapeutic Radiology and Oncology 45th Annual meeting
(Salt Lake City). October , 2003
- No . 37 大原 潔, 菅原 信二, 影井 兼司, 徳植 公一, 幡多 政治, 井垣 浩, 秋根 康之 :
子宮頸部扁平上皮癌に対する根治照射と術後照射との治療成績の比較
第41回日本癌治療学会総会 (札幌) 10月 , 2003
- No . 38 Niitsu M, Ikeda K, Takahashi N :
High-Resolution MR Images with 50-mm-FOV of Medial Corner of the Knee:Clinical Impact of the MR Microcopy.
RSNA 2003(Chicago)November , 2003
- No . 39 大原 潔, 大西かよ子, 影井 兼司, 菅原 信二, 根本 景子, 幡多 政治, 井垣 浩, 徳植 公一, 秋根 康之 :
子宮頸癌の腫瘍縮小速度の解析:放射線治療単独例とNeoadjuvant chemotherapy併用例との比較.
日本放射線腫瘍学会第16回学術大会 (東京) 11月 , 2003
- No . 40 井垣 浩, 奥村 敏之, 徳植 公一, 菅原 信二, 影井 兼司, 幡多 政治, 大原 潔, 坪井 康次, 秋根 康之 :
頭蓋底脊索腫に対する陽子線治療成績
日本放射線腫瘍学会第16回学術大会 (東京) 11月 , 2003

No . 41 徳植 公一 , 秋根 康之 , 菅原 信二 , 影井 兼司 , 幡多 政治 , 井垣 浩 , 大原 潔 ,
根本 景子 , 大西かよ子 :

肝細胞癌に対する陽子線治療における肝動脈塞栓療法の有無による治療成績の比較.

日本放射線腫瘍学会第16回学術大会 (東京) 11月 , 2003

No . 42 Takeda T, Wu J, Tsuchiya Y, Yoneyama A, Thet Thet Lwin, Aiyoshi Y, Zeniya T,
Hyodo K, Hirai Y, Itai Y :

Phase-contrast X-ray imaging of breast cancer specimen with an X-ray
interferometer.

89th Scientific Assembly and Annual Meeting (Chicago,USA),

November 30-December 5 , 2003

No . 43 Okamoto Y, Tanaka YO, Kuramoto K, Arai T, Yoshikawa H, Saida Y :

CT and MR imaging of PID (pelvic inflammatory disease)

89th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of

North America (Chicago) 12月 , 2003

No . 44 Tanaka YO, Kitagawa Y, Ueno T, Tsunoda H, Yoshikawa H, Saida Y :

Functioning ovarian tumors: direct and indirect findings on MR 89th Scientific
Assembly and Annual Meeting of the

Radiological Society of North America (Chicago) 12月 , 2003

その他 (講演など)

No . 1 松枝 清 :

胃癌 , 膵癌 ・ その他 (5)

第25回リザーバー研究会 (横浜) 2月 , 2003

No . 2 森 健作 :

肝臓のリゾピスト造影MRI

日本シェーリング社講演会 (水戸) 9月 , 2003

No . 3 森 健作 , 杉本雅樹 , 竹島 徹 :

つくばセントラル病院における子宮動脈塞栓術の現状について

つくばセントラル病院業績発表会 (牛久) 11月 , 2003

No . 4 新津 守 :

膝MRI

第19回多摩画像医学カンファレンス (東京) 1月 , 2003

No . 5 新津 守 :

MRマイクロコピーの臨床応用

第26回MRI講習会 (横浜) 4月 , 2003

No . 6 新津 守 :

膝のMRI

第1回YMAGUCHI MRI UPDATE (宇部) 5月 , 2003

No . 7 新津 守 :

「単純X線撮影のポイント パート2」 MRI:Micro

第14回骨軟部放射線診断セミナー (神戸) 8月 , 2003

- No. 8 新津 守：
関節・骨軟部 下肢関節疾患
第31回日本磁気共鳴医学会（富士吉田）9月，2003
- No. 9 新津 守：
リリッシャーコース5 膝関節外傷の画像診断
第39回日本医学放射線学会秋季臨床大会（神戸）9月，2003
- No. 10 斎田 幸久：
救急画像診断再入門（躯幹部）腹部単純
日医放学会関東地方会せセミナー（港区）2月，2003
- No. 11 斎田 幸久：
故 板井悠二先生が遺されたものを思ふ
NIPPON ACTA RADIOLOGICA 2003; 63 : 123-126, 2003
- No. 12 Saida Y：
In memory of the late Dr. Yuji Itai Remembering Dr. Yuji Itai, A Great Lover of Sake
MRMS 2(1), 2003
- No. 13 大塚 定徳，山口 巖，呉 勤，武田 徹，板井 悠二，丸橋 晃，兵藤 一行，
安藤 正海：
高エネルギー加速器研究機構における放射光冠動脈造影の現状
第8回放射光医学研究会学術集会（姫路）1月，2003
- No. 14 百生 敦，小山 一郎，濱石 佳孝，吉川 秀樹，武田 徹，呉 勤，板井 悠二，
高井 健吾，上杉 健太郎，鈴木 芳生：
Spring[®]における位相CT装置の現状と生体組織観察
第8回放射光医学研究会学術集会（姫路）1月，2003
- No. 15 武田 徹
「X線位相情報による画像形成とその医療応用に関する研究」医学的観点からの成果
と今後の展望
シンポジウム2003「明日をめざす科学技術」科学技術振興調整費の成果を中心として
（東京）10月，2003
- No. 16 田中優美子：
シンポジウム(5) 画像診断と病理の相関と婦人科医. 子宮体部筋層病変：筋腫と肉腫
の鑑別を中心に
第34回日本婦人科腫瘍学会学術集会（京都）7月，2003
- No. 17 田中優美子：
特別講演 付属器腫瘍の鑑別診断
第57回静岡県MRI研究会（浜松）7月，2003
- No. 18 田中優美子：
特別講演 産婦人科とMRI
第140回日本産科婦人科学会茨城地方部会例会（水戸）11月，2003

No . 19 東野英利子 :

パネルディスカッション<乳癌検診はいかにあるべきか>超音波検診の現状と課題

日本総合検診医学会第13回大会 (横浜) 1月 , 2003

2003年（放射線医学・陽子線センターグループ）

原 著

- No . 1 Tokuyue K, Sumi M, Kagami Y, Murayama S, Ikeda H, Ikeda M, Okusaka T, Ueno H, Okada S. :
Small-field radiotherapy in combination with concomitant chemotherapy for locally advanced pancreatic carcinoma.
Radiother Oncol.2003;67 : 323-330.
- No . 2 Shioyama Y, Tokuyue K, Okumura T, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Akine Y, Ishikawa S, Satoh H, Sekizawa K. :
Clinical evaluation of proton radiotherapy for non-small cell lung cancer.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;56 : 7-13.
- No . 3 Ohara K, Tanaka YO, Tsunoda H, Sugahara S, Hashimoto T, Kagei K, Tokuyue K, Akine Y, Yoshikawa H, Itai Y. :
Nonoperative assessment of nodal status for locally advanced cervical squamous cell carcinoma treated by radiotherapy with regard to patterns of treatment failure.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;55 : 354-361.
- No . 4 Kagei K, Tokuyue K, Okumura T, Ohara K, Shioyama Y, Sugahara S, Akine Y. :
Long-term results of proton beam therapy for carcinoma of the uterine cervix.
Int J Radiat Oncol Biol Phys.2003;55 : 1265-1271.
- No . 5 Aoyama H, Shirato H, Onimaru R, Kagei K, Ikeda J, Ishii N, Sawamura Y, Miyasaka K. :
Hypofractionated stereotactic radiotherapy alone without whole-brain irradiation for patients with solitary and oligo brain metastasis using noninvasive fixation of the skull.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;56 : 793-800.
- No . 6 Hosokawa Y, Shirato H, Nishioka T, Tsuchiya K, Chang TC, Kagei K, Ohomori K, Obinata K, Kaneko M, Miyasaka K, Nakamura M. :
Effect of treatment time on outcome of radiotherapy for oral tongue carcinoma.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;57 : 71-78.
- No . 7 Ohara K, Tsunoda H, Nishida M, Sugahara S, Shioyama Y, Hasezawa K, Yoshikawa H, Akine Y, Itai Y. :
Use of small pelvic field instead of whole pelvic field in postoperative radiotherapy for node-negative, high-risk stages I and cervical squamous cell carcinoma.
Int J Gynecol Cancer. 2003;13 : 170-176.
- No . 8 Koike I, Ohmura M, Hata M, Takahashi N, Oka T, Ogino I, Lee J, Umezawa T, Kinbara K, Watai K, Ozawa Y, Inoue T. :
FDG-PET scanning after radiation can predict tumor regrowth three months later.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;57 : 1231-1238

- No . 9 Karasawa K, Kaizu T, Niibe Y, Igaki H, Shinohara M, Tanaka Y, Matsuda T. :
Rotational 3D-conformal radiation therapy (conformation therapy) combined
with hormone therapy for the treatment of stage B2/C prostate cancer in Japanese
men.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;56 : 208-212.
- No . 10 Nohtomi A, Sakae T, Terunuma T, Tsunashima Y, Hosono K, Hayakawa Y. :
Measurement of depth-dose distribution of protons by an imaging plate.
Nucl Instr And Meth In Phys Res. 2003;A511 : 382-387.
- No . 11 Kohno R, Takada Y, Sakae T, Terunuma T, Matsumoto K, Nohtomi A, and Matsuda H. :
“Experimental evaluation of validity of simplified Monte Carlo method in proton
dose calculations”
Phys Med Biol , 2003;48 : 1277-1288.
- No . 12 Kohno R, Takada Y, Sakae T, Terunuma T, Matsumoto K, Nohtomi A, and Matsuda H. :
“Verification of water-equivalent model for calculation of Multiple Scattering
Effects in simplified Monte Carlo Dose Calculations”
Jpn J Appl. Phys. 2003;42 : 3728-3729.
- No . 13 Terunuma T, Sakae T, Nohtomi A, Tsunashima Y. :
The direct measurement using an imaging plate for coincidence of radiation
center and laser position in external radiation therapy.
Phys Med Biol. 2003;48 : N1-N5.

総 説

- No . 1 徳植 公一, 秋根 康之, 塩山 善之, 影井 兼司, 菅原 信二, 井垣 浩, 幡多 政治,
大原 潔, 橋本 孝之 :
筑波大学陽子線医学利用研究センターにおける陽子線治療の臨床試験報告
日本放射線腫瘍学会誌 2003;15(4) : 277-283.
- No . 2 幡多 政治 :
浸潤性膀胱癌に対する膀胱温存療法
映像情報 Medical. 2003;35(13) : 1090-1095.
- No . 3 新部 譲, 唐澤 克之, 井垣 浩, 宮下 久夫, 田中 良明 :
下咽頭癌放射線治療成績 —分割法による比較—
日本医学放射線学会雑誌 2003;63(3) : 103-107.
- No . 4 榮 武二 :
日本の粒子線治療施設, 筑波大学
テラレーメイド放射線治療を目指して, 実業広報社 2003;57-58.
- No . 5 綱島 義一, 榮 武二, 影井 兼司, 照沼 利之, 秋根 康之, 塩山 善之, 納富 昭弘 :
呼吸誘導による放射線治療計画用呼吸同期CT撮影
日本医学物理学会機関誌 2003;23(1) : 93-100.
- No . 6 照沼 利之, 榮 武二, 早川 吉則 :
がん治療用陽子線照射で発生する音響波の観測とシミュレーション
日本超音波医学会基礎技術研究会誌 2003;103(4) : 1-5.

- No. 7 徳植 公一, 秋根 康之:
肺癌に対する定位的放射線治療
西條長宏編 肺癌: 診断治療の最前線, 癌の臨床 2003;49:1291-97.
- No. 8 徳植 公一, 秋根 康之:
手術に代わる放射線治療: 肝細胞癌に対する陽子線治療
映像情報Medical.2003;35(13):1076-1083.

抄録など

- No. 1 Tokuyue K, Akine Y, Hashimoto T, Igaki H, Hata M, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Chiba T, Matsuzaki Y, Tanaka N. :
Clinical results of proton radiotherapy for hepatocellular carcinoma.
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2003;57: S383.

学会発表

- No. 1 秋根 康之:
看護とチーム医療5. 切らずに治す癌の根治的放射線治療-進歩と精度管理-3. 陽子線治療の現状
第26回日本医学会総会学術講演会(福岡) 2003.4.4-6
- No. 2 幡多 政治, 大原 潔, 徳植 公一, 菅原 信二, 影井 兼司, 橋本 孝之, 齋田 幸久, 宮永 直人, 赤座 英之, 秋根 康之:
浸潤性膀胱癌に対する陽子線治療: 動注化学療法と陽子線治療を併用した膀胱温存療法の治療成績
第62回日本医学放射線学会学術発表会(横浜) 2003.4.11-13
- No. 3 大原 潔, 菅原 信二, 影井 兼司, 橋本 孝之, 幡多 政治, 徳植 公一, 秋根 康之, 板井 悠二:
子宮頸癌術後照射における小骨盤照射と全骨盤照射とでの有害事象の比較
第62回日本医学放射線学会学術発表会(横浜) 2003.4.11-13
- No. 4 小池 泉, 大村 素子, 幡多 政治, 高橋 延和, 岡 卓志, 荻野伊知朗, 李 進, 小澤 幸彦, 井上登美夫:
放射線治療直後のFDG-PETで早期の治療効果を予想できるか?
第62回日本医学放射線学会学術発表会(横浜) 2003.4.11-13
- No. 5 新部 譲, 唐澤 克之, 井垣 浩, 田中 良明:
小型肺腫瘍に対する三次元放射線治療成績
第62回日本医学放射線学会学術発表会(横浜) 2003.4.11-13
- No. 6 唐澤 克之, 新部 譲, 井垣 浩, 田中 良明:
高齢者局所進行非小細胞肺癌に対するCDDP気管支動脈動注併用放射線療法
第62回日本医学放射線学会学術発表会(横浜) 2003.4.11-13
- No. 7 照沼 利之, 榮 武二, 納富 昭弘, 綱島 義一:
IPによる照射野・レーザ位置の直接測定法とQAへの応用
第85回日本医学物理学会(横浜) 2003.4.11-13

- No. 8 榮 武二：
陽子線治療システムの運転効率
第351回放射線治療談話会（東京）2003.6.18
- No. 9 橋本 孝之，徳植 公一，奥村 敏之，塩山 善之，菅原 信二，影井 兼司，
幡多 政治，井垣 浩，大原 潔，秋根 康之：
肝細胞癌に対する複数回陽子線治療成績の検討
第39回日本肝癌研究会（金沢）2003.6.19-20
- No. 10 榮 武二：
筑波大学陽子線治療加速器の現状と展望
第3回FFAG研究会（東京）2003.7.5
- No. 11 菅原 信二，大原 潔，斎田 幸久，徳植 公一，影井 兼司，幡多 政治，井垣 浩，
秋根 康之，奥村 敏之，中原 朗，田中 直見，大西かよ子，根本 景子：
食道癌に対する陽子線治療
第275回日本消化器病学会関東支部例会（つくば）2003.7.15
- No. 12 徳植 公一，秋根 康之，井垣 浩，幡多 政治，影井 兼司，菅原 信二，大原 潔，
橋本 孝之，松崎 靖司，田中 直見，千葉 俊也：
筑波大学における肝細胞癌に対する陽子線治療成績
第275回日本消化器病学会関東支部例会（つくば）2003.7.15
- No. 13 根本 景子，井垣 浩，幡多 政治，影井 兼司，菅原 信二，徳植 公一，大原 潔，
秋根 康之，田中 直見，松崎 靖司，千葉 俊也：
巨大肝細胞癌において陽子線治療が奏効した1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会（つくば）2003.7.15
- No. 14 大西かよ子，徳植 公一，影井 兼司，菅原 信二，井垣 浩，幡多 政治，根本 景子，
大原 潔，秋根 康之，松崎 靖司，田中 直見，千葉 俊也：
陽子線治療が奏効した門脈腫瘍塞栓を伴う肝細胞癌の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会（つくば）2003.7.15
- No. 15 榮 武二：
陽子線治療における技術課題
研究会「小型加速器の利用推進について」（つくば）2003.7.16-17
- No. 16 Hata M, Miyanaga N, Tokuyue K, Ohara K, Saida Y, Sugahara S, Kagei K, Hashimoto T,
Akaza H, Akine Y. :
Proton therapy for invasive bladder cancer: Treatment results of a
bladder-preserving therapy with x-ray irradiation and concurrent intra-arterial
chemotherapy followed by proton irradiation boost.
12th European Cancer Conference (ECCO). (Copenhagen) 2003.9.21-25
- No. 17 Sugahara S, Tokuyue K, Okumura T, Nakahara A, Saida Y, Kagei K, Ohara K, Hata M,
Tanaka N, Akine Y. :
Clinical results of proton radiation therapy alone for esophageal cancer.
12th European Cancer Conference (ECCO). (Copenhagen) 2003.9.21-25

- No. 18 榮 武二：
筑波大学陽子線医学利用研究センターの現状
日本原子力学会2003年秋の大会（静岡）2003.9.24-26
- No. 19 照沼 利之，榮 武二：
陽子線照射時に発生する音響信号波形の有限差分時間領域法による数値シミュレーション
第85回日本医学物理学会（金沢）2003.9.26-27
- No. 20 Tokuyue K, Akine Y, Hashimoto T, Igaki H, Hata M, Kagei K, Sugahara S, Ohara K, Chiba T, Matsuzaki Y, Tanaka N. :
Clinical results of proton radiotherapy for hepatocellular carcinoma.
45th Annual Scientific Meeting of the American Society for Therapeutic Radiology and Oncology (ASTRO). (Salt Lake City) October , 2003
- No. 21 大原 潔，菅原 信二，影井 兼司，徳植 公一，幡多 政治，井垣 浩，秋根 康之：
子宮頸部扁平上皮癌に対する根治照射と術後照射との治療成績の比較
第41回日本癌治療学会総会（札幌）2003.10.22-24
- No. 22 徳植 公一，秋根 康之，菅原 信二，影井 兼司，幡多 政治，井垣 浩，大原 潔，根本 景子，大西かよ子：
肝細胞癌に対する陽子線治療における肝動脈塞栓療法の有無による治療成績の比較
日本放射線腫瘍学会第16回学術大会（東京）2003.11.21
- No. 23 大原 潔，大西かよ子，影井 兼司，菅原 信二，根本 景子，幡多 政治，井垣 浩，徳植 公一，秋根 康之：
子宮頸癌の腫瘍縮小速度の解析 -放射線治療単独例と化学療法併用例との比較-
日本放射線腫瘍学会第16回学術大会（東京）2003.11.21
- No. 24 井垣 浩，奥村 敏之，徳植 公一，菅原 信二，影井 兼司，幡多 政治，大原 潔，坪井 康次，秋根 康之：
頭蓋底脊索腫に対する陽子線治療成績
日本放射線腫瘍学会第16回学術大会（東京）2003.11.22
- No. 25 井垣 浩：
陽子線治療の治療成績
第1回化学放射線治療科学研究会（東京）2003.12.15-16

講演など

- No. 1 Akine Y. :
Results of patients treated with protons at Tsukuba.
Invited lecture at: University of Texas MD Anderson Cancer Center;
(Houston, Texas, USA) May 7 , 2003

No . 2 Akine Y. :

Results of patients with hepatocellular carcinoma treated with protons at Tsukuba.

Invited lecture at Symposium on Innovative Technology and
Multidisciplinary Approach in the Treatment of Malignant
Tumors of the Upper Gastrointestinal Tract.
(Castel Ivano, Ivano Francena, Italy), June 13-14 , 2003

No . 3 幡多 政治 :

切らずに治すがん治療：陽子線治療の現状

リカレント講座（横浜）2003.7.23

2003年（救急グループ）

著 書

- No. 1 小山完二：
電解質異常補正法
今日の治療指針，山口徹，北原光夫（編）
医学書院，（東京），p98-99,2003
- No. 2 小山完二：
グリホサート，グルホシネート中毒
今日の治療指針，山口徹，北原光夫（編）
医学書院，（東京），p110,2003
- No. 3 小山完二：
工業薬品中毒（有機溶剤）
外来診療のすべて，高久史磨（編）
メディカルビュー社，（東京），p1000-1001,2003

総説その他

- No. 1 小山完二：
中毒
救急・集中治療14（臨時増刊号）：252~253,2003
- No. 2 小山完二（訳）：
中毒に対する救急
ひと目でわかる救急初期診療ガイド
岡元和文，相馬一玄，行岡哲男，山科 章（監訳）
総合医学社，（東京），p329-372,2003
- No. 3 小山完二：
中毒の薬物治療
レジデントノート5（8）：83 - 85，2003

学会発表，講演

- No. 1 小山完二：
グルホシネート中毒の臨床（教育講演）
第25回日本中毒学会総会（福島），2003年7月11日
- No. 2 小山完二：
心肺蘇生法における最近の動向（講演）
茨城県看護協会平成15年度教育研修（水戸），2003年7月19日
- No. 3 小山完二：
心肺蘇生法（講演）
茨城県保険医協会生涯教育研修会（土浦），2003年9月19日

2003年（医療情報グループ）

原 著

- No. 1 長瀬啓介，高田彰，五十嵐徹也，大内隆信，網野貴文，大野国弘
Java2 Enterprise Edition を用いた推論エンジンを有する病院情報システムの開発
第23回医療情報学連合大会論文集（CD-ROM版）2003
- No. 2 大野 国弘，長澤 勲，梅田 政信，長瀬 啓介，高田 彰，五十嵐 徹也
臨床判断支援システムのための知識ベースの開発
第23回医療情報学連合大会論文集（CD-ROM版）2003
- No. 3 高田 彰，長瀬啓介，大内隆信，網野貴文，五十嵐徹也
病院情報システム開発でのUMLの利用による、要求要件に関する円滑なコミュニケーションの実現
第23回医療情報学連合大会論文集（CD-ROM版）2003
- No. 4 大内 隆信，安光 正則，網野貴文，五十嵐徹也，高田彰，長瀬啓介，大野国弘
ユースケースによるリスク管理型ソフトウェア開発手法を用いたオーダリングシステムの構築
第23回医療情報学連合大会論文集（CD-ROM版）2003

総説・その他

- No. 1 中林 幹雄，五十嵐 徹也：
骨代謝マーカー： 骨型アルカリホスファターゼ（BAP）
総合臨牀 52(1)：108－113，2003
- No. 2 西森 茂樹，五十嵐 徹也：
カルシウム調節系の進化と副甲状腺の発生
腎と骨代謝 16(2)：103 - 107，2003
- No. 3 五十嵐 徹也
テラーメイド教育(correspondence)
医学教育 34(1)：8，2003
- No. 4 五十嵐 徹也
初期研修医と診療チーム(correspondence)
医学教育 34(1)：8，2003
- No. 5 小越 博明，中嶋 直子，高野 哲郎，大谷 法子，奥住 捷子，森澤 雄司，
森屋 恭爾，新井 晴代，木村 哲，五十嵐 徹也
プラズマ溶融方式による医療廃棄物処理法について
環境感染 18(1)：121，2003
- No. 6 山地のぶ子，渡邊宏樹，渡邊聖子，美代賢吾，甘粕敏昭，五十嵐徹也，大江和彦
患者との情報共有 - ベッドサイド情報提供端末 -
2003年2月20 - 21日，
「平成14年度東大シンポジウム看護学の新展開 - 情報学とのドッキングー
—New Development on Nursing Informatics」

2003年（集中治療グループ）

原 著

- No. 1 高橋宏，田島啓一，水谷太郎，斎藤重行，猪股伸一，宮部雅幸，豊岡秀訓：
一次救命処置手技における教育のあり方に関する検討。
麻酔と蘇生39(1)：1-5，2003
- No. 2 H. Yamagishi, Y. Sankai, T. Yamane, T. Jikuya, T. Tsutsui：
Development of built-in type and noninvasive sensor systems for smart artificial heart
ASAIO Journal 49(3)：265-270,2003
- No. 3 Unoki T, Mizutani T, Toyooka H：
Effects of expiratory rib cage compression and/or prone position on oxygenation and ventilation in mechanically ventilated rabbits with Induced atelectasis.
Respir Care48(8)：754-762，2003

総 説

- No. 1 水谷太郎：
特集人工呼吸の安全対策を考えるー事故を防止するアラームの設定。
人工呼吸20(2)：110-112，02003

学会発表

- No. 1 筒井達夫，軸屋智昭，榊原謙，滝谷亮一，山海嘉之：
長期VAD症例の動脈圧パワースペクトルによる自律神経活動度評価
第31回人工心臓と補助循環懇話会，蔵王，2003.1.25
第31回人工心臓と補助循環懇話会抄録集 p133，2003
- No. 2 錦井秀和，大塚定徳，新富義候，山口巖，本間覚，水谷太郎：
特異な経過を示した肺炎球菌肺炎によるARDSの一人例。
第30回日本集中治療医学会，札幌，2月，2003
- No. 3 水谷太郎，高橋伸二，豊岡秀訓，本間覚，筒井達夫：
ペントナイト懸濁液気管内注入による新しい無気肺モデル作成の試み。
第30回日本集中治療医学会，札幌，2月，2003
- No. 4 水谷太郎：
最新の人工呼吸療法。
第2回RCPセミナーin 茨城，阿見，4月，2003
- No. 5 綾大介，宮部雅幸，清水雄，水谷太郎，豊岡秀訓：
保存療法により治癒した硬膜外血腫の1例。
第50回日本麻酔科学会，横浜，5月，2003
- No. 6 A.Sugiura, Y. Sankai, T. Yamane, T.Jikuya, T.Tsutsui：
Development of small implantable multi-sensor circuit for artificial heart
49th ASAIO, Washington DC，2003.6.19
ASAIO Journal 49(2)：217,2003

- No . 7 T Yamane, O Maruyama, T Kato, M Nishida, Y Miyamoto, T Tsutsui, T Jikuya :
Hemocompatibility of hemodynamic levitation blood pumps
49th ASAIO, Washington DC, 2003.6.19
ASAIO journal 49(2) : 153, 2003
- No . 8 卯野木健, 木下佳子, 水谷太郎, 高橋伸二, 田村富美子, 豊岡秀訓 :
気管内吸引時のキシロカインスプレー反復噴霧は気管チューブ内壁の摩擦力を増大させる.
第25回日本呼吸療法医学会, 第13回日本呼吸管理学会合同学術集会, 千葉, 8月, 2003
人工呼吸20(2) : 146, 2003
- No . 9 細谷真人, 水谷太郎, 高橋伸二, 豊岡秀訓 :
自発呼吸におけるPSVもしくはtube compensation設定、気管チューブの長さ・内径の差異が換気量に及ぼす影響 -シミュレーターを用いた検討-.
第25回日本呼吸療法医学会, 第13回日本呼吸管理学会合同学術集会, 千葉, 8月, 2003
人工呼吸20(2) : 194, 2003
- No . 10 縦山定美, 古田智美, 川口寿彦, 川村美幸, 阿部安子, 水谷太郎 :
人工呼吸器装着のまま在宅に移行した一事例の報告.
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 東京, 8月, 2003
- No . 11 西川昌志, 高橋伸二, 水谷太郎, 豊岡秀訓 :
Prader-Willi 症候群患者の人工呼吸管理経験.
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 東京, 8月, 2003
- No . 12 八木原正浩, 近藤司, 松宮直樹, 水谷太郎, 豊岡秀訓 :
アセトアミノフェン中毒の治療中に呼吸困難をきたした症例.
第12回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 東京, 8月, 2003
- No . 13 T.Tsutsui, R.Takiya, T.Jikuya, Y.Sakakibara, Y.Sankai :
Effect of left ventricular assist device on circulatory autonomic nervous activity
30th Congress of European Society for Artificial Organs, Aachen, 2003.9.4
International Journal of Artificial Organs 26(7) : 624, 2003
- No . 14 Hosoya M, Mizutani T, Takahashi S, Toyooka H :
Effect of pressure support ventilation or tube compensation and tracheal tube size and length on tidal volume during spontaneous breathing- A simulator study.
Annual Meeting American Society of Anesthesiologists, San Francisco, Oct., 2003
- No . 15 西川昌志, 猪股伸一, 助川岩央, 小原由記, 綾大介, 高橋伸二, 水谷太郎, 豊岡秀訓 :
体外心臓マッサージ用ポンプ (Cardio PumpTM) を使用した肺洗浄.
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会, 下関, 10月, 2003
- No . 16 辻村真一, 山海嘉之, 古口晴敏, 柳健一, 軸屋智昭, 筒井達夫 :
遠心型連続流人工心臓における近赤外光を用いた血栓検出
第6回日本栓子検出と治療学会, つくば, 2003.12.6
第6回日本栓子検出と治療学会抄録集pp50-51, 2003

No. 17 古口晴敏，山海嘉之，榛沢和彦，山根隆志，軸屋智昭，筒井達夫：

人工心臓抗血栓性試験におけるレーザーによる栓子検出の有効性

第6回日本栓子検出と治療学会，つくば，2003.12.6

第6回日本栓子検出と治療学会抄録集pp52-53，2003

2003年（臨床薬剤学グループ）

原 著

- No. 1 高嶋 泰之, 馬場 泰行, 本間 真人, 大野 国弘, 長澤 勲, 幸田 幸直 :
注射剤規格選択の最適化プログラムの試作と適用
薬剤疫学 8(2) : 61-66, 2003
- No. 2 櫻井 洋志, 猪股 伸一, 垣内 祥宏, 宮部 雅幸, 大坂 佳子, 森 智子, 馬場 泰行, 福田 妙子, 幸田 幸直, 豊岡 秀訓 :
5%リドカインクリーム外用薬の除痛効果と血中リドカイン濃度
ペインクリニック 24(2) : 237-240, 2003
- No. 3 本間 真人 :
和漢薬活性成分の体内動態とPharmacogenomics
日本東洋医学会誌 54(3) : 485-490, 2003
- No. 4 Katori K, Homma M, Kuga K, Yamaguchi I, Sugibayashi K, Kohda Y :
Liquid chromatographic determination of unbound flecainide in therapeutic drug monitoring
J. Pharm. Biomed. Anal. 32 (2) : 375-380, 2003
- No. 5 Fukuda T, Kakiuchi Y, Miyabe M, Kihara S, Kohda Y, Toyooka H :
Free lidocaine concentrations during continuous epidural anesthesia in geriatric patients
Reg. Anesth. Pain Med. 28(3) : 215-220, 2003
- No. 6 Sumiya K, Homma M, Watanabe M, Baba Y, Inomata S, Kihara S, Toyooka H, Kohda Y :
Sedation and plasma concentration of clonidine hydrochloride for pre-anesthetic medication in pediatric surgery
Biol. Pharm. Bull. 26(4) : 421-423, 2003
- No. 7 Niitsuma T, Okita M, Sakurai K, Morita S, Tsuyuguchi M, Matsumura Y, Hayashi T, Koshishi T, Oka K, Homma M :
Adrenal function as assessed by low-dose adrenocorticotropic hormone test before and after switching from inhaled beclomethasone dipropionate to inhaled fluticasone propionate
J. Asthma. 40(5) : 515-522, 2003
- No. 8 Kosel B W, Hayashi S, Homma M, Aweeka F T :
Pharmacokinetics of nelfinavir and indinavir in HIV-1-infected pregnant women
AIDS 17(8) : 1195-1199, 2003
- No. 9 湯沢 賢治, 板垣 文雄, 本間 真人 :
シクロスポリンの薬物動態に影響を与える遺伝子多型と薬物相互作用
今日の移植16(6) : 617-619, 2003
- No. 10 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 山本 由里子, 垣内 祥宏, 湯沢 賢治, 深尾 立, 幸田 幸直 :
MEIA法を用いた血中濃度モニタリングにおけるタクロリムス偽陽性濃度
TDM研究 20(1) : 30-34, 2003

- No. 11 板垣 文雄, 柳本 寛子, 本間 真人, 中嶋 玲子, 須摩崎 亮, 松井 陽, 幸田 幸直 :
潰瘍性大腸炎の病状変化に伴うシクロスポリン体内動態の変動
TDM研究 20(2) : 137-138, 2003
- No. 12 本間 真人, 井上 洋一, 松崎 靖司, 柴田 実, 三田村 圭二, 田中 直見,
幸田 幸直 :
リバビリンとインターフェロン併用療法における血漿および赤血球内リバビリン濃度
臨床薬理 34(2) : 271S-272S, 2003
- No. 13 住谷 賢治, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直 :
小児に対する塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の鎮静効果と血中クロニジン濃度
臨床薬理 34(2) : 313S-314S, 2003
- No. 14 細野 浩之, 垣内 祥宏, 本間 真人, 幸田 幸直, 赤座 英之 :
治験薬管理における治験薬の使用期限の問題点
臨床薬理 34(2) : 367S-368S, 2003

総 説

- No. 1 細野 浩之, 幸田 幸直 :
高血圧治療薬と患者への説明
薬局 54(増刊) : 667-693, 2003
- No. 2 本間 真人 :
漢方薬・ハーブと西洋薬の併用実態と薬物相互作用
薬局 54(2) : 1255-1261, 2003
- No. 3 幸田 幸直 :
医療過誤防止と薬剤部の役割
薬事新報 (No. 2253) : 201-205, 2003

著 書

- No. 1 幸田 幸直 :
治療薬物モニタリング (TDM), 標準薬剤学 (渡辺善照 / 芳賀 信 編)
南江堂, 東京, pp. 461-480, 2003
- No. 2 幸田 幸直 :
薬物相互作用, 高脂血症ナビゲーター (山田信博 / 石橋 俊 / 代田浩之 編)
メディカルビュー社, 東京, pp. 320-321, 2003
- No. 3 幸田 幸直 :
アロプリノール, 他 (全14項目担当). 医学大辞典 (伊藤正男 / 井村裕夫 / 高久史磨
総編集)
医学書院, 東京, 2003

学会発表

- No. 1 香取 久美, 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 杉林 堅次, 幸田 幸直 :
頻脈性不整脈におけるフレカイニド遊離型血中濃度の測定
日本薬学会第123年会 (長崎) 3月 : 2003

- No. 2 細野 浩之, 垣内 祥宏, 渡邊 江美, 横橋 祐子, 齊藤 由香里, 山田 涼子, 高橋 孝, 本間 真人, 幸田 幸直, 赤座 英之:
筑波大学附属病院における臨床試験プロトコルからの逸脱事例の検討
日本薬学会第123年会(長崎)3月:2003
- No. 3 井上 洋一, 本間 真人, 松崎 靖司, 田中 直見, 柴田 実, 三田村 圭二, 幸田 幸直
リバビリン誘発性貧血における赤血球内リバビリン蓄積の影響
日本薬学会第123年会(長崎)3月:2003
日本薬学会第123年会講演ハイライト:33, 2003
- No. 4 住谷 賢治, 本間 真人, 馬場 泰行, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
塩酸クロニジン口腔内崩壊錠の調製と臨床評価
日本薬剤学会第18年会(京都)4月:2003
- No. 5 本間 真人, 久賀 圭祐, 山口 巖, 幸田 幸直:
頻脈性不整脈におけるフレカイニドの血中濃度と自覚症状
第4回抗不整脈薬TDM研究会(東京)5月:2003
- No. 6 垣内 祥宏, 宮部 雅幸, 本間 真人, 中山 慎, 猪股 伸一, 豊岡 秀訓, 幸田 幸直:
プロポフォール麻酔が硬膜外投与リドカインの代謝に及ぼす影響
第20回日本TDM学会学術大会(横浜)6月:2003
- No. 7 富田 隆, 本間 真人, 板垣 文雄, 長谷川 雄一, 向井 陽美, 小島 寛, 長澤 俊郎, 湯沢 賢治, 大河内 信弘, 幸田 幸直:
ヘマトクリット値の低下がMEIA法によるタクロリムスTDMに及ぼす影響
第20回日本TDM学会学術大会(横浜)6月:2003
- No. 8 馬場 泰行, 石川 智景, 香取 久美, 住谷 賢治, 本間 真人, 幸田 幸直:
診療支援システムと連動した薬剤管理指導業務支援システムの構築
日本病院薬剤師会関東ブロック第33回学術大会(新潟)8月:2003
- No. 9 金子 あき, 土岐 浩介, 馬場 泰行, 磯山 亜希, 土田 美奈子, 本間 真人, 幸田 幸直:
外来化学療法に用いる管理表と抗癌剤チェックリストの試作
日本病院薬剤師会関東ブロック第33回学術大会(新潟)8月:2003
- No. 10 永野 聡子, 渡邊 真知子, 柳 真志帆, 仲村 英史, 平野 友紀, 本間 真人, 幸田 幸直, 村上 圭三:
モノリスカラムの使用による臨床現場で有用な新規HPLC・DNA定量系の確立
第13回日本医療薬学会年会(神戸)9月:2003
- No. 11 土岐 浩介, 本間 真人, 馬場 泰行, 幸田 幸直:
ベンゾジアゼピン系薬物の投与量に及ぼす加齢の影響
第13回日本医療薬学会年会(神戸)9月:2003
- No. 12 山城 智美, 本間 真人, 石川 智景, 石原 三也, 高嶋 泰之, 蛸名 清華, 幸田 幸直:
患者の満足度を考慮した睡眠薬の選択
第13回日本医療薬学会年会(神戸)9月:2003

- No. 13 板垣 文雄, 本間 真人, 湯沢 賢治, 大河内 信弘, 幸田 幸直:
腎移植患者におけるCYP2C19およびMDR1遺伝子多型とタクロリムスの薬物相互作用
第39回日本移植学会総会(大阪)10月:2003
- No. 14 本間 真人, 富田 隆, 板垣 文雄, 湯沢 賢治, 堀 哲夫, 金子 道夫, 大河内 信弘, 幸田 幸直:
MEIA法におけるタクロリムス血中濃度測定に及ぼすヘマトクリット値の影響
第39回日本移植学会総会(大阪)10月:2003
- No. 15 本間 真人, 久賀 圭祐, 香取 久美, 土岐 浩介, 草野 一富, 渡邊 重行, 山口 巖, 幸田 幸直:
フレカイニドの血中濃度に及ぼすCYP2D6遺伝子多型の影響
第18回日本薬物動態学会年会(札幌)10月:2003
- No. 16 石原 三也, 本間 真人, 千 文, 幸田 幸直:
芍薬甘草湯の処方実態と血清カリウム値
日本東洋医学会関東甲信越支部第12回茨城県部会学術集会(つくば市)11月:2003
- No. 17 蛸名 清華, 垣内 祥宏, 西村 文吾, 畑中 公孝, 大久保 英樹, 原 晃, 本間 真人, 幸田 幸直:
フルボキサミンによるセロトニン症候群が疑われた一症例
第14回茨城県薬剤師学術大会(水戸)11月:2003
- No. 18 百 賢二, 土岐 浩介, 香取 久美, 本間 真人, 幸田 幸直
トリアゾラムの処方量に及ぼす消化性潰瘍治療薬の影響
第14回茨城県薬剤師学術大会(水戸)11月:2003
- No. 19 細野 浩之, 本間 真人, 井上 洋一, 長谷川 雄一, 長澤 俊郎, 幸田 幸直:
リバビリン誘発溶血性貧血の発症機序に関する検討
第24回日本臨床薬理学会年会(横浜)12月:2003
- No. 20 井上 洋一, 本間 真人, 松崎 靖司, 田中 直見, 柴田 実, 三田村 圭二, 幸田 幸直:
溶血性貧血予測のためのHPLCによる赤血球内リバビリン濃度測定
第24回日本臨床薬理学会年会(横浜)12月:2003
- No. 21 本間 真人, 富田 隆, 長谷川 雄一, 板垣 文雄, 向井 陽美, 小島 寛, 長澤 俊郎, 幸田 幸直:
骨髄移植におけるヘマトクリット値の低下がタクロリムス血中濃度測定に及ぼす影響
第26回日本造血細胞移植学会(横浜)12月:2003

その他

- No. 1 幸田 幸直:
巻頭言
茨城県病院薬剤師会会誌 45(1):3-4, 2003
- No. 2 幸田 幸直:
薬剤師が担う医療新時代
茨城県病院薬剤師会会誌 45(2):115-116, 2003

- No. 3 細野 浩之, 幸田 幸直 :
フルニトラゼパムと浮腫
日本醫事新報 (No.4110号): 115-116 , 2003
- No. 4 幸田 幸直 :
病院薬剤師業務の現状と将来
平成15年度茨城県病院薬剤師会総会特別講演 (水戸), 5月 : 2003
茨城県病院薬剤師会会誌 45(2) : 131-134 , 2003
- No. 5 幸田 幸直 :
高脂血症 -服薬するときの注意-
週刊朝日2003年9月5日号 : 38-39 , 2003
- No. 6 幸田 幸直 :
薬学教育6年制はどこへ
日本病院薬剤師会雑誌 39(12) : 1515 , 2003
- No. 7 本間 真人 :
症例から考える薬物相互作用と副作用
東京都病院薬剤師会学術講演会特別講演 (東京), 10月 : 2003
- No. 8 本間 真人 :
和漢薬成分の体内動態
北里大学大学院感染制御学府セミナー (東京), 12月 : 2003

2003年（卒後臨床研修グループ）

原 著

- No. 1 山田健志, 西村真紀, 大野每子, 藤沼康樹, 井上真智子, 一瀬邦弘, 前野哲博, 大坪天平, 佐藤武:
プライマリ・ケアにおけるうつ病の有病率調査.
病体生理37(1): 30-34, 2003

著 書

- No. 1 荒牧まいえ, 前野哲博:
呼吸困難, 咳・痰. 必修化対応 臨床研修マニュアル (畑尾正彦 監修, 白浜雅司, 津田司, 大滝純司, 下正宗, 松村理司, 宮本尚彦, 青木誠, 箕輪良行, 藤崎和彦 編集)
羊土社, 東京, pp225-229, 2003
- No. 2 前野哲博:
がんばれ! 女性医師・医学生 (共同執筆, 日本家庭医療学会編)
プリメド社, 大阪, 2003

総 説

- No. 1 前野哲博:
家庭医.
医学のあゆみ 204(12): 873-874, 2003
- No. 2 小崎真規子, 前野哲博:
初期研修医のストレス.
レジデントノート 5(3): 86-89, 2003
- No. 3 前野貴美, 松下明, 竹村洋典, 大野每子, 前野哲博, 松村真司, 高屋敷明由美, 鈴木富雄, 吉村学, 名郷直樹, 佐藤寿一:
家庭医, プライマリ・ケア医が行う臨床研究の障害および解決策 - 文献的考察 - .
家庭医療 10: 4-8, 2003
- No. 4 前野哲博:
始動する新臨床研修制度と今後の大学病院.
病院 62(9): 726-730, 2003

学会発表

- No. 1 前野哲博, 山田健志, 佐藤武, 前野貴美, 木澤義之:
頭痛・全身倦怠を主訴にプライマリ・ケアを受診した患者におけるうつ病の有病率.
第11回日本総合診療医学会 (札幌), 2月, 2003.
- No. 2 前野哲博:
卒後臨床研修必修化を目前にして 期待と要望 大学病院の立場から
第35回医学教育学会 (佐賀), 7月, 2003.

- No. 3 前野哲博, 木村琢磨, 小崎真規子, 前野貴美, 平山陽子, 藤原ゆり, 中村明澄, 藤崎和彦, 大滝純司:
研修医のストレス評価のための質問票の開発.
第35回医学教育学会(佐賀), 7月, 2003.
- No. 4 前野哲博:
筑波大学におけるコミュニケーション教育. ~現状と今後の課題~.
第1回全国模擬患者学研究会(東京), 10月, 2003.
- No. 5 中村明澄, 前野哲博, 木村琢磨, 小崎真規子, 前野貴美, 平山陽子, 藤原ゆり, 藤崎和彦, 大滝純司:
臨床研修開始直後における研修医のストレスの評価.
第18回家庭医療学研究会(東京), 11月, 2003.
- No. 6 中村明澄, 前野哲博:
キャリアカウンセリングの試み.
第18回家庭医療学研究会(東京), 11月, 2003.

その他

- No. 1 前野哲博:
卒後研修を考えるシンポジウム
第20回 全日本医学生自治会連合定期全国大会(東京), 3月, 2003.
- No. 2 前野哲博:
日本の医療制度と教育制度
茨城県医師会講演会(下館), 3月, 2003.
- No. 3 前野哲博:
コミュニケーション論2 - ロールプレイで学ぶコミュニケーションスキルの実際 -
日本看護協会 緩和ケアナース養成研修(東京), 5月, 2003.
- No. 4 前野哲博:
フィジカルアセスメント.
茨城県立医療大学, 7月, 2003.
- No. 5 前野哲博:
家庭医と新臨床研修制度
第15回家庭医療学会 学生・研修医のための夏期セミナー(長野), 8月, 2003.
- No. 6 前野哲博:
フィジカルアセスメント
筑波メディカルセンター病院 看護研修(つくば), 10月, 2003.
- No. 7 前野哲博:
筑波大学附属病院における必修化への対応
武田薬品講演会(土浦), 7月, 2003.
- No. 8 前野哲博:
これからの卒後臨床研修 —必修化後に研修病院に求められるもの—
聖隷浜松病院研修指導医ワークショップ(浜松), 7月, 2003.

- No. 9 前野哲博：
卒後臨床研修必修化について
埼玉公的病院協議会（大宮）7月，2003
- No. 10 前野哲博：
卒後臨床研修必修化！ 医学教育はどうなる
東京厚生年金病院 病院フォーラム（東京）7月，2003
- No. 11 前野哲博：
これからの卒後臨床研修 ―必修化後に研修病院に求められるもの -
国立霞ヶ浦病院講演会（土浦）10月，2003
- No. 12 前野哲博：
これからの卒後臨床研修 ―必修化後に研修病院に求められるもの -
キッセイ薬品講演会（船橋）11月，2003
- No. 13 前野哲博：
必修化後に研修病院に求められるもの
河北総合病院講演会（東京）12月，2003
- No. 14 前野哲博：
医療倫理．
筑波メディカルセンター病院講演会（つくば）12月，2003

2003年（輸血部グループ）

原 著

No 1 村野啓明，増澤真実子，古谷野妙子，松井良樹：

メトトレキサートが奏功した成人発症 Still 病．

臨床皮膚科 2003；57：57-60

No 2 藤井康彦，浅井隆善，松井良樹，木村あさの，大塚節子，西郷勝康，羽藤高明，佐久川廣，
広瀬政雄，佐藤祐二，小松文夫，南 信行：

非溶血性輸血副作用の臨床経過．

日本輸血学会雑誌 2003；49：553-558

2003年（手術部グループ）

原 著

- No. 1 大塚雅昭, 高橋 宏, 斎藤重行, 古垣達也, 佐藤典子, 中山凱夫 :
筑波大学手術部における医療事故防止対策-患者誤認防止対策-
日本手術医学会誌24(1) : 61-62, 2003
- No. 2 Miyabe M, Tajima K, Takahashi H, Toyooka H :
Olprinone, a phosphodiesterase III inhibitor, does not affect hypoxia-induced pial
arteriolar dilatation in rabbits :
Can J Anesth 50 : 193-197, 2003.
- No. 3 高橋 宏, 田島啓一, 水谷太郎, 斎藤重行, 猪股伸一, 宮部雅幸, 豊岡秀訓 :
一次救命処置手技における教育のあり方に関する検討
麻酔と蘇生39 (1) : 1-5, 2003
- No. 4 古垣達也, 大塚雅昭, 高橋宏, 中山凱夫, 軸屋智昭, 榊原謙 :
in vitroで算出するヘパリン / プロタミン量の算出 - ヘモクロンレスポンスと
Hepcon-HMSの比較 - .
体外循環技術 30(2) : 82-84, 2003.
- No. 5 古垣達也, 大塚雅昭, 高橋宏, 中山凱夫 :
メス先電極のインピーダンス測定.
医科学 73(10) : 569-570, 2003.
- No. 6 Kihara S, Brimacombe J, Yaguchi Y, Watanabe S, Taguchi N, Komatsuzaki T :
Hemodynamic responses among three tracheal intubation devices in normotensive
and hypertensive patients.
Anesth Analg96(3) : 890-895, 2003
- No. 7 Kihara S, Brimacombe J :
Sex-based ProSeal™ laryngeal mask airway size selection: a randomized
crossover study of anesthetized, paralyzed male and female adult patients.
Anesth Analg97(1) : 280-284, 2003
- No. 8 Kihara S, Yaguchi Y, Inomata S, Watanabe S, Brimacombe J, Taguchi N,
Komatsuzaki T :
Influence of nitrous oxide on minimum alveolar concentration of sevoflurane for
laryngeal mask insertion in children.
Anesthesiology99(5) : 1055-1058, 2003
- No. 9 Kihara S, Komatsuzaki T, Brimacombe J, Yaguchi Y, Taguchi N, Watanabe S :
A silicone-based wire reinforced tracheal tube with a hemispherical bevel reduces
nasal morbidity for nasotracheal intubation .
Anesth Analg97(5) : 1488-1491, 2003

学会発表

- No. 1 高橋 宏, 大久保直光, 宮部雅幸, 豊岡秀訓:
ヘパリン中和のためのプロタミン過剰投与は心機能を抑制する.
日本麻酔科学会第50回学術集会, 横浜, 5月, 2003
- No. 2 木原真一, 矢口裕一, 田口典子, 渡辺誠治:
性別によるプロシールラリングルマスク(PLMA)の適切サイズ選択.
第50回日本麻酔科学会, 横浜, 5月, 2003
- No. 3 古垣達也, 大塚雅昭, 高橋 宏, 中山凱夫:
メス先電極のインピーダンス測定.
第78回日本医科器械学会大会. 名古屋, 6月. 2003
- No. 4 木原真一, 矢口裕一, 田口典子, 渡邊誠治:
プロシールラリングアルマスクの適切サイズ選択 - 体重ベース法と性別ベース法の比較 -.
日本臨床麻酔学会第23回大会学術集会・総会, 下関, 10月, 2003
- No. 5 古垣達也, 高橋宏, 木原真一, 中山凱夫, 平松祐司, 榊原謙:
MUF中の輸液加温器使用の有用性.
第29回日本体外循環技術研究会大会. 京都, 11月 2003
- No. 6 高橋伸二, 高橋 宏, 木原真一:
手術室退室時にみられる低酸素血症に関する検討.
第25回 日本手術医学会総会, 福岡, 11月, 2003年
- No. 7 野口茂樹, 濱野真由美, 軍司ひろみ, 岡田久美子, 平石恵美子, 高橋 宏, 木原真一, 中山凱夫:
側臥位時に挿入する腋下ロール枕のサイズと体圧の関係.
第25回 日本手術医学会総会, 福岡, 11月, 2003年
- No. 8 元重瑠美子, 木原真一, 福田妙子, 田島啓一, 高橋 宏, 豊岡秀訓:
LMAによる麻酔管理下での自動除細動器(ICD)植え込み術中に肺水腫を生じた一例.
第17回茨城麻酔・蘇生・中毒・鎮痛研究会, 水戸, 2月, 2004

2003年(光学医療診療グループ)

原 著

- No. 1 斎藤 洋子, 福富 久之, 中原 朗, 真田 勝弘 :
胃X線検診の適正な要精検率の検討
日本消化器集団検診学会雑誌, 41(4) : 387-398, 2003
- No. 2 上西 紀夫, 山口 浩和, 野村 幸世, 大原 毅, 酒井 滋, 福富 久之, 中原 朗,
檜村 博正, 織田 正也, 北洞 哲治, 市川 英幸, 矢花 剛, 矢川 裕一, 杉山 敏郎,
板橋 正幸, 海上 雅光, 小具路八七郎, 崎田 隆夫 :
内視鏡的胃炎分類について-胃炎研究会パイロットスタディーの検討結果からみて
Gastroenterological Endoscopy 45(8)1277-1291, 2003
- No. 3 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史 :
高塩分食はIL-1受容体を介して *H. pylori* 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を加速させる.
Ulcer Research 30 : 97-101, 2003

総 説

- No. 1 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗,
田中 直見 :
H. pylori 感染と食塩 —胃炎・胃粘膜萎縮との関わりについて
臨床消化器内科19 : 379-383, 20

著 書

- No. 1 中原 朗, 柴原 健 :
機能性上部消化器疾患
消化管疾患の薬物治療-病態生理と薬物治療
(星野恵津夫・山岡桂子編), 薬事新報社, p20-25, 2003
- No. 2 Yanaka A., Nakahara A., Tanaka N. :
Roles of basolateral K⁺ channels and nitric oxide in restitution of injured guinea pig
gastric mucosa in vitro.
In 11th International Conference on Ulcer Research, edited
by Sikiric P, Mozsik SG, Arakawa T, and Takeuchi K.
Medimond International Proceedings,
Bologna, Italy, p229- 233, 2003
- No. 3 谷中 昭典, 張 松華 :
蛋白漏出性胃腸症
消化器疾患最新の治療2003-2004.
戸田剛太郎, 杉町圭蔵, 中村孝司編, 南江堂, (東京), p201-203, 2003

学会発表

- No. 1 谷中 昭典, 田内 雅史, 張 松華, 鈴木 英雄:
H. pylori 由来空胞化毒素の胃粘膜上皮細胞間結合透過性に及ぼす影響
第14回消化管細胞機能研究会 (掛川), 1月, 2003
- No. 2 下川 治, 松井 裕史, 長野由美子, 松崎 靖司, 中原 朗, 田中 直見:
Nitric oxideによる癌特異的ポルフィリン代謝の発現
第13回消化器とフリーラジカル研究会, 2月, 2003
- No. 3 谷中 昭典:
Lafutidineは*H. pylori*陽性十二指腸潰瘍患者の十二指腸粘膜酸中和能を改善させる
第21回サイトプロテクション研究会, (京都), 2月, 2003
- No. 4 長野由美子, 松井 裕史, 村田 靖, 中原 朗, 田中 直見:
酸環境によって誘導された胃粘膜細胞アポトーシスの検討
第3回RGM-1研究会, 3月, 2003
- No. 5 下川 治, 長野由美子, 松井 裕史, 武藤 倫弘, 菅野 雅人, 中原 朗, 松崎 靖司,
谷中 昭典, 柴原 健, 田中 直見:
5-アミノレブリン酸投与による胃癌由来細胞選択的蛍光ポルフィリン産生現象の基礎
的検討
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 6 菅野 雅人, 松井 裕史, 長野由美子, 村田 靖, 下川 治, 中原 朗, 松崎 靖司,
柴原 健, 谷中 昭典, 大野 忠夫, 田中 直見:
アミノレブリン酸(5-ALA)投与による胃癌由来細胞選択蛍光ポルフィリン産生現象
の基礎的検討
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市)H15.4.24
- No. 7 長野由美子, 松井 裕史, 菅野 雅人, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 中原 朗,
大野 忠夫, 田中 直見:
酸環境による胃粘膜細胞膜の脂質過酸化
第89回日本消化器病学会総会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 8 鈴木 英雄, 柴原 健, 中原 朗, 松井 裕史, 谷中 昭典, 田中 直見:
潰瘍性大腸炎, 壊疽性膿皮症に対しサイクロスポリン投与中に悪性リンパ腫を合併し
た1症例
第89回日本消化器病学会, (さいたま市), 4月, 2003
- No. 9 下川 治, 長野由美子, 松井 裕史, 中原 朗:
アミノレブリン酸を用いた胃癌の光線力学的診断
第31回ポルフィリン研究会, 5月, 2003
- No. 10 長野由美子, 松井 裕史, 下川 治, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 中原 朗
田中 直見, 中村幸夫:
酸環境によって誘導された胃粘膜細胞におけるGGAによる脂質過酸化抑制作用
GGA/HSP研究会, 5月, 2003

- No . 11 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Daily intake of sulforaphane-rich broccoli sprouts prevents progression of high
salt diet-induced gastric atrophy in H.pylori-infected C57/BL6 mice in vivo.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May (Orlando, Florida) ,2003
- No . 12 Sugano M., Matsui H., N,Nagano Y., Shimokawa O, Matsuzaki Y., Yanaka A., Shibahara
T., Nakahara A., Tanaka N. :
Cellular porphyrin synthesis from 5-aminolevulinic acid in gastrointestinal and
hepatic cancer cell line.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 13 Zhang S., Yanaka A., Tauchi M., Suzuki .H, Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Geranylgeranylacetone prevents progression of high salt diet-induced gastric
atrophy in H.pylori-infected C57/BL6 mice via induction of heat shock protein.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 14 Yanaka A., Tauchi M., Zhang S., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Hyperosmotic stress enhances expression of inflammatory cytokines and
accelerates Helicobacter pylori-induced apoptosis of gastric epithelial cells in
vitro.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 15 Suzuki H., Kawamoto T., Shoda J., Hotta S., Miyahara N., Yanaka A., Nakahara A.,
Tanaka N., Irimura T :
A tumor-associated MUC1 mucin recognized by mAb MY.IE12 is a useful
biomarker for tumor aggressiveness of advanced colon carcinoma.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association,
May(Orlando, Florida), 2003
- No . 16 Yanaka A., Zhang S., Tauchi M., Suzuki H., Shibahara T., Matsui H., Nakahara A.,
Tanaka N. :
Geranylgeranylacetone prevents progression of high salt diet-induced gastric
atrophy in H.pylori infected C57/BL6 mice via induction of heat shock protein.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association, (Orlando), 5月, 2003
- No . 17 Shimokawa O., Matsui H., Nagano Y., Sugano M., Matsuzaki Y., Yanaka A., Shibahara T.,
Nakahara A., Tanka N :
Five-aminolevulinic acid administration induced particular porphyrin
fluorescence In cancer cell lines.
Annual Meeting of American Gastroenterological Association, (Orlando), 5月, 2003

- No. 18 黒澤 崇, 柴原 健, 谷中 昭典, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 福沢 淳也, 足立 信也:
原因診断に苦渋した蛋白漏出性胃腸症の一例
第10回茨城県炎症性腸疾患研究会 (つくば), 6月, 2003
- No. 19 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 山本 雅之:
ルフォラファン含有食品による胃癌のChemoprevention機構の基礎的検討- ブロッコリースプラウトは, *H.pylori*感染マウスにおいて高塩分食負荷による胃粘膜萎縮の進行を防止する-
第9回日本ヘリコバクター学会 (松本), 6月, 2003
- No. 20 長野由美子, 松井 裕史, 下川 治, 村田 靖, 谷中 昭典, 柴原 健, 松崎 靖司, 中原 朗, 田中 直見:
酸環境によって誘導された胃粘膜細胞脂質過酸化とアポトーシスの検討
日本フリーラジカル学会, 6月, 2003
- No. 21 菅原 信二, 大原 潔, 斎田 幸久, 徳植 公一, 影井 兼司, 幡多 政治, 井垣 浩, 秋根 康之, 奥村 敏之, 中原 朗, 田中 直見, 大西かよ子, 根本 景子:
食道癌に対する陽子線治療
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 22 黒澤 崇, 柴原 健, 谷中 昭典, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見, 久倉 勝治, 福沢 淳也, 足立 信也:
原因診断に苦渋した蛋白漏出性胃腸症の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 23 佐藤 大介, 安部井誠人, 柴原 健, 中原 朗, 正田 純一, 松崎 靖司, 田中 直見:
下部胆管と肝門部胆管狭窄を伴い高度の黄疸を呈した自己免疫性膵炎の1例
第275回日本消化器病学会関東支部例会 (つくば市), 7月, 2003
- No. 24 谷中 昭典, 張 松華, 田内 雅史, 鈴木 英雄, 柴原 健, 松井 裕史, 中原 朗, 田中 直見:
高塩分食はIL-1受容体を介してH. pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮の進展を加速させる
第4回炎症とPPI研究会 (京都), 8月, 2003
- No. 25 添田 敦子, 柴原 健, 松崎 靖司, 柿木 信重, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見:
化学療法奏功中に髄膜癌腫症をきたし急速な経過をたどった進行胃癌の1例
第276回日本消化器病学会 関東支部例会 (横浜), 9月, 2003
- No. 26 齋藤 洋子, 福富 久之, 柿元まゆみ, 真田 勝弘, 石川 演美, 影山 隆久, 櫻村 博正, 斎田 幸久, 佐久間正祥, 菅野 千秋, 対馬 健祐, 中原 朗, 中村 光男, 平井 信二, 松本 和美, 松本 尚志:
パネルディスカッション「胃間接X線法とペプシノゲン法の組み合わせについて」
第63回日本集団検診学会関東甲信越地方会 (長野), 9月, 2003

- No. 27 Yanaka A., Nakahara A., Tanaka N. :
Roles of basolateral K⁺ channels and nitric oxide in restitution of injured guinea pig gastric mucosa in vitro.
11th International Conference on Ulcer Research, (Dobrovnik, Croatia) ,9月,2003
- No. 28 齋藤 洋子,福富 久之,中原 朗 :
パネルディスカッション「大腸癌の効率的検診方法」
DDW-Japan2003大阪,第41回日本消化器集団検診学会大会10月,2003
- No. 29 谷中 昭典,張 松華,田内 雅史,鈴木 英雄,柴原 健,松井 裕史,中原 朗,田中 直見,山本 雅之 :
スルフォラファン含有食品による胃癌のChemoprevention機構の基礎的検討-ブロッコリースプラウトは, H.pylori感染マウスにおいて高塩分食負荷による胃粘膜萎縮の進行を防止する
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 30 張 松華,谷中 昭典,田内 雅史,鈴木 英雄,柴原 健,松井 裕史,中原 朗,田中 直見 :
ゲラニルゲラニルアセトン(Geranylgeranylacetone, GGA)は熱ショック蛋白質を誘導して高塩分食によるH.pylori 感染マウスの胃粘膜萎縮進展を抑制する
第45回日本消化器病学会大会 (大阪), 10月, 2003
- No. 31 鈴木 英雄,柴原 健,中原 朗,松井 裕史,谷中 昭典,田中 直見 :
潰瘍性大腸炎,壊疽性膿皮症に対しサイクロスポリン投与中に悪性リンパ腫を合併した1症例
第1回大腸疾患研究会 (つくば), 10月, 2003
- No. 32 谷中 昭典,田内 雅史,山本雅之 :
酸化ストレス負荷に対する胃粘膜防御・修復に果たすNrf-2遺伝子の役割
シンポジウム:消化性潰瘍の発生と修復を巡るup to date
第31回日本実験潰瘍学会 (名古屋), 11月, 2003
- No. 33 谷中 昭典,張 松華,田内 雅史,鈴木 英雄,柴原 健,松井 裕史 :
酸化ストレス起因性胃粘膜傷害に及ぼすedaravone の効果
第31回日本実験潰瘍学会 (名古屋), 11月, 2003
- No. 34 下川 治,松井 裕史,長野由美子,中村 幸夫,梶原 正宏,竹谷 茂,中原 朗,松崎 靖司,谷中 昭典,柴原 健,田中 直見 :
腫瘍選択的ポルフィリン蛍光に対するNOの効果
第24回日本レーザー医学会総会, 11月, 2003
- No. 35 Matsui H., Shimokawa O., Nagano Y., Matsuzaki Y., Shimakura S.,Nakahara A., Tanaka N. Nakamura Y :
Nitric oxide induced tumor specific fluorescence in vitro.
Society for Free Radical Research (SFRR) Asia (Korea) ,11月,2003

- No . 36 Matsui H., Shimokawa O., Nagano Y., Shimakura S., Matuzaki Y., Kajiware M.,
Taketani S., Nakahara A., Yanaka A., Shibahara T., Tanaka N., Nakamura Y. :
Nitric oxide donors increased the 5-aminolevulinic acid-induced cellular
protoporphyrin IX accumulation in a gastric cancer-derived cell line.
Society of Free Radical (SFRR) Asia (Korea) ,11月,2003
- No . 37 添田 敦子, 柴原 健, 柿木 信重, 松井 裕史, 谷中 昭典, 中原 朗, 田中 直見 :
若年性多発性脳梗塞を合併したCrohn病の1例
第277回日本消化器病学会, 関東支部例会 (東京), 12月, 2003
- No . 38 Matsui H., Nagano Y., Shimokawa O., Murata Y., Yanaka A., Shibahara T., Nakahara A.,
Tanaka N., Nakamura Y. :
Gastric juice induced mucosal lipid peroxidation FFR Kyoto, 12月, 2003
- No . 39 Shimokawa O., Matsui H., Nagano Y., Matsuzaki Y., Nakamura Y., Taketani S.,
Nakahara A., Yanaka A., Shibahara T. Tanaka N. :
Nitric oxide induced tumor specific porphyrin fluorescence in vitro. Educational
Seminar for Young Investigators ?
The 2nd Japan GRG/AGA Symposium 2004, 12月, 2003
- No . 40 中村由美子, 松井 裕史, 松崎 靖司, 中原 朗 :
特許 経口投与される薬物の胃粘膜への作用を評価する方法」
特許出願中 (2003年12月24日出願)

講演会その他

- No . 1 中原 朗 :
胃潰瘍治療のガイドラインについて ,
竜ヶ崎・牛久医師会講演会, 竜ヶ崎市福祉会館, 2月13日, 2003
- No . 2 中原 朗 :
最近の胃潰瘍の診断と治療-胃潰瘍のガイドラインを踏まえて
水郷医師会講演会, 水郷医師会館(麻生町), 6月17日, 2003
- No . 3 谷中 昭典 :
H.pyloriと胃疾患
2003年度放射線専門医会ミッドサマーセミナー (名古屋), 7月, 2003
- No . 4 中原 朗 :
逆流性食道炎の診断・治療のガイドラインについて
取手医師会講演会, 取手医師会病院(取手市), 9月30日, 2003
- No . 5 谷中 昭典 :
H.pylori 起因性胃粘膜傷害とHeat Shock Protein
第31回日本実験潰瘍学会イブニングセミナー (名古屋), 11月, 2003

2003年（病院病理部グループ）

原 著

- No . 1 深澤政勝，森下由紀雄，野口雅之：
乳腺穿刺吸引細胞診のポイント．
Medical Technology ; 2003 : 31 : 505-512 .
- No . 2 Nomura A, Morishita Y, Iijima T, Ishii Y, Satoh H, Sakamoto T, Uchida Y, Homma T, Ohtsuka M, Sekizawa K. :
Unusual lung consolidation in SLE.
Thorax 2003; 58 : 367.
- No . 3 Wang D, Minami Y, Shu Y, Konno S, Iijima T, Morishita Y, Noguchi M. :
The implication of background anthracosis in the development and progression of pulmonary adenocarcinoma.
Cancer Sci 2003; 94 : 707-711.
- No . 4 Ishiyama T, Kano J, Minami Y, Iijima T, Morishita Y, Noguchi M. :
Expression of HNFs and C/EBPa is correlated with immunocytochemical differentiation of cell lines derived from human hepatocellular carcinomas, hepatoblastomas and immortalized hepatocytes.
Cancer Sci 2003; 94 : 757-763.
- No . 5 Kawai K, Saijo K, Oikawa T, Morishita Y, Noguchi M, Ohno T, Akaza H. :
Clinical course and immune response of a renal cell carcinoma patient to adoptive transfer of autologous cytotoxic T lymphocytes.
Clin Exp Immunol 2003; 134 : 264-269.
- No . 6 Tsuboi K, Saijo K, Ishikawa E, Tsurushima H, Takano S, Morishita Y, Ohno T. :
Effects of local injection of ex vivo expanded autologous tumor-specific T lymphocytes in cases with recurrent malignant gliomas,
Clin Cancer Res 2003; 9 : 3294-3302.
- No . 7 Todoroki T, Koike N, Morishita Y, Kawamoto T, Ohkohchi N, Shoda J, Fukuda Y, Takahashi H. :
Patterns and predictors of failure after curative resections of carcinoma of the Ampulla of Vater.
Ann Surg Oncol 2003; 10 : 1176-1183.
- No . 8 村田聡一郎，井坂直秀，山田圭一，稲川 智，阿竹 茂，辻 勝久，石川詔雄，稲留征典：
AIDSによる播種性非定型抗酸菌感染症にて腸閉塞をきたした1手術例。
日本消化器外科学会雑誌 2003; 36 : 129-133.
- No . 9 金久保雄樹，江橋敏男，塩谷清司，稲留征典：
検診超音波検査で発見された後腹膜神経鞘腫の1例。
超音波検査技術 2003; 28 : 433-436.

No. 10 Inadome Y, Noguchi M :

Selection of higher molecular weight genomic DNA for molecular diagnosis from formalin-fixed material.

Diagn Mol Pathol 2003; 12 : 231-236.

学会・研究会

No. 1 関根茂樹, 柴田龍弘, 国分明子, 中西幸浩, 坂元亨宇, 広橋説雄, 森下由紀雄, 野口雅之 :
頭蓋咽頭腫におけるbeta-catenin遺伝子変異 .

第92回日本病理学会総会 2003 .

No. 2 森下由紀雄, 金野 聖, 南 優子, 飯嶋達生, 深澤政勝, 藤原広美, 野口雅之 :
炭粉量とDNAメチル化を指標とした喀痰材料による肺がん危険因子の評価 .

第44回日本臨床細胞学会総会 2003 .

No. 3 金野 聖, 森下由紀雄, 南 優子, 飯嶋達生, 深澤政勝, 野口雅之 :
喀痰中炭粉量の測定による, 肺癌高危険群に関する検討 .

第44回日本臨床細胞学会総会 2003 .

No. 4 玉川有美, 佐藤豊実, 越智寛幸, 沖 明典, 角田 肇, 深澤政勝, 飯嶋達生, 森下由紀雄,
野口雅之, 吉川裕之 :

腔壁腫瘍として発見された子宮頸部漿液性腺癌の一例 .

第44回日本臨床細胞学会総会 2003 .

No. 5 大窪千草, 中村直子, 南 優子, 加野准子, 森下由紀雄, 野口雅之 :

Laser Microdissection-cDNA Subtraction法を用いた化学物質誘発マウス肺腺癌発生
に関わる遺伝子の分子病理学的解析 .

第62回日本癌学会総会 2003 .

No. 6 森下由紀雄, 金野 聖, 南 優子, 飯嶋達生, 深澤政勝, 藤原広美, 野口雅之 :
DNAメチル化を指標とした喀痰材料による肺癌発生高危険群の選別 .

第42回日本臨床細胞学会秋期大会 2003 .

No. 7 金野 聖, 森下由紀雄, 南 優子, 飯嶋達生, 深澤政勝, 野口雅之 :
喀痰中炭粉量の測定, 及びDNAメチル化を指標とした肺癌発生高危険群抽出に関する
検討 .

第44回日本肺癌学会総会 2003 .

No. 8 村山美帆, 小林伸子, 高柳美伊子, 小松正孝, 平山孝子, 稲留征典, 辻 勝久, 小野幸雄 :
逐年健診腹部超音波検査で胆嚢結石の経過観察中に発見された胆嚢癌の一例.

第44回日本人間ドック学会 2003 .

No. 9 稲留征典, 菊地和徳 :

迅速診断された肺腫瘍の1例 .

第18回茨城病院病理医の会 2003.

No. 10 石黒和也, 小田倉 章, 植田光夫, 高柳美伊子, 稲留征典, 菊地和徳, 西出 健,
野口雅之 :

診断に苦慮した結核性子宮内膜炎の一症例.

第30回茨城県臨床衛生検査学会 2003 .

No. 11 長友 康，室井 愛，阿久津博義，小松洋治，木村 泰，稲留征典，菊地和徳：
脳腫瘍との鑑別を要したprimary angitis of the central nervous system (PACNS)の
1例.

第92回日本脳神経外科学会関東地方会 2003.

2003年（リハビリテーショングループ）

原 著

No. 1 江口 清：

脚延長術を行った1例における後脛骨神経刺激によるF波最短潜時の変化

運動障害12：109-112，2003

総 説

No. 1 江口 清：

高齢者における筋力トレーニング

Journal of Clinical Rehabilitation 12： 587-592，2003

学会発表

No. 1 花田 和加子，渡部 洋子，石川 公久，清水 朋枝，前田 悠紀人，加藤 敬子，
江口 清：

腕神経叢損傷者肋間神経移行術後の肩関節固定術受け入れ状況について

第37回日本作業療法学会（北九州），5月，2003

No. 2 渡部 洋子，花田 和加子，石川 公久，清水 朋枝，前田 悠紀人，江口 清，
落合 直之，加藤 敬子：

当院のチーム医療の特色

第37回日本作業療法学会（北九州），5月，2003

No. 3 江口 清，落合 直之：

ミトコンドリア病による重度障害児者に対するリハビリテーション部門の関わり

第40回日本リハビリテーション医学会学術集会（札幌），6月，2003

No. 4 石川 公久，清水 朋枝，前田 悠紀人，渡部 洋子，江口 清，加藤 敬子：

当院における悪性腫瘍患者に対するリハビリテーションの現状

第22回関東甲信越ブロック理学療法士学会（東京），10月，2003

No. 5 清水 朋枝，石川 公久，前田 悠紀人，江口 清，大河内 進：

膝離断術後の一小児例に対する理学療法の経験

第22回関東甲信越ブロック理学療法士学会（東京），10月，2003

No. 6 前田 悠紀人，石川 公久，清水 朋枝，江口 清：

小児の歩行練習にRGO装具を使用して

第22回関東甲信越ブロック理学療法士学会（東京），10月，2003

No. 7 渡部 洋子，三星 有紀子，石川 公久，清水 朋枝，前田 悠紀人，江口 清，三島 初，
落合 直之：

人工股関節全置換術を実施した変形性股関節症患者に対する作業療法士の関わり

第30回日本股関節学会学術集会（東京），10月，2003

No. 8 三星 有紀子，渡部 洋子，石川 公久，清水 朋枝，前田 悠紀人，江口 清，
落合 直之，加藤 敬子：

腕神経叢損傷患者における片手操作可能なキーボード使用の一例

第7回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会（麻生町），10月，2003

その他

No. 1 江口 清：

リハビリテーションとケア

茨城地区リウマチ教育研修会（つくば市），7月，2003

2003年（アドミッションセンターグループ）

著 書

- No. 1 山根一秀：LE試験，p247
山根一秀：抗SS-A抗体，p767
山根一秀：抗SS-B抗体，p767
山根一秀：抗核抗体，p772
山根一秀：抗カルジオリピン抗体，p774
山根一秀：抗Ki抗体，p781
山根一秀：抗Jo-1抗体，p796
山根一秀：抗セントロメア抗体，p808
山根一秀：抗ヒストン抗体，p830
山根一秀：抗U1-RNP抗体，p843
山根一秀：C反応性蛋白質試験，p1075
山根一秀：ヒツジ赤血球ロゼット法，p2055
医学書院 医学大辞典（総編集 伊藤正男，井村裕夫，高久史麿），2003，3月

その他

- No. 1 白川友紀，島田康行，渡邊公夫，山根一秀，鳴島 甫
筑波大学AC入学者の追跡調査—入試種類と得意科目の関係
大学入試研究ジャーナル，第13号，17-22，2003，3月
- No. 2 島田康行，白川友紀，渡邊公夫，山根一秀，鳴島 甫
秋季入学拡大の可能性を探る—高等学校対象アンケートの結果
大学入試研究ジャーナル，第13号，47-52，2003，3月
- No. 3 山根一秀
アメリカ東部名門大学医学部における入学者選抜システム
高校と大学のアーティキュレーションに寄与する新しい大学入試についての実践的研究
平成12～14年度日本学術振興会科学費研究補助金
基盤研究(A) (1)研究成果報告書，
研究代表者 夏目達也（東北大学），2003，3月
- No. 4 鳴島 甫，山根一秀，渡邊公夫，白川友紀，島田康行
秋季入学に関するアンケート調査報告
高校と大学のアーティキュレーションに寄与する新しい大学入試についての実践的研究
平成12～14年度日本学術振興会科学研究費補助金
（基盤研究A）(1)研究成果報告書，
研究代表者 夏目達也（東北大学），2003，3月
- No. 5 鳴島 甫，渡邊公夫，白川友紀，山根一秀，島田康行
筑波大学における入学者選抜に関する調査・研究報告書（平成14年度）
筑波大学アドミッションセンター，2003，3月

No. 6 山根一秀

「医学生に求められるもの～ハーバード大学と筑波大学」招待講演

大学ガイダンス2003 in TOKYO, 朝日新聞・大学通信主催,

2003, 7月, 東京, NSホール

山根一秀

「医学生に求められるもの～ハーバード大学と筑波大学」招待講演

大学ガイダンス2003 in YOKOHAMA, 朝日新聞・大学通信主催,

2003, 7月, 横浜, パシフィコ横浜

No. 7 高校生・高校教諭への筑波大学広報活動 山根一秀:

(1)大学通信・ライセンスアカデミー 大学・短大・AO入試研修会

(推薦入試, AOに関する情報提供交換会), 東京, 5月

(2)日本ドリコム 2003大学・短期大学進学ガイダンス, 東京, 6月

(3)朝日新聞・大学通信 大学ガイダンス2003 in TOKYO, 東京, 7月

(4)朝日新聞・大学通信 大学ガイダンス2003 in YOKOHAMA, 横浜, 7月

(5)ライオン企画 大学フェア2003, 東京, 8月

(6)ライオン企画 大学フェア2003, 仙台, 8月

(7)日本ドリコム 2003大学・短期大学進学ガイダンス, 大宮, 9月

2003年（医療科学グループ）

原 著

- No. 1 佐藤晶子，二宮治彦，長澤俊郎：
Howell-Jolly小体の高頻度出現による見かけ上の網赤血球増多症．
日本検査血液学会雑誌 4(3)：360-368，2003.
- No. 2 東野 英利子，植野 映，角田 博子，森島 勇，大田代 紀子，金澤 宏：
茨城県乳房超音波従事者講習会の講習効果．
日乳癌検診学会誌 12(1) Mar，108-113，2003.
- No. 3 森島 勇，角田博子，遠藤 登喜子，東野英利子，大貫幸二，岩瀬拓士：
マンモグラフィ講習会の改善点の検討—読影実験からみた所見の取り方，共通認識の再確認—．
日乳癌検診学会誌 12(1)，Mar，94-100，2003
- No. 4 Mamoru Niitsu, Eriko Tohno and Yuji Itai：
Fat suppression strategies in enhanced MR imaging of the breast: Comparison of SPIR and Water Excitation Sequences.
Journal of Magnetic Resonance Imaging 18：310-314，2003.
- No. 5 Shuji Sassa, Satoe Suzuki, Hideki Kudo, Katuhiko Kuwa, Yachiyo Shino, Shinobu Sakamoto：
Effects of castration and ferulic acid on plasma gonadotropin levels in male rats.
Medical Postgraduates 41(3)：226-228，2003.
- No. 6 Satoe Suzuki, Hideki kudo, Tayoko Tajima, Shuji Sassa, Katsuhiko Kuwa, Shinobu Sakamoto：
Chinese herbal medicines and colorectal tumors in rats.
Medical Postgraduates 41(4)：303-307，2003.
- No. 7 Katsuhiko Kuwa, Satoe Suzuki, Sachiko Ohgushi, Hideki kudo, Shuji Sassa, Shinobu Sakamoto：
UFT and colorectal tumors in rat.
Medical Postgraduates 41(5)：369-377，2003.
- No. 8 Akira Matsumura, Tian Zhang, Tetsuya Yamamoto, Fumiyo Yoshida, Yoshinori Sakurai, Nobuhiro Shimojo and Tadao Nose：
In vivo gadolinium neutron capture therapy using a potentially effective compound (Gd-BOPTA).
Anticancer Res. 23：2451-2456，2003

総 説

- No. 1 東野 英利子，村上穆彦，植木浜一，田枝督教，角田博子，鯨岡結賀，太田代紀子，森島勇，川口祐子：
マンモグラフィ併用検診の精度管理の現状と改善策（2）マンモグラフィ併用検診の精度管理の現状と改善策．
日乳癌検診学会誌12(1)：Mar，26-29，2003.

- No. 2 古妻嘉一, 遠藤登喜子, 岩瀬拓士, 大貫幸二, 永井宏, 東野英利子, 角田博子, 木村峯夫, 増田慎三, 中谷守一, 森本忠興, 大内憲明: マンモグラフィ併用検診の精度管理の現状と改善策(3) マンモグラフィ読影講習会の精度管理の現状と改善策の検討.
日乳癌検診学会誌12(1): Mar, 30-37, 2003.
- No. 3 東野英利子:
特集乳癌画像診断—各分野の課題と将来—乳房超音波検査の診断基準と教育.
映像情報メディカル Vol.35(8): 560-563, 2003.
- No. 4 東野英利子:
スクリーニングマンモグラフィ—マンモグラフィの備えるべき条件とその読影法.
病態生理 37(2): 通巻96号2003. 8
- No. 5 東野英利子:
乳腺超音波診断装置開発の動向.
Digital Medicine.4(3): 33-35, 2003.
- No. 6 東野英利子:
知っておきたい乳房管理の実際: 乳がん検診と画像診断.
産婦人科治療Vol.87(6): 652-656, 2003.
- No. 7 東野英利子:
シリーズ・日常診療に生かす画像診断 チェックポイントとピットフォール
乳癌: マンモグラフィ, 超音波, MRIによる診断.
Medical ASAHI 62-65, January 2004.
- No. 8 桑 克彦:
臨床検査とISO規格.
Medical Academy News 第851号: 1-5, 2003.
- No. 9 桑 克彦:
臨床検査とPOCT.
新医療 2月号: 116-118, 2003.
- No. 10 桑 克彦:
先進国医療システム型監査質と国際グローバリゼーション.
らぼすこーぷ 26: 13, 2003.
- No. 11 桑 克彦:
外部精度管理調査の現状と将来: ラボ認定と技能試験.
臨床病理 51(5): 449-455, 2003.
- No. 12 桑 克彦:
臨床検査の国際化の現状と将来: ISO/TC212とJCTLM.
臨床病理レビュー 特集第126号: 145-153, 2003.
- No. 13 桑 克彦:
臨床検査医学の標準化はJCTLMに集約.
Medical Academy News 第875号: 12, 2003.

- No . 14 桑 克彦 :
 トレーサビリティ合同委員会(JCTLM)の発足と活動内容について.
 日本臨床検査標準協議会会誌 18(2) : 117-120 , 2003.
- No . 15 桑 克彦 :
 包括医療とは : 検査部での対応—自動分析検査はどうあるべきか.
 検査と技術 31(10) : 920-923 , 2003.
- No . 16 桑 克彦 :
 臨床検査におけるグローバルハーモナイゼーション , 最近の流れ : JCTLMの活動日
 本臨床検査標準協議会会誌 18(3) : 150-158 , 2003.
- No . 17 桑 克彦 :
 グルコースとHbA1c検査.
 予防医学 第45号 : 23-27 , 2003.
- No . 18 中田穂出美 :
 - 技術講座 - 聴覚器の標本作製.
 Medical Technology Vol. 31 , No.11 : 1219-1224 , 2003.
- 著 書
- No . 1 Nishimura J., Kanakura Y., Ware R.E., Shichishima T., Nakakuma H., Ninomiya H.,
 Hall S., Kanamaru A., Mizoguchi H., Omine M., Kinoshita T., Rosse W.F. :
 Serial analysis of clonal expansion in PNH by flow cytometry.
 Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria and related disorders-Molecular
 aspects of pathogenesis. (Eds. Omine M. Kinoshita T.),
 Springer pp235-238, 2003.
- No . 2 Nishimura J., Kanakura Y., Ware R.E., Shichishima T., Nakakuma H., Ninomiya H.,
 Hall S., Kanamaru A., Mizoguchi H., Omine M., Kinoshita T., Rosse W.F. :
 The clinical course of PNH in USA and Japan.
 Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria and related disorders-Molecular
 aspects of pathogenesis. (Eds. Omine M. Kinoshita T.),
 Springer pp239-242, 2003.
- No . 3 Yoshida C., Ohkoshi Y., Hasegawa Y., Nagasawa T., Ninomiya H. :
 Treatment of PNH hemolytic crisis with heparin or low-molecular weight heparin
 by its dual (anti-complement and anti-coagulant) activity.
 Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria and related disorders-Molecular
 aspects of pathogenesis. (Eds. Omine M. Kinoshita T.),
 Springer pp275-278, 2003.
- No . 4 二宮治彦 :
 血液の機能 : 血液の生化学.
 「スタンダード検査血液学」(日本検査血液学会編).
 医歯薬出版 (東京). pp7-9 , 2003.

- No. 5 二宮治彦：
発作性夜間血色素尿症．
「内科学第2版」(黒川 清，松澤佑二編)．
文光堂(東京)，pp1394-1395，2003.
- No. 6 浦山 修，中山年正，入野勤，松下誠，森山隆則，奥村伸生，原諭吉，笠原靖，大澤 進，
戸塚実，家入蒼生夫，河合誠，木嶋祥磨，山田俊幸，西川隆：
臨床検査学講座／臨床化学検査学 第1版
東京：医歯薬出版；2003：序，
126-129，139-150，314-321，384-389，394-401，407-412．
- No. 7 桑 克彦：
医療産業．技術者のための計測・分析技術．
東京：日本工学会；2003：242-261.
- No. 8 桑 克彦：
医学大辞典(伊藤正男，井村裕夫，高久史磨 編)
東京：医学書院；2003.
- No. 9 桑 克彦：
バイオ・人の健康に関する分野の標準物質．標準研究連絡委員会報告
日本学術会議標準研究連絡委員会標準物質小委員会；2003：1-8.
- No. 10 桑 克彦：
製造業者によるIVD性能の維持及び継続的改善の方法．
厚生労働省平成14年度体外診断用医薬品標準化調査班
厚生労働省体外診断用医薬品標準化調査班調査報告書 2003：45-72．
- No. 11 桑 克彦：
血糖自己測定機器の標準化の現状と問題点．患者指導のためのSMBGのすべて
(富永真編)
東京：日本医学出版；2003：29-32．
- No. 12 野澤 修，桑 克彦：
潜在基準値抽出法による年齢別・性別基準値推定式の設定
日本臨床検査自動化学会会誌 28(2)：128-133，2003
- No. 13 S. Kano, M. Ishibashi, K. Kuwa, Y. Itoh, W. Tani, K. Shimazu, K. Abe, K. Fujiwara,
T. Yoshikai：
Successful preparation of serum-based secondary reference material for
standardization of total prostate-specific antigen(PSA) immunoassays.
Bolobna：Monduzzi Editore；Clinical Chemistry & Laboratory Medicine；
2003：507-511.
- No. 14 K. Kuwa：
Performance evaluation of FreeStyle for blood glucose monitoring system.
Bolobna：Monduzzi Editore；Clinical Chemistry & Laboratory Medicine；
2003：587-591.

- No. 15 富永真琴, 牧野英一, 芳野 原, 桑 克彦, 武井 泉, 青野悠久子, 星野忠夫, 島津 章,
三家登喜夫, 桑島正道, 田港朝彦, 小野順子:
ヘモグロビンA1c標準物質JDS Lot 2のIFCC値について.
糖尿病 2003; 46(9): 775-778.
- No. 16 桑 克彦:
国際標準化のための臨床検査英和辞典(河合 忠編)
東京: 薬業日報社; 2003
- No. 17 富永真琴, 牧野英一, 芳野 原, 桑 克彦, 武井 泉, 青野悠久子, 星野忠夫, 島 章,
三家登喜夫, 桑島正道, 田港朝彦, 小野順子:
血糖自己測定機器の機種間差に関する共同実験2002について.
糖尿病 2003; 46(11): 889-898.
- No. 18 富永真琴, 牧野英一, 芳野 原, 桑 克彦, 武井 泉, 青野悠久子, 星野忠夫, 津 章,
三家登喜夫, 桑島正道, 田港朝彦, 小野順子:
第7回ヘモグロビンA1c精度管理調査について.
糖尿病 2003; 46(12): 961-965.
- No. 19 中田穂出美:
薬物による聴覚障害の組織化学的研究
東京: 化学療法研究会 2003: 1-178
- 学会発表, 報文集, 抄録集, Proceedingsなど
- No. 1 浦山 修:
糖尿病とその関連検査
第17回石見糖尿病教育懇話会講演会 島根, 3月, 2003.
- No. 2 浦山 修, 川井紘一:
経口糖尿病薬グリベンクラミドとグリメピリド治療患者におけるインスリン分泌動態
第46回糖尿病学会年次学術集会 富山, 5月, 2003.
- No. 3 東野英利子:
画像診断でどこまでよめるか~病理との対比 超音波の面から
第16回中国四国乳腺研究会 パネルディスカッション
広島国際会議場 9月, 2003.
- No. 4 桑 克彦:
POCTにおけるQAの現状.
第17回(平成14年度)臨床検査精度管理奨励会研究報告会(横浜) 2月, 2003.
- No. 5 桑 克彦:
今すぐ役立つ栄養アセスメントによる在院日数の短縮化
平成14年千葉県臨床衛生検査技師会 臨床化学・血清検査研究班合同研修会
(千葉) 3月, 2003.
- No. 6 桑 克彦:
医療分野での標準物質の将来展望
計量標準100周年第1回シンポジウム(つくば) 3月, 2003.

- No. 7 桑 克彦：
血糖の病態生理とSMBGの特性及び新しい使い方
第15回臨床検査メリトクラシイ研究会（東京）3月，2003.
- No. 8 桑 克彦：
世界をリードする臨層検査へのスタート：国際標準化への戦略
第13回生物試料分析科学会大会（熊本）3月，2003.
- No. 9 桑 克彦：
臨床化学検査（AST, ALT, γ -GT, T-CHO, TG）自動分析法の落とし穴
全衛連臨床検査技師等専門コース講習会（東京）3月.
平成14年度精度管理事業講習テキスト：31-60，2003.
- No. 10 Katsuhiko Kuwa：
Present status of PSA standardization in Japan.
RDKK PSA meeting（東京）4月，2003.
- No. 11 野田治代，鷺崎 誠，田村昌士，桑 克彦：
健康日本21の科学的根拠となるヘルスデータの提供モデル
第76回日本産業衛生学会（山口）4月，2003.
- No. 12 桑 克彦：
検査室が生き残る質の管理—ISO15189への対応
第52回日本医学検査学会ランチョンセミナー（大宮）5月，2003.
- No. 13 Kuwa K.：
Performance evaluation of FreeStyle for blood glucose monitoring system.
15th IFCC-FESCC European Congress of Clinical Chemistry and
Laboratory Medicine (Barcelona) 6月，2003.
- No. 14 Kuwa K.：
Successful preparation of serum-based secondary reference material for
standardization of total prostate-specific antigen(PSA) immunoassays.
15th IFCC-FESCC European Congress of Clinical Chemistry and
Laboratory Medicine (Barcelona) 6月，2003.
- No. 15 桑 克彦：
臨床検査の国際化の現状と将来および臨床検査室の認定
第18回筑波臨床化学セミナー（つくば）7月，2003.
- No. 16 飯塚儀明，澤畑辰男，中島正雄，桑 克彦：
T-AMY, P-AMY 活性値における個人の生理的変動幅の算出
第18回筑波臨床化学セミナー（つくば）7月，2003.
- No. 17 桑 克彦：
JSCCおよびIFCC自動化法と反応性およびコミュニティの評価法
第22回日本臨床化学会夏期セミナー（徳島）7月，2003.
- No. 18 高加国夫，渥美義仁，富永真琴，桑 克彦，星野忠夫：
血糖自己測定（SMBG）の標準化
第22回日本臨床化学会夏期セミナー（徳島）7月，2003.

- No. 19 福永壽晴, 桑 克彦, 谷 渉, 梅本雅夫 :
血液ガス測定 of サーベイ の実際
第22回日本臨床化学会夏期セミナー (徳島) 7月, 2003.
- No. 20 桑 克彦 :
臨床検査におけるグローバルハーモナイゼーション, 最近の動向: JCTLMの活動
平成15年度JCCLS学術集会 (東京) 8月, 2003.
- No. 21 桑 克彦 :
臨床化学の国際標準化—HbA1cを中心として
シスメックス展示・講演会 (小倉) 8月, 2003.
- No. 22 桑 克彦 :
グローバリゼーションと検査室の認定—検査技師のサバイバル戦略
第16回臨床検査メリトクラシイ研究会 (東京) 9月, 2003.
- No. 23 桑 克彦 :
標準化とその方法—標準物質, 国際的な方向性
第28期日本衛生検査所協会生化学コース (東京) 9月, 2003.
- No. 24 桑 克彦 :
臨床検査の標準化と国際化への課題
大臨技検査管理部門精度管理分野特別講演会 (大阪) 9月, 2003.
- No. 25 白井秀明, 桑 克彦 :
自動分析法による酵素の反応性評価の方法
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.
- No. 26 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦 :
JCCLS自動化法での基準範囲の算出と標準化対応法のトレーサビリティの確認
—その1: T-AMY
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.
- No. 27 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦 :
暫定JCCLS自動化法での基準範囲の算出と標準化対応法のトレーサビリティの確認
—その2: P-AMY
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.
- No. 28 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦 :
暫定JCCLS自動化法での基準範囲の算出と標準化対応法のトレーサビリティの確認
—その3: LIP
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.
- No. 29 鈴木英明, 白井秀明, 二瓶 司, 中島正雄, 桑 克彦 :
T-AMY活性測定の反応性評価における評価資料 (患者血清) の選択
—その1: Gal-G2-CNP, G3-CNP, Gal-G4-CNP
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.
- No. 30 二瓶 司, 白井秀明, 中島正雄, 鈴木英明, 桑 克彦 :
T-AMY活性測定の反応性評価における評価資料 (患者血清) の選択
—その2: G5系, Et-G7-PNP
日本臨床検査自動化学会第35回大会 (横浜) 9月, 2003.

- No. 31 白井秀明, 加藤隆則, 二瓶 司, 鈴木英明, 中島正雄, 桑 克彦:
P-AMY活性測定における反応性評価のための患者血清の選択
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 32 飯塚儀明, 澤畑辰男, 中島正雄, 桑 克彦:
T-AMY活性値における個人の生理的変動の算出
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 33 飯塚儀明, 澤畑辰男, 中島正雄, 桑 克彦:
P-AMY活性値における個人の生理的変動の算出
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 34 山下計太, 飯塚儀明, 斉藤友幸, 中島正雄, 桑 克彦:
リパーゼ, エラスターゼ1における個人の生理的変動の算出
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 35 斉藤友幸, 内山吉喜, 飯塚儀明, 加藤隆則, 中島正雄, 桑 克彦:
リCK-MB活性測定の標準化—基準範囲と個人の生理的変動幅
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 36 野中百合子, 飯塚儀明, 斉藤友幸, 桑 克彦, 中島正雄:
GA(グリコアルブミン)の個人の生理的変動
日本臨床検査自動化学会第35回大会(横浜)9月, 2003.
- No. 37 桑 克彦:
SMBG測定器の校正法
平成15年度日本臨床化学会関東支部例会(東京)9月, 2003.
- No. 38 桑 克彦:
新しい知恵と技能を活かす質管理—ISO15189と検査室サバイバル
第38回九州医学検査学会ランチョンセミナー(熊本)10月, 2003.
- No. 39 桑 克彦:
ISO/TC212WG2活動概要 JCCLS: ISO/TC212 WG2企画
ISO規格キャリブレーションおよびQA用試料の不確かさ評価方法セミナー
(東京)10月, 2003.
- No. 40 加藤隆則, 斉藤友幸, 白井秀明, 飯塚儀明, 桑 克彦:
膵関連酵素の基準範囲の算出
第43回日本臨床化学会年会(広島)10月, 2003.
- No. 41 白井秀明, 斉藤友幸, 飯塚儀明, 加藤隆則, 桑 克彦:
AMY活性測定の反応性評価におけるP/S比の影響
第43回日本臨床化学会年会(広島)10月, 2003.
- No. 42 飯塚儀明, 斉藤友幸, 白井秀明, 加藤隆則, 桑 克彦:
膵関連酵素の個人の生理的変動幅の算出
第43回日本臨床化学会年会(広島)10月, 2003.
- No. 43 細萱茂実, 尾崎由基男, 桑 克彦:
標準物質を用いた精度の評価とその限界値の設定
第43回日本臨床化学会年会(広島)10月, 2003.

- No. 44 奥田忠行, 北島 勲, 福永壽晴, 中村正人, 桑 克彦:
富山県における標準物質を使用した11年間の血液ガスコントロールサーベイについて
第43回日本臨床化学会年会(広島)10月, 2003.
- No. 45 桑 克彦:
国際標準化の動向と糖尿病関連検査の標準化について—JCTLM, ISO15189, HbA1c, GAを中心にして
第36回中国四国医学検査学会(岡山)11月, 2003.
- No. 46 桑 克彦:
検査室サバイバル戦略—検査室の生き残りをかけて管理者としてどうすべきか
埼玉県臨床衛生検査技師会平成15年度主任・管理者研修会(大宮)11月, 2003.
- No. 47 桑 克彦:
臨床検査におけるグローバルハーモナイゼーション—検査室サバイバルと医療品質
シスメックス35周年記念セミナー(東京)11月, 2003.
- No. 48 桑 克彦:
臨床化学分析における精度管理と標準確立の動き
東京理科大学分析科学セミナー(東京)12月, 2003.
- No. 49 桑 克彦:
医療産業への応用
第1回日本分析化学会 技術者のための計測・分析技術セミナー: バイオコース
(東京)12月, 2003.
- No. 50 桑 克彦:
日本における標準化の現状—精度管理の質の向上を目指して(日本標準化的現状以提高実験室的質量管理学目標)
第2回中国臨床検検実験室管理学会議(杭州)12月, 2003.
- No. 51 吉田文代, 山本哲哉, 中井 啓, 熊田博明, 奥村正文, 中内啓光, 松村 明:
ホウ素化合物(BSH, BPA) 併用療法の 治療効果改善のための基礎的研究
第1回日本中性子捕捉療法研究会(京都), 8月, 2003
- No. 52 中井 啓, 吉田文代, 山本哲哉, 松村 明:
コメットアッセイによるBNCT実験系でのDNA損傷の検討
第1回日本中性子捕捉療法研究会(京都), 8月, 2003

臨床医学系業績目録（2003）

平成16年10月印刷

平成16年10月発行

編 者	筑波大学臨床医学系
発 行 者	筑波大学臨床医学系 茨城県つくば市天王台1-1-1
印 刷	ニッセイエプロ株式会社 茨城県つくば市吾妻3-13-11
